

# 臨床工学技士の業務実態報告 2025

## 調査・統計委員会

『臨床工学技士の業務実態報告 2025』を2025年10月1日から11月17日の期間で実施しましたので結果を報告いたします。  
お忙しい業務の中、貴重なお時間を割いていただき、ご協力賜りましたことをお礼申し上げます。  
さて、本報告は貴重な経験と意見を基に、臨床工学の現状を把握し、より良い未来に向けて改善していくための重要な取り組みです。  
皆様の声を通じて、より良い未来のための一翼を担うことができます。  
今年度の報告は、個人報告の回収率51%という高い結果を得ました。当会への協力の高さや報告結果に偏りが少なく信憑性の高い資料ともなりえることから、重ねてお礼申し上げます。  
なお、今回の報告結果は(公社)日本臨床工学技士会の活動の貴重な資料として活用させていただき、事務局にて適正に保管いたします。

1. 本報告の目的  
業務実態報告は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第2章目的及び事業に基づき、労務に関する報告を行い、実態を把握すること。  
国民の臨床工学技士に対するニーズを業務の実施状況から把握する。  
臨床工学技士の業務を量的、質的に明らかにして事業運営の基礎資料とする。  
業務の拡大、診療報酬の評価、待遇の改善などの臨床工学技士業務に関する課題の抽出と解決のための基礎資料とする。
2. 報告の範囲及び対象  
日本臨床工学技士会 正会員
3. 報告対象者  
正会員数 26,380 名 (2025 年 10 月 1 日時点)
4. 報告事項  
1) 「個人報告」正会員全員が回答  
2) 「施設基本報告」施設代表者が回答  
3) 「施設基本報告」に加え(アドオン)血液浄化編、腹膜透析編、呼吸治療編、在宅呼吸編、集中治療・救急編、内視鏡編、手術室編、心臓・血管カテーテル編、不整脈アブレーション編、心臓不整脈デバイス編、医療安全編、高気圧治療編、医療機器編、教育者編を実施した。
5. 報告の時期  
2025 年 10 月 1 日から 2025 年 11 月 17 日に行った。
6. 報告方法  
日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-ブリパド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。
7. 結果  
以下の結果を得た。

| 項目                 | 有効回答数  | 回答率(%) |     |
|--------------------|--------|--------|-----|
| 1.個人報告             | 13,333 | 51     |     |
| 項目                 | 回答数    | 重複別除後  | 重複数 |
| 2. 施設報告            | 2,321  | 2,142  | 179 |
| 3. 血液浄化アドオン        | 2,158  | 1,925  | 233 |
| 4. 腹膜透析アドオン        | 623    | 598    | 25  |
| 5. 呼吸治療アドオン        | 1,139  | 1,092  | 47  |
| 6. 在宅呼吸アドオン        | 532    | 520    | 12  |
| 7. 集中治療・救急アドオン     | 615    | 601    | 14  |
| 8. 内視鏡アドオン         | 819    | 795    | 24  |
| 9. 手術室アドオン         | 1,012  | 982    | 30  |
| 10. 心臓・血管カテーテルアドオン | 762    | 733    | 29  |
| 11. 不整脈アブレーションアドオン | 447    | 432    | 15  |
| 12. 心臓不整脈デバイスアドオン  | 670    | 655    | 15  |
| 13. 医療安全アドオン       | 1,091  | 1,069  | 22  |
| 14. 高気圧治療アドオン      | 283    | 274    | 9   |
| 15. 医療機器管理アドオン     | 1,115  | 1,089  | 26  |
| 16. 教育者アドオン        | 184    | 181    | 3   |

- ※重複回答数：施設報告、アドオン報告で同一施設名の回答を重複回答とした。なお、回答は役職上位者を採用し、不明な場合は回答日時順で最新の回答を採用した。
8. 結果の表記  
1) 選択、単一回答は回答数を n (%) で表し、複数回答では回答者数を n (%) で表記した。  
2) 量的変数は、階級 n (%) を表記した。  
3) その他は、代表的な内訳 n を表記した。
  9. 今後の課題  
1) 報告に関する問い合わせについて  
業務実態報告期間中の事務局への問い合わせは、電話、メールの対応を含めて約 380 件であった。事務局として多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。  
2) エラーの発生について  
業務実態報告 2025 の入力画面において、エラーが発生しご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。対策として、今後、確認作業時間を十分に取るために余裕のあるスケジュールを設定することとしました。  
3) 施設報告の重複について  
施設報告およびアドオン報告について、施設名の重複は 1.6 ～ 10.8 % 発生した。施設 1 回答に制限できる仕組みを引き続き検討する。
  10. 調査・統計委員会  
石井 宣大 東京慈恵会医科大学附属柏病院  
今田 寛人 広島大学  
勝又 稔 魚沼基幹病院  
岸上 香織 医療法人 厚生会 福井厚生病院  
久行 菜帆 中央内科クリニック  
布江田 友理 森ノ宮医療大学  
三春 摩弥 山形大学医学部附属病院  
森下 世紀 福岡徳洲会病院  
担当理事  
五十嵐 茂幸 北陸大学

# 臨床工学技士の業務実態報告 2025

報告期間：2025 年 10 月 1 日～11 月 17 日

正会員数：26,380 名

回答数：13,333 件

回収率：51%

調査・統計委員会

## 1. 業務実態報告 2025 個人報告

問 1 勤務先について選択してください。(単一回答)

目的：臨床工学技士の就業状況の把握

定義：勤務先の機関、勤務状況を選択してください。

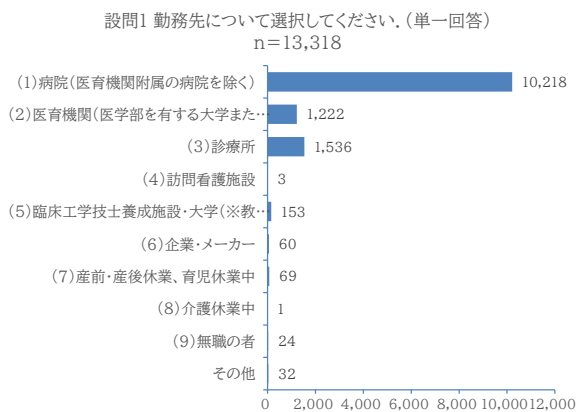
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,318

| 回答                          | n      | 割合    |
|-----------------------------|--------|-------|
| (1)病院(医育機関附属の病院を除く)         | 10,218 | 76.7% |
| (2)医育機関(医学部を有する大学またはその附属機関) | 1,222  | 9.2%  |
| (3)診療所                      | 1,536  | 11.5% |
| (4)訪問看護施設                   | 3      | 0.0%  |
| (5)臨床工学技士養成施設・大学            | 153    | 1.1%  |
| (6)企業・メーカー                  | 60     | 0.5%  |
| (7)産前・産後休業、育児休業中            | 69     | 0.5%  |
| (8)介護休業中                    | 1      | 0.0%  |
| (9)無職の者                     | 24     | 0.2%  |
| その他                         | 32     | 0.2%  |

その他内訳：クリニック 8, 透析クリニック 4, 行政機関、(省庁、法務省矯正施設) 4, 特別養護老人ホーム、介護医療院 2, 休職中 2, 社会医療法人 法人本部 2, フリーランス 1, グループ病院の本部組織 1, 他職へ転職 1, 自営業手伝い 1, 臨床工学技士以外の仕事、資格なくてもできるパート 1, 大学院生(博士後期課程) 1, 教育研修センター 1, 経営 1, 検診センター 1, 研修講師 1

解説：会員の勤務先は、病院が 77%と最も多く、次いで診療所 12%，医育機関 9 %であった。



問 2 勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査

定義：所属母体名を選択してください。

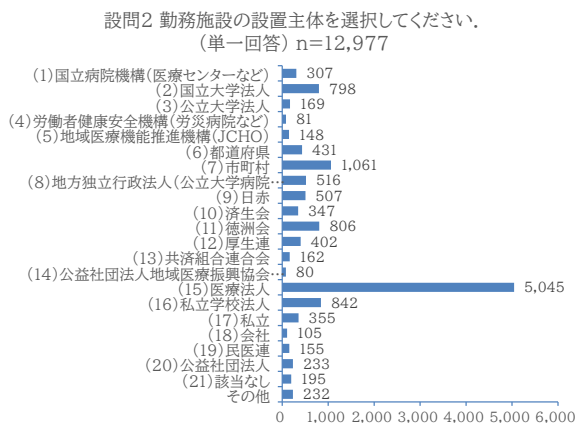
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：12,977

| 回答                             | n     | 割合    |
|--------------------------------|-------|-------|
| (1)国立病院機構(医療センターなど)            | 307   | 2.4%  |
| (2)国立大学法人                      | 798   | 6.1%  |
| (3)公立大学法人                      | 169   | 1.3%  |
| (4)労働者健康安全機構(労災病院など)           | 81    | 0.6%  |
| (5)地域医療機能推進機構(JCHO)            | 148   | 1.1%  |
| (6)都道府県                        | 431   | 3.3%  |
| (7)市町村                         | 1,061 | 8.2%  |
| (8)地方独立行政法人(公立大学病院など)          | 516   | 4.0%  |
| (9)日赤                          | 507   | 3.9%  |
| (10)済生会                        | 347   | 2.7%  |
| (11)徳洲会                        | 806   | 6.2%  |
| (12)厚生連                        | 402   | 3.1%  |
| (13)共済組合連合会                    | 162   | 1.2%  |
| (14)公益社団法人地域医療振興協会(国民健康保険組合など) | 80    | 0.6%  |
| (15)医療法人                       | 5,045 | 38.9% |
| (16)私立学校法人                     | 842   | 6.5%  |
| (17)私立                         | 355   | 2.7%  |
| (18)会社                         | 105   | 0.8%  |
| (19)民医連                        | 155   | 1.2%  |
| (20)公益社団法人                     | 233   | 1.8%  |
| (21)該当なし                       | 195   | 1.5%  |
| その他                            | 232   | 1.8%  |

その他内訳：公益財団法人 58, 社会福祉法人 47, 一般財団法人 30, 一般社団法人 9, 防衛省 5, 株式会社 3, 社会福祉法人 3, かりゆし会 2, 医師会 2, 健康保険組合 2, AMG グループ 1, 医療法人社団 1, 健康正会 1, 個人クリニック 1, 公益財団法人 1, 公益社団法人 1, 国立健康危機管理研究機構(JIHHS) 1, 国立研究開発法人 1, 国立療養所 1, 社会 1, 社会医療法人社団 1, 宗教法人 1, 善仁会 1, 地方共同体 1, 不明 1, 防衛省直轄 1, 民医連 1, 未記載 28

解説：勤務施設の設置主体は医療法人が 39%と最も多く、次いで市町村 8%，私立学校法人 7 %であった。



問3 勤務施設の区分を選択してください。(単一回答)

目的: 病院, クリニック勤務の状況確認

定義: 病院, 無床・有床診療所を選択してください。

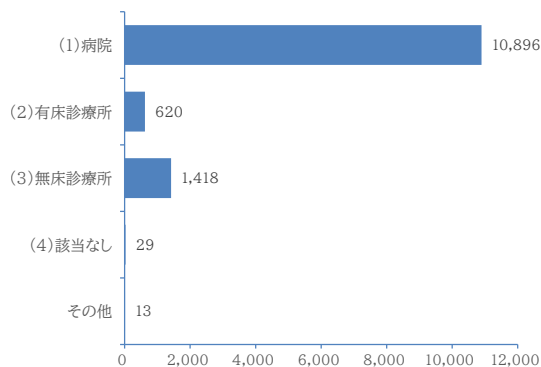
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 12,976

| 回答                                                                                | n      | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| (1)病院                                                                             | 10,896 | 82.0% |
| (2)有床診療所                                                                          | 620    | 4.7%  |
| (3)無床診療所                                                                          | 1,418  | 10.7% |
| (4)該当なし                                                                           | 29     | 0.2%  |
| その他                                                                               | 13     | 0.1%  |
| その他内訳: 病院と無床診療所の両方に勤務 1, 病院, 無床診療所, 有床診療所を含むグループ 1, 外来通院用透析施設 1, 老健施設併設 1, 専門学校 1 |        |       |

解説: 勤務施設区分は病院が82%と最も多く, 次いで無床診療所11%, 有床診療所5%であった。

設問3 勤務施設の区分を選択してください。(単一回答)  
n=12,976



問4 許可一般病床数を選択してください。(単一回答)

目的: 一般病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義: 許可一般病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

対象: 2025年10月1日時点

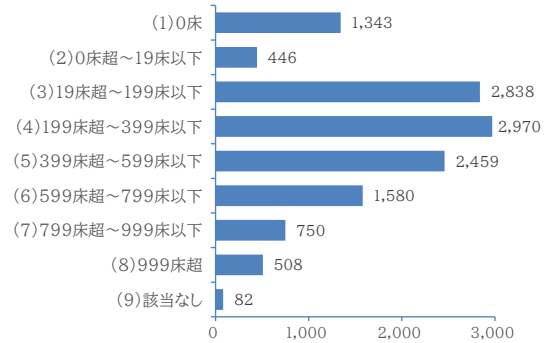
有効回答数: 12,976

| 回答              | n     | 割合    |
|-----------------|-------|-------|
| (1)0床           | 1,343 | 10.3% |
| (2)0床超~19床以下    | 446   | 3.4%  |
| (3)19床超~199床以下  | 2,838 | 21.9% |
| (4)199床超~399床以下 | 2,970 | 22.9% |
| (5)399床超~599床以下 | 2,459 | 19.0% |
| (6)599床超~799床以下 | 1,580 | 12.2% |
| (7)799床超~999床以下 | 750   | 5.8%  |
| (8)999床超        | 508   | 3.9%  |
| (9)該当なし         | 82    | 0.6%  |

解説: 許可一般病床数は199床超~399床以下が23%と最も多く, 次いで19床超~199床以下が22%であった。

設問4 許可一般病床数を選択してください。(単一回答)

n=12,976



問5 許可療養病床数を選択してください。(単一回答)

目的: 療養病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義: 許可療養病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

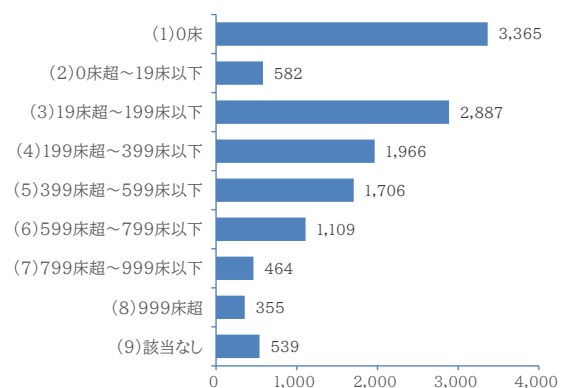
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 12,973

| 回答              | n     | 割合    |
|-----------------|-------|-------|
| (1)0床           | 3,365 | 25.9% |
| (2)0床超~19床以下    | 582   | 4.5%  |
| (3)19床超~199床以下  | 2,887 | 22.3% |
| (4)199床超~399床以下 | 1,966 | 15.2% |
| (5)399床超~599床以下 | 1,706 | 13.2% |
| (6)599床超~799床以下 | 1,109 | 8.5%  |
| (7)799床超~999床以下 | 464   | 3.6%  |
| (8)999床超        | 355   | 2.7%  |
| (9)該当なし         | 539   | 4.2%  |

解説: 許可療養病床数は0床が25.9%と最も多く, 次いで19床超~199床以下が22.3%であった。

設問5 許可療養病床数を選択してください。(単一回答)  
n=12,973



問6 あなたが専従で従事している業務を教えてください。(単一回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

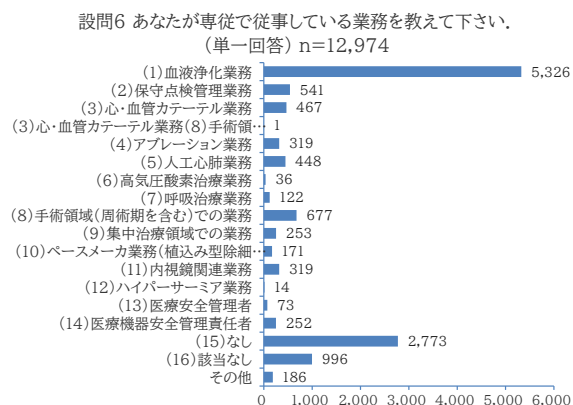
定義：あなたが専従で従事する臨床工学技士業務を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：12,940

| 回答                                                                                                                          | n     | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)血液浄化業務                                                                                                                   | 5,326 | 41.1% |
| (2)保守点検管理業務                                                                                                                 | 541   | 4.2%  |
| (3)心・血管カテーテル業務                                                                                                              | 467   | 3.6%  |
| (4)アブレーション業務                                                                                                                | 319   | 2.5%  |
| (5)人工心肺業務                                                                                                                   | 448   | 3.5%  |
| (6)高気圧酸素治療業務                                                                                                                | 36    | 0.3%  |
| (7)呼吸治療業務                                                                                                                   | 122   | 0.9%  |
| (8)手術領域(周術期を含む)での業務                                                                                                         | 677   | 5.2%  |
| (9)集中治療領域での業務                                                                                                               | 253   | 2.0%  |
| (10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)                                                                                                   | 171   | 1.3%  |
| (11)内視鏡関連業務                                                                                                                 | 319   | 2.5%  |
| (12)ハイパーサーミア業務                                                                                                              | 14    | 0.1%  |
| (13)医療安全管理者                                                                                                                 | 73    | 0.6%  |
| (14)医療機器安全管理責任者                                                                                                             | 252   | 1.9%  |
| (15)なし                                                                                                                      | 2,773 | 21.4% |
| (16)該当なし                                                                                                                    | 996   | 7.7%  |
| その他                                                                                                                         | 187   | 1.4%  |
| その他内訳：ローテーション 34,管理 15,事務 12,専従・兼任 10,医療安全 4,教育 3,研究 3,呼吸治療 3,カテーテル 3,血液浄化 3,材料管理 3,内視鏡 3,麻酔 2,災害医療 2,情報・統計 2,その他 51,未記載 33 |       |       |

解説：専従で従事している業務は血液浄化業務が41.2%と最も多かった。



問7 あなたが専任で従事している業務を教えてください。(単一回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

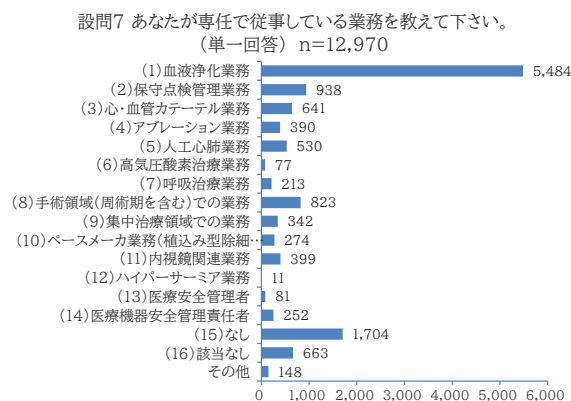
定義：あなたが専任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：12,970

| 回答                                                                                                                                                                   | n     | 割合    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)血液浄化業務                                                                                                                                                            | 5,484 | 42.3% |
| (2)保守点検管理業務                                                                                                                                                          | 938   | 7.2%  |
| (3)心・血管カテーテル業務                                                                                                                                                       | 641   | 4.9%  |
| (4)アブレーション業務                                                                                                                                                         | 390   | 3.0%  |
| (5)人工心肺業務                                                                                                                                                            | 530   | 4.1%  |
| (6)高気圧酸素治療業務                                                                                                                                                         | 77    | 0.6%  |
| (7)呼吸治療業務                                                                                                                                                            | 213   | 1.6%  |
| (8)手術領域(周術期を含む)での業務                                                                                                                                                  | 823   | 6.4%  |
| (9)集中治療領域での業務                                                                                                                                                        | 342   | 2.6%  |
| (10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)                                                                                                                                            | 274   | 2.1%  |
| (11)内視鏡関連業務                                                                                                                                                          | 399   | 3.1%  |
| (12)ハイパーサーミア業務                                                                                                                                                       | 11    | 0.1%  |
| (13)医療安全管理者                                                                                                                                                          | 81    | 0.6%  |
| (14)医療機器安全管理責任者                                                                                                                                                      | 252   | 1.9%  |
| (15)なし                                                                                                                                                               | 1,704 | 13.2% |
| (16)該当なし                                                                                                                                                             | 663   | 5.1%  |
| その他                                                                                                                                                                  | 148   | 1.0%  |
| その他内訳：ローテーション業務 35,その他の領域 27,管理職・マネジメント関連 20,事務・経営・統計関連 10,医療安全・DX・システム関連 8,手術・麻酔・ロボット・心臓関連 8,臨床工学・機器関連 7,中央材料室・SPD 関連 5,救急・集中治療・NICU 関連 5,教育・研究・シミュレーション関連 4,未記載 19 |       |       |

解説：専任で従事している業務は血液浄化業務が42.3%と最も多かった。



問 8 あなたが兼任で従事している業務を教えてください。（複数回答）

目的：臨床工学技士従事業務の調査

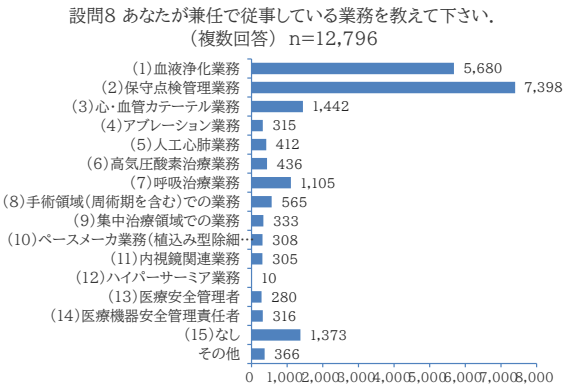
定義：あなたが兼任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：12,796

| 回答                                                                                                                                                                                             | n     | 割合    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)血液浄化業務                                                                                                                                                                                      | 5,680 | 44.4% |
| (2)保守点検管理業務                                                                                                                                                                                    | 7,398 | 57.8% |
| (3)心・血管カテーテル業務                                                                                                                                                                                 | 1,442 | 11.3% |
| (4)アブレーション業務                                                                                                                                                                                   | 315   | 2.5%  |
| (5)人工心肺業務                                                                                                                                                                                      | 412   | 3.2%  |
| (6)高気圧酸素治療業務                                                                                                                                                                                   | 436   | 3.4%  |
| (7)呼吸治療業務                                                                                                                                                                                      | 1,105 | 8.6%  |
| (8)手術領域(周術期含)での業務                                                                                                                                                                              | 565   | 4.4%  |
| (9)集中治療領域での業務                                                                                                                                                                                  | 333   | 2.6%  |
| (10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含)                                                                                                                                                                       | 308   | 2.4%  |
| (11)内視鏡関連業務                                                                                                                                                                                    | 305   | 2.4%  |
| (12)ハイパーサーミア業務                                                                                                                                                                                 | 10    | 0.1%  |
| (13)医療安全管理者                                                                                                                                                                                    | 280   | 2.2%  |
| (14)医療機器安全管理責任者                                                                                                                                                                                | 316   | 2.5%  |
| (15)なし                                                                                                                                                                                         | 1,373 | 10.7% |
| その他                                                                                                                                                                                            | 366   | 2.9%  |
| その他内訳:管理・マネジメント関連 40,医療ガス・安全管理・災害関連 25,中央材料室・滅菌・SPD 関連 20,在宅・睡眠医療(SAS/CPAP 等)関連 20,補助人工心臓・循環器・カテーテル領域 25,システム・IT・DX 関連 20,医療機器・臨床工学関連 25,検査・画像・生理機能関連 15,教育・研究・シミュレーション関連 10,その他の領域 107,未記載 59 |       |       |

解説：兼任している業務は保守点検管理業務が 58%と最も多く、次いで血液浄化業務 45%，呼吸治療業務 35%であった。



問 9 最終学歴を選択してください。（単一回答）

目的：学歴の分布の調査

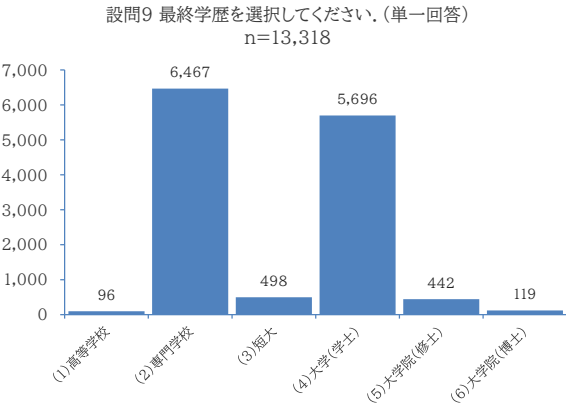
定義：最終学歴を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,318

| 回答         | n     | 割合    |
|------------|-------|-------|
| (1)高等学校    | 96    | 0.7%  |
| (2)専門学校    | 6,467 | 48.6% |
| (3)短大      | 498   | 3.7%  |
| (4)大学(学士)  | 5,696 | 42.8% |
| (5)大学院(修士) | 442   | 3.3%  |
| (6)大学院(博士) | 119   | 0.9%  |

解説：最終学歴は専門学校が 48.6%と最も多く、次いで大学が 42.8%と多かった。



問 10 現在の役職として、近いものを選択して下さい。（単一回答）

目的：役職従事割合の調査

定義：役職の近いものを選択する。

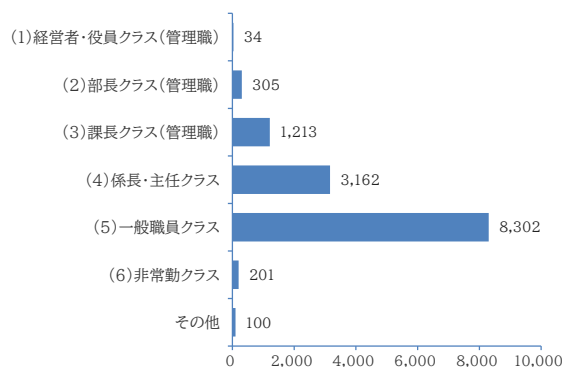
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,317

| 回答                                                                                                                                | n     | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)経営者・役員クラス(管理職)                                                                                                                 | 34    | 0.3%  |
| (2)部長クラス(管理職)                                                                                                                     | 305   | 2.3%  |
| (3)課長クラス(管理職)                                                                                                                     | 1,213 | 9.1%  |
| (4)係長・主任クラス                                                                                                                       | 3,162 | 23.8% |
| (5)一般職員クラス                                                                                                                        | 8,302 | 62.5% |
| (6)非常勤クラス                                                                                                                         | 201   | 1.5%  |
| その他                                                                                                                               | 100   | 0.7%  |
| その他内訳:教員・研究職 17,管理職層 9,再雇用・延長雇用関連 9,無職・退職・未就業 8,非常勤・派遣・パート・フリーランス 7,不明・該当なし 4,顧問・アドバイザー等 3,法人・本部・事務職層 2,在学・研修・学生関連 1,未記載 35,その他 5 |       |       |

解説：現在の役職は一般職員クラスが 62%と最も多く、次いで係長・主任クラスは 24%であった。

設問10 現在の役職として、近いものを選択して下さい。  
(単一回答) n=13,317



問 11 あなたの雇用形態を教えてください。(単一回答)

目的：正社員割合の調査

定義：雇用形態

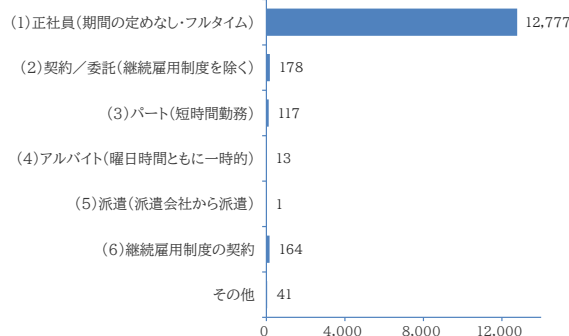
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,316

| 回答                                                                  | n      | 割合    |
|---------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| (1)正社員(期間の定めなし・フルタイム)                                               | 12,777 | 96.1% |
| (2)契約／委託(継続雇用制度を除く)                                                 | 178    | 1.3%  |
| (3)パート(短時間勤務)                                                       | 117    | 0.9%  |
| (4)アルバイト(曜日時間ともに一時的)                                                | 13     | 0.1%  |
| (5)派遣(派遣会社から派遣)                                                     | 1      | 0.0%  |
| (6)継続雇用制度の契約                                                        | 164    | 1.2%  |
| その他                                                                 | 41     | 0.3%  |
| その他内訳：無職 8,時短勤務正社員 13,有期雇用 7,役員 5,出向 2,嘱託職員 1,非病院勤務 1,大学院生 1,該当なし 1 |        |       |

解説：雇用形態は正社員が 96%と最も多かった。

設問11 あなたの雇用形態を教えてください。(単一回答)  
n=13,316



問 12 あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務体系の調査

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後 10 時から午前 5 時まで（場合によっては午後 11 時から午前 6 時まで）とする。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

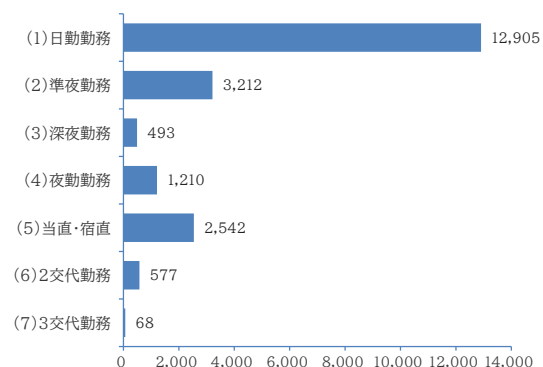
有効回答数：13,313

|          | n      | 割合    |
|----------|--------|-------|
| (1)日勤勤務  | 12,905 | 96.9% |
| (2)準夜勤務  | 3,212  | 24.1% |
| (3)深夜勤務  | 493    | 3.7%  |
| (4)夜勤勤務  | 1,210  | 9.1%  |
| (5)当直・宿直 | 2,542  | 19.1% |
| (6)2交代勤務 | 577    | 4.3%  |
| (7)3交代勤務 | 68     | 0.5%  |

解説：勤務形態は日勤勤務が 97%と最も多かった。

夜勤勤務は 9%，当直・宿直は 19%であった。

設問12 あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答)  
n=13,313



問 13 残業時間は月平均どのくらいありますか。(単一回答)

目的：残業時間・労働環境の調査

定義：残業時間の月平均値（時間）を選択する

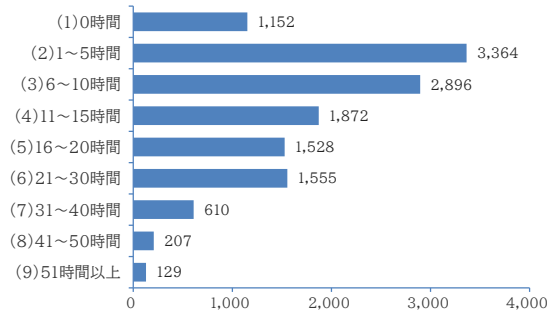
対象：2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

有効回答数：13,313

| 回答          | n     | 割合    |
|-------------|-------|-------|
| (1)0 時間     | 1,152 | 8.7%  |
| (2)1～5 時間   | 3,364 | 25.3% |
| (3)6～10 時間  | 2,896 | 21.8% |
| (4)11～15 時間 | 1,872 | 14.1% |
| (5)16～20 時間 | 1,528 | 11.5% |
| (6)21～30 時間 | 1,555 | 11.7% |
| (7)31～40 時間 | 610   | 4.6%  |
| (8)41～50 時間 | 207   | 1.6%  |
| (9)51 時間以上  | 129   | 1.0%  |

解説：1～5 時間の残業時間が 25%と最も多く、次いで 6～10 時間が 22%であった。

設問13 残業時間は月平均どのくらいありますか。  
(単一回答) n=13,313



問 14 残業に対する対価を受け取っていますか。(単一回答)

目的：正当な労働環境の調査

定義：残業賃金支払い方法

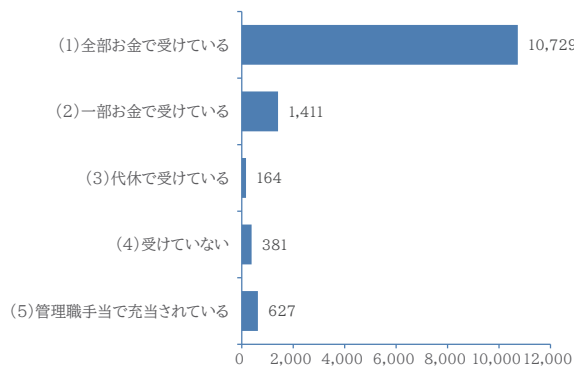
対象：2024年4月1日から2025年3月31日

有効回答数：13,312

| 回答               | n      | 割合    |
|------------------|--------|-------|
| (1)全部お金で受けている    | 10,729 | 80.6% |
| (2)一部お金で受けている    | 1,411  | 10.6% |
| (3)代休で受けている      | 164    | 1.2%  |
| (4)受けていない        | 381    | 2.9%  |
| (5)管理職手当で充当されている | 627    | 4.7%  |

解説：残業に対する対価は全部お金で受け取っているが81%と最も多かった。受けていないが3%であった。

設問14 残業に対する対価を受け取っていますか。  
(単一回答) n=13,312



問 15 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。(単一回答)

目的：労働環境の調査

定義：年休取得日数（有給休暇取得日数）を選択してください。

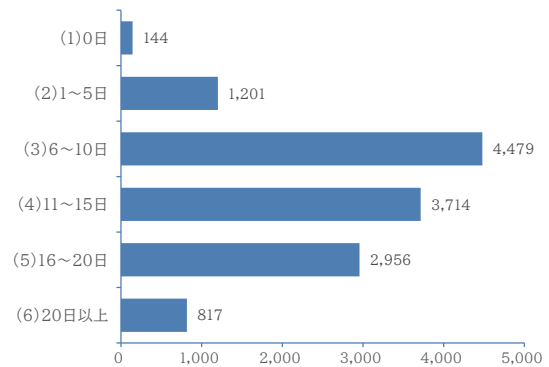
対象：2024年4月1日から2025年3月31日

有効回答数：13,311

| 回答         | n     | 割合    |
|------------|-------|-------|
| (1) 0日     | 144   | 1.1%  |
| (2) 1~5日   | 1,201 | 9.0%  |
| (3) 6~10日  | 4,479 | 33.6% |
| (4) 11~15日 | 3,714 | 27.9% |
| (5) 16~20日 | 2,956 | 22.2% |
| (6) 20日以上  | 817   | 6.1%  |

解説：年休取得は6~10日が34%と最も多く、次いで11~15日が28%であった。

設問15 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。(単一回答) n=13,311



問 16 休憩時間はきちんと取れていますか。(単一回答)

目的：正当な労働環境の調査

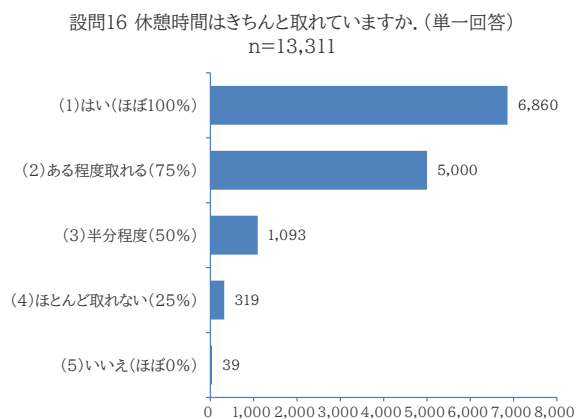
定義：休憩取得で最も近いものを選択してください。

対象：2024年4月1日から2025年3月31日

有効回答数：13,311

| 回答               | n     | 割合    |
|------------------|-------|-------|
| (1)はい(ほぼ100%)    | 6,860 | 51.5% |
| (2)ある程度取れる(75%)  | 5,000 | 37.6% |
| (3)半分程度(50%)     | 1,093 | 8.2%  |
| (4)ほとんど取れない(25%) | 319   | 2.4%  |
| (5)いいえ(ほぼ0%)     | 39    | 0.3%  |

解説：52%の会員が休憩時間はほぼ取れている。



問17 あなたの職場で資格取得や進学に対する支援はありますか。(複数回答)

目的：所属施設で資格支援に対する支援があるかを調査する。

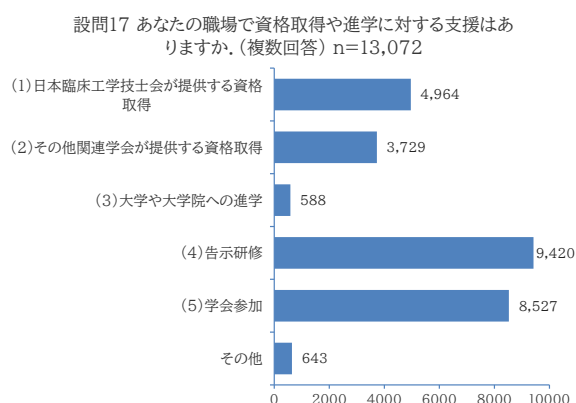
定義：所属施設における CE への資格支援について当てはまるものを全てを選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,072

| 回答                                                                                                                      | n    | 割合    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| (1)日本臨床工学技士会が提供する資格取得                                                                                                   | 4964 | 38.0% |
| (2)その他関連学会が提供する資格取得                                                                                                     | 3729 | 28.5% |
| (3)大学や大学院への進学                                                                                                           | 588  | 4.5%  |
| (4)告示研修                                                                                                                 | 9420 | 72.1% |
| (5)学会参加                                                                                                                 | 8527 | 65.2% |
| その他                                                                                                                     | 643  | 4.9%  |
| その他内訳：支援なし 433, 学会・発表者のみ支援あり 30, 診療報酬・施設基準に関わる資格のみ支援あり 15, 条件付き支援 12, 自己負担・自費扱い 20, 一部支援あり 10, 無職 6, 不明 9, 検討中 3, その他 8 |      |       |

解説：職場で資格取得や進学に対する支援は告示研修が 72%と最も多く、次いで学会参加が 65%と多かった。



問18 仕事以外に打ち込めることはありますか。(単一回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：仕事以外に打ち込めることがあるか選択してください。(趣味、資格取得など)

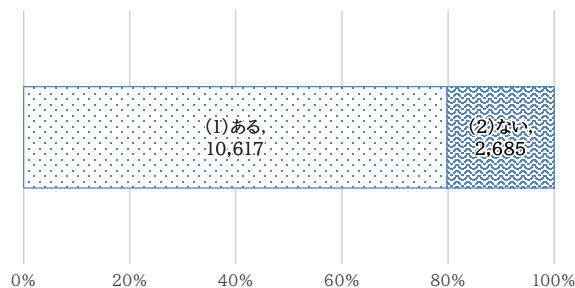
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,302

| 回答    | n      | 割合    |
|-------|--------|-------|
| (1)ある | 10,617 | 79.8% |
| (2)ない | 2,685  | 20.2% |

解説：80%の会員が仕事以外に打ち込めることがある。

設問18 仕事以外に打ち込めることはありますか。(単一回答) n=13,302



問19 問18が「ある」の場合、それによって意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和になっていますか。(単一回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：仕事以外に打ち込めることがあることで、意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和に役立っているかを選択してください。

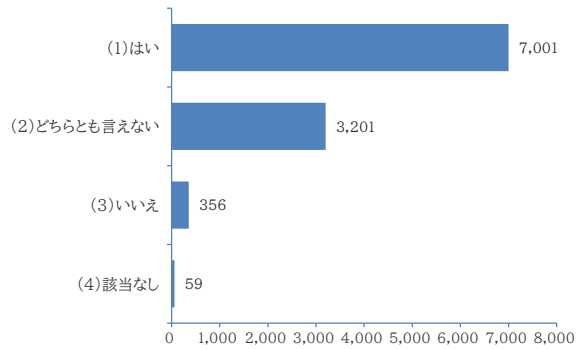
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：10,617

| 回答           | n     | 割合    |
|--------------|-------|-------|
| (1)はい        | 7,001 | 65.9% |
| (2)どちらとも言えない | 3,201 | 30.1% |
| (3)いいえ       | 356   | 3.4%  |
| (4)該当なし      | 59    | 0.6%  |

解説：仕事以外に打ち込めることがある会員の 66%が、モチベーション維持やストレス緩和になっている。

設問19 問18が「ある」の場合、それによってモチベーション維持やストレス緩和になっていますか。(単一回答)  
n=10,617



問20 問18が「ない」の場合、その理由を教えてください。(複数回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：理由を記載してください。

対象：2025年10月1日時点

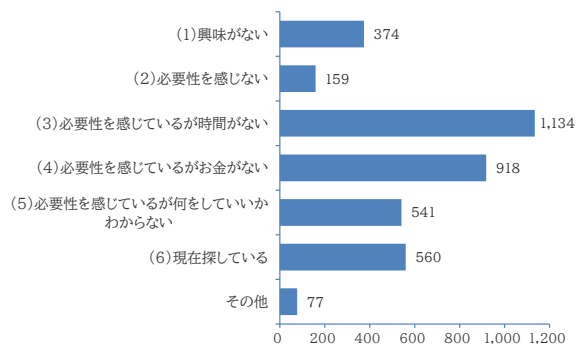
有効回答数：2,630

| 回答                           | n     | 割合    |
|------------------------------|-------|-------|
| (1) 興味が*ない                   | 374   | 14.2% |
| (2) 必要性を感じない                 | 159   | 6.0%  |
| (3) 必要性を感じているが*時間が*ない        | 1,134 | 43.1% |
| (4) 必要性を感じているが*お金が*ない        | 918   | 34.9% |
| (5) 必要性を感じているが*何を*していいかわからない | 541   | 20.6% |
| (6) 現在探している                  | 560   | 21.3% |
| その他                          | 77    | 2.9%  |

その他内訳：時間が\*ない・多忙 17, 疲労・体力不足・気がない 14, 家事・育児・家庭の制約 7, 仕事が多忙 9, 精神的・心理的問題 6, 体調・健康上の問題 3, 子育て中 4, 副業・就業規定・制度による制限 1, 特に特定のことはしていない・単発的活動のみ 1, 未記載 15

解説：仕事以外に打ち込めることがない会員の43%は、必要性を感じているが時間がないと回答した。

設問20 問18が「ない」の場合、その理由を教えてください。(複数回答) n=2,630



問21 自身が、もしくは配偶者が育児休暇を取得しましたか。(単一回答)

目的：男性育児休暇の実態を明らかにする。

定義：育児休暇の取得について、当てはまるものを選択してください。

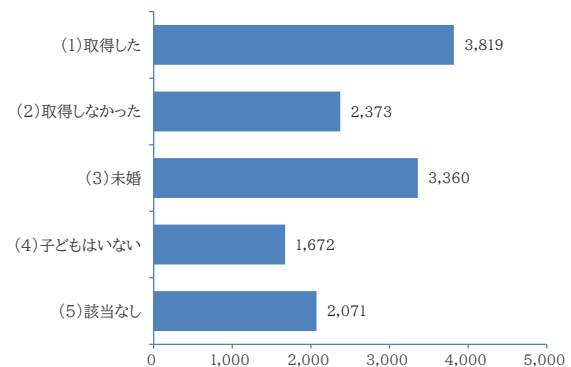
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：13,295

| 回答          | n     | 割合    |
|-------------|-------|-------|
| (1) 取得した    | 3,819 | 28.7% |
| (2) 取得しなかった | 2,373 | 17.8% |
| (3) 未婚      | 3,360 | 25.3% |
| (4) 子どもはいない | 1,672 | 12.6% |
| (5) 該当なし    | 2,071 | 15.6% |

解説：29%の会員が自身、もしくは配偶者が育児休暇を取得した。

設問21 自身が、もしくは配偶者が育児休暇を取得しましたか。(単一回答) n=13,295



問22 問21が「取得しなかった」の場合、その理由を教えてください。(単一回答)

目的：男性育児休暇取得に対する意識と、取得の障害となる問題点の把握。

定義：育児休暇を取得しなかった理由で、当てはまるものを選択してください。

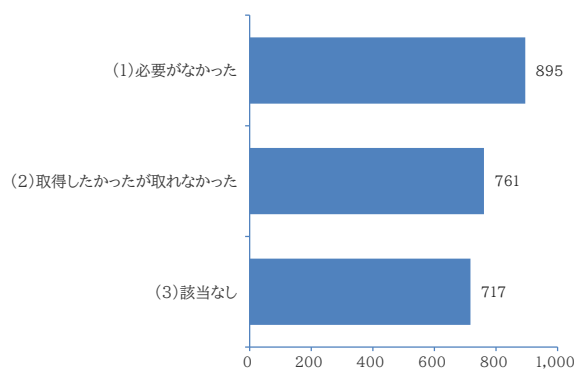
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：2,373

| 回答                 | n   | 割合  |
|--------------------|-----|-----|
| (1) 必要がなかった        | 895 | 38% |
| (2) 取得したかったが取れなかった | 761 | 32% |
| (3) 該当なし           | 717 | 30% |

解説：育児休暇を取得しなかった会員の理由は必要がないが38%であった。

設問22 問21が「取得しなかった」の場合、その理由を教えてください。(単一回答) n=2,373



問 23 問 22 が「取得したかったが取れなかった」の場合、その理由を教えてください。

目的：男性育児休暇取得に対する意識と、取得の障害となる問題点の把握。

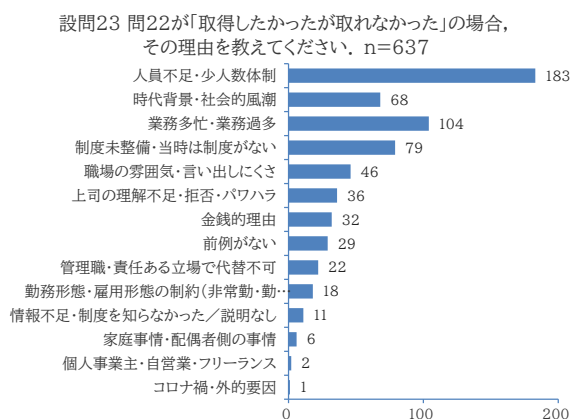
定義：取得したかったが取れなかった理由を記入ください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：637

| 回答                      | n   | 割合    |
|-------------------------|-----|-------|
| 人員不足・少人数体制              | 183 | 28.7% |
| 時代背景・社会的風潮              | 68  | 10.7% |
| 業務多忙・業務過多               | 104 | 16.3% |
| 制度未整備・当時は制度がない          | 79  | 12.4% |
| 職場の雰囲気・言い出しにくさ          | 46  | 7.2%  |
| 上司の理解不足・拒否・パワハラ         | 36  | 5.7%  |
| 金銭的理由                   | 32  | 5.0%  |
| 前例がない                   | 29  | 4.6%  |
| 管理職・責任ある立場で代替不可         | 22  | 3.5%  |
| 勤務形態・雇用形態の制約(非常勤・勤続年数等) | 18  | 2.8%  |
| 情報不足・制度を知らなかった・説明なし     | 11  | 1.7%  |
| 家庭事情・配偶者側の事情            | 6   | 0.9%  |
| 個人事業主・自営業・フリーランス        | 2   | 0.3%  |
| コロナ禍・外的要因               | 1   | 0.2%  |

解説：育児休暇を取得したかったが取れなかった理由として人員不足が29%と最も多く、次いで業務多忙が16%と次いで多かった。



問 24 技士会の休会制度を知っていますか。(単一回答)

目的：休会制度の周知状況の把握

定義：技士会の休会制度について、当てはまるものを選択してください。

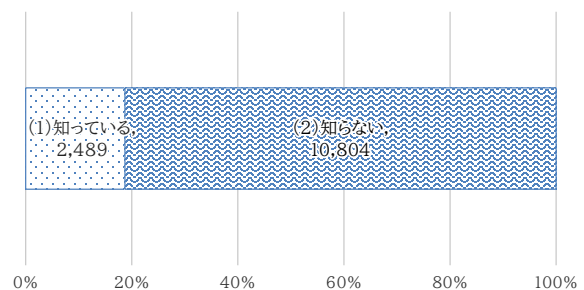
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,293

| 回答       | n      | 割合    |
|----------|--------|-------|
| (1)知っている | 2,489  | 18.7% |
| (2)知らない  | 10,804 | 81.3% |

解説：休会制度を知らない会員は81%であった。

設問24 技士会の休会制度を知っていますか。(単一回答) n=13,293



問 25 自身が休会制度の対象者となった場合、利用したいと思いますか。(単一回答)

目的：休会制度の要望度

定義：技士会の休会制度の利用について、当てはまるものを選択してください。

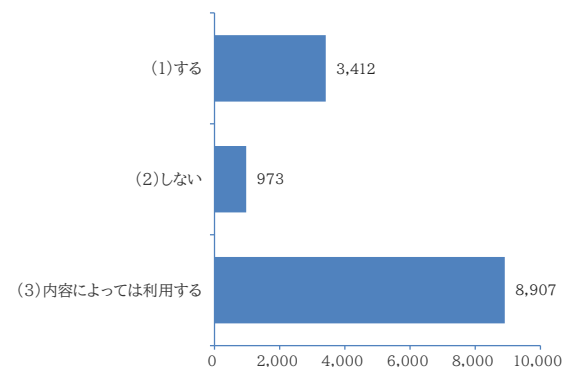
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,292

| 回答             | n     | 割合    |
|----------------|-------|-------|
| (1)する          | 3,412 | 25.7% |
| (2)しない         | 973   | 7.3%  |
| (3)内容によっては利用する | 8,907 | 67.0% |

解説：内容によって利用したい会員は67%であった。

設問25 自身が休会制度の対象者となった場合、利用したいと思いますか。(単一回答) n=13,292



問 26 休会制度についてご意見があれば記入ください。

目的：休会制度の見直しが必要かの判断

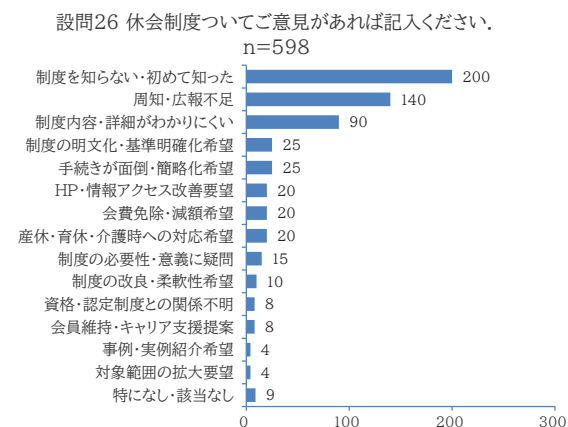
定義：技士会の休会制度について、要望があれば記入ください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：598

| 回答              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| 制度を知らない・初めて知った  | 200 | 33.4% |
| 周知・広報不足         | 140 | 23.4% |
| 制度内容・詳細がわかりにくい  | 90  | 15.1% |
| 制度の明文化・基準明確化希望  | 25  | 4.2%  |
| 手続きが面倒・簡略化希望    | 25  | 4.2%  |
| HP・情報アクセス改善要望   | 20  | 3.3%  |
| 会費免除・減額希望       | 20  | 3.3%  |
| 産休・育休・介護時への対応希望 | 20  | 3.3%  |
| 制度の必要性・意義に疑問    | 15  | 2.5%  |
| 制度の改良・柔軟性希望     | 10  | 1.7%  |
| 資格・認定制度との関係不明   | 8   | 1.3%  |
| 会員維持・キャリア支援提案   | 8   | 1.3%  |
| 事例・事例紹介希望       | 4   | 0.7%  |
| 対象範囲の拡大要望       | 4   | 0.7%  |
| 特になし・該当なし       | 9   | 1.5%  |

解説：休会制度についての意見は、制度認知不足 33%と最も多く、次いで周知広報不足が 23%であった。



問 27 就業に関して副業されている方にお伺いします。副業の内容を選択して下さい。（複数回答）

目的：副業の実施状況を把握する。

定義：副業されている内容について選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,126

| 回答             | n   | 割合    |
|----------------|-----|-------|
| (1)医療関連業務      | 387 | 18.2% |
| (2)教育・研修・講師    | 390 | 18.3% |
| (3)飲食・接客アルバイト  | 59  | 2.8%  |
| (4)農業・就農       | 84  | 4.0%  |
| (5)投資・資産運用     | 496 | 23.3% |
| (6)官公庁・地域活動    | 32  | 1.5%  |
| (7)派遣・一般労働     | 32  | 1.5%  |
| (8)個人事業・フリーランス | 167 | 7.9%  |
| (9)研究・学術活動     | 138 | 6.5%  |
| その他            | 341 | 16.0% |

その他内訳：副業していない 105, 副業禁止 85, 該当なし 81, 公務員・公共機関勤務の制約 15, 副業希望・関心あり 10, 副業として不動産関連 6, 副業として教育・講演関連 6, 副業として介護・福祉・医療関連 4, 副業として配達・軽作業 4, 副業として IT・Web 系 4, 副業として教育補助・試験監督 3, 家業・家庭事業の手伝い 3, ボランティア・地域活動 3, 副業制限・曖昧な規定 8, その他・無回答・不明 4

問 28 あなたが取得している認定資格を教えて下さい。（複数回答）

目的：認定資格取得者の割合調査

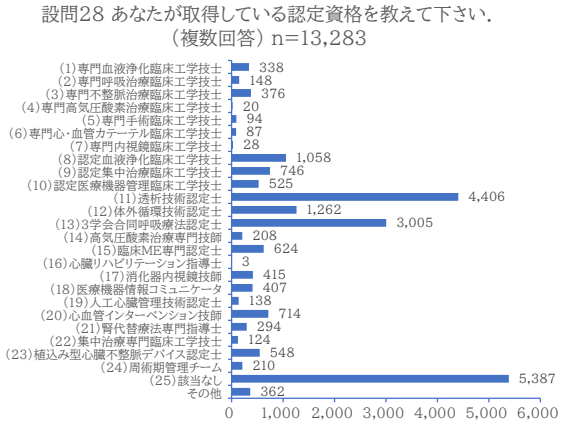
定義：取得認定資格

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,283

| 回答                   | n    | 割合    |
|----------------------|------|-------|
| (1)専門血液浄化臨床工学技士      | 338  | 2.5%  |
| (2)専門呼吸治療臨床工学技士      | 148  | 1.1%  |
| (3)専門不整脈治療臨床工学技士     | 376  | 2.8%  |
| (4)専門高気圧酸素治療臨床工学技士   | 20   | 0.2%  |
| (5)専門手術臨床工学技士        | 94   | 0.7%  |
| (6)専門心・血管カテーテル臨床工学技士 | 87   | 0.7%  |
| (7)専門内視鏡臨床工学技士       | 28   | 0.2%  |
| (8)認定血液浄化臨床工学技士      | 1058 | 8.0%  |
| (9)認定集中治療臨床工学技士      | 746  | 5.6%  |
| (10)認定医療機器管理臨床工学技士   | 525  | 4.0%  |
| (11)透析技術認定士          | 4406 | 33.2% |
| (12)体外循環技術認定士        | 1262 | 9.5%  |
| (13)3 学会合同呼吸療法認定士    | 3005 | 22.6% |
| (14)高気圧酸素治療専門技師      | 208  | 1.6%  |
| (15)臨床 ME 専門認定士      | 624  | 4.7%  |
| (16)心臓リハビリテーション指導士   | 3    | 0.0%  |
| (17)消化器内視鏡技師         | 415  | 3.1%  |
| (18)医療機器情報コミュニケーター   | 407  | 3.1%  |
| (19)人工心臓管理技術認定士      | 138  | 1.0%  |
| (20)心血管インターベンション技師   | 714  | 5.4%  |
| (21)腎代替療法専門指導士       | 294  | 2.2%  |
| (22)集中治療専門臨床工学技士     | 124  | 0.9%  |
| (23)植込み型心臓不整脈デバイス認定士 | 548  | 4.1%  |
| (24)周術期管理チーム         | 210  | 1.6%  |
| (25)該当なし             | 5387 | 40.6% |
| その他                  | 362  | 2.7%  |

解説：取得している認定資格で最も多いのが、透析技術認定士であり 33% であった。



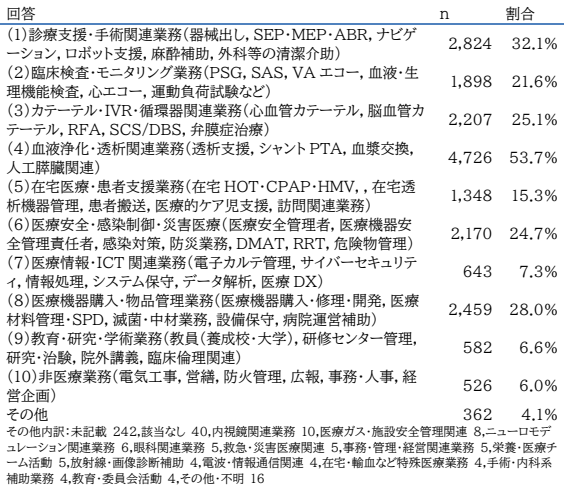
問 29 「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務があれば選択して下さい。(複数回答)

目的：業務指針に明記されていない臨床工学技士実務業務調査

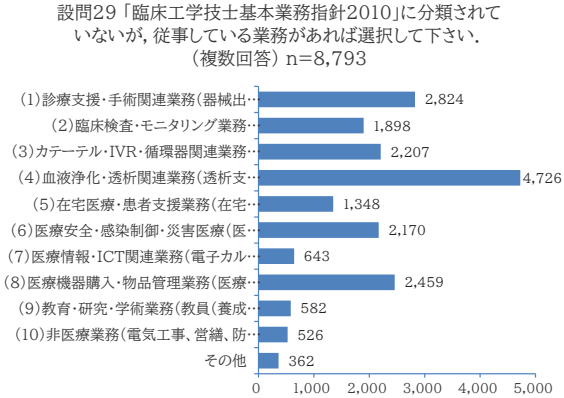
定義：「臨床工学技士基本業務指針 2010」1) 呼吸治療業務指針, 2) 人工心肺業務指針, 3) 血液浄化業務指針, 4) 手術室業務指針, 5) 集中治療業務指針, 6) 心血管カテーテル業務指針, 7) 高気圧酸素業務指針, 8) ペースメーカ／ICD 業務指針, 9) 医療機器管理業務指針, 10) 内視鏡業務指針, 11) 不整脈治療領域業務指針に分類されていない実務業務を選択してください。(例：情報処理関連業務, 眼科領域関連業務, 電波監理業務, サイバーセキュリティ業務)(複数はカンマで区切ってください)

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：8,793



解説：「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務で最も多いのが血液浄化・透析関連業務であり 54% であった。



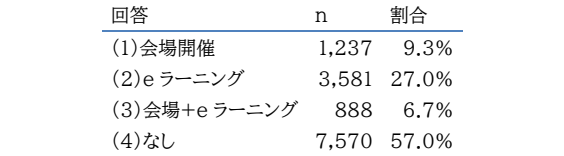
問 30 日本臨床工学技士会が 2024 年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか。(単一回答)

目的：技士会講習会の利用・参加方法の調査

定義：参加の有無・参加方法

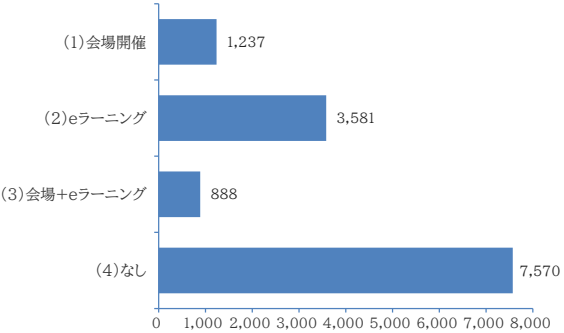
対象：2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

有効回答数：13,276



解説：日本臨床工学技士会が 2024 年度に開催したセミナーや講習会に参加に参加していない会員が 57% と最も多かった。

設問30 日本臨床工学技士会が2024年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか。  
(単一回答) n=13,276



問 31 日本臨床工学技士の事業に対する理解度を教えて下さい。(やや理解しているまたは非常に理解している事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の理解度調査

定義：技士会事業の内容について、どの程度理解していますか

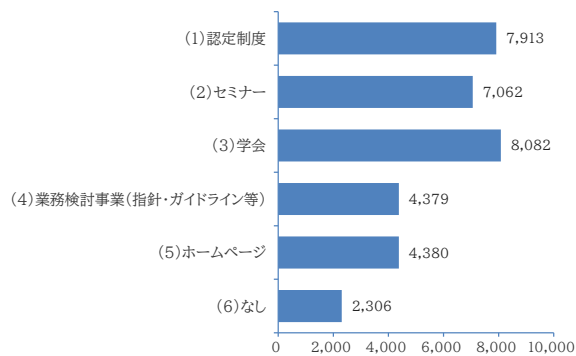
対象：2024年4月1日から2025年3月31日

有効回答数：13,275

| 回答                    | n     | 割合    |
|-----------------------|-------|-------|
| (1)認定制度               | 7,913 | 59.6% |
| (2)セミナー               | 7,062 | 53.2% |
| (3)学会                 | 8,082 | 60.9% |
| (4)業務検討事業(指針・ガイドライン等) | 4,379 | 33.0% |
| (5)ホームページ             | 4,380 | 33.0% |
| (6)なし                 | 2,306 | 17.4% |

解説：日本臨床工学技士の事業に対する理解度が最も多かったのは学会であり61%であった。

設問31 日本臨床工学技士の事業に対する理解度を教えて下さい。(複数回答) n=13,275



問 32 日本臨床工学技士の事業に対する満足度を教えて下さい。(やや満足または非常に満足と感じた事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の満足度調査

定義：技士会事業に対する満足度

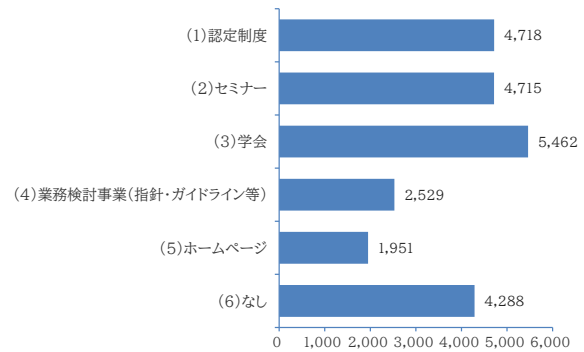
対象：2024年4月1日から2025年3月31日

有効回答数：13,274

| 回答                    | n     | 割合    |
|-----------------------|-------|-------|
| (1)認定制度               | 4,718 | 35.5% |
| (2)セミナー               | 4,715 | 35.5% |
| (3)学会                 | 5,462 | 41.1% |
| (4)業務検討事業(指針・ガイドライン等) | 2,529 | 19.1% |
| (5)ホームページ             | 1,951 | 14.7% |
| (6)なし                 | 4,288 | 32.3% |

解説：日本臨床工学技士の事業に対する満足度は学会が41%と最も多かった。

設問32 日本臨床工学技士の事業に対する満足度を教えて下さい。(複数回答) n=13,274



問 33 日本臨床工学技士会に期待する事業を教えてください。(複数回答)

目的：技士会運営における会員の期待度の調査

定義：技士会事業に期待する事業を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

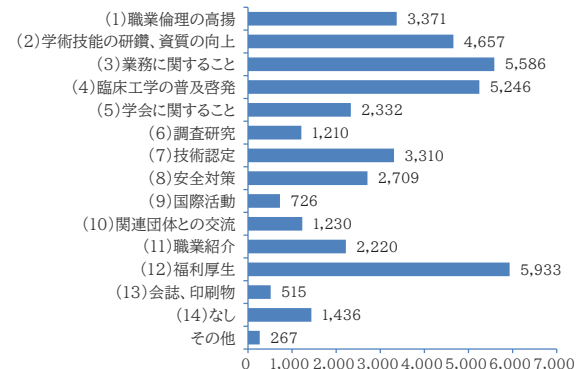
有効回答数：13,248

| 回答               | n     | 割合    |
|------------------|-------|-------|
| (1)職業倫理の高揚       | 3,371 | 25.4% |
| (2)学術技能の研鑽、資質の向上 | 4,657 | 35.2% |
| (3)業務に関すること      | 5,586 | 42.2% |
| (4)臨床工学の普及啓発     | 5,246 | 39.6% |
| (5)学会に関すること      | 2,332 | 17.6% |
| (6)調査研究          | 1,210 | 9.1%  |
| (7)技術認定          | 3,310 | 25.0% |
| (8)安全対策          | 2,709 | 20.4% |
| (9)国際活動          | 726   | 5.5%  |
| (10)関連団体との交流     | 1,230 | 9.3%  |
| (11)職業紹介         | 2,220 | 16.8% |
| (12)福利厚生         | 5,933 | 44.8% |
| (13)会誌、印刷物       | 515   | 3.9%  |
| (14)なし           | 1,436 | 10.8% |
| その他              | 267   | 2.0%  |

その他内訳：給与・賃金・待遇改善 66、診療報酬・保険点数の拡充 42、臨床工学技士の地位・認知度向上 21、業務範囲拡大・法的整備 20、教育・研修・マネジメント育成 12、独立業務・専売業務の確立 10、学術・研究支援・専門資格制度の充実 10、厚労省・行政・国への働きかけ 9、会費・受講料など費用の見直し 8、学会・技士会の運営改善(情報発信・対応など) 8、災害・在宅・地域医療など新分野への拡大 5、若手・女性・多様性支援 3、職場環境・ハラスメント対策 3、非臨床・民間分野での活躍支援 2、未記載・その他 48

解説：日本臨床工学技士会に期待する事業は福利厚生が45%と最も高く、次いで業務に関することが42%であった。

設問33 日本臨床工学技士会に期待する事業を教えてください。(複数回答) n=13,248



問 34 日本臨床工学技士会に入会した理由（きっかけ）を教えてください。（複数回答）

目的：技士会入会理由の調査

定義：技士会入会の理由に近いものを選択してください。

対象：2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

問 35 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか。（単一回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

定義：告示研修受講予定を選択してください。

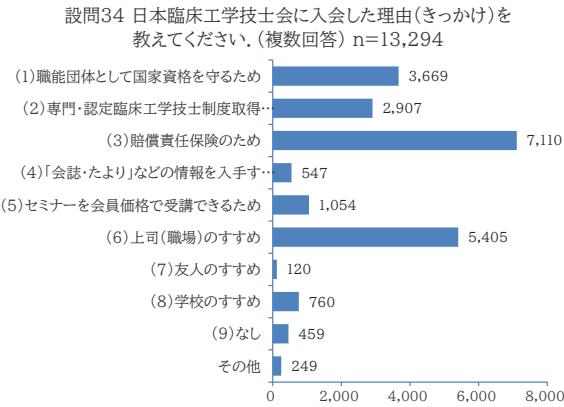
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,294

| 回答                      | n     | 割合    |
|-------------------------|-------|-------|
| (1)職能団体として国家資格を守るため     | 3,669 | 27.6% |
| (2)専門・認定臨床工学技士制度取得のため   | 2,907 | 21.9% |
| (3)賠償責任保険のため            | 7,110 | 53.5% |
| (4)「会誌・たより」などの情報を入手するため | 547   | 4.1%  |
| (5)セミナーを会員価格で受講できるため    | 1,054 | 7.9%  |
| (6)上司(職場)のすすめ           | 5,405 | 40.7% |
| (7)友人のすすめ               | 120   | 0.9%  |
| (8)学校のすすめ               | 760   | 5.7%  |
| (9)なし                   | 459   | 3.5%  |
| その他                     | 249   | 1.9%  |

その他内訳：強制・半強制・職場指示 80,未記載 57,告示研修受講のため 40,県技士会・地域技士会との連動入会 20,上司・職場からの勧め・命令 15,学会発表・講演・研究活動のため 12,保険加入目的(賠償責任保険など) 6,臨床工学技士として当然・慣習的に入会 5,情報収集・知識向上・研修目的 4,人脈・つながり構築のため 3,自己研鑽・職能意識・責任感による 2,家族・他者からの勧め 2,行政・制度関連(国家資格・法制度対応など) 1,災害・社会貢献目的 1,その他(慣性・当時の流れ等) 1

解説：日本臨床工学技士会に入会した理由（きっかけ）は賠償責任保険のためが 54%と最も多かった。



問 35 当会に対するご要望，ご意見があるカテゴリーをチェックして下さい。

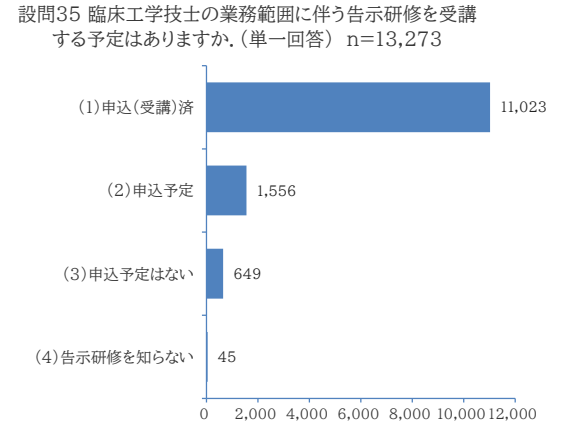
目的：当会に対する要望，意見を把握する。

定義：当会に対するご要望，ご意見があるカテゴリーをチェックして下さい。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

| 回答           | n      | 割合    |
|--------------|--------|-------|
| (1)申込(受講)済   | 11,023 | 83.0% |
| (2)申込予定      | 1,556  | 11.7% |
| (3)申込予定はない   | 649    | 4.9%  |
| (4)告示研修を知らない | 45     | 0.3%  |

解説：臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修は 83%の会員が申込（受講）済であった。



問 36 告示研修を受講された（予定含む）方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか。（複数回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

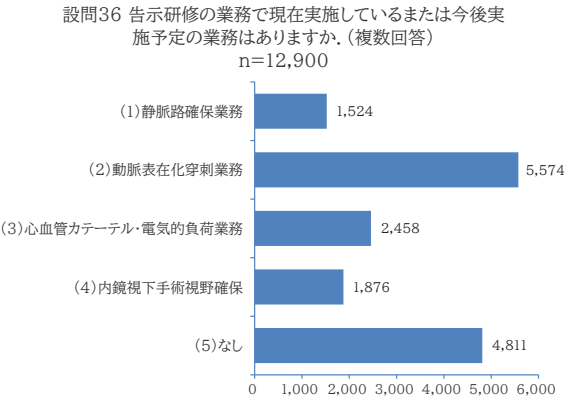
定義：告示研修を受講しないと実施できない業務のうち，現在実施しているまたは今後実施予定の業務を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,273

| 回答                  | n     | 割合    |
|---------------------|-------|-------|
| (1)静脈路確保業務          | 1,524 | 11.8% |
| (2)動脈表在化穿刺業務        | 5,574 | 43.2% |
| (3)心血管カテーテル・電氣的負荷業務 | 2,458 | 19.1% |
| (4)内鏡視下手術視野確保       | 1,876 | 14.5% |
| (5)なし               | 4,811 | 37.3% |

解説：告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務は動脈表在化穿刺業務が 43%と最も多かった。



問 37 当会に対するご要望、ご意見があるカテゴリーをチェックして下さい。

目的：当会に対する要望、意見を把握する。

定義：当会に対するご要望、ご意見があるカテゴリーをチェックして下さい。

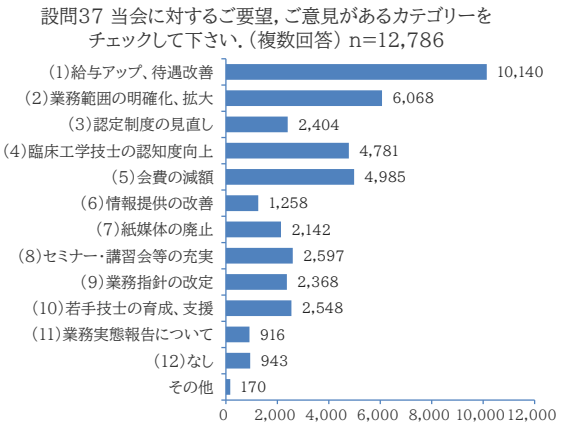
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：12,786

| 回答              | n      | 割合    |
|-----------------|--------|-------|
| (1)給与アップ、待遇改善   | 10,140 | 79.3% |
| (2)業務範囲の明確化、拡大  | 6,068  | 47.5% |
| (3)認定制度の見直し     | 2,404  | 18.8% |
| (4)臨床工学技士の認知度向上 | 4,781  | 37.4% |
| (5)会費の減額        | 4,985  | 39.0% |
| (6)情報提供の改善      | 1,258  | 9.8%  |
| (7)紙媒体の廃止       | 2,142  | 16.8% |
| (8)セミナー・講習会等の充実 | 2,597  | 20.3% |
| (9)業務指針の改定      | 2,368  | 18.5% |
| (10)若手技士の育成、支援  | 2,548  | 19.9% |
| (11)業務実態報告について  | 916    | 7.2%  |
| (12)なし          | 943    | 7.4%  |
| その他             | 170    | 1.3%  |

その他内訳：未記載 34,独占業務・診療報酬算定・法制度整備の要望 31,臨床工学技士の地位向上・職能強化 18,認定資格・専門資格の価値向上・加算化 14,教育・研修制度の充実 12,告示研修の改善・簡易化 6,会費・認定費・講習費の見直し・値下げ 6,ホームページ・Privado 等のシステム改善 7,紙媒体・電子化に関する要望 4,在宅医療・地域医療・病院外業務の推進 3,CE の社会的認知・広報活動の強化 5,ワークライフバランス・子育て支援・働き方改革 4,技士会運営・組織体制への意見(透明性・県会制度など) 5,学術活動・研究支援・投稿支援 4,安全対策・ハラスメント防止・倫理強化 3

解説：当会に対する要望は給与アップ・待遇改善が 80%と最も多かった。



問 38 問 37 でチェックを入れた方は要望, ご意見を記載してください。

目的: 当会に対する要望, 意見を把握する。

定義: 当会に対するご要望, ご意見があればご記入下さい。

対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,785

#### (1) 給与アップ, 待遇改善

- ・ 給料あげてー
- ・ 責任はあるが給料が安すぎる
- ・ 給与が安い
- ・ 診療報酬に技士の活躍が反映されることの活動をお願いします。
- ・ 給与アップをもっと訴えてほしい。物価も上がり生活困難。
- ・ 副業もしてもいいように訴えてほしい。
- ・ 世の中の物価上昇に伴った診療報酬の上方修正を国に訴えてかけられる組織になれると良いが。
- ・ 他の医療職のような, 臨床工学技士が在籍する事での加算項目をどんどん増やして欲しい。
- ・ それにより給料などの処遇の改善も必然的に見込まれるため。
- ・ 給料のベースを看護師と同じくらいを目指して欲しい。
- ・ 臨床工学技士の教務は, 保険点数が付かないものが多く, 待遇などに恵まれない所があるのでなんとかなればと。若い人たちに臨床工学技士として働いてと, 声を大きくして言えないのが寂しい。
- ・ 看護師との給与格差が酷い
- ・ 仕事の幅を増やして, 給料も上げて欲しい
- ・ 特に待遇改善を何とかして欲しいです。
- ・ 知名度を上げてほしい。診療報酬と臨床工学技士の結びつけを多くして必要性を高めてほしい。
- ・ 給料向上の取り組みをしてほしい
- ・ 臨床工学技士がいることで診療報酬が取れるようはたきかけてほしい。
- ・ 1 人の給与では生活は苦しく, 配偶者にも必ず働いてもらわないと暮らしてはいけない。医療現場の中で立場も低く改善されて欲しい
- ・ 物価上昇も給料アップが見込めない

#### (2) 業務範囲の明確化, 拡大

- ・ 看護師の人員不足による業務が厳しい部署がある中で, もう少し臨床工学技士の業務が拡大していれば, と思う。
- ・ 業務範囲を具体的な例を複数出して明確にわかるようなものが欲しい
- ・ 業務中の技士会活動はどこまで許容されるのか, 施設によって偏りがあるようですが, 一定のルールがあっても良いのではないのでしょうか。
- ・ 臨床工学技士の病院での業務範囲の拡大を期待しています。
- ・ 学会として待遇改善を全国的に働きかけて欲しい。
- ・ 透析業務をしていると, 看護師とほぼ同じ事をしているのに看護師の方が給与が圧倒的に高い現実がある。
- ・ 会務お疲れ様です。CE が今後も生き残っていくため, 業務拡大や診療報酬付与を目指し頑張っていきたい。
- ・ 広範囲の活動に期待します
- ・ 毎年, 業務実態調査を行っているが, 集計結果が公表されるだけで, 調査がどのように役立てられているのかが不明である。
- ・ 回答率が低い理由として, 上記のようなことが考えられるのではないと思う。
- ・ タスクシフトとして業務を拡大していくことはよいと思うが, それに伴う人員確保がむずかしい。臨床工学技士が携わることによる加算等, 医療機関に収益につながらなければ増員はむずかしい。またそれに伴うインセンティブ(手当)も必要。
- ・ 臨床工学技士としての, 独占業務の確保が必要。
- ・ 独占業務はいいです。ないので, 業務が曖昧になってグレーゾーンの業務が増えるのではないのでしょうか
- ・ 臨床工学技士に限らず医療従事者の給与が低い, 上がらない。業務の実態としてシステム管理業務に携わっているケースが多い。
- ・ 職域(法律)を軽視した業務が多すぎる, 無くならない理由の一つが学会発表でできないを明確にするにも, 学会での報告を日臨工が認めているのでそのことを理由に, 病院管理者に業務を迫られる。
- ・ だから抵触の報道が多いのも臨床工学技士。
- ・ やってる感を出していれば認められると言う方針(?)はもうあきらめて業務範囲を技士会が守ってほしい。
- ・ 臨床工学技士法の改正とか, , ,
- ・ 日臨工へ本当に困って業務に関する相談(質問)を送信したが, 返答は無いしそんな対応だから業務実態調査の回答も

#### (3) 認定制度の見直し

- ・ 各専門分野との線引きを明確にして欲しい。
- ・ 血液検査, 薬剤投与や処方確認など。まるで他職種の補助のような業務が多い。
- ・ 各種専門的な学会を優先する人が増え, 臨工に関心のない人が増えていと感じる。地方会も今後のあり方としても困っている
- ・ 内視鏡下手術視野確保の業務に, ポートへの内視鏡挿入を追加してほしい
- ・ ルート確保を ICU や手術室だけでなく, 救急外来や病棟にも拡大してほしい(参入したいが症例数が少ないため, 1 スタッフとして看護師に並ぶ技術が習得できない)
- ・ 内視鏡業務について, 業務内容の見直しをしてほしい。または, 認定資格などで業務が広がるように働きかけてほしい
- ・ 認定資格を取得しても業務範囲が変わらない, 給与が変わらないでは取得する意義が薄い。給与に関しては職場の意向が強いが, 業務範囲拡大については臨床工学技士会からの政治的働きかけが必要だと思う。
- ・ 業務の専門性を高め, 連盟の活動になるかもしれませんが,
- ・ 業務独占となるように進めていただきたい。
- ・ 認定制度はもっと合格率を上げるべきではないでしょうか。ハードルが高すぎる気がいたします。
- ・ 臨床工学技士主催の専門認定制度は優れていると思いますが他職種の団体が入っていないため同様の資格制度多くありすぎだと思います。
- ・ 関連学会の資格制度で十分であると考えますし, 意味がないと言いますが現状, 自己研鑽のみで資格の価値という意味では関連学会の認定制度の方が上だと感じております。
- ・ 看護師みたく, 認定臨床工学技士の配置/業務施行による保険点数獲得ができる法案の提出をお願いしたい。

- ・各分野の専門業務において、臨床工学技士が業務することにより診療報酬が算定されるようにして頂きたい。
- ・認定制度などがわかりにくい
- ・臨床工学技士としての立ち位置が弱く、病院では何でも屋になりつつある。現状は、看護師に使われ、事務に使われ扱いは酷い。人数の制限がない為、1人で5から6役やっている。
- ・原因は、取れる診療報酬低い、必要人数が決められて無い為だと考える。
- ・また、医療機器管理を行う上で、購入や廃棄を実施するに当たり、高額な費用を請求しなくてはならず、院内での振舞いがよく無い、ストレスや現状を知った臨床工学技士は辞めていく。本当に医療に必要な資格なのか不安になる。
- ・今後、良い未来が来る事を願います。
- ・「認定制度を部署内でも普及させたいという思いはありますが、取得によるメリットが少なく、維持費も高いため、取得後も継続して保持したいと思えるような魅力ある資格制度にしていきたいです。」
- ・取得した資格が診療報酬や病院の採用に生かされるしくみづくりを希望します。
- ・臨床工学技士の業務範囲についてグレーな業務がなくなるように関連団体や他の職種へ働きかけを引き続きお願いします。
- ・専門認定もいいが、それは大規模病院では必要である。中規模のゼネラリストに必要な資格があるとよい。幅広い知識を持っている証など。

#### (4) 臨床工学技士の認知度向上

- ・社会的認知度 UP
- ・医師だけでなく看護師が不足する中で、単純な業務であっても CE が実施できないことがあり(インシュリン注射など)勤務体制の確保が困難です。CE の認知度を上げるとともに、グレーな業務をなくして安心して業務が実施できるようご尽力していただければ幸いです。
- ・更なる社会的地位向上を目指してください。
- ・認定制度ですが、認定を取るメリットが無い。社会的に認知度が低い臨床工学技士が時間とお金をかけて取得しても全く意味がない。技士会の収入源としか会員はみていない。日臨工独自の認定ではなく、各団体特に医者の団体や学会と連携して認定を作るべき、スタートから間違っている。
- ・昨今では医療職の成り手が少ない状況である。そんな中で他の医療技術職に比べ認知度は低く、ますます臨床工学技士は窮地に立つのではないかと不安である。このまま臨床工学技士を継続するが悩むところである。
- ・診療報酬上の算定可能な項目を拡充いただかない限り、認知度の向上や人員増加の実現は困難であると考えます。
- ・例えば、ペースメーカー植込み患者に対する手術時のチェックなど、臨床工学技士が関与することにより安全性向上や医療の質の担保に資する業務についても、保険点数化を検討いただければ幸いです。
- ・養成校の入学者が減少していると聞きます。
- ・中高生に向けた職業紹介だけでなく、医療職の方々を中心に一般の保護者世代に対する広報をお願いしたい。
- ・臨床工学技士の業務が診療報酬に反映されることを願います。
- ・業務範囲の明確化、拡大を行い業務独占を作してほしい
- ・社会的地位の向上に対する取り組みをもっとして頂きたい
- ・日本の中で最も給料が上がらないのは医療職であるので、至急給料を上げてほしい。
- ・最も認知度が低い医療職は、臨床工学技士です。
- ・最も需要大きいのも臨床工学技士です。
- ・しかし、最も養成校の定員割れが大きいのも臨床工学技士です。
- ・臨床工学技士の認知度を至急高め、養成校の定員割れを改善して下さい。
- ・臨床工学技士(医療分野)を目指す中高生が大きく減少しています。技士会で若者向けの広報(お仕事図鑑、職業紹介など)など取り組んでいるのはあると思いますが、技士会担当者が少ないのか担当者の年齢層の問題なのか偏っている内容もあると感じます。
- ・若年層の気持ちを理解した外部業者などと連携して、若い世代への職業認知、また臨床工学技士の魅力向上に取り組んでいただけると嬉しいです。
- ・また医療業界全体の問題ですが一般職の給与が UP しているなか、医療職の待遇は平行線または悪化しており中高生の印象が悪くなっていると感じます。

#### (5) 会費の減額

- ・今後、たより等を電子化するのであれば、印刷費、郵送料等もかからなくなるはずなので会費の減額を検討してほしい。
- ・新入会員【新卒】の入会金・年会費の免除
- ・国家資格上の業務範囲と実際の業務範囲が異なる状況の改善。
- ・社会情勢に合わせた会費の減額。(入会しないという理由に会費が高いという意見が多数あるため)
- ・今の所、日本臨床工学技士会に入会して良かったと思える事が無い。入会者全員にとってもっと有益な事を検討して欲しい。すべての会費、参加費が高すぎる。
- ・会費が安ければ若い技士の入会がしやすくなる
- ・認定更新条件の緩和
- ・透析の診療報酬が年々厳しくなっている。消耗品の価格は年々上昇しているのに対して、報酬が減額され、今後患者数も減少へと転じる。
- ・診療所などの小規模施設のさきゆきが不安です。
- ・業務実態調査の負担が大きい、負担を軽減する処置をお願いします。アンケートに答えると会費の割引引きや前年度回答内容を保持または添付してほしい
- ・タスクシェア・タスクシフトの必要性は十分に理解しているが、診療報酬に係る業務が全く無い。技士会で言うのは違うが、連盟活動も頑張っているのだから、会費を取るだけで広報もほとんど無い。この状態では、おそらく臨床工学技士が代議士になるのは現状不可能であろう。報酬に係る独占業務が成立するのは夢かもしれませんが、そんな組織に現在の若者は「メリット・デメリット」で行動するので、技士会会員数も尻すばみになるのではないだろうか。専門臨床工学技士も難度が高いだけ。県技士会や日臨工も頑張っているのは承知の上です。
- ・職域拡大、明確化をして欲しい。
- ・会費減額して欲しい。
- ・認定制度に係るコストを減額してほしい。やや高額に感じており、受講や受験を躊躇してしまいます。
- ・各都道府県単位で徴収する技士会費と日本臨床工学技士会費を会費を一括徴収し、賠償責任保険を強制加入制度として欲しい。
- ・会費が少し安くねばいいな
- ・当アンケート回答に対する会費割引などがあれば、回答率があがると思います
- ・会費減額
- ・県の技士会と日本技士会の会費を統一してほしい

#### (6) 情報提供の改善

- ・昨年県技士と同時に入会申請をしたスタッフは、県技士の手続きは終了し、会費の引き落としも完了したのに、日臨工はいつまでたっても手続きが進まず、問い合わせをしたら入会申請書が届いていないとの返事であった。ホームページにある入会手順チャートの通り申請しており、県技士の入会手続きは完了しているため、こちらに不備はないはず。今年入会申請し直し入会はできましたが、時間がかかりすぎです。お忙しいとは

- ・物も以前のようになくなっているなので改善してほしい。
- ・E プリバドがほんとに操作がやりづらい、画面が見づらい
- ・どこに何があるのか分からないことが多く見る気がなくなる
- ・認定士などの受験料、維持費がかかるが給料に反映反映されないため受ける意味がない。給料に反映してもらうために働きかけをしてほしい
- ・技師会に会費を払っているのだから、プリバドの e ラーニングは無料または数百円にしてほしい。数千円払ってまで見る気はしない
- ・世間の認知度がとても低いと思っています。それで困ったりはしませんが認知度があがることは活力にも繋がってくると思います。
- ・(医師、看護師、理学療法士、作業療法士まではでるのにと…)
- ・会費の減額は何に使用されているかが明確にわかっていないため減額ないしは内訳などがわかると幸いです。
- ・そのため情報提供の改善にもチェックしました。

## (7)紙媒体の廃止

- ・紙媒体廃止の方向なので、会費減額も検討していただきたい。
- ・色んな媒体を使用しての認知度向上
- ・Y 世代の活躍の場
- ・郵送されるものが多すぎるが、紙媒体や送料が勿体ないのでは無いかと思う。もっとデジタル化して、会員費を減らすなど工夫が無いかと思う。
- ・それならもっと入会してくれるのでは無いかと思います。
- ・紙媒体廃止が実現できるようであれば、その分の会費減額はありかと思います。(紙代、印刷代、郵送費、袋詰等に伴う人件費が減額可能かと思えます。)
- ・紙媒体は不要なので内容をメール配信などにしてほしい。
- ・封筒が開封されずに廃棄されている。
- ・臨床工学技士の業務範囲を看護師が不足している今だからこそ大きく広げる活動をお願いします。
- ・認定制度は費用を安くしてほしい。テキスト+テキストデータが欲しい(紙媒体もデータも両方学習に役立つ)。また、受講した分の動画は期間限定にせず、ずっと見られるようにしてほしい。
- ・学習用として各分野の最新の知見を教科書的に情報掲載して欲しい。
- ・活躍している臨床工学技士をクローズアップし「私もあんな風になりたい」と意欲をわかせる必要がある。加えて、同じ感覚を次世代に向けて発信するため、アニメやドラマなど幅広く親しまれる媒体で広報する必要性を強く推奨したい。
- ・自らログインしなければ情報の内容を知ることが出来ない点
- ・老眼で PC では情報が非常に読み取りにくい(非常に見にくい)。
- ・会誌の情報が紙媒体ではない為、他のスタッフと共有してみることが出来ない。(線を引いて返し読みなどが出来ない)
- ・印刷郵送代が経費削減になっているのに会費は今までと一緒になっている。
- ・紙媒体の配布はやめていただき WEB で見れるようにしていただき、印刷や送料にかかっていた分の費用は会費から減額してほしいです。
- ・紙が溜まってしまうのでなるべくデジタルでもらいたい
- ・会報の紙ベース、郵送はやめるべき

## (8)セミナー・講習会等の充実

- ・日本では、特定機能病院や臨床研究中核病院、臨床研修病院、一般病院等に区別されますが、臨床研修病院(協力型含む)では、医療安全管理者は「医師又は歯科医師、薬剤師又は看護師の資格を有するもの」となっており CE が含まれておりません。臨床工学技士は、医療機器の安全管理の経験等から、病院全体を管理する専任医療安全管理者に適した要素を持っており、医療安全管理に携わる臨床工学技士も年々増えており、上記の要件に臨床工学技士を是非加えてもらう活動を行って頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。
- ・先ほど記載しましたが、告示研修受講後の業務について、本当に正しかったのか検証をして欲しいです。また、現在の業務だとこれ以上参入できないので、追加で検討して欲しい。当院は手術領域や集中領域では特定行為の看護師さんと内容被るところが多く、2日の研修で取った資格と特定行為を一緒にしないで欲しいと看護部から要望があり参入できていない。
- ・今考えると、スコープや麻酔補助は告示研修ではなく、特定行為臨床工学技士(手術領域、麻酔領域、集中治療領域、血液浄化領域)としてちゃんと研修した方がよい。
- ・組織マネジメント、チームビルディングスキルの講習会が必要
- ・なぜなら、体系的に教わる機会がないから
- ・業務報告アンケートを何のために行って、どのようにデータを使用したのかを会員にフィードバックしないと、毎年の回答率は上がっていかないと。思います。回答率が低ければ、アンケート内容が総意なのか立証できないと思う。
- ・診療報酬獲得や、業務拡大を考えるなら、会員に革新的なところをしっかりと説明して欲しいです。
- ・生涯学習の理念は判りますが、認定資格が増えすぎで、維持に費用が掛かりすぎるのでその点を職能団体の技士会としてしっかりと説明して欲しいです。賃金上がらないのにセミナーや認定資格ばかり増えて、出費が増える一方です
- ・受講できるセミナーや研修会の表示がわかりにくい。
- ・専門および認定、告示研修等、費用が高すぎる
- ・対応も上から過ぎる
- ・認定試験の問題についても疑問を感じる
- ・合格判定も不可解
- ・受講、受験を機に技士会への不信感が強くなった
- ・研修、セミナーいずれも参加費用が高額すぎる。
- ・養成校の入学定員割れからわかるように少子化から CE 志願者が減っていくこと、病院の赤字で統廃合が進み、病院の数が減っていくことが予想される。そういった未来予測は容易にできるが、何年も告示研修で止まってしまう、未来の展望や備えを日臨工が行っているとは思えない。行動経済学や医療政策学などの学問の研究で医療職種の中で CE の研究はないし、学問を利用しようとしてもしていない。日本全体の職能団体であるならば、進化の見える 1 年を表してほしい。執行部は博識に乏しく、大局観をもった施策を行うべき。
- ・特定行為看護師のように例えば臨床工学技士も医師の指示のもとでの放射線照射や心カテ等でのインデフレータなどのデバイス操作の法的承認、除細動通電、動脈穿刺や採血のための A ライン確保、一般的な末梢静脈確保と採血、12 誘導心電図検査と心血管エコー検査の実施承認など、地方の技士は医師はじめ全職種が人員不足や成りて不足であり、さらなるタスクシフト推進また臨床工学技士のモチベーション維持には必須ですが、今の告示研修内容は不十分であり、もっと実臨床で活かせる行為と法的承認されるべき医療行為の拡大が急務であり実現を願います
- ・女性の場合、妊娠や出産をきっかけに、継続して技士を続けたくても子供の事を考えると拘束時間や勤務状況から退職をせざるを得ない事が多く、(私の場合はありがたいことに時短勤務をさせてもらっているが)知り合いの中では何人も退職し、全く異なる業種で働いている。人材の観点からしても、女性技士が無理なく復帰できる環境は必要だと思われる。技士に男性が多い分、制度はあってもなかなか理解してもらえずということも感じているので、技士会でもまずはセミナーなどの開催方法や場所、認定試験の方法(オンライン可にするとか)検討して欲しい。

## (9)業務指針の改定

- ・業務指針は早期に改定してほしい
- ・業務指針(2010)の改定を早く行ってほしい。内視鏡業務について明確にしてほしい。「医療機器管理に関する報告書・指針」について改定もしく

- ・業務指針(2010)の改定を早く行ってほしい。内視鏡業務について明確にしてほしい。「医療機器管理に関する報告書・指針」について改定もしくは更新してほしい。
- ・VA エコー, PTA 介助, 腹膜透析, 在宅血液透析の業務指針への記載と
- ・透析時運動指導等加算への臨床工学士追加に対する厚労省へのアプローチをお願いしたい。
- ・認定制度の見直し:上級制度の試験実施内容と合格率にバラツキが大きい。合格率が著しく低い試験は、低い理由を説明する必要があるのではないだろうか。
- ・業務指針 2010 の改定を希望します。
- ・VA 日常管理指針第2版はいつ発行されますか?遅くはないですか?郵送費は高いですが紙媒体は可能な限り残してほしい。
- ・医療安全管理者の研修(厚労省の指針を満たす)を開催し認定をできるようにしてほしい。
- ・内視鏡業務についての明確化, 指針を望みます。
- ・業務指針と現状が見合っていないため早急な改訂が必要だと思う。
- ・病院ごとに臨床工学士の業務内容の違いがあるため, 院内での業務認知が統一されにくい。指針等が明確にあると良い
- ・少子高齢化, 外科医・麻酔科医減少に向けた, 工学士知名度向上・担い手増加への活動, 更なるタスクシフト内容拡大に向け, 厚労省・各団体との協議, 診療報酬要件への記載・ガイドライン必須項目掲載を目指し, CE 給与・手当・採用枠拡大等への活動。
- ・地方と都会では人材確保の観点で差があり, 大学病院と民間病院の間でも医師数にも大きく違いがあるため, タスクシフトやタスクシェアの考え方が全く違うんじゃないかと思えます。地方の民間病院ではより多くの業務を行わないと治療が行き届きません。タスクシェアしても給与面でも全く変化はありません。リスクだけが増えますし業務量や給与面での差が大きいので今後の人材確保も困難になりかねません。医師の責任の下で行っている業務とは言え明確な業務指針に則っていないものもあり, 事故が起きた時の対応が心配な面もあります。
- ・現在進めておられる業務指針の更新をお願いします。
- ・内視鏡検査業務における業務指針を日本臨床工学士会から出してほしい。
- ・CE に対する診療報酬がなく, また, 適正人数といった指標がないため, 経営が逼迫すると CE が切られていく。
- ・CE とで診療報酬(加算)がつく点検や, 安全業務が欲しい。安全点検の指針はあっても簡易の外観点検レベルでも点検していることとして立ち入り検査等通ってしまうので, 施設側が時間をかけて充実した安全点検を行うことに批判的。監査が通れば質は問われないような点検をするなら CE でなくてよい。志望者も少なく, もっと一般の人たちに目につく認知向上の方法を考えたい。医療職の中から選ばれるには母数が限られてくる。
- ・業務指針が曖昧過ぎる。指針に記載されていない業務内容の問い合わせをするも濁され, 実績が出来るのを待っている感じがかり困る。内視鏡分野(ESD, ERCP の介助), 手術室分野(器械出し業務)
- ・資格上, やっていい行為とだめな行為をはっきり記載してほしい。
- ・手術室における清潔操作や消化器内視鏡検査・治療の領域で認められている業務範囲では, 現場の医師や看護師のニーズに応えられていない。また, 現在の業務指針の中で, 実施可能な業務とそうでない業務がわかりにくい。

#### (10)若手技士の育成, 支援

- ・業務拡大を推進している分野(スコピスト, 清潔介助, 麻酔アシスタント)は, 労働環境が悪く退職まで勤めるのは難しい。ライフワークバランスを重視した働き方や, 共働き家庭では受け入れ難いと思えます。技士会からも労働環境改善, 給与, オンコール体制見直しなど病院への働きかけが必要です。労働環境, 給与が似合っており, 若手が離脱し他業種(製造業, 造船, 工場)へ移る。大量離職を招いている病院があります。今は目立ちませんが, これから大きな問題となる可能性があります。管理職としても危機感を抱いており速急な検討が必要だと思います
- ・マネジメント育成の教育プログラム希望
- ・若手に技士会に入会するよう促しているが, なかなか入会してくれない。もっと政治力を付けるためにも人数が必要なことなどある程度学生のうちに知らせる必要があるのではないか。
- ・また, 近年の技士の給料が以前より下がられているケースもみられる。大学など闇雲の臨床工学科を設置するのではなく, 先を見据え人数調整も必要になると思える。
- ・管理職の研修(倫理・教育・ハラスメント)
- ・臨床工学士だけではなく, 医療系の職業への進学が大幅に減っています。その中で, 臨床工学士を進学する学生は他職種に比べても少なく, 学生の偏差値の低下が著しいと感じます。有資格者のための職能団体とは思いますが, 次世代の人材を確保するための取り組みを根気よく行っていただければと思います。勿論今まで取り組んでおられないとは思ってはおりませんが, 5 年後 10 年後大丈夫なのかと心配になります。特に, 養成校卒者が 65 歳でリタイヤする 10 年後が心配ですね。
- ・少子化の影響もあって養成校が苦戦しています(学生の確保や質の低下)。これは将来の CE の質低下に直結する事態とも言える状況です。医療現場と養成校, そして産業が一体となって, 現代社会における CE の立ち位置, 魅力や可能性を伝えていく必要があるかと思えます。
- ・技士会員として微力ではございますが, CE の未来発展へ向けて協力させていただければと存じます。引き続きよろしくお願い致します。
- ・各都道府県技士会もそうですが, 30 年以上に渡って認知度向上の活動をしていても状況は全く変わっていない。認知度向上に予算をかける意味や活動内容について, 再考して頂きたい。
- ・また, 養成校入学したが「先生の話が責任が重く不安になり, 自信がなくなった。また, 授業料に見合った報酬ではないのでは両親が言う」と別の道へ進む学生がいました。養成校教員の資質向上にも関与しなければならぬと感じました。
- ・若手への支援をもっと充実してもらいたい。
- ・世間の臨床工学士の認知度向上に期待します。
- ・少子化に伴い, 養成校での学生の減少により就職者が減少している。啓発活動により学生を増やし, 優秀な人材の育成に力を注ぎ, 医療の質と安全の向上に努める必要がある。
- ・臨床工学の認知度が低すぎて, 学生の獲得が困難になってきています。2045 年に向けて生産人口が 1/3 になることを鑑み, このままでは職能存続の危機に瀕する事態になると考えます。
- ・学生になりたい職業として, 名前が上がるよう技士会も頑張してほしい。
- ・新人育成もそうだが, 上司の教育も必要と思われる。昭和世代と若手のコンプライアンスの距離感が感じられる。
- ・新人の教育計画とその支援方法や VA のエコー業務に関する業務範囲を明確にして欲しいです。
- ・VA エコーに関しては, 是非, 点数算定できるようになればと思います。
- ・中学生向けの職業紹介実施 地域の学校のインターンシップの積極的受け入れ
- ・小・中学生に職業体験などを行い, 臨床工学士を知ってもらおうと努力はしているが, 親の世代が全く知らない。小学校の広報に入れるなど戦略を立てるが, 一時的なものである。マスメディアをどうにかうまく利用する方法はないのか検討しているが, なかなか難しいと感じています。現在の小学生の親世代は, SNS や youtube がネイティブの世代ではないので, やはり何らかの形のマスメディア戦略が必要であると思います。

#### (11)業務実態報告について

- ・認定更新が期間内にできなかったら一発アウトは厳しい。せめて更新ポイントが足りているなど更新できる人に関しては救済してほしい。
- ・業務実態報告とくに施設責任者の負担が大きい。前年度の履歴を反映させるなど入力負担が減るような工夫がほしい
- ・業務実態報告の質と量の整合性が全くとれていない。各委員会に投じているだけで, 委員会毎のアドオンと個人調査の連携がとれていない。
- ・業務実態報告の集計について分かりやすい解説を要望
- ・地方臨床工学士会から業務実態報告の回答率を上げることを強く指示されていることがストレスとなっている。地方臨床工学士の役員を従事しているが, 各施設への電話での督促に関しては業務範囲を逸脱していると感じている。性善説を期待している業務実態報告の枠組みでは回

答率向上に期待できないばかりか、地方臨床工学技士会に負担を強いている状況である。

- ・非常に煩雑な入力作業を要する透析統計調査委員会の回答率は90%台で推移していることを参考に、未回答者に対しメールでのリマインドを複数回実施することで大幅な改善が期待できる。
- ・業務実態報告ですが、アンケート内容が1つずつしか見えず、全体が把握出来ません。昨年と同様の要望を出させていたいただいたような気がします。事前に質問の一覧が見えるような設定もしくはファイルを上げていただけると、大変助かります。
- ・特に、施設報告については幅広い分野の回答が必要で、複数人の協力を得ながら回答しています。是非、来年以降改善をお願いします。
- ・業務実態報告など日本臨床工学技士会活動、いつもありがとうございます
- ・要望・意見ですが若手技士のレベルアップ
- ・国家試験である程度のレベルは担保されていると思いますが、最近はボーダーフリーになる養成校が多いように思います。養成校の時から、ある程度のレベルを担保して欲しいです。
- ・業務実態報告について本報告で1つ回答すると、スクロールが途中からになります。上から(質問が見えるように)して欲しいです(スマホ)。国勢調査をした後で、この報告をして、やりづらさが際立っていました。
- ・業務実態報告をしないと特定されて催促がくるのはやめてほしい
- ・業務指針は時代にあった改定をしていただけると助かります。
- ・業務実態報告は簡易化を希望します。
- ・会員情報を日臨工と都道府県で共通化してほしいです。業務実態報告が個人とそれ以外とがわかりにくい。県の理事をしているが所属施設の理解が乏しいので、都道府県技士会と日臨工は組織が別ですが、日臨工から院長宛てに委嘱状などを出してもらえると理解してもらえるのではないのでしょうか。
- ・毎年同じように業務実態報告をするのは大変
- ・専門試験の合格率が低すぎと思う
- ・業務実態報告ですが、技士会のホームページには、大きく回答はこちらと表記されているのですが、privado サイトに入ってから、この業務実態報告入力画面を見つけるまで、かなり苦労しました。

## (12)その他

- ・会員減少を視野に入れた運営いつもありがとうございます。
- ・透析室での消毒液誤混合は業界全体でフルブルーの安全機能を推進、開発、規格化してほしい
- ・在宅領域の点数化
- ・PD や HHD などにおいて CE でも訪問点数が取れるよう期待します
- ・日本臨床工学技士会を地方技士会に通さず、入会したい
- ・未入会の方々が入会したくなるような魅力ある団体目指してください。
- ・実態調査の設問内容がわかりにくく、設問数も多い。
- ・会の運営ありがとうございます。
- ・高校生の進学では臨床工学技士をしらない
- ・透析のブラッドアクセス限定で動脈への直接穿刺も認めてほしい。
- ・団体の理事長は臨床経験と研究実績のあるバランスのある方が望ましい。
- ・以前問い合わせをしましたが返事がなく、催促して順次返答と言われて数年経ちました。
- ・回答できないなら、できないと言う旨を伝えるのが一般的だし、当たり前のことかできない団体に期待することはありません。
- ・日臨工の全国大会は引き続き Web 併用をお願いします。勤務の都合で現地参加が難しいです。ポイントの取得も必要なため。
- ・趣味で会った人などと、仕事の話をすると、臨床工学技士を知らない人は多いです。医療に従事されている方は知っている人が多いですが、臨床工学技士の知名度を上げることが重要だと思います。
- ・大変すばらしい活動だと思います。
- ・PDF などデータファイルでメール送信。
- ・臨床工学技士が主役の、NETFLIX ドラマを作って欲しい
- ・透析患者に関わる内容(フットケア、運動療法、ABI など)がかなりの確率で CE が単独で携われない。医師、看護師はあるが臨床工学技士の明記がないことが多い。
- ・臨床工学技士を「技師」に変えてほしいです。

## 2. 業務実態報告 2025 施設報告

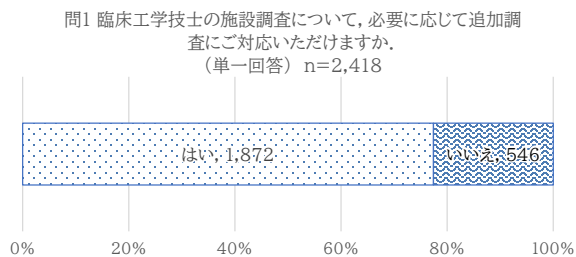
問1 臨床工学士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。(単一回答)  
 目的：厚生労働省などから詳細情報を求められることが多くあるため、追加調査の協力施設を把握する。  
 定義：施設調査結果などに応じて、新たな記述式アンケート調査や聞き取り調査などの追加調査に協力するか可否を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：2,418

| 回答                 | n     | 割合    |
|--------------------|-------|-------|
| (1)はい。追加調査に協力する。   | 1,872 | 87.2% |
| (2)いいえ。追加調査に協力しない。 | 546   | 12.8% |

解説：追加調査に協力すると回答した施設は87%であった。



問2 お勤め先について選択してください。(単一回答) ※(1)以外を選択した方は調査終了です。  
 目的：臨床工学士の所属施設の把握、所属別の母数となる。

定義：勤務先の機関を選択して下さい。※主な業務から所属を選択して下さい。

対象：2025年10月1日時点

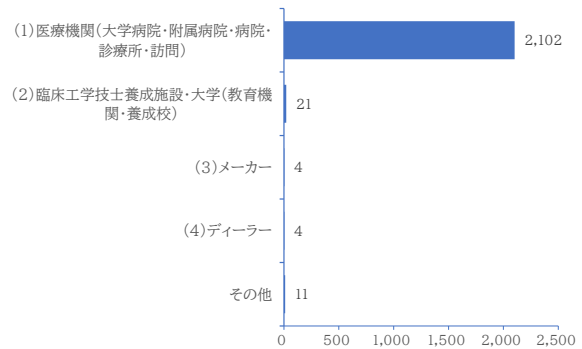
有効回答数：2,142

| 回答                           | n     | 割合    |
|------------------------------|-------|-------|
| (1)医療機関(大学病院・附属病院・病院・診療所・訪問) | 2,102 | 98.1% |
| (2)臨床工学士養成施設・大学(教育機関・養成校)    | 21    | 1.0%  |
| (3)メーカー                      | 4     | 0.2%  |
| (4)ディーラー                     | 4     | 0.2%  |
| その他                          | 11    | 0.5%  |

その他内訳：家業手伝い(技士会のみ参加継続) 1,介護医療院 1,自営業(訪問看護ステーション運営) 1,法務省矯正施設 1,未記載 7

解説：勤務先は医療機関(大学病院・附属病院・病院・診療所・訪問)が最も多く、98%であった。

問2 お勤め先について選択してください。(単一回答)  
 n=2,142



問3 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査。

定義：医療機関の所属母体名を選択して下さい。

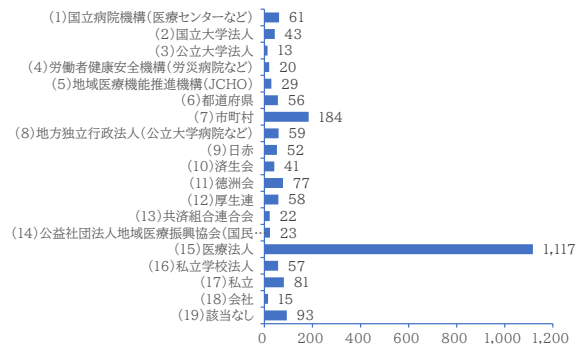
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：2,101

| 回答                    | n     | 割合    |
|-----------------------|-------|-------|
| (1)国立病院機構(医療センターなど)   | 61    | 2.9%  |
| (2)国立大学法人             | 43    | 2.0%  |
| (3)公立大学法人             | 13    | 0.6%  |
| (4)労働者健康安全機構(労災病院など)  | 20    | 1.0%  |
| (5)地域医療機能推進機構(JCHO)   | 29    | 1.4%  |
| (6)都道府県               | 56    | 2.7%  |
| (7)市町村                | 184   | 8.8%  |
| (8)地方独立行政法人(公立大学病院など) | 59    | 2.8%  |
| (9)日赤                 | 52    | 2.5%  |
| (10)済生会               | 41    | 2.0%  |
| (11)徳洲会               | 77    | 3.7%  |
| (12)厚生連               | 58    | 2.8%  |
| (13)共済組合連合会           | 22    | 1.0%  |
| (14)公益社団法人地域医療振興協会    | 23    | 1.1%  |
| (15)医療法人              | 1,117 | 53.2% |
| (16)私立学校法人            | 57    | 2.7%  |
| (17)私立                | 81    | 3.9%  |
| (18)会社                | 15    | 0.7%  |
| (19)該当なし              | 93    | 4.4%  |

解説：医療法人が最も多く、53%であった。

問3 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答) n=2,101



問4 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)

目的:病院, クリニック勤務などの状況を確認する.  
定義: 病院 (入院床 20 床以下), 有床診療所 (入院床 1 床~19 床以下), 無床診療所 (入院床 0) とする.

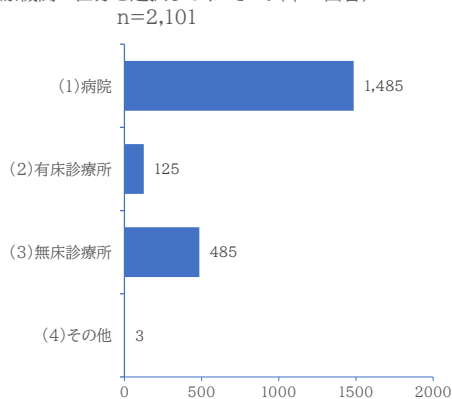
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 2,101

| 回答                                        | n     | 割合    |
|-------------------------------------------|-------|-------|
| (1)病院                                     | 1,485 | 70.7% |
| (2)有床診療所                                  | 125   | 5.9%  |
| (3)無床診療所                                  | 485   | 23.1% |
| (4)該当なし                                   | 3     | 0.1%  |
| その他                                       | 3     | 0.1%  |
| その他内訳:医療法人の法人本部 1, 国立ハンセン病療養所 1, 老健施設併設 1 |       |       |

解説: 病院が最も多く, 71%であった.

問4 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)



問5 許可一般病床数を選択してください.

目的:一般病床数別の CE の分布や解析に使用する.  
定義: 許可一般病床数を選択してください. ※無床診療所は 0 になります.

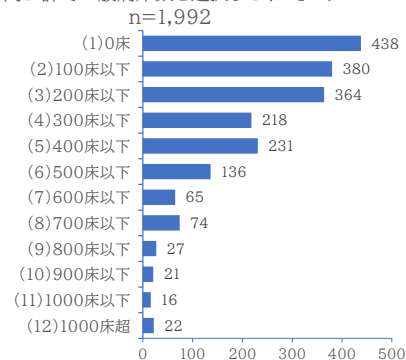
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,992

| 回答           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)0 床       | 438 | 22.0% |
| (2)100 床以下   | 380 | 19.1% |
| (3)200 床以下   | 364 | 18.3% |
| (4)300 床以下   | 218 | 10.9% |
| (5)400 床以下   | 231 | 11.6% |
| (6)500 床以下   | 136 | 6.8%  |
| (7)600 床以下   | 65  | 3.3%  |
| (8)700 床以下   | 74  | 3.7%  |
| (9)800 床以下   | 27  | 1.4%  |
| (10)900 床以下  | 21  | 1.1%  |
| (11)1000 床以下 | 16  | 0.8%  |
| (12)1000 床超  | 22  | 1.1%  |

解説: 0 床が最も多く 22%, 次いで 100 床以下で 19%であった.

問5 許可一般病床数を選択してください.



問6 許可療養病床数を選択してください.

目的:療養病床数別の CE の分布や解析に使用する.  
定義: 許可療養病床数を選択してください. ※無床診療所は 0 になります.

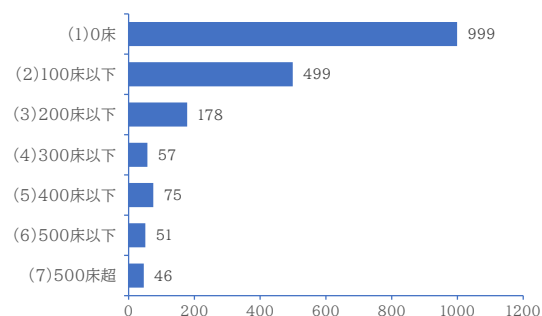
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,905

| 回答         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)0 床     | 999 | 52.4% |
| (2)100 床以下 | 499 | 26.2% |
| (3)200 床以下 | 178 | 9.3%  |
| (4)300 床以下 | 57  | 3.0%  |
| (5)400 床以下 | 75  | 3.9%  |
| (6)500 床以下 | 51  | 2.7%  |
| (7)500 床超  | 46  | 2.4%  |

解説: 0 床が最も多く 52%, 次いで 100 床以下で 26%であった.

問6 許可療養病床数を選択してください. n=1,905



問7 臨床工学技士配置数(常勤換算)を記載してください。

目的: CEの分布や解析に使用する。

定義: 臨床工学技士配置数を常勤換算で記載する。

※常勤換算とは、[職員の1週間の勤務時間]÷[常勤の職員が勤務すべき1週間の勤務時間]で求めます。例えば、1日8時間勤務で週5日の場合は40時間となる。常勤13名とパート職員2名(週3日で8時間勤務)では1名あたり $24/40 = 0.6$ から、 $13 + 1.2 = 14.2$ となる。

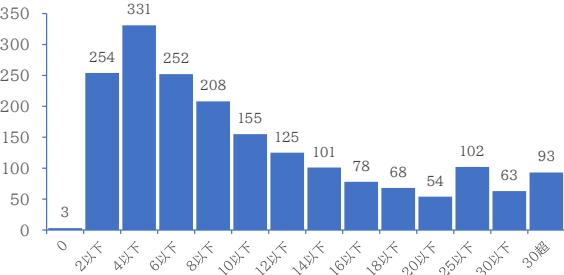
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,887

| 回答   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| 0    | 3   | 0.2%  |
| 2以下  | 254 | 13.5% |
| 4以下  | 331 | 17.5% |
| 6以下  | 252 | 13.4% |
| 8以下  | 208 | 11.0% |
| 10以下 | 155 | 8.2%  |
| 12以下 | 125 | 6.6%  |
| 14以下 | 101 | 5.4%  |
| 16以下 | 78  | 4.1%  |
| 18以下 | 68  | 3.6%  |
| 20以下 | 54  | 2.9%  |
| 25以下 | 102 | 5.4%  |
| 30以下 | 63  | 3.3%  |
| 30超  | 93  | 4.9%  |

解説: 2超4以下が最も多く18%、次いで0超2以下が14%であった。

問7 臨床工学技士配置数(常勤換算)を記載してください。  
n=1,887



問8 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。

目的: CEの入職率を把握するため。

定義: 対象期間に入職した臨床工学技士の人数を入力してください。

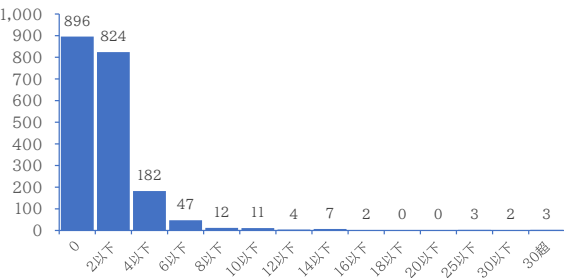
対象: 2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数: 1,993

| 回答   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| 0    | 896 | 45.0% |
| 2以下  | 824 | 41.3% |
| 4以下  | 182 | 9.1%  |
| 6以下  | 47  | 2.4%  |
| 8以下  | 12  | 0.6%  |
| 10以下 | 11  | 0.6%  |
| 12以下 | 4   | 0.2%  |
| 14以下 | 7   | 0.4%  |
| 16以下 | 2   | 0.1%  |
| 18以下 | 0   | 0.0%  |
| 20以下 | 0   | 0.0%  |
| 25以下 | 3   | 0.2%  |
| 30以下 | 2   | 0.1%  |
| 30超  | 3   | 0.2%  |

解説: 0が最も多く45%、次いで2以下が41%であった。

問8 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。  
n=1,993



問9 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。

目的：CEの離職率を把握するため。

定義：対象期間に退職した臨床工学技士の人数を入力してください。

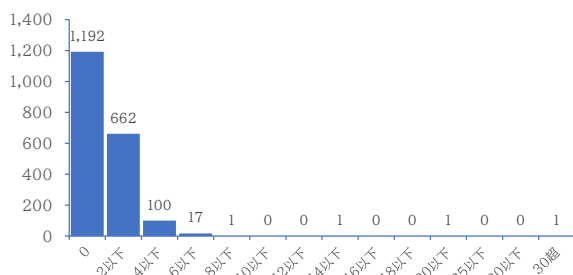
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：1,975

| 回答   | n     | 割合    |
|------|-------|-------|
| 0    | 1,192 | 60.4% |
| 2以下  | 662   | 33.5% |
| 4以下  | 100   | 5.1%  |
| 6以下  | 17    | 0.9%  |
| 8以下  | 1     | 0.1%  |
| 10以下 | 0     | 0.0%  |
| 12以下 | 0     | 0.0%  |
| 14以下 | 1     | 0.1%  |
| 16以下 | 0     | 0.0%  |
| 18以下 | 0     | 0.0%  |
| 20以下 | 1     | 0.1%  |
| 25以下 | 0     | 0.0%  |
| 30以下 | 0     | 0.0%  |
| 30超  | 1     | 0.1%  |

解説：0が最も多く60%、次いで2以下が34%であった。

問9 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。  
n=1,975



問10 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務形態の調査。

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後10時から午前5時まで（場合によっては午後11時から午前6時まで）とする。

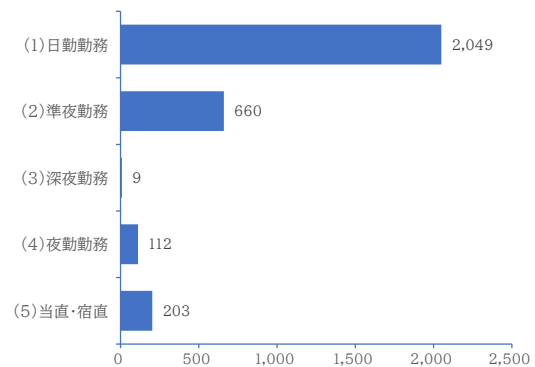
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：2,058

| 回答       | n     | 割合    |
|----------|-------|-------|
| (1)日勤勤務  | 2,049 | 99.6% |
| (2)準夜勤務  | 660   | 32.1% |
| (3)深夜勤務  | 9     | 0.4%  |
| (4)夜勤勤務  | 112   | 5.4%  |
| (5)当直・宿直 | 203   | 9.9%  |

解説：日勤勤務が最も多く100%、次いで準夜勤務が32%であった。

問10 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答) n=2,058



問11 宅直勤務(オンコール)を実施していますか。また、平日の1回の宅直手当の金額を教えてください。(単一回答)

目的：宅直勤務と宅直手当の実態を把握する。

定義：宅直勤務と宅直手当の状況について該当する項目を選択してください。

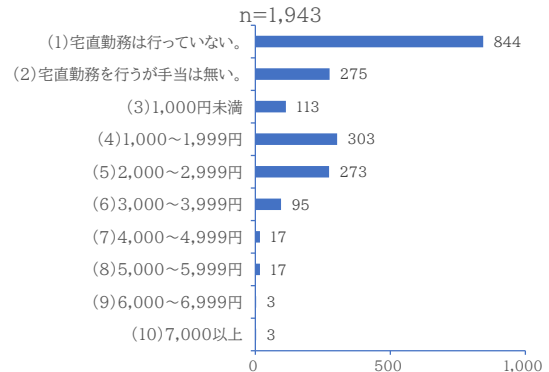
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,943

| 回答                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)宅直勤務は行っていない。   | 844 | 43.4% |
| (2)宅直勤務を行うが手当は無い。 | 275 | 14.2% |
| (3)1,000円未満       | 113 | 5.8%  |
| (4)1,000～1,999円   | 303 | 15.6% |
| (5)2,000～2,999円   | 273 | 14.1% |
| (6)3,000～3,999円   | 95  | 4.9%  |
| (7)4,000～4,999円   | 17  | 0.9%  |
| (8)5,000～5,999円   | 17  | 0.9%  |
| (9)6,000～6,999円   | 3   | 0.2%  |
| (10)7,000以上       | 3   | 0.2%  |

解説：宅直勤務は行っていないが最も多く43%、次いで宅直勤務を行っており手当は1,000～1,999円が16%であった。

問11 宅直勤務(オンコール)を実施していますか。また、平日の1回の宅直手当の金額を教えてください。(単一回答)  
n=1,943



問12 宅直勤務（オンコール）を実施していますか、また、土日祝日の1回の宅直手当の金額を教えてください。（単一回答）

目的：宅直勤務と宅直手当の実態を把握する。

定義：宅直勤務と宅直手当の状況について該当する項目を選択してください。

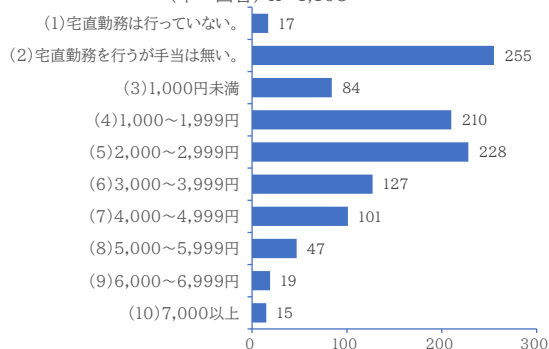
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,103

| 回答                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)宅直勤務は行っていない。   | 17  | 1.5%  |
| (2)宅直勤務を行うが手当は無い。 | 255 | 23.1% |
| (3)1,000円未満       | 84  | 7.6%  |
| (4)1,000～1,999円   | 210 | 19.0% |
| (5)2,000～2,999円   | 228 | 20.7% |
| (6)3,000～3,999円   | 127 | 11.5% |
| (7)4,000～4,999円   | 101 | 9.2%  |
| (8)5,000～5,999円   | 47  | 4.3%  |
| (9)6,000～6,999円   | 19  | 1.7%  |
| (10)7,000以上       | 15  | 1.4%  |

解説：宅直勤務を行っているが手当はないが最も多く23%，次いで宅直勤務を行っており手当2,000～2,999円が21%であった。

問12 宅直勤務（オンコール）を実施していますか、また、土日祝日の1回の宅直手当の金額を教えてください。（単一回答）n=1,103



問13 9月における宅直勤務（オンコール）者の1日平均員数を選択してください。

目的：1日平均の宅直勤務者数を把握する。

定義：9月1日～9月30日の間に実施した宅直勤務の1日平均人数を選択してください。小数点以下は四捨五入してください。

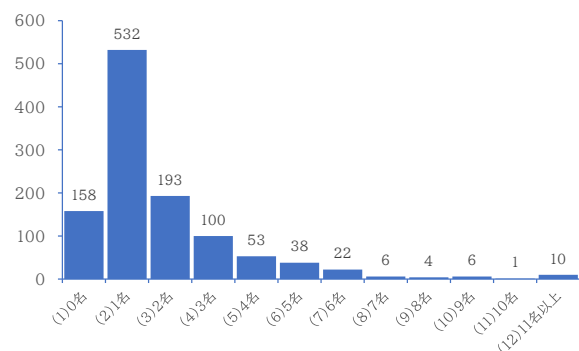
対象：2025年9月1日～9月30日

有効回答数：1,123

| 回答        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)0名     | 158 | 14.1% |
| (2)1名     | 532 | 47.4% |
| (3)2名     | 193 | 17.2% |
| (4)3名     | 100 | 8.9%  |
| (5)4名     | 53  | 4.7%  |
| (6)5名     | 38  | 3.4%  |
| (7)6名     | 22  | 2.0%  |
| (8)7名     | 6   | 0.5%  |
| (9)8名     | 4   | 0.4%  |
| (10)9名    | 6   | 0.5%  |
| (11)10名   | 1   | 0.1%  |
| (12)11名以上 | 10  | 0.9%  |

解説：1名が最も多く47%，次いで2名が17%であった。

問13 9月における宅直勤務（オンコール）者の1日平均員数を選択してください。n=1,123



問 14 当直勤務（宿直勤務）の勤務状況について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）

目的：当直勤務の状況を把握する。

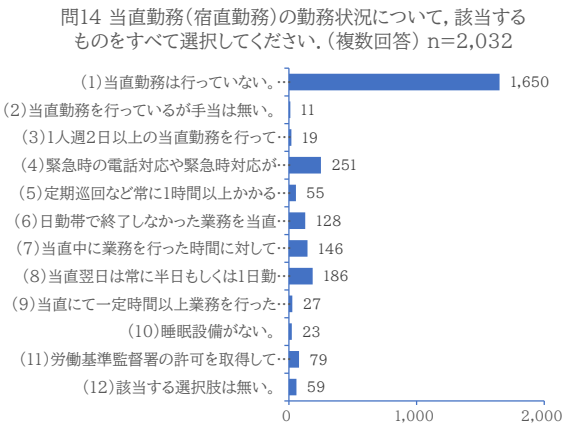
定義：当直勤務の勤務状況について該当する項目をすべて選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,032

| 項目                                                      | n     | 割合    |
|---------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)当直勤務は行っていない。                                         | 1,650 | 62.6% |
| (2)当直勤務を行っているが手当は無い。                                    | 11    | 0.4%  |
| (3)1人週2日以上当直勤務を行っている。                                   | 19    | 0.7%  |
| (4)緊急時の電話対応や緊急時対応が主な業務である。                              | 251   | 9.5%  |
| (5)定期巡回などに常に1時間以上かかるルーチン業務がある。                          | 55    | 2.1%  |
| (6)日勤帯で終了しなかった業務を当直者が行っている。                             | 128   | 4.9%  |
| (7)当直中に業務を行った時間に対して超過勤務手当が支給される。                        | 146   | 5.5%  |
| (8)当直翌日は常に半日もしくは1日勤務免除となる。（年休取得によるもの含む）                 | 186   | 7.1%  |
| (9)当直にて一定時間以上業務を行った際、当直翌日が半日もしくは1日勤務免除となる。（年休取得によるもの含む） | 27    | 1.0%  |
| (10)睡眠設備がない。                                            | 23    | 0.9%  |
| (11)労働基準監督署の許可を取得している。                                  | 79    | 3.0%  |
| (12)該当する選択肢は無い。                                         | 59    | 2.2%  |

解説：当直勤務は行っていないが最も多く 63%、次いで緊急時の電話対応や緊急時対応が主な業務であるが 10%であった。



問 15 当直勤務（宿直勤務）の手当の金額を教えてください。（単一回答）

目的：当直手当の実態を把握する。

定義：当直（宿直）勤務の手当について該当する項目を選択してください。

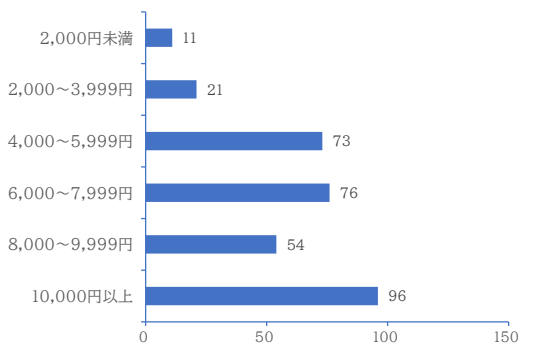
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：331

| 項目               | n  | 割合    |
|------------------|----|-------|
| (1)2,000 円未満     | 11 | 2.7%  |
| (2)2,000～3,999 円 | 21 | 5.1%  |
| (3)4,000～5,999 円 | 73 | 17.8% |
| (4)6,000～7,999 円 | 76 | 18.5% |
| (5)8,000～9,999 円 | 54 | 13.1% |
| (6)10,000 円以上    | 96 | 23.4% |

解説：10,000 円以上が最も多く 23%であった。

問15 当直勤務(宿直勤務)の手当の金額を教えてください。  
(単一回答) n=331



問 16 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）を実施していますか。また1回の夜勤手当(深夜割増は除く)の状況を教えてください。（複数回答）

目的：夜勤と夜勤手当の実態を把握する。

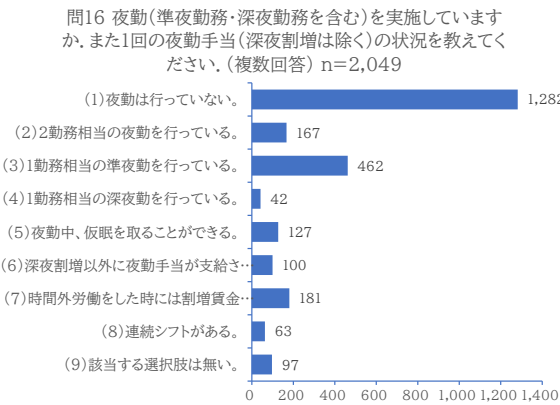
定義：夜勤と夜勤手当の状況について該当する項目を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,049

| 項目                        | n     | 割合    |
|---------------------------|-------|-------|
| (1)夜勤は行っていない。             | 1,282 | 62.6% |
| (2)2 勤務相当の夜勤を行っている。       | 167   | 8.2%  |
| (3)1 勤務相当の準夜勤を行っている。      | 462   | 22.5% |
| (4)1 勤務相当の深夜勤を行っている。      | 42    | 2.0%  |
| (5)夜勤中、仮眠を取ることができる。       | 127   | 6.2%  |
| (6)深夜割増以外に夜勤手当が支給される。     | 100   | 4.9%  |
| (7)時間外労働をした時には割増賃金が支給される。 | 181   | 8.8%  |
| (8)連続シフトがある。              | 63    | 3.1%  |
| (9)該当する選択肢は無い。            | 97    | 4.7%  |

解説：夜勤は行っていないが最も多く 63%、次いで1 勤務相当の準夜勤を行っているが 23%であった。



問 17 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）の手当の金額を教えてください。（単一回答）

目的：夜勤と夜勤手当の実態を把握する。

定義：夜勤と夜勤手当について該当する項目を選択してください。

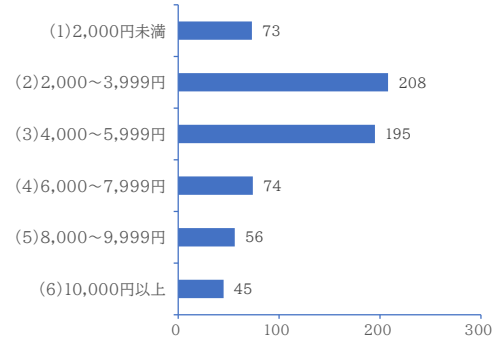
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：651

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1)2,000 円未満     | 73  | 11.2% |
| (2)2,000～3,999 円 | 208 | 32.0% |
| (3)4,000～5,999 円 | 195 | 30.0% |
| (4)6,000～7,999 円 | 74  | 11.4% |
| (5)8,000～9,999 円 | 56  | 8.6%  |
| (6)10,000 円以上    | 45  | 6.9%  |

解説：2,000～3,999円が最も多く 32%，次いで4,000～5,999 円が 30%であった。

問17 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）の手当の金額を教えてください。（単一回答） n=651



問 18 所属部門を選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士部門の独立状況の調査のため。

定義：臨床工学技士の所属部門を選択してください。

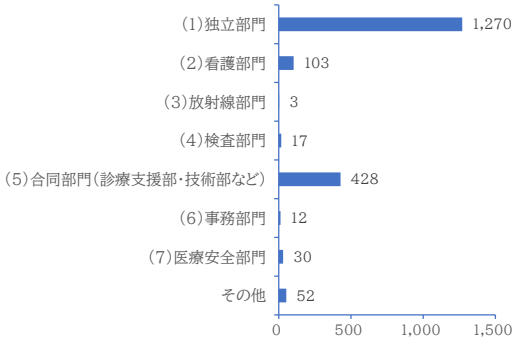
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,915

| 項目                                                                                                                               | n     | 割合    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)独立部門                                                                                                                          | 1,270 | 66.3% |
| (2)看護部門                                                                                                                          | 103   | 5.4%  |
| (3)放射線部門                                                                                                                         | 3     | 0.2%  |
| (4)検査部門                                                                                                                          | 17    | 0.9%  |
| (5)合同部門                                                                                                                          | 428   | 22.3% |
| (6)事務部門                                                                                                                          | 12    | 0.6%  |
| (7)医療安全部門                                                                                                                        | 30    | 1.6%  |
| その他                                                                                                                              | 52    | 2.7%  |
| その他内訳:透析室・センター 12, 透析部門(一般) 5, 麻酔科・医局 7, 診療部・診療部門 7, 腎・血液浄化専門部門 3, 医療技術・技師部門 4, 手術・中央管理部門 3, 看護・臨床工学連携 2, 組織改編・特殊事例 2, 未記載・不明 5, |       |       |

解説：独立部門が最も多く 66%，次いで合同部門（診療支援部・技術部など）が 22%であった。

問18 所属部門を選択してください。（単一回答） n=1,915



問 19 臨床工学技士が所属している部署名を選択してください。部署名に選択枝の名称が含まれていればそれを選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。（組織強化機能委員会）

定義：所属施設の臨床工学技士の所属している部署名を選択して下さい。

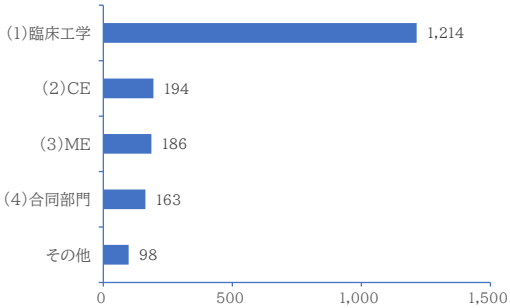
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,855

| 項目                                                                                                                                        | n     | 割合    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| (1)臨床工学                                                                                                                                   | 1,214 | 65.4% |
| (2)CE                                                                                                                                     | 194   | 10.5% |
| (3)ME                                                                                                                                     | 186   | 10.0% |
| (4)合同部門                                                                                                                                   | 163   | 8.8%  |
| その他                                                                                                                                       | 98    | 5.3%  |
| その他内訳:透析室・センター 21, 医療機器管理(室・部) 16, 透析部門(科・部・技術) 8, 技士部・臨床工学部門 12, 医療安全管理 5, 医療・診療技術部 6, 血液浄化・腎センター 6, 看護部・外来 4, 検査・手術・集中治療 10, その他・未記載 10 |       |       |

解説：臨床工学が最も多く 65%であった。

問19 臨床工学技士が所属している部署名を選択してください。部署名に選択枝の名称が含まれていればそれを選択してください。（単一回答） n=1,855



問 20 臨床工学技士の主な通称（呼び名）を選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。（組織強化職能委員会）

定義：所属施設の臨床工学技士の主な通称（呼び名）を選択して下さい。

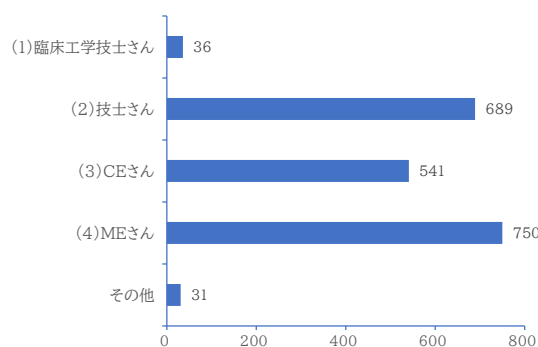
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,047

| 項目                                                                                                                                               | n   | 割合    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士さん                                                                                                                                      | 36  | 1.8%  |
| (2)技士さん                                                                                                                                          | 689 | 33.7% |
| (3)CEさん                                                                                                                                          | 541 | 26.4% |
| (4)MEさん                                                                                                                                          | 750 | 36.6% |
| その他                                                                                                                                              | 31  | 1.5%  |
| その他内訳:臨工(りんこう)さん 10, 個人名・苗字 7, 職種名の混在 (CE/ME/技士) 3, 相手や部署により様々 2, ME(エムイー)さん 2, CE/ME が半々 2, 呼称の使い分け (序列/混在) 1, 特徴・外見での呼称 2, 全項目に該当 1, 略称・その他 1, |     |       |

解説：ME さんが最も多く 37%，次いで技士さんが 34% であった。

問20 臨床工学技士の主な通称（呼び名）を選択してください。（単一回答） n=2,047



問 21 もし所属施設で部署名を変更する場合，その難易度はどの程度でしょうか。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名統一について難易度を把握する。（組織強化職能委員会）

定義：臨床工学技士の通称（呼び名）と英語表記を CE に統一について，想定する難易度を選択して下さい。

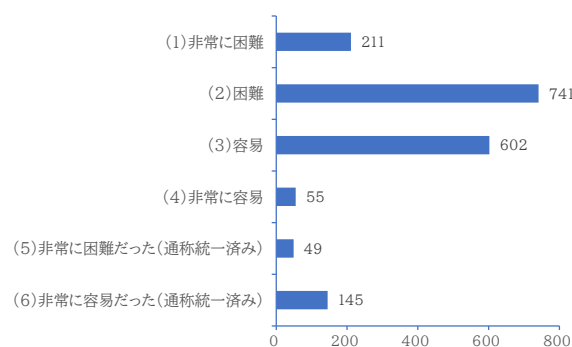
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,803

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)非常に困難            | 211 | 11.7% |
| (2)困難               | 741 | 41.1% |
| (3)容易               | 602 | 33.4% |
| (4)非常に容易            | 55  | 3.1%  |
| (5)非常に困難だった(通称統一済み) | 49  | 2.7%  |
| (6)非常に容易だった(通称統一済み) | 145 | 8.0%  |

解説：困難が最も多く 41%，次いで容易が 33% であった。通称統一済みは 11% に留まっている。

問21 もし所属施設で部署名を変更する場合，その難易度はどの程度でしょうか。（単一回答） n=1,803



問 22 部署名変更できない施設に質問です。日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うか、記載してください。

目的：部署名変更できない施設に対して日本臨床工学士会に何を求めるか把握するため。

定義：部署名変更できない施設が日本臨床工学士会に求めることを記載する。また、どうすれば名称変更できると思うかを記載してください。

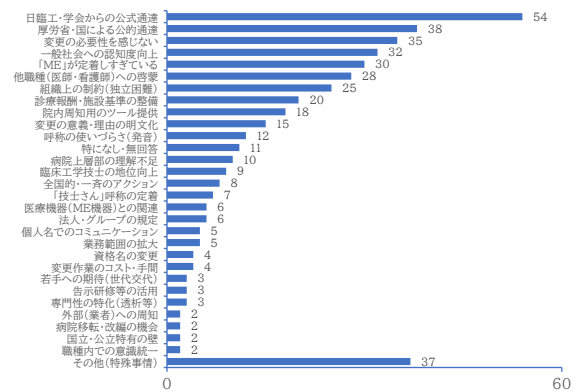
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：436

| 項目:主な内容         | 件数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| 日臨工・学会からの公式通達   | 54 | 12.4% |
| 厚労省・国による公的通達    | 38 | 8.7%  |
| 変更の必要性を感じない     | 35 | 8.0%  |
| 一般社会への認知度向上     | 32 | 7.3%  |
| 「ME」が定着しすぎている   | 30 | 6.9%  |
| 他職種(医師・看護師)への啓蒙 | 28 | 6.4%  |
| 組織上の制約(独立困難)    | 25 | 5.7%  |
| 診療報酬・施設基準の整備    | 20 | 4.6%  |
| 院内周知用のツール提供     | 18 | 4.1%  |
| 変更の意義・理由の明文化    | 15 | 3.4%  |
| 呼称の使いづらさ(発音)    | 12 | 2.8%  |
| 特になし・無回答        | 11 | 2.5%  |
| 病院上層部の理解不足      | 10 | 2.3%  |
| 臨床工学士の地位向上      | 9  | 2.1%  |
| 全国的・一斉のアクション    | 8  | 1.8%  |
| 「技士さん」呼称の定着     | 7  | 1.6%  |
| 医療機器(ME 機器)との関連 | 6  | 1.4%  |
| 法人・グループの規定      | 6  | 1.4%  |
| 個人名でのコミュニケーション  | 5  | 1.1%  |
| 業務範囲の拡大         | 5  | 1.1%  |
| 資格名の変更          | 4  | 0.9%  |
| 変更作業のコスト・手間     | 4  | 0.9%  |
| 若手への期待(世代交代)    | 3  | 0.7%  |
| 告示研修等の活用        | 3  | 0.7%  |
| 専門性の特化(透析等)     | 3  | 0.7%  |
| 外部(業者)への周知      | 2  | 0.5%  |
| 病院移転・改編の機会      | 2  | 0.5%  |
| 国立・公立特有の壁       | 2  | 0.5%  |
| 職種内での意識統一       | 2  | 0.5%  |
| その他(特殊事情)       | 37 | 8.5%  |

解説：日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うかに対して、日臨工・学会からの公式通達が最も多く 12%、次いで厚労省・国による公的通達が 9% であった。

問22 日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うか、記載してください。 n=436



問 23 血液浄化が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設の血液浄化の実施割合を把握する。

定義：所属施設において血液浄化を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

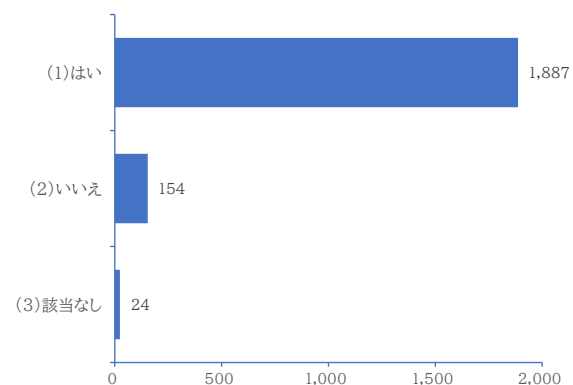
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,065

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,887 | 91.4% |
| (2)いいえ  | 154   | 7.5%  |
| (3)該当なし | 24    | 1.2%  |

解説：血液浄化が実施されている施設は 91% であった。

問23 血液浄化が実施されていますか。(単一回答)  
n=2,065



問 24 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)  
 目的：所属施設で呼吸療法を実施しているか把握する。  
 定義：所属施設において呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

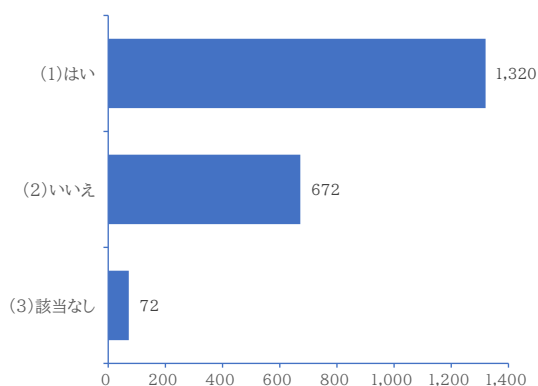
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,064

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,320 | 64.0% |
| (2)いいえ  | 672   | 32.6% |
| (3)該当なし | 72    | 3.5%  |

解説：呼吸療法が実施されている施設は 64% であった。

問24 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)  
 n=2,064



問 25 在宅呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で在宅呼吸療法を実施しているか把握する。

定義：所属施設において入院を含む在宅呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

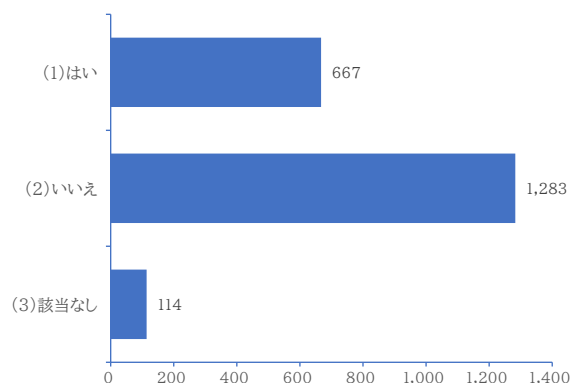
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,064

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 667   | 32.3% |
| (2)いいえ  | 1,283 | 62.2% |
| (3)該当なし | 114   | 5.5%  |

解説：在宅呼吸療法が実施されている施設は 32% であった。

問25 在宅呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)  
 n=2,064



問 26 集中治療室・救急室 (ICU,NICU, ハイケアユニット, 救急初療室等) が設置されていますか。(単一回答)

目的：集中治療室の設置実態を把握する。

定義：所属施設の集中治療室の有無を選択して下さい。※次の届出を集中治療室とする。特定集中治療室管理料 1～6, ハイケアユニット入院医療管理料, 救命救急入院料 1～4, 脳卒中ケアユニット入院医療管理料, 小児特定集中治療室管理料, 新生児特定集中治療室管理料 1～2, 総合周産期特定集中治療室管理料, 新生児治療回復室入院医療管理料

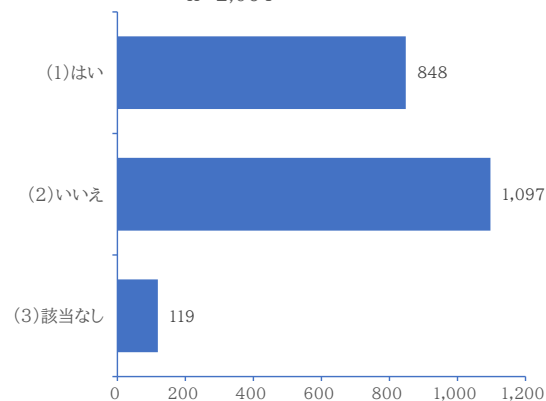
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,064

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 848   | 41.1% |
| (2)いいえ  | 1,097 | 53.1% |
| (3)該当なし | 119   | 5.8%  |

解説：集中治療室・救急室 (ICU,NICU, ハイケアユニット, 救急初療室等) が設置されている施設は 41% であった。

問26 集中治療室・救急室(ICU,NICU, ハイケアユニット, 救急初療室等)が設置されていますか。(単一回答)  
 n=2,064



問 27 心臓・血管カテーテル室はありますか。(単一回答)

目的：所属施設の心臓・血管カテーテル室の有無を把握する。

定義：心臓・血管カテーテル室の有無を選択して下さい。 ※ Hybrid を含める

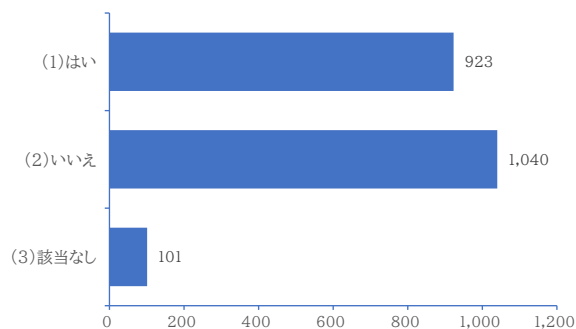
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,064

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 923   | 44.7% |
| (2)いいえ  | 1,040 | 50.4% |
| (3)該当なし | 101   | 4.9%  |

解説：心臓・血管カテーテル室がある施設は 45% であった。

問27 心臓・血管カテーテル室はありますか。(単一回答)  
n=2,064



問 28 不整脈アブレーション治療を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

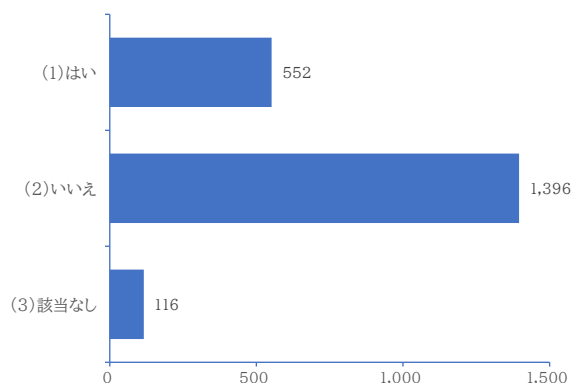
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,064

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 552   | 26.7% |
| (2)いいえ  | 1,396 | 67.6% |
| (3)該当なし | 116   | 5.6%  |

解説：不整脈アブレーション治療を実施している施設は 27% であった。

問28 不整脈アブレーション治療を実施していますか。  
(単一回答) n=2,064



問 29 心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているか把握する。

定義：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

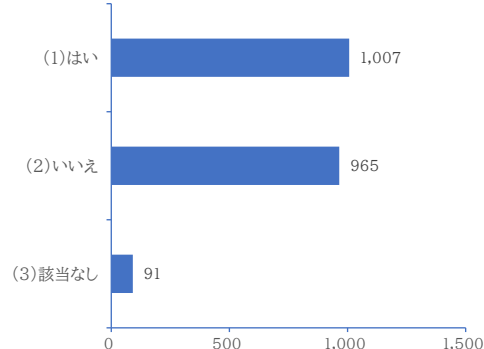
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,007 | 48.8% |
| (2)いいえ  | 965   | 46.8% |
| (3)該当なし | 91    | 4.4%  |

解説：心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施されている施設は 49% であった。

問29 心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施されていますか。  
(単一回答) n=2,063



問 30 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）が設置されていますか。（単一回答）

目的：内視鏡診療の実態を把握する。

定義：内視鏡室の有無を選択して下さい。内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）とする。

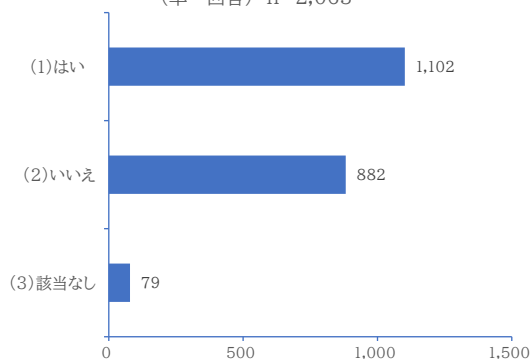
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,102 | 53.4% |
| (2)いいえ  | 882   | 42.8% |
| (3)該当なし | 79    | 3.8%  |

解説：内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）が設置されている施設は 53%であった。

問30 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)が設置されていますか。  
(単一回答) n=2,063



問 31 手術室における手術を実施していますか。（単一回答）

目的：所属施設で手術を実施しているか把握する。

定義：所属施設で手術室における手術を実施しているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

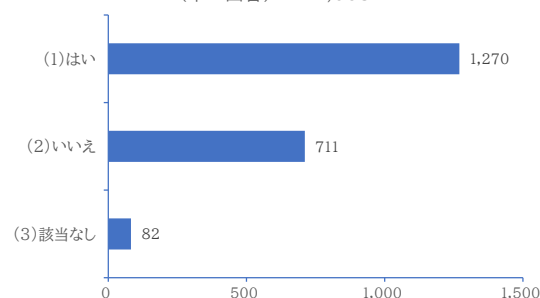
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,270 | 61.6% |
| (2)いいえ  | 711   | 34.5% |
| (3)該当なし | 82    | 4.0%  |

解説：手術室における手術を実施している施設は 62%であった。

問31 手術室における手術を実施していますか。  
(単一回答) n=2,063



問 32 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。（単一回答）

目的：所属施設で高気圧酸素治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で高気圧酸素治療装置が設置されているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

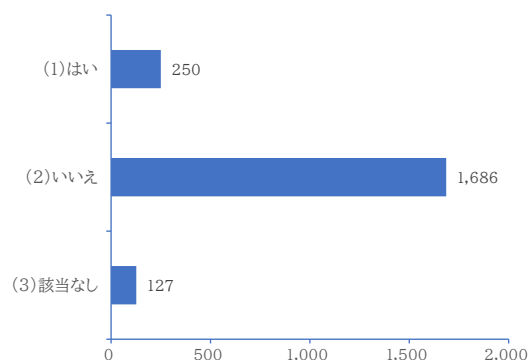
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 250   | 12.1% |
| (2)いいえ  | 1,686 | 81.7% |
| (3)該当なし | 127   | 6.2%  |

解説：高気圧酸素治療装置が設置されている施設は 12%であった。

問32 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。  
(単一回答) n=2,063



問 33 腹膜透析が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で腹膜透析を実施しているか把握する。

定義：所属施設で腹膜透析を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2025 年 10 月 1 日時点

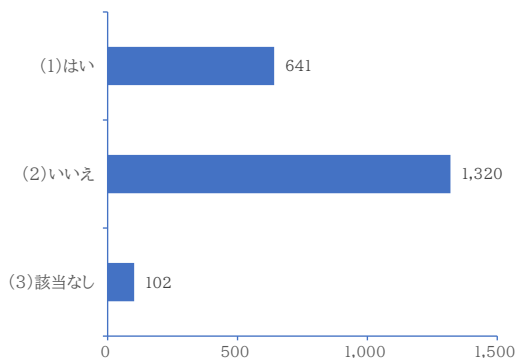
有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 641   | 31.1% |
| (2)いいえ  | 1,320 | 64.0% |
| (3)該当なし | 102   | 4.9%  |

解説

腹膜透析が実施されている施設は 31% であった。

問33 腹膜透析が実施されていますか。  
(単一回答) n=2,063



問 34 医療安全部門は設置されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で医療安全部門の有無を把握する。

定義：所属施設で医療安全部門が設置されているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

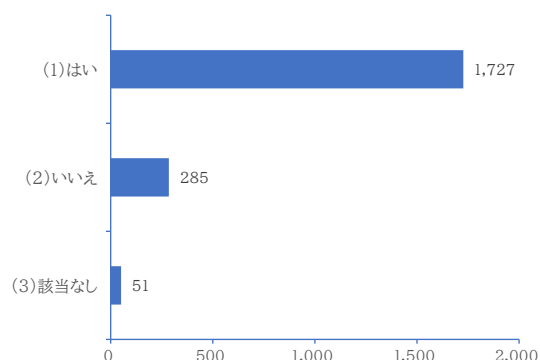
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目      | n     | 割合    |
|---------|-------|-------|
| (1)はい   | 1,727 | 83.7% |
| (2)いいえ  | 285   | 13.8% |
| (3)該当なし | 51    | 2.5%  |

解説：医療安全部門が設置されている施設は 84% であった。

問34 医療安全部門は設置されていますか。  
(単一回答) n=2,063



問 35 医療機器管理を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で医療機器管理を実施しているか把握する。

定義：所属施設で医療機器管理を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

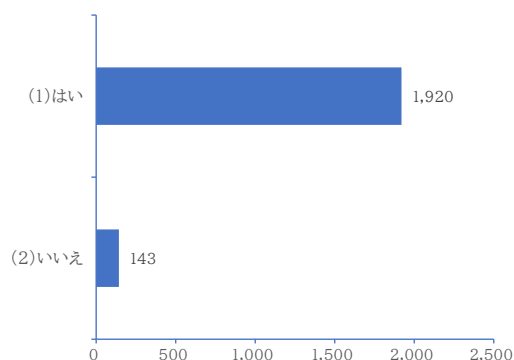
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,063

| 項目     | n     | 割合    |
|--------|-------|-------|
| (1)はい  | 1,920 | 93.1% |
| (2)いいえ | 143   | 6.9%  |

解説：医療機器管理を実施している施設は 93% であった。

問35 医療機器管理を実施していますか。  
(単一回答) n=2,063



## 3. 業務実態報告 2025 施設報告 血液浄化アドオン

問1 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における CE のエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析における CE のエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

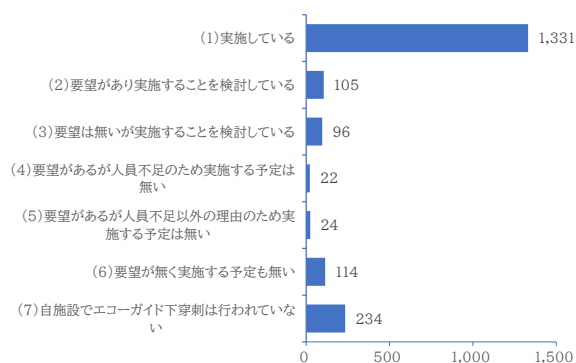
有効回答数：1,926

| 項目                             | n     | 割合    |
|--------------------------------|-------|-------|
| (1)実施している                      | 1,331 | 69.1% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 105   | 5.5%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 96    | 5.0%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 22    | 1.1%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 24    | 1.2%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 114   | 5.9%  |
| (7)自施設でエコーガイド下穿刺は行われていない       | 234   | 12.1% |

解説：エコーガイド下穿刺は約 7 割の施設で実施されており、透析現場で広く普及している。

一方で、未実施 12% や導入検討段階 約 11% の施設もあり、人的リソース不足が導入の障壁となっている。

設問1 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。  
(単一回答) n=1926



問2 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施しているか把握する。

定義：血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価について最も適した選択肢を選択してください。

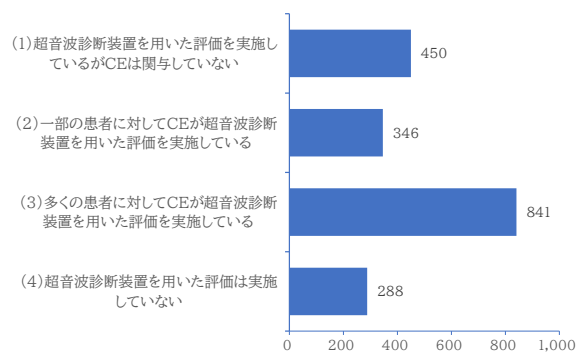
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,925

| 項目                                    | n   | 割合    |
|---------------------------------------|-----|-------|
| (1)超音波診断装置を用いた評価を実施しているが CE は関与していない  | 450 | 23.4% |
| (2)一部の患者に対して CE が超音波診断装置を用いた評価を実施している | 346 | 18.0% |
| (3)多くの患者に対して CE が超音波診断装置を用いた評価を実施している | 841 | 43.7% |
| (4)超音波診断装置を用いた評価は実施していない              | 288 | 15.0% |

解説：音波による VA 評価は 8 割以上の施設で実施されており、そのうち CE が関与する割合（62%：一部 18% + 多く 44%）が高い。一方、未実施の施設も 15% 存在し、評価体制の標準化にはばらつきがみられる。

設問2 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答) n=1,925



問3 バスキュラーアクセスの情報共有資料（VAカルテなど）を作成している職種を回答してください。（複数回答）

目的：所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスカルテを作成している職種を把握する。

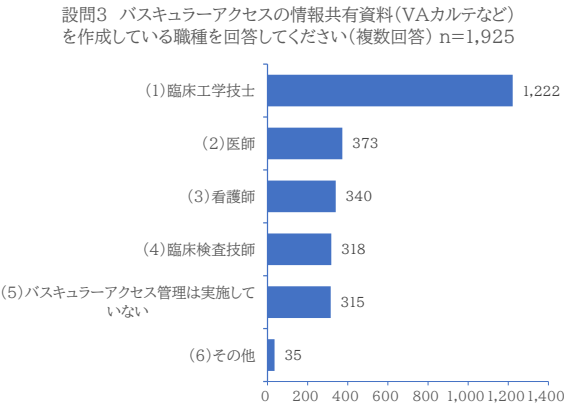
定義：血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスカルテを作成する職種を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,925

| 項目                      | n     | 割合    |
|-------------------------|-------|-------|
| (1)臨床工学技士               | 1,222 | 63.5% |
| (2)医師                   | 373   | 19.4% |
| (3)看護師                  | 340   | 17.7% |
| (4)臨床検査技師               | 318   | 16.5% |
| (5)バスキュラーアクセス管理は実施していない | 315   | 16.4% |
| (6)その他                  | 35    | 1.8%  |

解説：VA カルテなどの情報共有資料は、臨床工学技士が最も多く作成（64％）しており、医師・看護師・臨床検査技師も一定の割合で関与している。一方、管理を実施していない施設も 16％あり、情報共有体制には施設間で差がみられる。



問4 バスキュラーアクセス管理を実施している職種を回答してください。（複数回答）

目的：所属施設でバスキュラーアクセス管理を実施している職種を把握する。

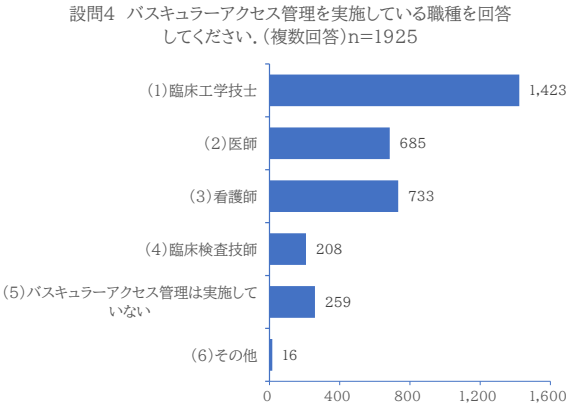
定義：バスキュラーアクセス管理を実施している職種を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,925

| 項目                      | n     | 割合    |
|-------------------------|-------|-------|
| (1)臨床工学技士               | 1,423 | 73.9% |
| (2)医師                   | 685   | 35.6% |
| (3)看護師                  | 733   | 38.1% |
| (4)臨床検査技師               | 208   | 10.8% |
| (5)バスキュラーアクセス管理は実施していない | 259   | 13.5% |
| (6)その他                  | 16    | 0.8%  |

解説：バスキュラーアクセス管理は、臨床工学技士が中心的役割（74％）を担っており、看護師（38％）・医師（36％）も一定の割合で関与している。一方、管理を実施していない施設も 13％存在し、施設間で体制にばらつきがみられる。



問5 動脈表在化への穿刺を CE が実施していますか。（単一回答）

目的：所属施設で血液透析における動脈表在化への穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析における CE の動脈表在化への穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

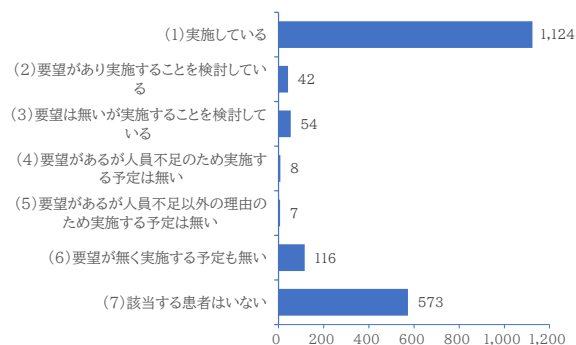
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,924

| 項目                             | n     | 割合    |
|--------------------------------|-------|-------|
| (1)実施している                      | 1,124 | 58.4% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 42    | 2.2%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 54    | 2.8%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 8     | 0.4%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 7     | 0.4%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 116   | 6.0%  |
| (7)該当する患者はいない                  | 573   | 29.8% |

解説：動脈表在化への穿刺を CE が実施している施設は 58.4% と過半数を占めていた。一方、29.8% は“該当患者はいない”と回答し、必要性の有無が施設間で大きく異なることが示唆された。実施していない施設のうち、要望があっても人員不足等により実施できていない施設はごく少数に留まった。

設問5 動脈表在化への穿刺をCEが実施していますか  
(単一回答) n=1924



問6 透析条件の検討に対して CE が関与している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：透析 (HDF 含む) 条件の検討に対し CE が関与している項目を把握する。

定義：透析 (HDF 含む) 条件の検討に対し CE が関与している項目をすべて選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

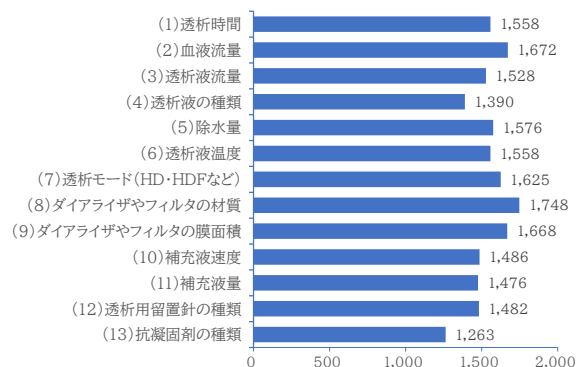
有効回答数：1,925

| 項目                   | n     | 割合    |
|----------------------|-------|-------|
| (1) 透析時間             | 1,558 | 80.9% |
| (2) 血液流量             | 1,672 | 86.9% |
| (3) 透析液流量            | 1,528 | 79.4% |
| (4) 透析液の種類           | 1,390 | 72.2% |
| (5) 除水量              | 1,576 | 81.9% |
| (6) 透析液温度            | 1,558 | 80.9% |
| (7) 透析モード(HD・HDF など) | 1,625 | 84.4% |
| (8) ダイアライザやフィルタの材質   | 1,748 | 90.8% |
| (9) ダイアライザやフィルタの膜面積  | 1,668 | 86.6% |
| (10) 補充液速度           | 1,486 | 77.2% |
| (11) 補充液量            | 1,476 | 76.7% |
| (12) 透析用留置針の種類       | 1,482 | 77.0% |
| (13) 抗凝固剤の種類         | 1,263 | 65.6% |

解説：透析条件に対する CE の関与は全体的に高く、90% 近い施設が“ダイアライザの材質”や“血液流量”の選択に関与していた。また、透析モードや除水量、透析液温度など多くの項目で 8 割前後が関わっており、透析治療設計における CE の役割の大きさが示された。

なお、選択肢 14~17 については、エラーにより表示されなかった。

設問6 透析条件の検討に対してCEが関与している項目を全て選択してください(複数回答) n=1925



問7 下肢および患者の状態把握のために CE が使用(実施)している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：CE が下肢および患者の状態把握のために実施している内容を把握する。

定義：CE が下肢および患者の状態把握のために使用している項目をすべて選択してください。

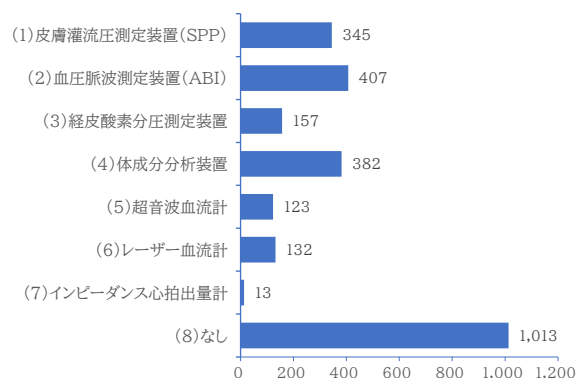
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,925

| 項目                 | n     | 割合    |
|--------------------|-------|-------|
| (1) 皮膚灌流圧測定装置(SPP) | 345   | 17.9% |
| (2) 血圧脈波測定装置(ABI)  | 407   | 21.1% |
| (3) 経皮酸素分圧測定装置     | 157   | 8.2%  |
| (4) 体成分分析装置        | 382   | 19.8% |
| (5) 超音波血流計         | 123   | 6.4%  |
| (6) レーザー血流計        | 132   | 6.9%  |
| (7) インピーダンス心拍出量計   | 13    | 0.7%  |
| (8) なし             | 1,013 | 52.6% |

解説：下肢の状態把握に用いる測定装置について、最も多かったのは ABI (21.1%)、次いで SPP (17.9%)、体成分分析装置 (19.8%) であった。一方、52.6% の施設では“いずれの装置も使用していない”と回答しており、使用状況には大きなばらつきがみられた。

設問7 下肢および患者の状態把握のためにCEが使用している項目を全て選択してください(複数回答) n=1,925



問8 「腎代替療法専門指導士」を取得したCEは、患者の治療選択時や腎移植等に関わっていますか。(単一回答)

目的：腎代替療法の適切な選択を推進するために腎代替療法専門指導士制度が発足した。臨床工学技士も血液浄化専門・認定臨床工学技士を有していると応募することが可能となるため、習得状況を把握する。  
定義：「腎代替療法専門指導士」を取得したCEが、患者の治療選択時や腎移植等に関わっているかどうか回答してください。

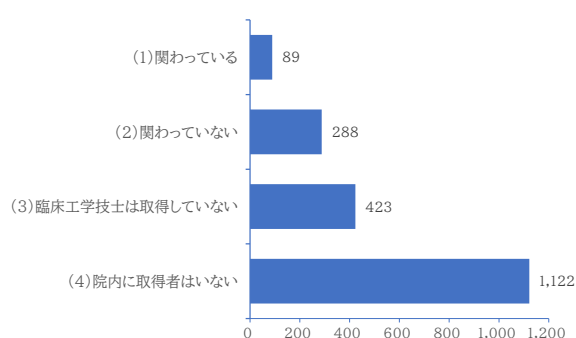
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,922

| 項目                | n     | 割合    |
|-------------------|-------|-------|
| (1)関わっている         | 89    | 4.6%  |
| (2)関わっていない        | 288   | 15.0% |
| (3)臨床工学技士は取得していない | 423   | 22.0% |
| (4)院内に取得者はいない     | 1,122 | 58.4% |

解説：腎代替療法専門指導士を取得したCEが治療選択や腎移植に関与している施設は4.6%と極めて少なかった。一方、『院内に取得者がいない』(58.4%)や『取得していない』(22.0%)が多数を占め、資格取得の普及が進んでいない状況が示唆された。

設問8 「腎代替療法専門指導士」を取得したCEは、患者の治療選択時や腎移植等に関わっていますか。(単一回答)  
n=1922



問9 分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で分離膜や吸着器を用いたアフレスシスの実施状況とCEの関わりを把握する。

定義：分離膜や吸着器を用いたアフレスシスを実施しているのか、CEはその業務に関わっているのかを選択してください。

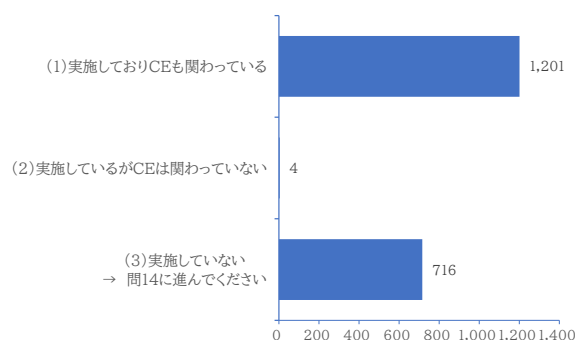
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,921

| 項目                   | n     | 割合    |
|----------------------|-------|-------|
| (1)実施しておりCEも関わっている   | 1,201 | 62.5% |
| (2)実施しているがCEは関わっていない | 4     | 0.2%  |
| (3)実施していない           | 716   | 37.3% |

解説：アフレスシス治療を実施している施設は全体の62.7%であり、そのうちCEが関与している施設がほぼ全て(62.5%)を占めた。一方、37.3%の施設では治療自体を実施しておらず、施設間で導入状況に大きな差がみられた。

設問9 分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療を実施していますか。(単一回答)n=1,921



問10 CEは分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療実施のための表在静脈穿刺を行っていますか。(単一回答)

目的：分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療のための表在静脈穿の実施状況を把握する。

定義：分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療のための表在静脈穿実施状況を回答してください。

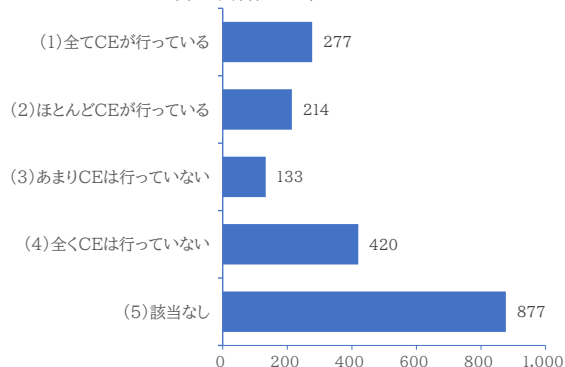
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,921

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)全てCEが行っている   | 277 | 14.4% |
| (2)ほとんどCEが行っている | 214 | 11.1% |
| (3)あまりCEは行っていない | 133 | 6.9%  |
| (4)全くCEは行っていない  | 420 | 21.9% |
| (5)該当なし         | 877 | 45.7% |

解説：分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療における表在静脈穿刺について，“全て CE が行っている”および“ほとんど CE が行っている”の合計は26%であった。一方、『該当なし』(46%)が最も多く、続いて“全く CE は行っていない”(22%)が多くみられ、施設によって CE の関与範囲が大きく異なる実態が示された。

設問10 CEは分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療実施のための表在静脈穿刺を行っていますか。  
(単一回答) n=1,921



問 11 CE は分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。(単一回答)

目的：分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療のための表在静脈からの抜去及び止血処置実施状況を把握する。

定義：分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療のための表在静脈抜針・止血実施状況を回答してください。

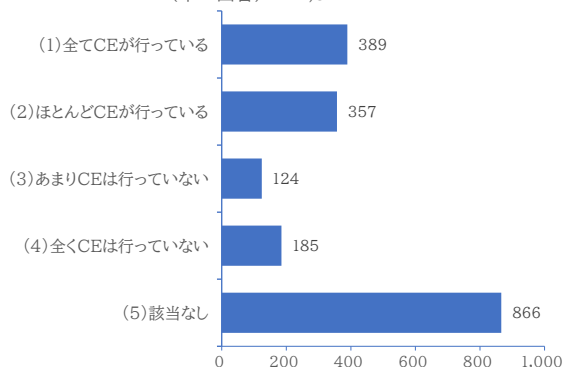
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,921

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1) 全て CE が行っている   | 389 | 20.2% |
| (2) ほとんど CE が行っている | 357 | 18.6% |
| (3) あまり CE は行っていない | 124 | 6.5%  |
| (4) 全く CE は行っていない  | 185 | 9.6%  |
| (5) 該当なし           | 866 | 45.1% |

解説：分離膜・吸着器を用いたアフレスシ治療終了時の抜去・止血処置について，“全て CE が行っている”，“ほとんど CE が行っている”との回答は合計 39%で、一定の割合で CE が業務を担当していた。しかし，“該当なし”(45%)が最も多く、業務分担の体制は施設間で大きくばらつきがあることが分かった。

設問11 CEは分離膜や吸着器を用いたアフレスシ治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。  
(単一回答) n=1,921



問 12 遠心型血液成分分離装置を用いたアフレスシ治療を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で遠心型血液成分分離装置を用いたアフレスシの実施状況と CE の関わりを把握する。  
定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフレスシを実施しているのか、CE はその業務に関わっているのかを選択してください。

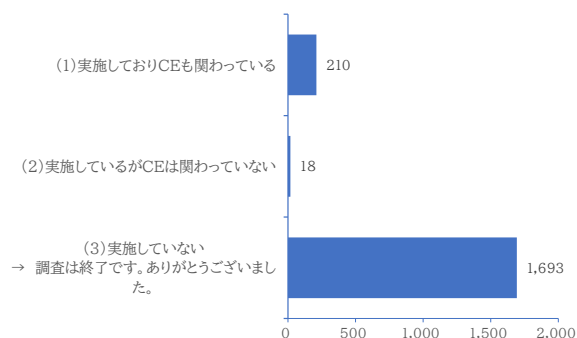
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,921

| 項目                      | n     | 割合    |
|-------------------------|-------|-------|
| (1) 実施しており CE も関わっている   | 210   | 10.9% |
| (2) 実施しているが CE は関わっていない | 18    | 0.9%  |
| (3) 実施していない             | 1,693 | 88.1% |

解説：アフレスシ治療を実施している施設は全体の約 12%で、そのうち CE が関与している施設は 11%と限られていた。一方、回答の約 9 割 (88%) は“実施していない”であり、遠心型血液成分分離装置を用いたアフレスシ治療は多くの施設では導入されていない状況がうかがえる。

設問12 遠心型血液成分分離装置を用いたアフレスシ治療を実施していますか。(単一回答) n=1,921



問 13 CE は遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療に於いて表在静脈へ穿刺を行っていますか。(単一回答)

目的：遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療のための表在静脈からの抜去及び止血処置実施状況を把握する。

定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療のための表在静脈抜針・止血実施状況を回答してください。

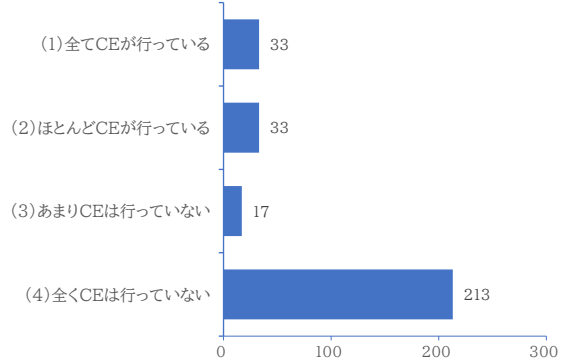
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：296

| 項目                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)全て CE が行っている   | 33  | 11.1% |
| (2)ほとんど CE が行っている | 33  | 11.1% |
| (3)あまり CE は行っていない | 17  | 5.7%  |
| (4)全く CE は行っていない  | 213 | 72.0% |

解説：CE がアフレス治療時の表在静脈への穿刺を実施している施設は少数であり、施設の 72% では全く CE は行っていない運用であった。この業務が CE の役割として標準化されていないことが示唆される。

設問13 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療に於いて表在静脈へ穿刺を行っていますか。(単一回答) n=1,917



問 14 CE は遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。(単一回答)

目的：遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療のための表在静脈からの抜去及び止血処置実施状況を把握する。

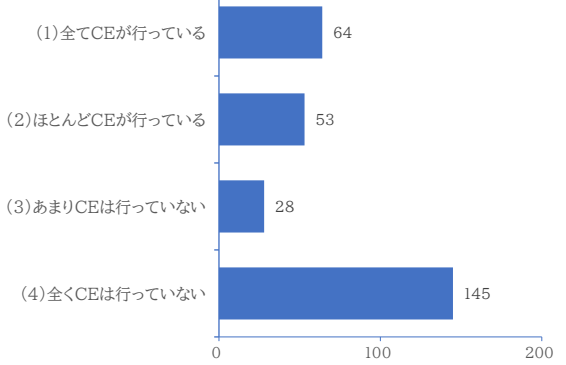
定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療のための表在静脈抜針・止血実施状況を回答してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,916

| 項目                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)全て CE が行っている   | 64  | 22.1% |
| (2)ほとんど CE が行っている | 53  | 18.3% |
| (3)あまり CE は行っていない | 28  | 9.7%  |
| (4)全く CE は行っていない  | 145 | 50.0% |

設問14 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフレス治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。(単一回答) n=1,916



#### 4. 業務実態報告 2025 施設報告 腹膜透析アドオン 問1 「腹膜透析認定指導臨床工学技士」を取得していますか。(単一回答)

目的：腹膜透析認定指導臨床工学技士の取得者がいるか、認知度を把握するため。

定義：腹膜透析認定指導臨床工学技士について最も適した選択肢を選択してください。

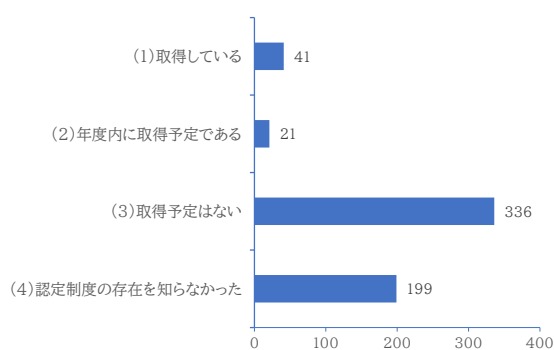
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：597

| 項目                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)取得している         | 41  | 6.9%  |
| (2)年度内に取得予定である    | 21  | 3.5%  |
| (3)取得予定はない        | 336 | 56.3% |
| (4)認定制度の存在を知らなかった | 199 | 33.3% |

解説：腹膜透析認定指導臨床工学技士を取得している施設は 7%，年度内に取得予定がある施設が 4%であったのに対し、取得予定がない施設は 56%，認定制度の存在を知らない施設は 33%であった。

問1 「腹膜透析認定指導臨床工学技士」を取得していますか。(単一回答) n=597



#### 問2 所属施設での PD 患者の診療を行っていますか。(単一回答)

→PDの診療を行っていない場合、設問は終了です。

目的：所属施設で PD 業務を実施しているか把握するため。

定義：所属施設での PD 業務について最も適した選択肢を選択してください。

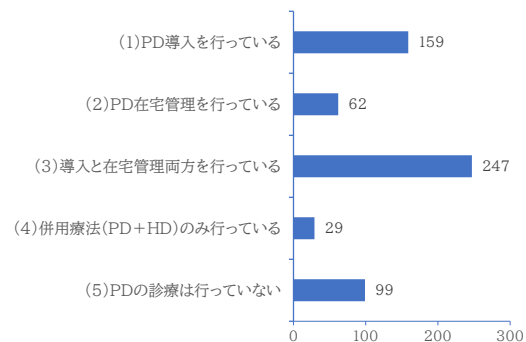
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：596

| 項目                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)PD 導入を行っている         | 159 | 26.7% |
| (2)PD 在宅管理を行っている       | 62  | 10.4% |
| (3)導入と在宅管理両方を行っている     | 247 | 41.4% |
| (4)併用療法(PD+HD)のみを行っている | 29  | 4.9%  |
| (5)PD の診療は行っていない       | 99  | 16.6% |

解説：PD 患者の診療について、導入と在宅管理両方を行っている施設が一番多く 41%であったのに対し、併用療法 (PD + HD) のみを行っている施設が一番少なく 5%であった。

問2 所属施設でのPD患者の診療を行っていますか。(単一回答) n=596



#### 問3 PD 患者の診療を行っている施設に質問です。PD 業務に CE が関与していますか。(単一回答)

目的：CE がどの程度 PD 業務に携わっているか、関心を持っているかを把握する。

定義：PD 業務に CE が関与しているか適した選択肢を選択してください。

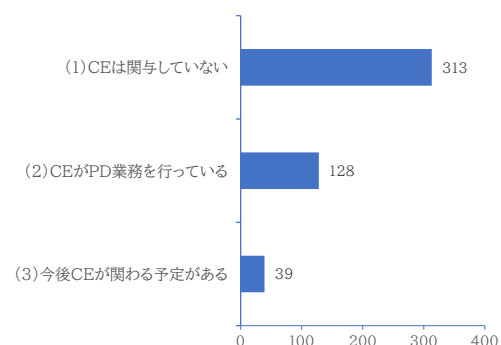
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：480

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)CE は関与していない      | 313 | 65.2% |
| (2)CE が PD 業務を行っている | 128 | 26.7% |
| (3)今後 CE が関わる予定がある  | 39  | 8.1%  |

解説：PD 患者に関与している施設の中で、業務を行っている施設は 27%，今後かわる予定がある施設が 8%であった。

問3 PD患者の診療を行っている施設に質問です。PD業務にCEが関与していますか。(単一回答) n=480



問4 設問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。PD診療を行っているがCEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。(複数回答)

目的：CEがPD業務に参入できない理由を把握する。  
定義：CEがPD業務に参入しない、参入できない理由を選択してください。

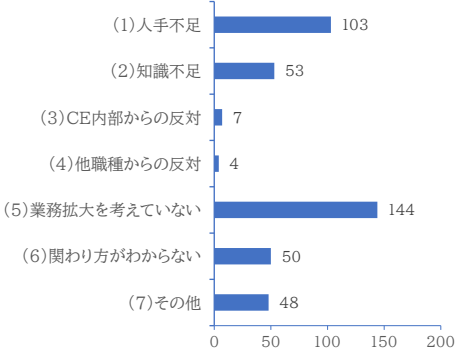
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：312

| 項目                                                                                                 | n   | 割合    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)人手不足                                                                                            | 108 | 34.6% |
| (2)知識不足                                                                                            | 56  | 17.9% |
| (3)CE内部からの反対                                                                                       | 7   | 2.2%  |
| (4)他職種からの反対                                                                                        | 5   | 1.6%  |
| (5)業務拡大を考えていない                                                                                     | 156 | 50.0% |
| (6)関わり方がわからない                                                                                      | 52  | 16.7% |
| (7)その他                                                                                             | 48  | 15.4% |
| その他内訳：医師・看護師がかかわっている18,要望・依頼がない12,患者数が少ない9,参加希望の話をしたが、医師より許可せず1,入院患者の対応のみ実施している1,必要性が生じていない1,未記載38 |     |       |

解説：CEがPD業務に参入しない、参入できない理由として、業務拡大を考えていない施設が50%と一番多く、次いで人手不足が35%であった。

問4 設問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。PD診療を行っているがCEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。(複数回答) n=312



問5 設問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。他職種からの要望はありますか。要望のある職種を教えてください。(複数回答)

目的：PD業務に対してCEの需要を把握する。  
定義：PD業務に対してCEの参入を要望している職種を選択してください。

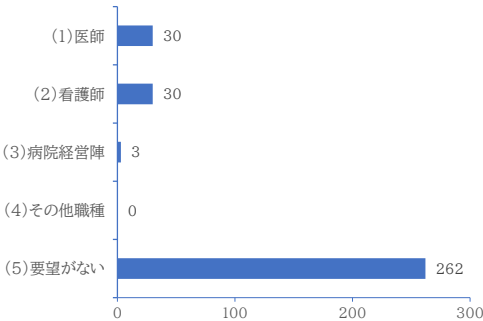
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：311

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)医師    | 30  | 9.6%  |
| (2)看護師   | 30  | 9.6%  |
| (3)病院経営陣 | 3   | 1.0%  |
| (4)その他職種 | 0   | 0.0%  |
| (5)要望がない | 262 | 84.2% |

解説：PD業務に関与していない施設では、多職種から約20%の要望があるのに対し、要望がない施設は84%であった。

問5 設問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。他職種からの要望はありますか。要望のある職種を教えてください。(複数回答) n=311



問6 設問5で「要望がない」と回答した施設に質問です。今後、要望が出た場合にはPD業務に参入しますか。(単一回答)

目的：PD業務に参入するきっかけを把握する。  
定義：他職種からPD業務にCEの参入要望が出た場合の対応として最も適するものを選択してください。

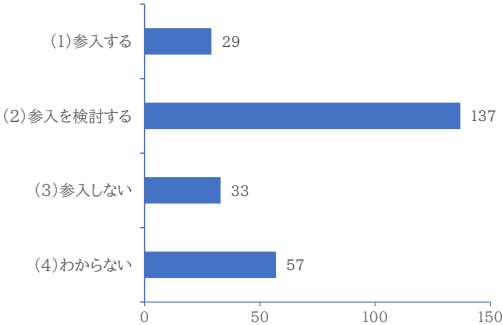
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：256

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)参入する    | 29  | 11.3% |
| (2)参入を検討する | 137 | 53.5% |
| (3)参入しない   | 33  | 12.9% |
| (4)わからない   | 57  | 22.3% |

解説：多職種からPDの参入要望が出た場合、参入する施設が11%、参入を検討する施設が54%であった。

問6 設問5で「要望がない」と回答した施設に質問です。今後、要望が出た場合にはPD業務に参入しますか。(単一回答) n=256



問7 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEが行っている業務を回答してください（複数回答）

目的：所属施設でCEが行っているPD業務を把握する。

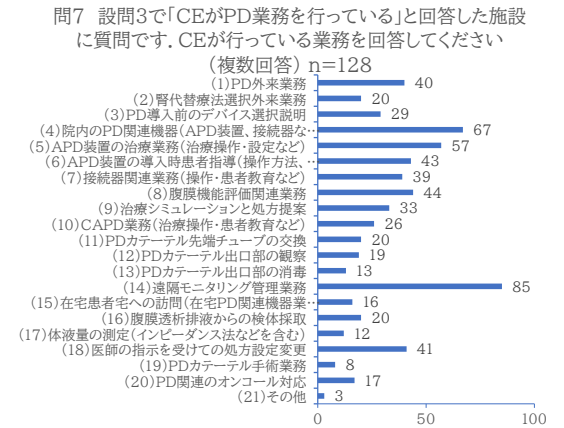
定義：CEが行っているPD業務を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：128

| 項目                                                         | n  | 割合    |
|------------------------------------------------------------|----|-------|
| (1)PD 外来業務                                                 | 40 | 31.3% |
| (2)腎代替療法選択外来業務                                             | 20 | 15.6% |
| (3)PD 導入前のデバイス選択説明                                         | 29 | 22.7% |
| (4)院内のPD 関連機器 (APD 装置、接続器など)管理業務                           | 67 | 52.3% |
| (5)APD 装置の治療業務 (治療操作・設定など)                                 | 57 | 44.5% |
| (6)APD 装置の導入時患者指導 (操作方法、APD 装置機種選択など)                      | 43 | 33.6% |
| (7)接続器関連業務 (操作・患者教育など)                                     | 39 | 30.5% |
| (8)腹膜機能評価関連業務                                              | 44 | 34.4% |
| (9)治療シミュレーションと処方提案                                         | 33 | 25.8% |
| (10)CAPD 業務 (治療操作・患者教育など)                                  | 26 | 20.3% |
| (11)PD カテーテル先端チューブの交換                                      | 20 | 15.6% |
| (12)PD カテーテル出口部の観察                                         | 19 | 14.8% |
| (13)PD カテーテル出口部の消毒                                         | 13 | 10.2% |
| (14)遠隔モニタリング管理業務                                           | 85 | 66.4% |
| (15)在宅患者宅への訪問 (在宅 PD 関連機器業務を含む)                            | 16 | 12.5% |
| (16)腹膜透析排液からの検体採取                                          | 20 | 15.6% |
| (17)体液量の測定 (インピーダンス法などを含む)                                 | 12 | 9.4%  |
| (18)医師の指示を受けての処方設定変更                                       | 41 | 32.0% |
| (19)PD カテーテル手術業務                                           | 8  | 6.3%  |
| (20)PD 関連のオンコール対応                                          | 17 | 13.3% |
| (21)その他                                                    | 3  | 2.3%  |
| その他内訳：入院腹膜透析患者の透析液管理 (PET 時含む) 1, PD 関連手術 1, 腹膜透析教育研修の講師 1 |    |       |

解説：CEがPD業務を行っている施設で、CEが行っている業務は、遠隔モニタリング管理業務が66%、次いで院内のPD関連機器管理業務が52%であった。



問8 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。PD業務に関わっているCEの人数を教えてください。（単一回答）

目的：所属施設でPD業務にCEが関わっている人数を把握する。

定義：PD業務にCEが関わっている人数を選択してください。

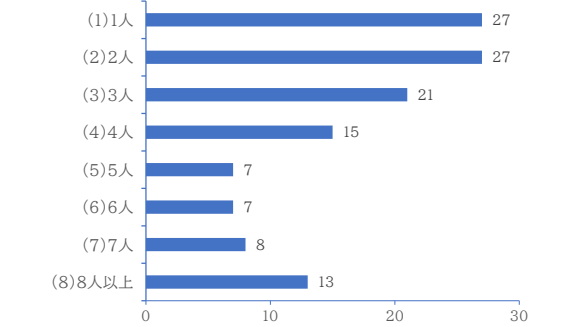
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：125

| 項目       | n  | 割合    |
|----------|----|-------|
| (1)1 人   | 27 | 21.6% |
| (2)2 人   | 27 | 21.6% |
| (3)3 人   | 21 | 16.8% |
| (4)4 人   | 15 | 12.0% |
| (5)5 人   | 7  | 5.6%  |
| (6)6 人   | 7  | 5.6%  |
| (7)7 人   | 8  | 6.4%  |
| (8)8 人以上 | 13 | 10.4% |

解説：PD業務に関与しているCEの人数は、1人と2人が一番多く22%、8人以上関与している施設が10%であった。

問8 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。PD業務に関わっているCEの人数を教えてください。（単一回答） n=125



問9 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。

PD業務にCEが関与したきっかけについて回答してください。(複数回答)

目的：CEのPD業務参入理由を把握する

定義：PD業務にCEが関与したきっかけを選択してください。

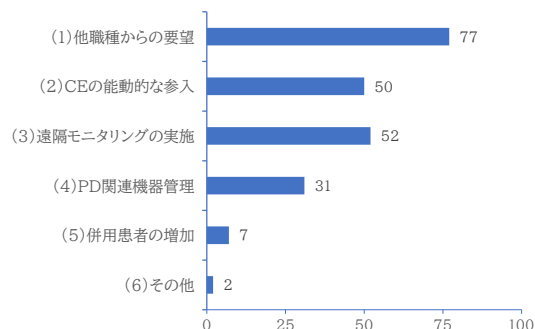
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：128

| 項目                              | n  | 割合    |
|---------------------------------|----|-------|
| (1)他職種からの要望                     | 77 | 60.2% |
| (2)CEの能動的な参入                    | 50 | 39.1% |
| (3)遠隔モニタリングの実施                  | 52 | 40.6% |
| (4)PD関連機器管理                     | 31 | 24.2% |
| (5)併用患者の増加                      | 7  | 5.5%  |
| (6)その他                          | 2  | 1.6%  |
| その他内訳：腎代替療法専門指導士を取得したから 1,未記載 1 |    |       |

解説：PD業務に関与したきっかけについて、多職種の要望で始めた施設が60%と一番多く、次いで遠隔モニタリングの実施が41%であった。

問9 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。PD業務にCEが関与したきっかけについて回答してください。(複数回答) n=128



問10 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入することにより、どのような点が向上しましたか。(複数回答)

目的：CEがPD業務に参入したことによる利益を把握する。

定義：CEがPD業務に参入することにより向上したと思われるものを選択してください。

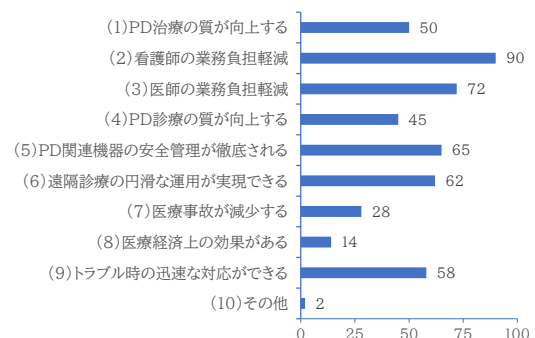
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：127

| 項目                                 | n  | 割合    |
|------------------------------------|----|-------|
| (1)PD治療の質が向上する                     | 50 | 39.4% |
| (2)看護師の業務負担軽減                      | 90 | 70.9% |
| (3)医師の業務負担軽減                       | 72 | 56.7% |
| (4)PD診療の質が向上する                     | 45 | 35.4% |
| (5)PD関連機器の安全管理が徹底される               | 65 | 51.2% |
| (6)遠隔診療の円滑な運用が実現できる                | 62 | 48.8% |
| (7)医療事故が減少する                       | 28 | 22.0% |
| (8)医療経済上の効果がある                     | 14 | 11.0% |
| (9)トラブル時の迅速な対応ができる                 | 58 | 45.7% |
| (10)その他                            | 2  | 1.6%  |
| その他内訳：オペ介助に伴い導入オペのみ担当となった 1,特に無し 1 |    |       |

解説：CEがPD業務に参入することにより向上した点について、看護師の業務負担軽減が71%と一番多く、次いで医師の業務負担軽減が57%であった。

問10 設問3で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入することにより、どのような点が向上しましたか。(複数回答) n=127



問 11 院内の PD 関連機器管理を実施している職種を回答してください。（複数回答）

目的：PD 関連機器は生命維持管理装置に該当する。所属施設で PD 関連機器管理を実施している職種を把握する。

定義：院内の PD 関連機器管理を行っている主な職種を選択してください。

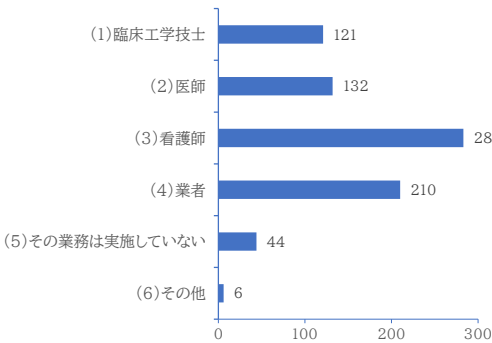
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：456

| 項目                                                                                              | n   | 割合    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                                                                                       | 121 | 26.5% |
| (2)医師                                                                                           | 132 | 28.9% |
| (3)看護師                                                                                          | 283 | 62.1% |
| (4)業者                                                                                           | 210 | 46.1% |
| (5)その業務は実施していない                                                                                 | 44  | 9.6%  |
| (6)その他                                                                                          | 6   | 1.3%  |
| その他内訳：医療クラーク 1,栄養士・ケースワーカー・事務員 1,薬剤師 1,介入していないのでわからない 1,PD 関連機器はない 1,入院患者のみ対応しているため、患者が持参している 1 |     |       |

解説：院内の PD 関連機器管理を実施している職種について、看護師の 62% が一番多く、次いで業者の 46%、臨床工学技士は 27% であった。

問11 院内のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。（複数回答） n=456



問 12 院内の PD 関連機器管理は何を実施していますか。他職種が実施している内容も含め回答してください。（複数回答）

目的：PD 関連機器は生命維持管理装置に該当する。所属施設で PD 関連機器管理状況を把握する。

定義：院内の PD 関連機器管理内容を選択してください。

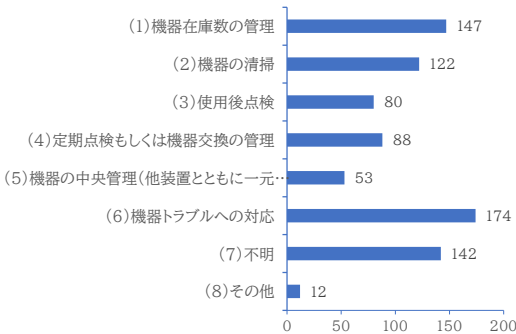
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：386

| 項目                                                                                                                           | n   | 割合    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)機器在庫数の管理                                                                                                                  | 147 | 38.1% |
| (2)機器の清掃                                                                                                                     | 122 | 31.6% |
| (3)使用後点検                                                                                                                     | 80  | 20.7% |
| (4)定期点検もしくは機器交換の管理                                                                                                           | 88  | 22.8% |
| (5)機器の中央管理(他装置とともに一元管理)                                                                                                      | 53  | 13.7% |
| (6)機器トラブルへの対応                                                                                                                | 174 | 45.1% |
| (7)不明                                                                                                                        | 142 | 36.8% |
| (8)その他                                                                                                                       | 12  | 3.1%  |
| その他内訳： 不明 3,透析液・診療材料の管理 2,主に看護師が担当・場所の提供と機器の把握のみ CE 1,患者のリース機器なのでメーカーが管理 1,院内機器の一括管理からスタート 1,症例数が少ないため都度業者から機器の貸出を行い看護師へ依頼 1 |     |       |

解説：院内の PD 関連機器管理の実施について、機器トラブルへの対応が一番多く 45%、次いで機器在庫数の管理が 38% であった。

問12 院内のPD関連機器管理は何を実施していますか。他職種が実施している内容も含め回答してください。（複数回答） n=386



問 13 患者宅の PD 関連機器管理を実施している職種を回答してください。（複数回答）

目的：PD 関連機器は生命維持管理装置に該当する。在宅環境で PD 関連機器管理を実施している職種を把握する。

定義：患者宅の PD 関連機器管理を行っている主な職種を選択してください。

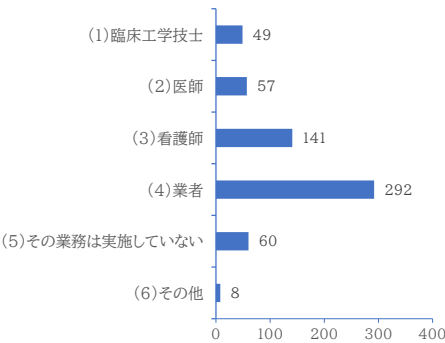
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：449

| 項目                                          | n   | 割合    |
|---------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                                   | 49  | 10.9% |
| (2)医師                                       | 57  | 12.7% |
| (3)看護師                                      | 141 | 31.4% |
| (4)業者                                       | 292 | 65.0% |
| (5)その業務は実施していない                             | 60  | 13.4% |
| (6)その他                                      | 8   | 1.8%  |
| その他内訳：わからない・不明 5, 訪問看護師 1, 訪問看護師・ケアマネージャー 1 |     |       |

解説：患者宅の PD 関連機器管理を実施している職種について、業者の 65% が一番多く、次いで看護師の 31% であった。

問13 患者宅のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。（複数回答） n=449



問 14 患者宅の PD 関連機器管理・対応は何を実施していますか。他職種が実施している内容も含め回答してください。（複数回答）

目的：PD 関連機器は生命維持管理装置に該当する。在宅環境で PD 関連機器管理状況を把握する。

定義：患者宅の PD 関連機器管理内容を選択してください。

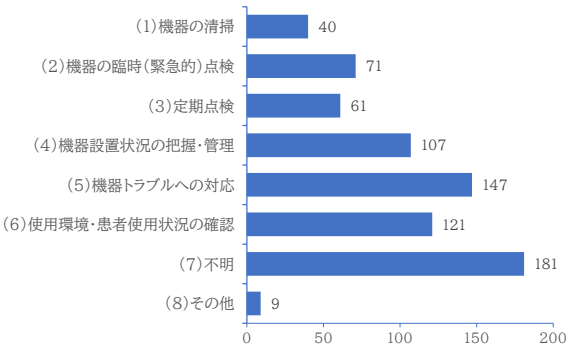
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：380

| 項目                                                                       | n   | 割合    |
|--------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)機器の清掃                                                                 | 40  | 10.5% |
| (2)機器の臨時(緊急的)点検                                                          | 71  | 18.7% |
| (3)定期点検                                                                  | 61  | 16.1% |
| (4)機器設置状況の把握・管理                                                          | 107 | 28.2% |
| (5)機器トラブルへの対応                                                            | 147 | 38.7% |
| (6)使用環境・患者使用状況の確認                                                        | 121 | 31.8% |
| (7)不明                                                                    | 181 | 47.6% |
| (8)その他                                                                   | 9   | 2.4%  |
| その他内訳：未記載 5, 自宅での機器トラブルはメーカーが対応 1, 業者による機器の交換 1, 準備中 1, 介入していないのでわからない 1 |     |       |

解説：患者宅の PD 関連機器管理・対応について多職種が行っていることを含めて、機器トラブルの対応が 39%，使用環境・患者使用状況の確認が 32% であったのに対して、不明が 47% であった。

問14 患者宅のPD関連機器管理・対応は何を実施していますか。他職種が実施している内容も含め回答してください。（複数回答） n=380



問15 PD 遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で遠隔管理システムのモニタリングに関わっている職種を把握する。

定義：PD 遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を選択してください。

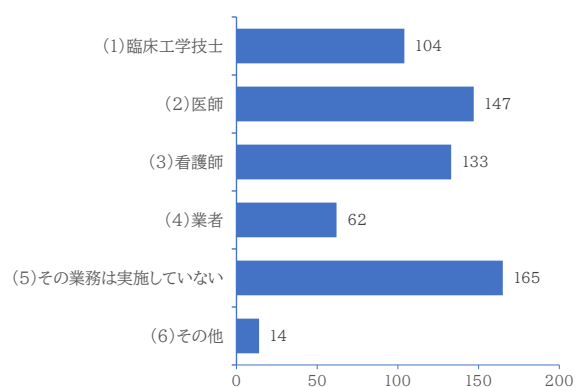
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：444

| 項目                                            | n   | 割合    |
|-----------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                                     | 104 | 23.4% |
| (2)医師                                         | 147 | 33.1% |
| (3)看護師                                        | 133 | 30.0% |
| (4)業者                                         | 62  | 14.0% |
| (5)その業務は実施していない                               | 165 | 37.2% |
| (6)その他                                        | 14  | 3.2%  |
| その他内訳：不明・わからない 8,事務職員 1,今後導入予定 1,臨床工学技士は準備中 1 |     |       |

解説：PD 遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種について、実施していない施設が一番多く 37%、次いで医師が 33% であった。

問15 PD遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を回答してください。(複数回答) n=444



問16 PD 遠隔管理システムのシステム管理（ユーザー管理，患者登録など）を行っている職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で遠隔管理システムのシステム管理に関わっている職種を把握する。

定義：PD 遠隔管理システムのシステム管理（ユーザー管理，患者登録など）を行っている職種を選択してください。

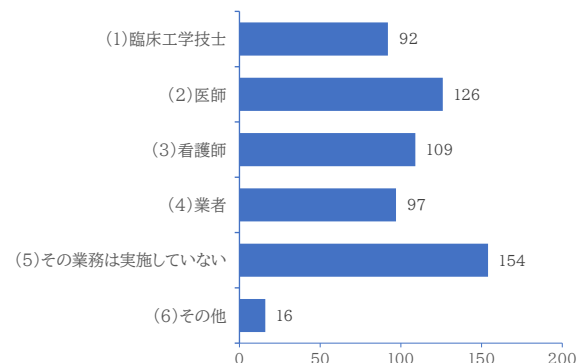
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：429

| 項目                                                   | n   | 割合    |
|------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                                            | 92  | 21.4% |
| (2)医師                                                | 126 | 29.4% |
| (3)看護師                                               | 109 | 25.4% |
| (4)業者                                                | 97  | 22.6% |
| (5)その業務は実施していない                                      | 154 | 35.9% |
| (6)その他                                               | 16  | 3.7%  |
| その他内訳：不明・わからない 10,事務職員 1,臨床工学技士が管理していく予定 1,情報システム部 1 |     |       |

解説：PD 遠隔管理システムのシステム管理を行っている職種について、実施していない施設が一番多く 36%、次いで医師が 29% であった。

問16 PD遠隔管理システムのシステム管理(ユーザー管理，患者登録など)を行っている職種を回答してください。(複数回答) n=429



問 17 PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務を回答してください。（複数回答）

目的：所属施設で CE が PD 遠隔管理システムにどの程度関わっているのかを把握する。

定義：PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務を選択してください。

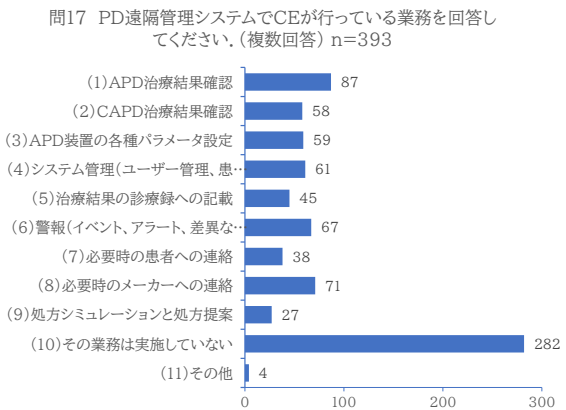
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：393

| 項目                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1)APD 治療結果確認              | 87  | 22.1% |
| (2)CAPD 治療結果確認             | 58  | 14.8% |
| (3)APD 装置の各種パラメータ設定        | 59  | 15.0% |
| (4)システム管理(ユーザー管理, 患者登録など)  | 61  | 15.5% |
| (5)治療結果の診療録への記載            | 45  | 11.5% |
| (6)警報(イベント, アラート, 差異など)の対応 | 67  | 17.0% |
| (7)必要時の患者への連絡              | 38  | 9.7%  |
| (8)必要時のメーカーへの連絡            | 71  | 18.1% |
| (9)処方シミュレーションと処方提案         | 27  | 6.9%  |
| (10)その業務は実施していない           | 282 | 71.8% |
| (11)その他                    | 4   | 1.0%  |

その他内訳:先生から言われた項目を見て報告する 1,わからない 1,すべてを行う前提で準備中 1

解説：PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務について、その業務を実施していない施設以外では、APD 治療結果確認が一番多く 22%，次いで必要時のメーカーへの連絡が 18% であった。



問 18 「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。（複数回答）

目的：所属施設で「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている職種を把握する。

定義：「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

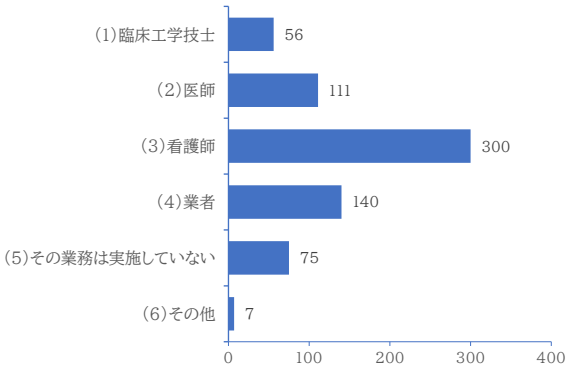
有効回答数：443

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士       | 56  | 12.6% |
| (2)医師           | 111 | 25.1% |
| (3)看護師          | 300 | 67.7% |
| (4)業者           | 140 | 31.6% |
| (5)その業務は実施していない | 75  | 16.9% |
| (6)その他          | 7   | 1.6%  |

その他内訳:不明・わからない 4, 未記載 3

解説：APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育を行っている職種について、看護師が 68% と一番多く、次いで業者の 32% であった。

問18 「APD装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。（複数回答） n=443



問19 「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「APD 装置の設定」を行っている職種を把握する。

定義：「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を選択してください。

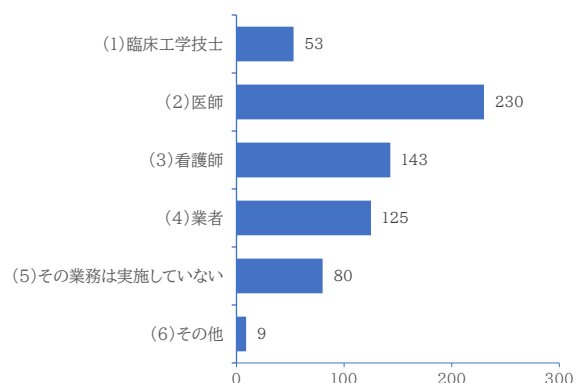
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：437

| 項目                                   | n   | 割合    |
|--------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                            | 53  | 12.1% |
| (2)医師                                | 230 | 52.6% |
| (3)看護師                               | 143 | 32.7% |
| (4)業者                                | 125 | 28.6% |
| (5)その業務は実施していない                      | 80  | 18.3% |
| (6)その他                               | 9   | 2.1%  |
| その他内訳：不明・わからない 5,入院中のみ実施している 1,未記載 3 |     |       |

解説：APD 装置の各種パラメータ設定を行っている職種について、医師が 53% と一番多く、次いで看護師の 33% であった。

問19 「APD装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=437



問20 「PD 外来業務」に携わっている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で PD 外来を担っている職種を把握する。

定義：「PD 外来業務」に携わっている主な職種を選択してください。

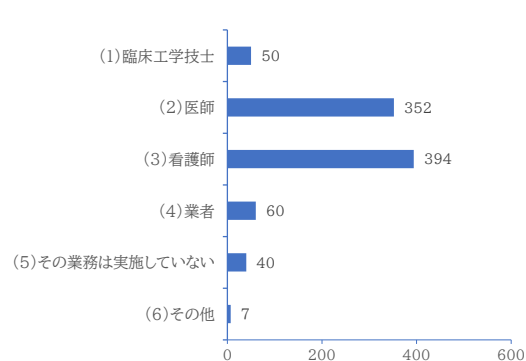
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：453

| 項目                                                          | n   | 割合    |
|-------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                                                   | 50  | 11.0% |
| (2)医師                                                       | 352 | 77.7% |
| (3)看護師                                                      | 394 | 87.0% |
| (4)業者                                                       | 60  | 13.2% |
| (5)その業務は実施していない                                             | 40  | 8.8%  |
| (6)その他                                                      | 7   | 1.5%  |
| その他内訳：APD 患者の PD 外来には立ち会っている 1,栄養士 1,薬剤師 1,不明・わからない 2,未記載 2 |     |       |

解説：PD 外来業務に携わっている職種は、看護師の割合が一番多く 87%、次いで医師の 78% であった。

問20 「PD外来業務」に携わっている主な職種を回答してください。(複数回答) n=453



5. 業務実態報告 2025 施設報告 呼吸治療アドオン

問1 貴施設において、呼吸療法業務に携わっている CE の人数の割合を記載してください。(単一回答)

目的: CE の人員のうち、呼吸療法に関わるスタッフが兼任を含め何 % が携わっているか把握するため。

定義: 貴院の呼吸療法業務に関わっている CE の人員の割合を選択してください。

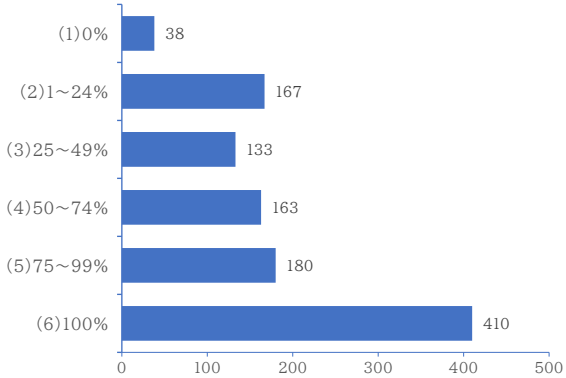
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,091

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)0%     | 38  | 3.5%  |
| (2)1~24%  | 167 | 15.3% |
| (3)25~49% | 133 | 12.2% |
| (4)50~74% | 163 | 14.9% |
| (5)75~99% | 180 | 16.5% |
| (6)100%   | 410 | 37.6% |

解説: 38% の施設で CE が 100% 呼吸療法に従事している。

設問1 貴施設において、呼吸療法業務に携わっている CE の人数の割合を記載してください。(単一回答) n=1091



問2 貴施設において、2024 年度の 1 年間で、CE が新規で介入するようになった呼吸療法業務を記載してください。(複数回答)

目的: CE の呼吸療法業務の新規介入状況を把握する。

定義: 1 年間で新規に関わるようになった呼吸療法業務をすべて選択してください。

対象: 2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日

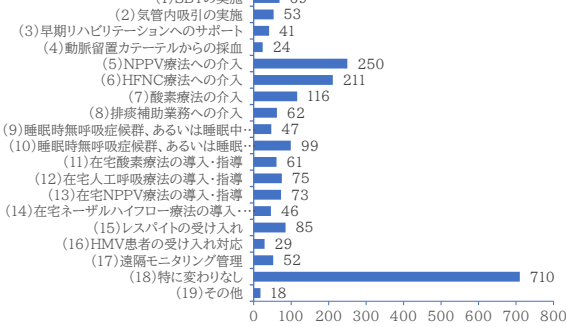
有効回答数: 1,091

| 項目                                                  | n   | 割合    |
|-----------------------------------------------------|-----|-------|
| (1) SBT の実施                                         | 69  | 6.3%  |
| (2) 気管内吸引の実施                                        | 53  | 4.9%  |
| (3) 早期リハビリテーションへのサポート                               | 41  | 3.8%  |
| (4) 動脈留置カテーテルからの採血                                  | 24  | 2.2%  |
| (5) NPPV 療法への介入                                     | 250 | 22.9% |
| (6) HFNC 療法への介入                                     | 211 | 19.3% |
| (7) 酸素療法への介入                                        | 116 | 10.6% |
| (8) 排痰補助業務への介入                                      | 62  | 5.7%  |
| (9) 睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対する PSG などへの介入            | 47  | 4.3%  |
| (10) 睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP・ASV や NPPV への介入 | 99  | 9.1%  |
| (11) 在宅酸素療法の導入・指導                                   | 61  | 5.6%  |
| (12) 在宅人工呼吸療法の導入・指導                                 | 75  | 6.9%  |
| (13) 在宅 NPPV 療法の導入・指導                               | 73  | 6.7%  |
| (14) 在宅ネーザルハイフロー療法の導入・指導                            | 46  | 4.2%  |
| (15) レスパイトの受け入れ                                     | 85  | 7.8%  |
| (16) HMV 患者の受け入れ対応                                  | 29  | 2.7%  |
| (17) 遠隔モニタリング管理                                     | 52  | 4.8%  |
| (18) 特に変わりなし                                        | 710 | 65.1% |
| (19) その他                                            | 18  | 1.6%  |

その他内訳: 回路交換 2, RST 参入 2, HFNC 離脱プロトコル作成 1, 機器搬送 1, アラーム対応 1

解説: 昨年同期、特に変わりなしが 65% と多くを占めた。また新規介入業務では NPPV 療法への参入が 23% と多い結果であった。

設問2 貴施設において、2024 年度の 1 年間で、CE が新規で介入するようになった呼吸療法業務を記載してください。(複数回答) n=1,091



問3 設問2にて「(18) 特に変わりなし」とお答えの施設において、その要因を記載してください。(複数回答)

目的：新規介入できていない要因を把握する。

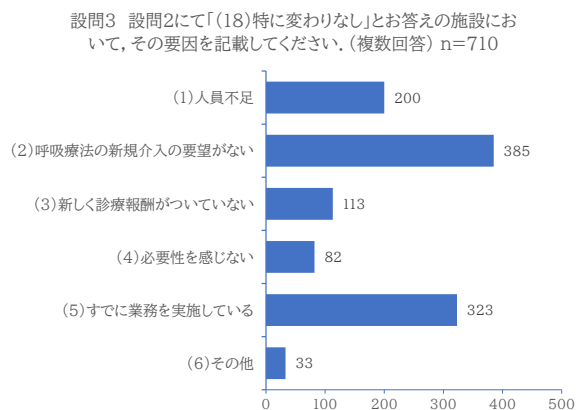
定義：「変わらない」要因で該当するものをすべて選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：710

| 項目                                                                                                                              | n   | 割合    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)人員不足                                                                                                                         | 178 | 25.1% |
| (2)呼吸療法の新規介入の要望がない                                                                                                              | 363 | 51.1% |
| (3)新しく診療報酬がついていない                                                                                                               | 100 | 14.1% |
| (4)必要性を感じない                                                                                                                     | 75  | 10.6% |
| (5)すでに業務を実施している                                                                                                                 | 277 | 39.0% |
| (6)その他                                                                                                                          | 16  | 2.3%  |
| その他内訳：医師・病院・診療科からの要望なし 2,他職種が対応している 3,技士が行う必要性がない 1,呼吸療法の機会が少ない 2,経営・方針上の制約 1,人員配置が困難 1,スキル担保の難しさ 1,現状維持・対応済み 2,業務内容調整中 1,未記載 5 |     |       |

解説：呼吸療法の新規介入の要望がないが51%で多くを占めた。



問4 CEが人工呼吸器(NPPV・麻酔用人工呼吸器除く)について実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的：CEが人工呼吸器において実施する業務を把握する。

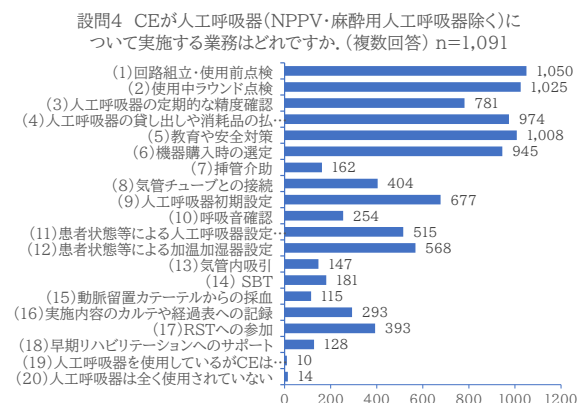
定義：CEが人工呼吸器においてCEが実施する業務をすべて選択してください。※NPPV・麻酔用人工呼吸器除く、一部実施でも選択可能とする。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,091

| 項目                            | n     | 割合    |
|-------------------------------|-------|-------|
| (1)回路組立・使用前点検                 | 1,050 | 96.2% |
| (2)使用中ラウンド点検                  | 1,025 | 94.0% |
| (3)人工呼吸器の定期的な精度確認             | 781   | 71.6% |
| (4)人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し        | 974   | 89.3% |
| (5)教育や安全対策                    | 1,008 | 92.4% |
| (6)機器購入時の選定                   | 945   | 86.6% |
| (7)挿管介助                       | 162   | 14.8% |
| (8)気管チューブとの接続                 | 404   | 37.0% |
| (9)人工呼吸器初期設定                  | 677   | 62.1% |
| (10)呼吸音確認                     | 254   | 23.3% |
| (11)患者状態等による人工呼吸器設定変更         | 515   | 47.2% |
| (12)患者状態等による加温加湿器設定           | 568   | 52.1% |
| (13)気管内吸引                     | 147   | 13.5% |
| (14) SBT                      | 181   | 16.6% |
| (15)動脈留置カテーテルからの採血            | 115   | 10.5% |
| (16)実施内容のカルテや経過表への記録          | 293   | 26.9% |
| (17)RSTへの参加                   | 393   | 36.0% |
| (18)早期リハビリテーションへのサポート         | 128   | 11.7% |
| (19)人工呼吸器を使用しているがCEは全く関与していない | 10    | 0.9%  |
| (20)人工呼吸器は全く使用されていない          | 14    | 1.3%  |

解説：回路組立・使用中点検が96%と多く、次いで使用中ラウンド点検94%，教育や安全対策92%であった。



問5 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的: CEがNPPVについて実施する業務を把握する。

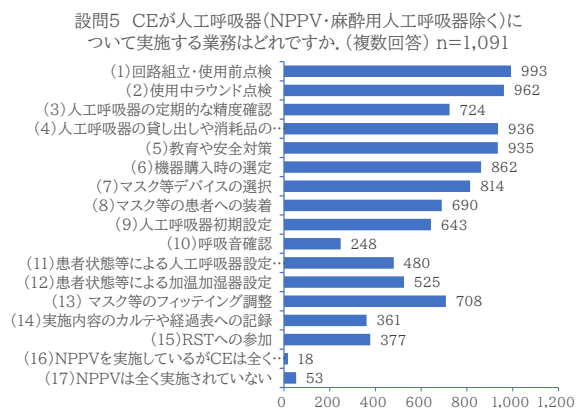
定義: CEがNPPVについて実施する業務をすべて選択してください。※一部実施でも選択可能とする。

対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,091

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1)回路組立・使用前点検                | 993 | 91.0% |
| (2)使用中ラウンド点検                 | 962 | 88.2% |
| (3)人工呼吸器の定期的な精度確認            | 724 | 66.4% |
| (4)人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し       | 936 | 85.8% |
| (5)教育や安全対策                   | 935 | 85.7% |
| (6)機器購入時の選定                  | 862 | 79.0% |
| (7)マスク等デバイスの選択               | 814 | 74.6% |
| (8)マスク等の患者への装着               | 690 | 63.2% |
| (9)人工呼吸器初期設定                 | 643 | 58.9% |
| (10)呼吸音確認                    | 248 | 22.7% |
| (11)患者状態等による人工呼吸器設定変更        | 480 | 44.0% |
| (12)患者状態等による加温加湿器設定          | 525 | 48.1% |
| (13)マスク等のフィッティング調整           | 708 | 64.9% |
| (14)実施内容のカルテや経過表への記録         | 361 | 33.1% |
| (15)RSTへの参加                  | 377 | 34.6% |
| (16)NPPVを実施しているがCEは全く関与していない | 18  | 1.6%  |
| (17)NPPVは全く実施されていない          | 53  | 4.9%  |

解説: 回路組立・使用中点検が91%と多く、次いで使用中ラウンド点検88%, 人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し86%であった。



問6 CEが人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。(単一回答)

目的: CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施する割合を把握する。

定義: CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施する割合を選択してください。

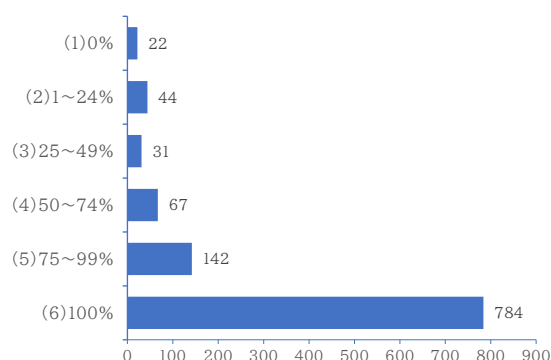
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,090

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)0%     | 22  | 2.0%  |
| (2)1~24%  | 44  | 4.0%  |
| (3)25~49% | 31  | 2.8%  |
| (4)50~74% | 67  | 6.1%  |
| (5)75~99% | 142 | 13.0% |
| (6)100%   | 784 | 71.9% |

解説: 100%実施しているが72%であった。

設問6 CEが人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。(単一回答) n=1,090



問7 CEが人工呼吸器(NPPV含む)1台あたりの回路組立・使用前点検に要している時間はどれくらいですか。(単一回答)

目的: CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検の実施に要する時間を把握する。

定義: CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検に要している時間を選択してください。

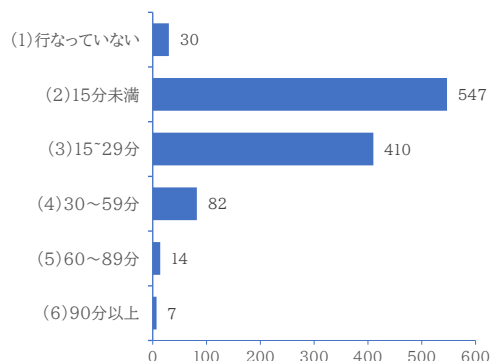
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,090

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)行っていない | 30  | 2.8%  |
| (2)15分未満  | 547 | 50.2% |
| (3)15~29分 | 410 | 37.6% |
| (4)30~59分 | 82  | 7.5%  |
| (5)60~89分 | 14  | 1.3%  |
| (6)90分以上  | 7   | 0.6%  |

解説：15分未満が50%であり、次いで15分から29分が38%であった。

設問7 CEが人工呼吸器(NPPV含む)1台あたりの回路組立・使用前点検に要している時間はどれくらいですか？  
(単一回答) n=1,090



問8 CEが人工呼吸器(NPPV含む)1台あたりの使用中点検に要している時間はどれくらいですか？(単一回答)

目的：CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の使用 midpoint 検査の実施に要する時間を把握する。

定義：CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の使用 midpoint 検査に要している時間を選択してください。

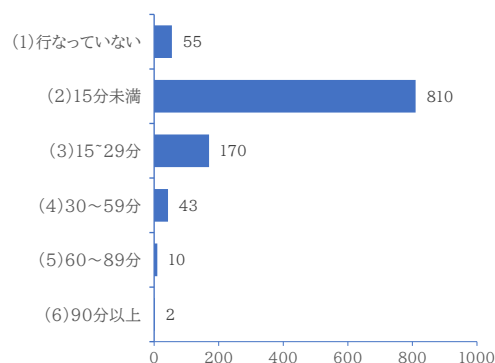
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,090

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)行っていない | 55  | 5.0%  |
| (2)15分未満  | 810 | 74.3% |
| (3)15~29分 | 170 | 15.6% |
| (4)30~59分 | 43  | 3.9%  |
| (5)60~89分 | 10  | 0.9%  |
| (6)90分以上  | 2   | 0.2%  |

解説：15分未満が74%であり、次いで15分から29分が16%であった。

設問8 CEが人工呼吸器(NPPV含む)1台あたりの使用中点検に要している時間はどれくらいですか？  
(単一回答) n=1,090



問9 CEは人工呼吸器使用開始時の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の状況を把握する。

定義：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の程度を選択してください。

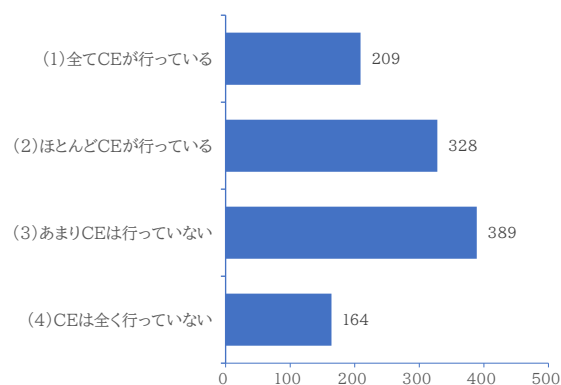
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,090

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)全てCEが行っている   | 209 | 19.2% |
| (2)ほとんどCEが行っている | 328 | 30.1% |
| (3)あまりCEは行っていない | 389 | 35.7% |
| (4)CEは全く行っていない  | 164 | 15.0% |

解説：ほとんどCEが行っている30%，あまりCEは行っていない36%が多く、15%の施設では全く行っていなかった。

設問9 CEは人工呼吸器使用開始時の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答) n=1,090



問10 CEは院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。(複数回答)

目的：CEが行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を把握する。

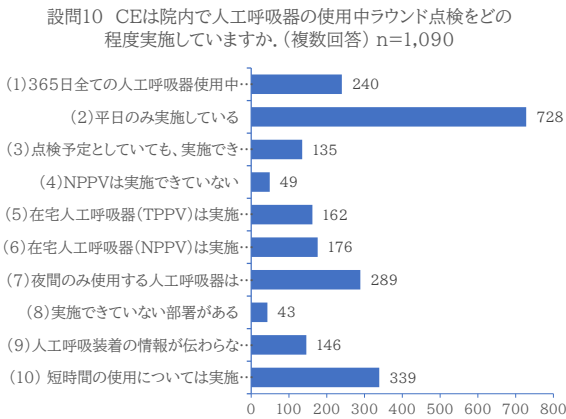
定義：CEが院内で行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,090

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)365日全ての人工呼吸器使用中ラウンド点検を実施している | 240 | 22.0% |
| (2)平日のみ実施している                   | 728 | 66.8% |
| (3)点検予定としていても、実施できていない日がある      | 135 | 12.4% |
| (4)NPPVは実施できていない                | 49  | 4.5%  |
| (5)在宅人工呼吸器(TPPV)は実施できていない       | 162 | 14.9% |
| (6)在宅人工呼吸器(NPPV)は実施できていない       | 176 | 16.1% |
| (7)夜間のみ使用する人工呼吸器は実施できていない       | 289 | 26.5% |
| (8)実施できていない部署がある                | 43  | 3.9%  |
| (9)人工呼吸装着の情報が伝わらない場合がある         | 146 | 13.4% |
| (10)短時間の使用については実施できない場合がある      | 339 | 31.1% |

解説：67%の施設で平日のみ実施している。また31%の施設では、短期間使用患者の点検が実施できていない場合がある。



問 11 CE が人工呼吸器設定変更のアセスメントとして何をしていますか。(複数回答)

目的：CE が行う人工呼吸器設定をするうえで必要なツールを把握し、呼吸状態を評価した上で設定変更に関わっているか把握する。

定義：CE が院内で行う人工呼吸器設定に用いている評価ツールを選択してください。

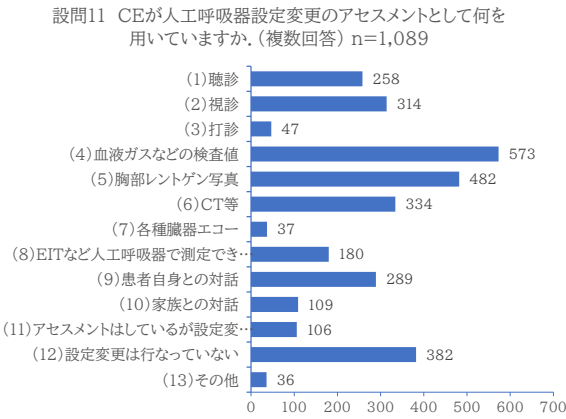
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,089

| 項目                            | n   | 割合    |
|-------------------------------|-----|-------|
| (1)聴診                         | 258 | 23.7% |
| (2)視診                         | 314 | 28.8% |
| (3)打診                         | 47  | 4.3%  |
| (4)血液ガスなどの検査値                 | 573 | 52.6% |
| (5)胸部レントゲン写真                  | 482 | 44.3% |
| (6)CT 等                       | 334 | 30.7% |
| (7)各種臓器エコー                    | 37  | 3.4%  |
| (8)EIT など人工呼吸器で測定できるデータ       | 180 | 16.5% |
| (9)患者自身との対話                   | 289 | 26.5% |
| (10)家族との対話                    | 109 | 10.0% |
| (11)アセスメントはしているが設定変更には関与していない | 106 | 9.7%  |
| (12)設定変更は行っていない               | 382 | 35.1% |
| (13)その他                       | 36  | 3.3%  |

その他内訳:医師指示 14, グラフィック波形 2, 生体情報モニタ 2, 全て 1, 初期設定のみ 1, 未記載 8

解説：アセスメントツールとして53%が血液ガスなどの検査値を用いていた。一方で35%が設定変更は行っていない。



問 12 CE が1患者あたり、人工呼吸器設定変更のアセスメントに要している時間はどれくらいですか？(単一回答)

目的：CE が呼吸状態を評価した上で人工呼吸器設定設定変更に関わっている時間を把握する。

定義：CE が院内で行う人工呼吸器設定においてアセスメントに要している時間を選択してください。

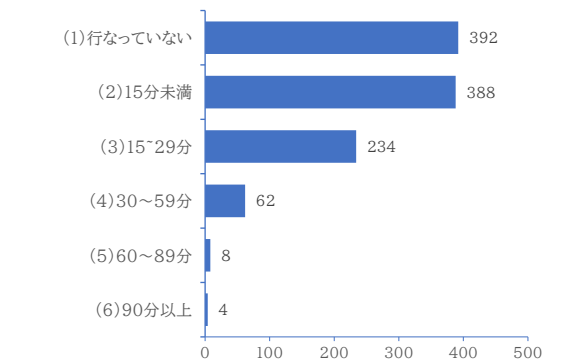
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,088

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)行っていない  | 392 | 36.0% |
| (2)15 分未満  | 388 | 35.7% |
| (3)15～29 分 | 234 | 21.5% |
| (4)30～59 分 | 62  | 5.7%  |
| (5)60～89 分 | 8   | 0.7%  |
| (6)90 分以上  | 4   | 0.4%  |

解説：行っていないが36%であり、次いで15分未満が36%であった。

設問12 CEが1患者あたり、人工呼吸器設定変更のアセスメントに要している時間はどれくらいですか？(単一回答) n=1,088



問13 CEが「血液ガス分析のための動脈留置カテーテル採血」をどの程度実施していますか（単一回答）

目的：CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を把握する。

定義：CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を選択してください。

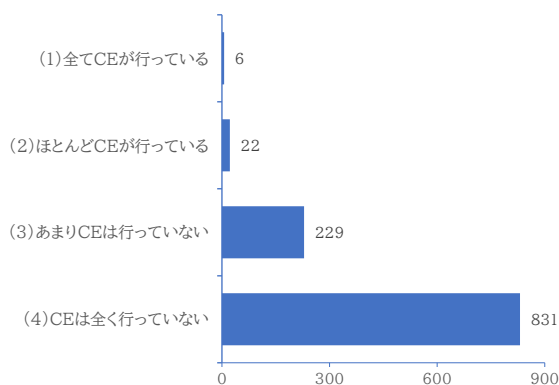
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,088

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1) 全てCEが行っている   | 6   | 0.6%  |
| (2) ほとんどCEが行っている | 22  | 2.0%  |
| (3) あまりCEは行っていない | 229 | 21.0% |
| (4) CEは全く行っていない  | 831 | 76.4% |

解説：77%の施設で動脈留置カテーテル採血が行われていない。

設問13 CEが「血液ガス分析のための動脈留置カテーテル採血」をどの程度実施していますか（単一回答） n=1,088



問14 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。（単一回答）

目的：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を把握する。

定義：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を選択してください。

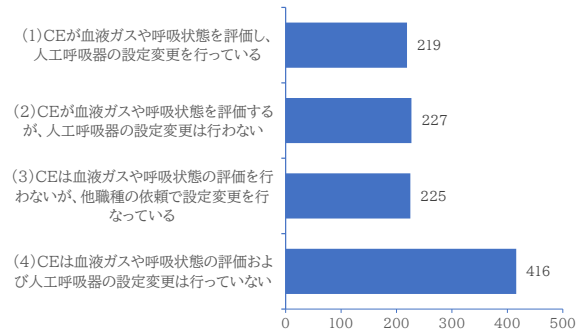
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,087

| 項目                                           | n   | 割合    |
|----------------------------------------------|-----|-------|
| (1) CEが血液ガスや呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更を行っている        | 219 | 20.1% |
| (2) CEが血液ガスや呼吸状態を評価するが、人工呼吸器の設定変更は行わない       | 227 | 20.9% |
| (3) CEは血液ガスや呼吸状態の評価を行わないが、他職種の依頼で設定変更を行なっている | 225 | 20.7% |
| (4) CEは血液ガスや呼吸状態の評価および人工呼吸器の設定変更は行っていない      | 416 | 38.3% |

解説：20%の施設で血液ガスや呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更を行っている。

設問14 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。（単一回答） n=1,087



問15 CEは人工呼吸器装着患者のSBTをどの程度実施していますか。（単一回答）

目的：CEが実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を把握する。

定義：CEが具体的指示を受けて実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を選択してください。 ※ SBTとは自発呼吸試験とする。

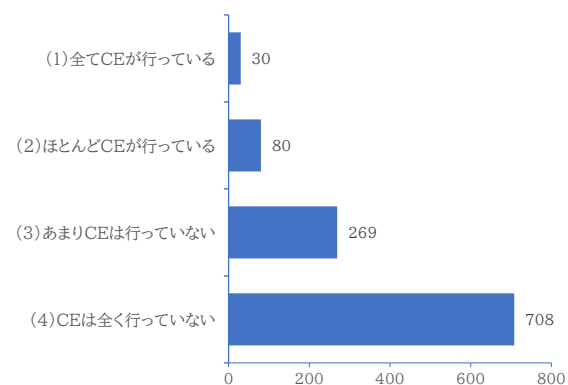
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,087

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1) 全てCEが行っている   | 30  | 2.8%  |
| (2) ほとんどCEが行っている | 80  | 7.4%  |
| (3) あまりCEは行っていない | 269 | 24.7% |
| (4) CEは全く行っていない  | 708 | 65.1% |

解説：65%の施設で行われておらず、昨年と同様の結果であった。

設問15 CEは人工呼吸器装着患者のSBTをどの程度実施していますか。（単一回答） n=1,087



問 16 CE は人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答)

目的：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を選択してください。

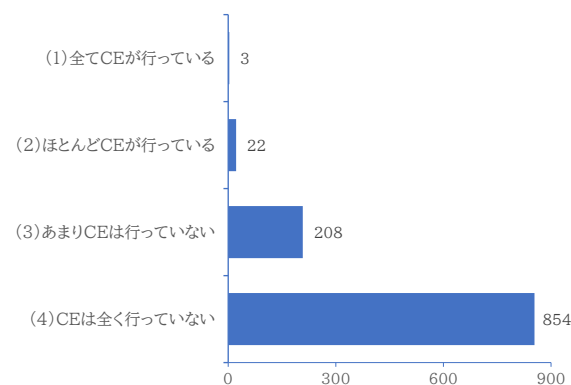
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,087

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1) 全て CE が行っている   | 3   | 0.3%  |
| (2) ほとんど CE が行っている | 22  | 2.0%  |
| (3) あまり CE は行っていない | 208 | 19.1% |
| (4) CE は全く行っていない   | 854 | 78.6% |

解説：79%の施設で全く行われておらず、昨年と同様の結果であった。

設問16 CEは人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答) n=1,087



問 17 CE が HFNC において実施する業務どれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する HFNC の状況を把握する。

定義：CE が実施する HFNC の状況を選択してください。

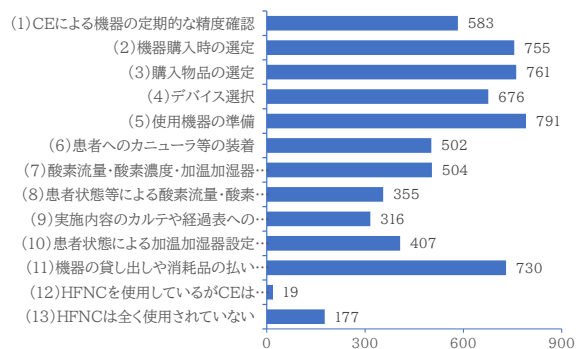
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,086

| 項目                               | n   | 割合    |
|----------------------------------|-----|-------|
| (1) CE による機器の定期的な精度確認            | 583 | 53.7% |
| (2) 機器購入時の選定                     | 755 | 69.5% |
| (3) 購入物品の選定                      | 761 | 70.1% |
| (4) デバイス選択                       | 676 | 62.2% |
| (5) 使用機器の準備                      | 791 | 72.8% |
| (6) 患者へのカニユーラ等の装着                | 502 | 46.2% |
| (7) 酸素流量・酸素濃度・加温加湿器設定            | 504 | 46.4% |
| (8) 患者状態等による酸素流量・酸素濃度の変更         | 355 | 32.7% |
| (9) 実施内容のカルテや経過表への記録             | 316 | 29.1% |
| (10) 患者状態による加温加湿器設定の変更           | 407 | 37.5% |
| (11) 機器の貸し出しや消耗品の払い出し            | 730 | 67.2% |
| (12) HFNC を使用しているが CE は全く関与していない | 19  | 1.7%  |
| (13) HFNC は全く使用されていない            | 177 | 16.3% |

解説：使用機器の準備が 73% と多く、次いで物品購入の選定、機器購入時の選定であった。

設問17 CEがHFNCにおいて実施する業務どれですか。(複数回答) n=1,086



問 18 CE が酸素療法（HFNC は除く）について実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する酸素療法（HFNC は除く）の状況を把握する。

定義：CE が実施する酸素療法（HFNC は除く）の状況を選択してください。

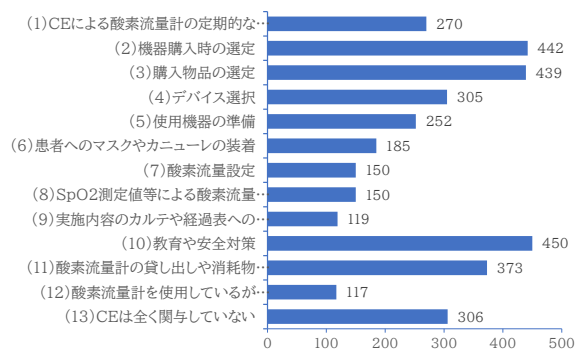
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,085

| 項目                               | n   | 割合    |
|----------------------------------|-----|-------|
| (1) CE による酸素流量計の定期的な精度確認         | 270 | 24.9% |
| (2) 機器購入時の選定                     | 442 | 40.7% |
| (3) 購入物品の選定                      | 439 | 40.5% |
| (4) デバイス選択                       | 305 | 28.1% |
| (5) 使用機器の準備                      | 252 | 23.2% |
| (6) 患者へのマスクやカニユーレの装着             | 185 | 17.1% |
| (7) 酸素流量設定                       | 150 | 13.8% |
| (8) SpO2 測定値等による酸素流量の変更          | 150 | 13.8% |
| (9) 実施内容のカルテや経過表への記録             | 119 | 11.0% |
| (10) 教育や安全対策                     | 450 | 41.5% |
| (11) 酸素流量計の貸し出しや消耗品の払い出し         | 373 | 34.4% |
| (12) 酸素流量計を使用しているが CE は全く関与していない | 117 | 10.8% |
| (13) CE は全く関与していない               | 306 | 28.2% |

解説：教育や安全対策が 42% であった。

設問18 CEが酸素療法(HFNCは除く)について実施する業務はどれですか。(複数回答) n=1,085



問 19 CE が実施する排痰補助装置の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が実施する排痰補助装置の状況を把握する。

定義：CE が実施する排痰補助装置の状況を選択してください。

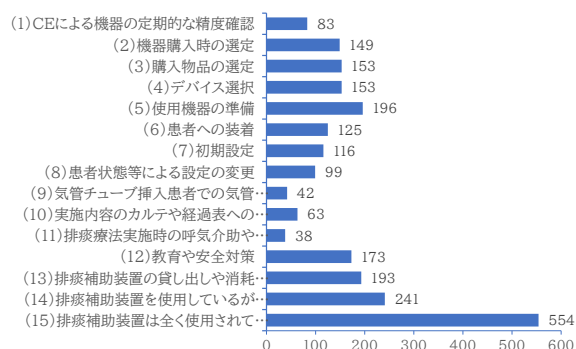
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,085

| 項目                               | n   | 割合    |
|----------------------------------|-----|-------|
| (1)CE による機器の定期的な精度確認             | 83  | 7.6%  |
| (2)機器購入時の選定                      | 149 | 13.7% |
| (3)購入物品の選定                       | 153 | 14.1% |
| (4)デバイス選択                        | 153 | 14.1% |
| (5)使用機器の準備                       | 196 | 18.1% |
| (6)患者への装着                        | 125 | 11.5% |
| (7)初期設定                          | 116 | 10.7% |
| (8)患者状態等による設定の変更                 | 99  | 9.1%  |
| (9)気管チューブ挿入患者での気管内吸引             | 42  | 3.9%  |
| (10)実施内容のカルテや経過表への記録             | 63  | 5.8%  |
| (11)排痰療法実施時の呼吸介助やスクイーミング         | 38  | 3.5%  |
| (12)教育や安全対策                      | 173 | 15.9% |
| (13)排痰補助装置の貸し出しや消耗品の払い出し         | 193 | 17.8% |
| (14)排痰補助装置を使用しているが CE は全く関与していない | 241 | 22.2% |
| (15)排痰補助装置は全く使用されていない            | 554 | 51.1% |

解説：22%の施設で排痰補助装置を使用しているが CE は全く関与しておらず、11%の施設で初期設定を行っている。

設問19 CEが実施する排痰補助装置の業務はどれですか。  
（複数回答） n=1,085



問 20 CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を選択してください。

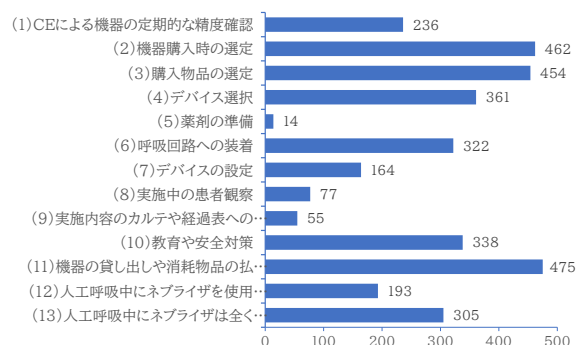
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,085

| 項目                                  | n   | 割合    |
|-------------------------------------|-----|-------|
| (1)CE による機器の定期的な精度確認                | 236 | 21.8% |
| (2)機器購入時の選定                         | 462 | 42.6% |
| (3)購入物品の選定                          | 454 | 41.8% |
| (4)デバイス選択                           | 361 | 33.3% |
| (5)薬剤の準備                            | 14  | 1.3%  |
| (6)呼吸回路への装着                         | 322 | 29.7% |
| (7)デバイスの設定                          | 164 | 15.1% |
| (8)実施中の患者観察                         | 77  | 7.1%  |
| (9)実施内容のカルテや経過表への記録                 | 55  | 5.1%  |
| (10)教育や安全対策                         | 338 | 31.2% |
| (11)機器の貸し出しや消耗品の払い出し                | 475 | 43.8% |
| (12)人工呼吸中にネブライザを使用するが CE は全く関与していない | 193 | 17.8% |
| (13)人工呼吸中にネブライザは全く使用されていない          | 305 | 28.1% |

解説：機器の貸出や消耗品の払い出しが 44%と多く、次いで機器購入時の選定が 43%であった。

設問20 CEが実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。（複数回答） n=1,085



問 21 CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP・ASV や NPPV の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP、ASV や NPPV の業務の状況を把握する。

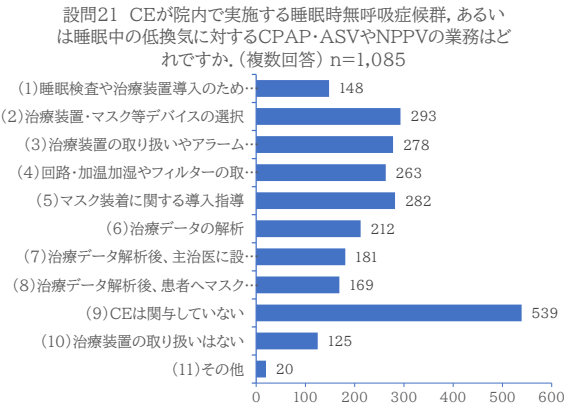
定義：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP、ASV や NPPV の業務の状況を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,085

| 項目                                                                           | n   | 割合    |
|------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)睡眠検査や治療装置導入のための検査、あるいは評価の業務に関わっている。                                       | 148 | 13.6% |
| (2)治療装置・マスク等デバイスの選択                                                          | 293 | 27.0% |
| (3)治療装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導                                                | 278 | 25.6% |
| (4)回路・加温加湿やフィルターの取り扱いに関する導入指導                                                | 263 | 24.2% |
| (5)マスク装着に関する導入指導                                                             | 282 | 26.0% |
| (6)治療データの解析                                                                  | 212 | 19.5% |
| (7)治療データ解析後、主治医に設定圧の変更提案やマスクや治療装置の変更提案を行っている                                 | 181 | 16.7% |
| (8)治療データ解析後、患者へマスクフィッティングの再指導を行っている                                          | 169 | 15.6% |
| (9)CEは関与していない                                                                | 539 | 49.7% |
| (10)治療装置の取り扱いはない                                                             | 125 | 11.5% |
| (11)その他                                                                      | 20  | 1.8%  |
| その他内訳:持込機器の管理 5,依頼事対応 3,メーカーとのやり取り 2,遠隔モニタリング 1,事務作業 1,貸出返却 1,故障対応 1,指示書管理 1 |     |       |

解説：50%の施設で CE が関与していない。



問 22 在宅呼吸療法（TPPV・NPPV・CPAP・HFNC・HOT など）を使用されている患者が入院された際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅呼吸療法の具体的な内容の把握する。

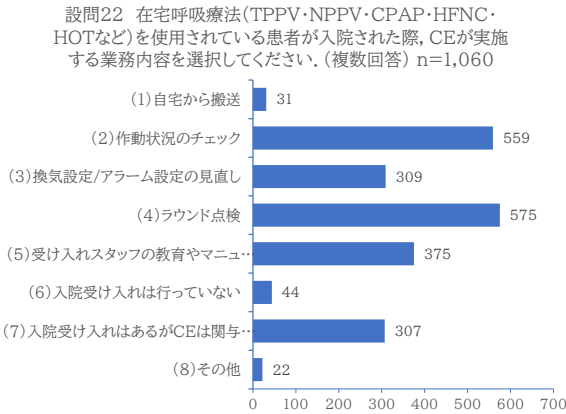
定義：CE が入院時の在宅呼吸療法に関して実施する業務を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,060

| 項目                                                                    | n   | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)自宅から搬送                                                             | 31  | 2.9%  |
| (2)作動状況のチェック                                                          | 559 | 52.7% |
| (3)換気設定/アラーム設定の見直し                                                    | 309 | 29.2% |
| (4)ラウンド点検                                                             | 575 | 54.2% |
| (5)受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備                                               | 375 | 35.4% |
| (6)入院受け入れは行っていない                                                      | 44  | 4.2%  |
| (7)入院受け入れはあるが CE は関与していない                                             | 307 | 29.0% |
| (8)その他                                                                | 22  | 2.1%  |
| その他内訳:依頼があれば介入 6,乗客連絡 2,経験がない 1,受け入れしているのわからない 1,回路交換 1,事務処理 1,自宅搬送 1 |     |       |

解説：ラウンド点検が 54%であり、次いで作動状況のチェックが 53%であった。



6. 業務実態報告 2025 施設報告 在宅呼吸アドオン  
問1 CEが在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください。(複数回答)

目的:在宅治療の実施状況を把握する。

定義:在宅治療を実施している機器を選択してください。

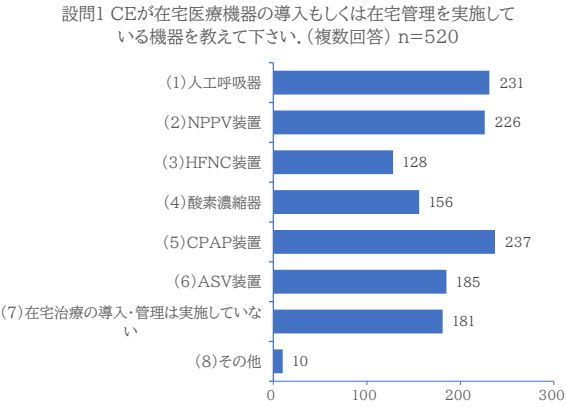
対象:2025年10月1日時点

有効回答数:520

| 項目                    | n   | 割合    |
|-----------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器              | 231 | 44.4% |
| (2)NPPV装置             | 226 | 43.5% |
| (3)HFNC装置             | 128 | 24.6% |
| (4)酸素濃縮器              | 156 | 30.0% |
| (5)CPAP装置             | 237 | 45.6% |
| (6)ASV装置              | 185 | 35.6% |
| (7)在宅治療の導入・管理は実施していない | 181 | 34.8% |
| (8)その他                | 10  | 1.9%  |

その他内訳:HFPPV(高頻度人工呼吸器) 1,HHHD 1,インスリンポンプ 1,IPUS、ラミラ(吸入療法)、在宅ポンプ(IVHL、経管栄養) 1、ハイゼントラ、キュービトリル、中心静脈栄養、経腸栄養 1、依頼があった場合のみ対応 1、主治医から依頼があったときのみサポートしている、1、超音波骨折治療器 1、不明 3

解説:CPAP装置、人工呼吸器、NPPV装置を管理しているCEが40%以上であった。一方、在宅治療の導入・管理を実施していないCEは35%であった。



問2 CEが在宅機器の導入時の機種選定について関わってる項目はどれですか。(複数回答)

目的:在宅機器導入時の機種選定の関与を把握する。

定義:在宅機器の導入時の機種選定に関わっている機器を選択してください。

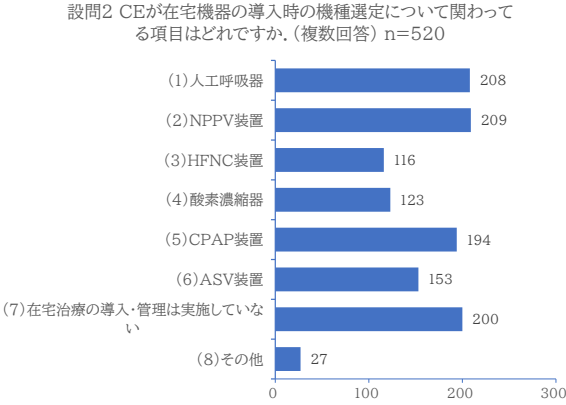
対象:2025年10月1日時点

有効回答数:520

| 項目                    | n   | 割合    |
|-----------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器              | 208 | 40.0% |
| (2)NPPV装置             | 209 | 40.2% |
| (3)HFNC装置             | 116 | 22.3% |
| (4)酸素濃縮器              | 123 | 23.7% |
| (5)CPAP装置             | 194 | 37.3% |
| (6)ASV装置              | 153 | 29.4% |
| (7)在宅治療の導入・管理は実施していない | 200 | 38.5% |
| (8)その他                | 27  | 5.2%  |

その他内訳:HFPPV(高頻度人工呼吸器) 1,HHHD 1,ハイゼントラ 1,レンタル運用 1、委託している業者が所有している機種で導入している。1、機種は特に指定がなければこちらで決定する。1、機種選定には関わっていない 9、機種選定は医師が行っている 2、主治医から依頼があったときのみサポートしている。1、入札により納入業者を決定 1

解説:人工呼吸器、NPPV装置の機種選定にCEが40%関わっていた。一方、在宅治療の導入・管理を実施していないCEは39%であった。



問3 CEが在宅管理の移行に向け人工呼吸管理(TPPV)の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与を選択してください。

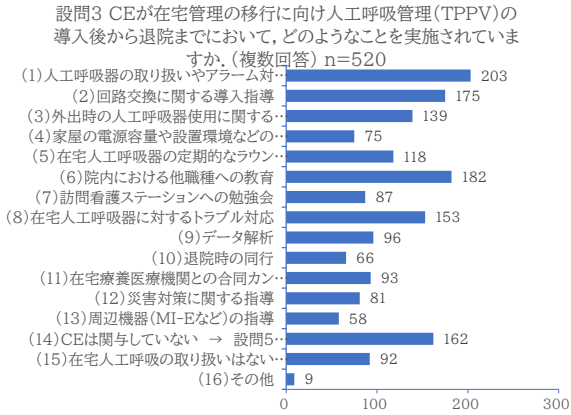
対象:2025年10月1日時点

有効回答数:520

| 項目                               | n   | 割合    |
|----------------------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導   | 203 | 39.0% |
| (2)回路交換に関する導入指導                  | 175 | 33.7% |
| (3)外出時の人工呼吸器使用に関する導入指導           | 139 | 26.7% |
| (4)家屋の電源容量や設置環境などの調査             | 75  | 14.4% |
| (5)在宅人工呼吸器の定期的なラウンド点検            | 118 | 22.7% |
| (6)院内における他職種への教育                 | 182 | 35.0% |
| (7)訪問看護ステーションへの勉強会               | 87  | 16.7% |
| (8)在宅人工呼吸器に対するトラブル対応             | 153 | 29.4% |
| (9)データ解析                         | 96  | 18.5% |
| (10)退院時の同行                       | 66  | 12.7% |
| (11)在宅療養医療機関との合同カンファレンスへの参加      | 93  | 17.9% |
| (12)災害対策に関する指導                   | 81  | 15.6% |
| (13)周辺機器(MI-Eなど)の指導              | 58  | 11.2% |
| (14)CEは関与していない → 設問5へお進みください     | 162 | 31.2% |
| (15)在宅人工呼吸の取り扱いはない → 設問5へお進みください | 92  | 17.7% |
| (16)その他                          | 9   | 1.7%  |

その他内訳:NPPVを院内で装着してから在宅へ移行するケースがない 1、メーカー依頼業務 1、在宅呼吸器のトラブル対応はメーカー対応しているが、電話で依頼などがあれば、トラブル初期対応など行っている。1、装置のレンタルと院内使用中の使用点検 1、導入まで院内にて実施(メーカー連絡、使用状況確認、機種選定など)依頼があれば家族や本人への説明実施している 1、導入はしていない 1、メーカーへ指導を依頼し立会うことが多い、回路交換の実施は臨床工学技士と行う。1

解説:人工呼吸器の取扱いやアラーム対処方法の指導、他職種への教育を行っているCEは30%を超えた。一方、関与していないCEも31%であった。



問4 CEが在宅管理の移行に向け在宅人工呼吸器(TPPV)の導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答)

目的: CEが院内の在宅人工呼吸器(TPPV)の導入説明・指導に要する総時間を把握する。

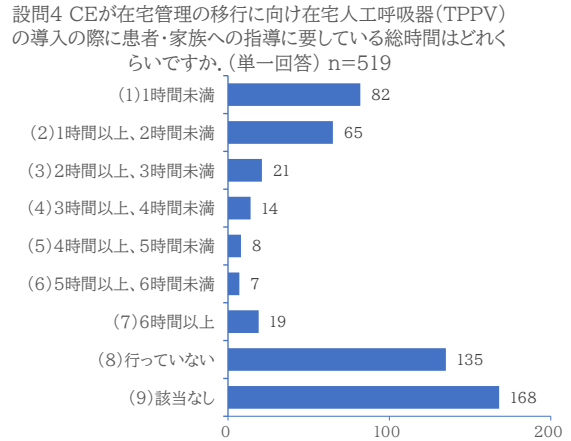
定義: CEが院内の在宅人工呼吸器(TPPV)を導入する1名の患者に対して、導入説明・指導に合計どの程度の時間を要しているのか選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 519

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)1時間未満        | 82  | 15.8% |
| (2)1時間以上, 2時間未満 | 65  | 12.5% |
| (3)2時間以上, 3時間未満 | 21  | 4.0%  |
| (4)3時間以上, 4時間未満 | 14  | 2.7%  |
| (5)4時間以上, 5時間未満 | 8   | 1.5%  |
| (6)5時間以上, 6時間未満 | 7   | 1.3%  |
| (7)6時間以上        | 19  | 3.7%  |
| (8)行っていない       | 135 | 26.0% |
| (9)該当なし         | 168 | 32.3% |

解説: 行っていないまたは該当なし施設を合わせると50%を超えている。指導している施設では、1時間未満が最も多い。



問5 CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的: 在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までの関与を把握する。

定義: 在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までの関与を選択してください。※NPPVに睡眠時無呼吸に対するCPAPとASVは含まない。

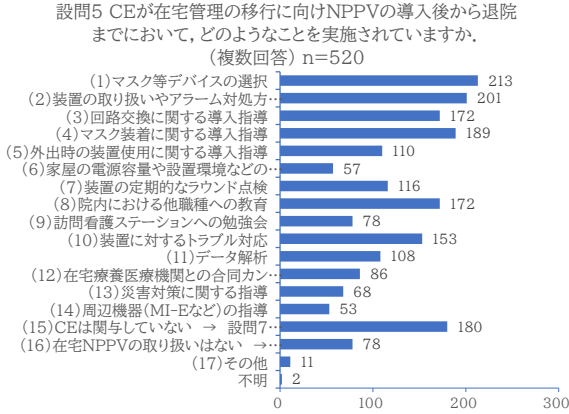
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 520

| 項目                          | n   | 割合    |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1)マスク等デバイスの選択              | 213 | 41.0% |
| (2)装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導 | 201 | 38.7% |
| (3)回路交換に関する導入指導             | 172 | 33.1% |
| (4)マスク装着に関する導入指導            | 189 | 36.3% |
| (5)外出時の装置使用に関する導入指導         | 110 | 21.2% |
| (6)家屋の電源容量や設置環境などの調査        | 57  | 11.0% |
| (7)装置の定期的なラウンド点検            | 116 | 22.3% |
| (8)院内における他職種への教育            | 172 | 33.1% |
| (9)訪問看護ステーションへの勉強会          | 78  | 15.0% |
| (10)装置に対するトラブル対応            | 153 | 29.4% |
| (11)データ解析                   | 108 | 20.8% |
| (12)在宅療養医療機関との合同カンファレンスへの参加 | 86  | 16.5% |
| (13)災害対策に関する指導              | 68  | 13.1% |
| (14)周辺機器(MI-Eなど)の指導         | 53  | 10.2% |
| (15)CEは関与していない              | 180 | 34.6% |
| (16)在宅NPPVの取り扱いはない          | 78  | 15.0% |
| (17)その他                     | 11  | 2.1%  |

その他内容の一部(選択)患者における介入あり。1.在宅呼吸器のトラブル対応はメーカー対応にしているが、電話で依頼などが入れば、トラブル初期対応などを行っている。2.主治医・看護部から依頼があったときのみサポートしている。3.取扱いはあるが、現在導入はない。4.初回導入はしていない。5.不明

解説: マスク等デバイスの選択、装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する指導に関わっている施設が多い。一方、CEが関与していない施設も35%あった。



問6 CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答)

目的: CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入説明・指導に要する総時間を把握する。

定義: CEが院内の在宅NPPVを導入する1名の患者に対して、導入説明・指導に合計どの程度の時間を要しているのか選択してください。

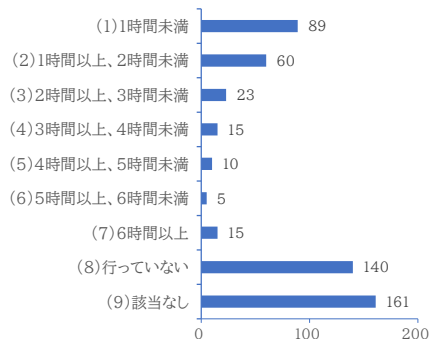
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 518

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)1時間未満        | 89  | 17.2% |
| (2)1時間以上, 2時間未満 | 60  | 11.6% |
| (3)2時間以上, 3時間未満 | 23  | 4.4%  |
| (4)3時間以上, 4時間未満 | 15  | 2.9%  |
| (5)4時間以上, 5時間未満 | 10  | 1.9%  |
| (6)5時間以上, 6時間未満 | 5   | 1.0%  |
| (7)6時間以上        | 15  | 2.9%  |
| (8)行っていない       | 140 | 27.0% |
| (9)該当なし         | 161 | 31.1% |

解説: 行っていないまたは該当なし施設を合わせると50%を超えている。指導している施設では、1時間未満が最も多い。

設問6 CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答) n=518



問7 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的: 在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を把握する。

定義: 在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

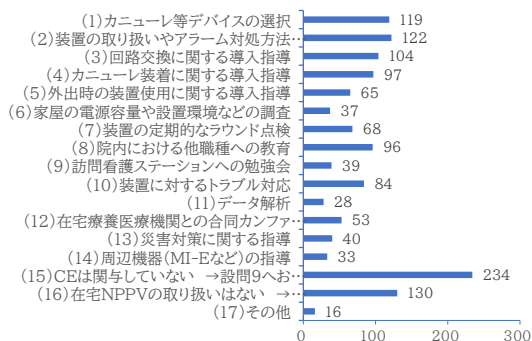
有効回答数: 520

| 項目                          | n   | 割合    |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1)カニューレ等デバイスの選択            | 119 | 22.9% |
| (2)装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導 | 122 | 23.5% |
| (3)回路交換に関する導入指導             | 104 | 20.0% |
| (4)カニューレ装着に関する導入指導          | 97  | 18.7% |
| (5)外出時の装置使用に関する導入指導         | 65  | 12.5% |
| (6)家屋の電源容量や設置環境などの調査        | 37  | 7.1%  |
| (7)装置の定期的なラウンド点検            | 68  | 13.1% |
| (8)院内における他職種への教育            | 96  | 18.5% |
| (9)訪問看護ステーションへの勉強会          | 39  | 7.5%  |
| (10)装置に対するトラブル対応            | 84  | 16.2% |
| (11)データ解析                   | 28  | 5.4%  |
| (12)在宅療養医療機関との合同カンファレンスへの参加 | 53  | 10.2% |
| (13)災害対策に関する指導              | 40  | 7.7%  |
| (14)周辺機器(MI-Eなど)の指導         | 33  | 6.3%  |
| (15)CEは関与していない              | 234 | 45.0% |
| (16)在宅NPPVの取り扱いはない          | 130 | 25.0% |
| (17)その他                     | 16  | 3.1%  |

その他内訳: HFNCでは、院内機器からレンタル機器を使用開始の段階で介入を外れる。1.HFNCの該当者はなし。1.HFNC院内使用のみ在宅移行はない。1.メーカー対応。1.医師や病棟から相談、依頼があったらメーカー窓口等対応。1.該当患者がいれば、臨床工学技士主体で在宅への移行を行なっていく考えであるが、現時点でHFNCの導入者がいない。1.現在まで在宅HFNCの導入なし。1.在宅NPPVの取り扱いはない。1.実施なし。1.対応は可能だが対象患者がいない。1.当院採用機器のメーカーと在宅機器のメーカーの兼ね、在宅機器の使用方法に関して、メーカーからレクチャーを受ける際の調整など。1.導入実績がない。1.未記載。3

統計: カニューレ等デバイスの選択、装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する指導に関わっている施設が多い。一方、CEが関与していない施設も45%あった。

設問7 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答) n=520



問8 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答)

目的: CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入説明・指導に要する総時間を把握する。

定義: CEが院内の在宅HFNCを導入する1名の患者に対して、導入説明・指導に合計どの程度の時間を要しているのか選択してください。

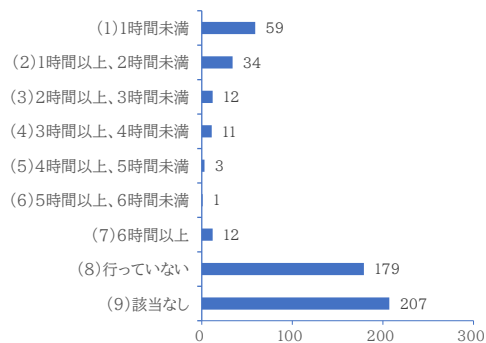
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 518

| 項目              | n  | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| (1)1時間未満        | 59 | 11.4% |
| (2)1時間以上, 2時間未満 | 34 | 6.6%  |
| (3)2時間以上, 3時間未満 | 12 | 2.3%  |
| (4)3時間以上, 4時間未満 | 11 | 2.1%  |
| (5)4時間以上, 5時間未満 | 3  | 0.6%  |
| (6)5時間以上, 6時間未満 | 1  | 0.2%  |
| (7)6時間以上        | 12 | 2.3%  |
| (8)行っていない       | 17 | 3.4%  |
|                 | 9  | 1.7%  |
| (9)該当なし         | 20 | 4.0%  |
|                 | 7  | 1.4%  |

解説: 行っていないまたは該当なし施設を合わせると50%を超えている。指導している施設では、1時間未満が最も多い。

設問8 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答) n=518



問9 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的: 在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を把握する。

定義: 在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

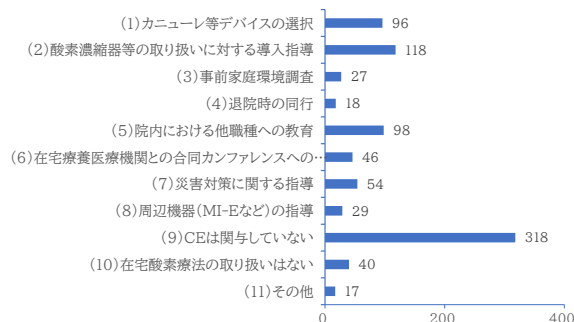
有効回答数: 520

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1)カニユーレ等デバイスの選択         | 96  | 18.5% |
| (2)酸素濃縮器等の取り扱いに対する導入指導   | 118 | 22.7% |
| (3)事前家庭環境調査              | 27  | 5.2%  |
| (4)退院時の同行                | 18  | 3.5%  |
| (5)院内における他職種への教育         | 98  | 18.8% |
| (6)在宅療養機関との合同カンファレンスへの参加 | 46  | 8.8%  |
| (7)災害対策に関する指導            | 54  | 10.4% |
| (8)周辺機器(MI-Eなど)の指導       | 29  | 5.6%  |
| (9)CEは関与していない            | 318 | 61.2% |
| (10)在宅酸素療法の取り扱いはない       | 40  | 7.7%  |
| (11)その他                  | 17  | 3.3%  |

その他内容: 1.メーカー対応 2.院内使用時対応 3.機器の使用管理と、保守点検実施予定管理を実施している 1.業者の手配 1.業者への依頼 1.在宅酸素療法単体の場合は指導に介入しないが、TPPV、NPPV等のデバイスが必要で併用を行う場合は介入し、上記の項目のほとんどを行う 1.酸素濃縮器の手配 1.事務手続きと管理台帳による機器管理 患者への導入指導は業者におまかせしている 1.書類作成補助と事務、業者への連絡 1.人工呼吸器使用であれば一緒に手配するが、HOT 単体は病棟にて対応 1.必要書類の保管(電子カルテ上) 1.(1)~(4)(5)は、メーカーへ依頼し指導に立会っている 1.不明 4

解説: CEの関与がない施設が61%であった。実施施設は、カニユーレなどのデバイスの選定や酸素濃縮器などの取扱いに対する指導を行っていた。

設問9 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答) n=520



問 10 CE が在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答)

目的：CE が在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入説明・指導に要する総時間を把握する。

定義：CE が院内の在宅酸素療法を導入する 1 名の患者に対して、導入説明・指導に合計どの程度の時間を要しているのか選択してください。

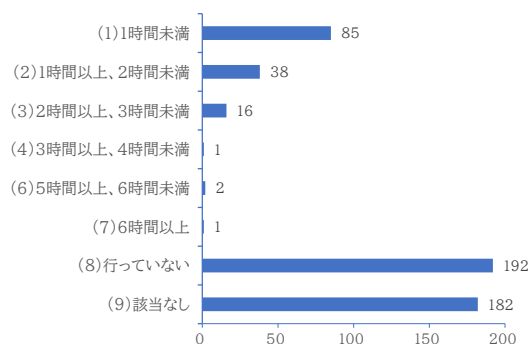
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)1 時間未満         | 85  | 16.3% |
| (2)1 時間以上, 2 時間未満 | 38  | 7.3%  |
| (3)2 時間以上, 3 時間未満 | 16  | 3.1%  |
| (4)3 時間以上, 4 時間未満 | 1   | 0.2%  |
| (6)5 時間以上, 6 時間未満 | 2   | 0.4%  |
| (7)6 時間以上         | 1   | 0.2%  |
| (8)行っていない         | 192 | 36.9% |
| (9)該当なし           | 182 | 35.0% |

解説：行っていないまたは該当なし施設を合わせると 50% を超えている。指導している施設では、1 時間未満が最も多い。

設問10 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入の際に患者・家族への指導に要している総時間はどれくらいですか。(単一回答) n=520



問 11 在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合 CE へ連絡が来る体制となっていますか。(複数回答)

目的：在宅患者が入院する場合の連絡体制構築状況を把握する。

定義：入院時の連絡体制は、どの機種における体制を構築しているか選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

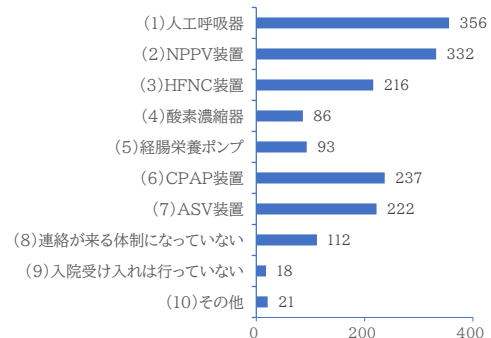
有効回答数：520

| 項目                | n   | 割合    |
|-------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器          | 356 | 68.5% |
| (2)NPPV 装置        | 332 | 63.8% |
| (3)HFNC 装置        | 216 | 41.5% |
| (4)酸素濃縮器          | 86  | 16.5% |
| (5)経腸栄養ポンプ        | 93  | 17.9% |
| (6)CPAP 装置        | 237 | 45.6% |
| (7)ASV 装置         | 222 | 42.7% |
| (8)連絡が来る体制になっていない | 112 | 21.5% |
| (9)入院受け入れは行っていない  | 18  | 3.5%  |
| (10)その他           | 21  | 4.0%  |

その他内訳: 連絡があった場合のみ対応 6, 体制未整備・対応できていない 5, 入院施設ではない・該当なし 4, 医師・看護師対応 3, 連携・情報共有不足の課題 3, メーカー・業者対応 2, 開業医へ返却・初期対応は他院 2, 入院時の連絡・情報共有体制 2

解説：人工呼吸器や NPPV 装置を入院時に持ち込む場合は 60% 以上の施設で CE に連絡が来る体制であった。

設問11 在宅用機器使用患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合CEへ連絡が来る体制となっていますか。(複数回答) n=520



問12 問11で人工呼吸器（TPPVやNPPV）患者入院時にCEへ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください。（複数回答）

目的：体制の構築をされていない要因や理由を把握する。

定義：体制を構築されていない要因や理由を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

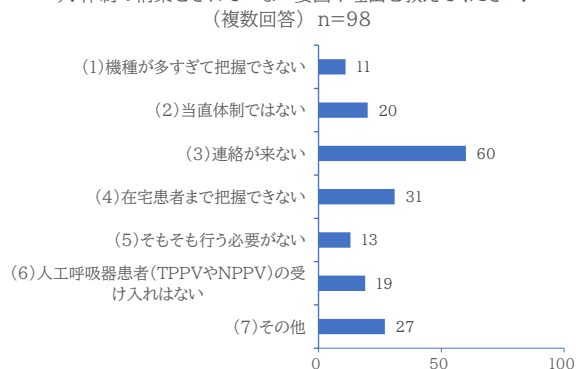
有効回答数：98

| 項目                            | n  | 割合    |
|-------------------------------|----|-------|
| (1)機種が多すぎて把握できない              | 11 | 11.2% |
| (2)当直体制ではない                   | 20 | 20.4% |
| (3)連絡が来ない                     | 60 | 61.2% |
| (4)在宅患者まで把握できない               | 31 | 31.6% |
| (5)そもそも行う必要がない                | 13 | 13.3% |
| (6)人工呼吸器患者（TPPVやNPPV）の受け入れはない | 19 | 19.4% |
| (7)その他                        | 27 | 27.6% |

その他内訳：連絡があった場合のみ対応 6,体制未整備・対応できていない 5,入院施設ではない・該当なし 4,医師・看護師対応 3,連携・情報共有不足の課題 3,メーカー・業者対応 2,開業医へ返却・初期対応は他院 2,入院時の連絡・情報共有体制 2

解説：連絡がこない施設が33%，在宅患者まで把握できない施設が17%であった。

設問12 問11で人工呼吸器（TPPVやNPPV）患者入院時にCEへ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください。（複数回答） n=98



問13 在宅人工呼吸器（TPPV）使用患者を受け入れている施設にお聞きします。在宅人工呼吸器（TPPV）を使用する患者が入院する際、CEはどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅人工呼吸器の具体的な内容について把握する。

定義：CEが入院時の在宅人工呼吸器に関して実施する業務を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

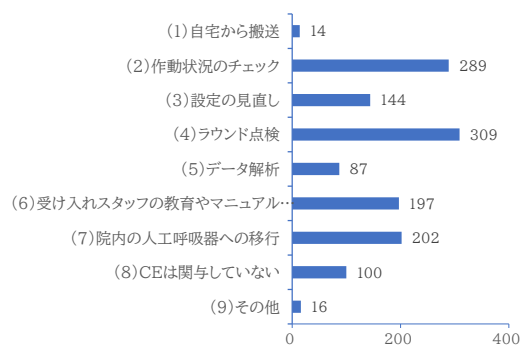
有効回答数：471

| 項目                      | n   | 割合    |
|-------------------------|-----|-------|
| (1)自宅から搬送               | 14  | 3.0%  |
| (2)作動状況のチェック            | 289 | 61.4% |
| (3)設定の見直し               | 144 | 30.6% |
| (4)ラウンド点検               | 309 | 65.6% |
| (5)データ解析                | 87  | 18.5% |
| (6)受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備 | 197 | 41.8% |
| (7)院内の人工呼吸器への移行         | 202 | 42.9% |
| (8)CEは関与していない           | 100 | 21.2% |
| (9)その他                  | 16  | 3.4%  |

その他内訳：何か問題がある時のみ連絡が来るようになっている。1,基本的には関与していないが、必要時のみ対応している。2,在宅TPPVを受け入れることがない1,受け入れなし1,他,トラブル対応、回路交換を実施している。1,入院施設ではない。1,入浴介助1,搬送時の構成で受け入れる際、必要物品の取り寄せや代替品の用意を行っている。1,未記載8

解説：作動状況のチェック、ラウンド点検が60%を超えた。続いて、院内の人工呼吸器への移行、スタッフへの教育が40%であった。

設問13 在宅人工呼吸器（TPPV）を使用する患者が入院する際、CEはどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。（複数回答） n=471



問 14 在宅 NPPV を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅 NPPV の具体的な内容の把握する。

定義：CE が入院時の在宅 NPPV に関して実施する業務を選択してください。

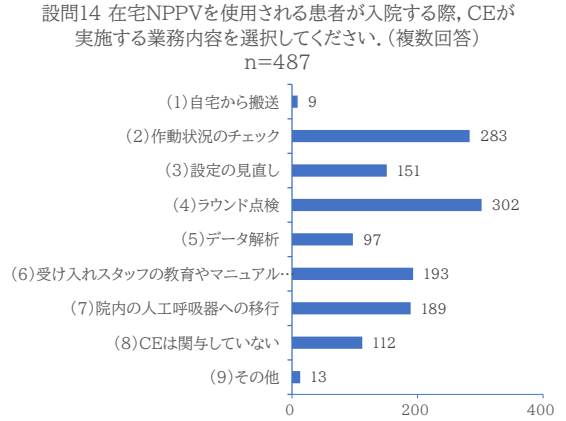
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：487

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1) 自宅から搬送               | 9   | 1.8%  |
| (2) 作動状況のチェック            | 283 | 58.1% |
| (3) 設定の見直し               | 151 | 31.0% |
| (4) ラウンド点検               | 302 | 62.0% |
| (5) データ解析                | 97  | 19.9% |
| (6) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備 | 193 | 39.6% |
| (7) 院内の人工呼吸器への移行         | 189 | 38.8% |
| (8) CE は関与していない          | 112 | 23.0% |
| (9) その他                  | 13  | 2.7%  |

その他内訳：NPPV 回路交換 1、インターフェイスの選定見直し 1、受入れなし 1、他、トラブル対応、回路交換を実施している。1、対象患者なし 1、入院施設ではない。1、入浴介助 1、搬送は依頼があれば対応 1、未記載 5

解説：ラウンド点検，作動状況のチェックの順で高かった。続いて，院内の人工呼吸器への移行，スタッフへの教育，設定の見直しであった。



問 15 在宅 HFNC を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅 HFNC の具体的な内容について把握する。

定義：CE が入院時の在宅 HFNC に関して実施する業務を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

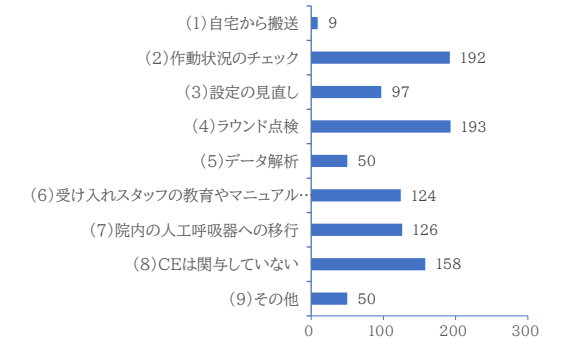
有効回答数：463

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1) 自宅から搬送               | 9   | 1.9%  |
| (2) 作動状況のチェック            | 192 | 41.5% |
| (3) 設定の見直し               | 97  | 21.0% |
| (4) ラウンド点検               | 193 | 41.7% |
| (5) データ解析                | 50  | 10.8% |
| (6) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備 | 124 | 26.8% |
| (7) 院内の人工呼吸器への移行         | 126 | 27.2% |
| (8) CE は関与していない          | 158 | 34.1% |
| (9) その他                  | 50  | 10.8% |

その他内訳：対象患者がいれば受け入れるが今のところ対象患者がいらない。31 病棟から連絡や相談が来た場合のみ対応。1、他、トラブル対応、回路交換を実施している。1、入院施設ではない。1、未記載 16

解説：ラウンド点検，作動状況のチェックの順で高かった。一方，CE は関与していない施設もあった。

設問15 在宅HFNCを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。（複数回答） n= 463



問 16 在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）に対して CE が関わっている業務を教えてください。（複数回答）

目的：在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）への関与を把握する。

定義：在宅人工呼吸患者（TPPV）への関与を選択してください。

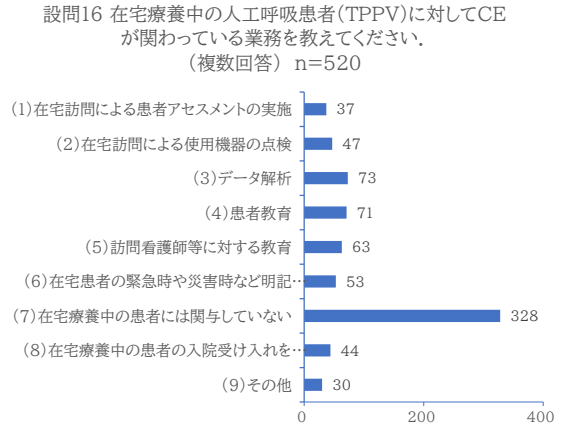
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1) 在宅訪問による患者アセスメントの実施     | 37  | 7.1%  |
| (2) 在宅訪問による使用機器の点検         | 47  | 9.0%  |
| (3) データ解析                  | 73  | 14.0% |
| (4) 患者教育                   | 71  | 13.7% |
| (5) 訪問看護師等に対する教育           | 63  | 12.1% |
| (6) 在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明    | 53  | 10.2% |
| (7) 在宅療養中の患者には関与していない      | 328 | 63.1% |
| (8) 在宅療養中の患者の入院受け入れを行っていない | 44  | 8.5%  |
| (9) その他                    | 30  | 5.8%  |

その他内訳：入院中の使用中点検のみ 1、消耗材料の払い出し 1、現在その様な患者がいない 3、主治医・看護師から依頼時にサポートしている。1、トラブル対応（電話対応含む）、装置交換時の設定および確認 1、在宅療養時点で他院管理となり該当なし。1、メーカーの定期点検の連携台帳管理 1、毎月外来受診時に使用中点検、自宅での様子もヒアリング。1、必要に応じて連絡が来ると考えられる。1、CE が関わっていない 1、依頼があれば対応 2、自宅に患者がいる場合は連絡がなければ対応していない 2、在診医師より要請があれば同行 1、必要時に応じて対応する 1、機器の保守点検計画と実施管理、災害時安否確認 1、外来でデータ解析依頼があれば行う 1

解説：在宅療養中の患者には関与していない施設が63%であった。



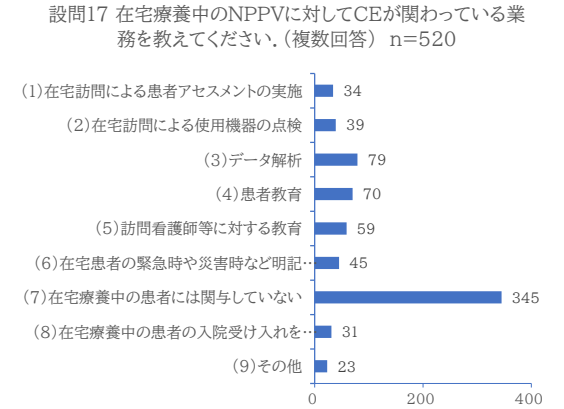
問 17 在宅療養中の NPPV に対して CE が関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅療養中の NPPV への関与を把握する。  
定義：在宅 NPPV への関与を選択してください。  
対象：2025 年 10 月 1 日時点  
有効回答数：520

| 項目                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)在宅訪問による患者アセスメントの実施     | 34  | 6.5%  |
| (2)在宅訪問による使用機器の点検         | 39  | 7.5%  |
| (3)データ解析                  | 79  | 15.2% |
| (4)患者教育                   | 70  | 13.5% |
| (5)訪問看護師等に対する教育           | 59  | 11.3% |
| (6)在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明    | 45  | 8.7%  |
| (7)在宅療養中の患者には関与していない      | 345 | 66.3% |
| (8)在宅療養中の患者の入院受け入れを行っていない | 31  | 6.0%  |
| (9)その他                    | 23  | 4.4%  |

その他内訳:CE が関わっていない。これまで事例がない。必要に応じて連絡が来ると考えられる。3.トラブル対応(電話対応含む)。設置交換時の設定および確認 1.メーカーによる定期点検が行われているか台帳管理 1.メーカー対応の報告を聞く程度 1.機器の保守点検計画と実機管理。災害時の安否確認。1.在宅療養になった段階で、他院管理となるため、該当なし。1.在宅療養中の NPPV 患者がいない。1.自宅に患者がいる場合は特に連絡がなければ対応していない。1.主治医・看護師から依頼があったときのみサポートしている。1.定期外来での使用中点検。1

解説：在宅療養中の患者には関与していない施設が66%であった。



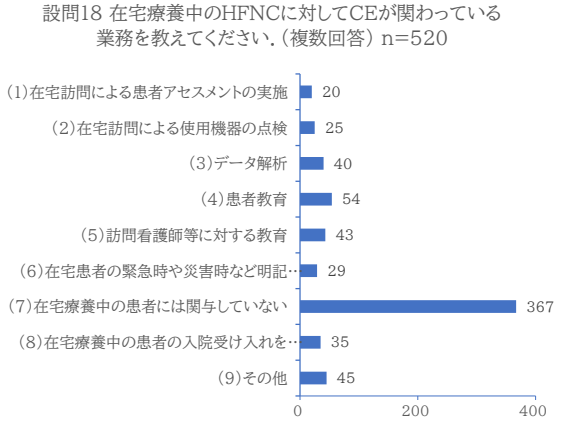
問 18 在宅療養中の HFNC に対して CE が関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅療養中 HFNC への関与を把握する。  
定義：在宅 HFNC への関与を選択してください。  
対象：2025 年 10 月 1 日時点  
有効回答数：520

| 項目                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)在宅訪問による患者アセスメントの実施     | 20  | 3.8%  |
| (2)在宅訪問による使用機器の点検         | 25  | 4.8%  |
| (3)データ解析                  | 40  | 7.7%  |
| (4)患者教育                   | 54  | 10.4% |
| (5)訪問看護師等に対する教育           | 43  | 8.3%  |
| (6)在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明    | 29  | 5.6%  |
| (7)在宅療養中の患者には関与していない      | 367 | 70.6% |
| (8)在宅療養中の患者の入院受け入れを行っていない | 35  | 6.7%  |
| (9)その他                    | 45  | 8.7%  |

その他内訳:CE が関わっていない。1.HFNC の患者がいないため 16.トラブル対応・装置交換時の設定確認 1.メーカーの定期点検の台帳管理 1.依頼があれば対応 2.住診医師より要請時在宅訪問 1.機器の保守点検計画管理および災害時の安否確認 1.在宅 HFNC を行っていない 2.在宅療養は他院管理となり該当なし 1.消耗材料の払い出し 1.導入直前で中止ケースしかない 1

解説：在宅療養中の患者には関与していない施設が71%であった。



問 19 在宅療養中の酸素療法に対して CE が関わっている業務を教えてください。(複数回答)

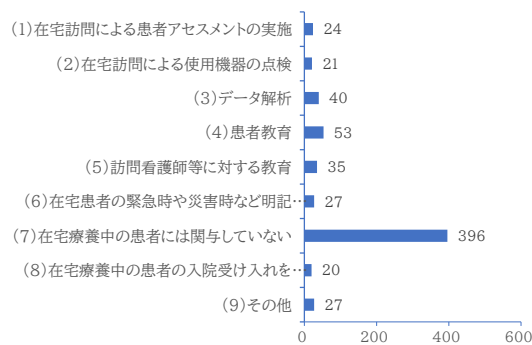
目的：在宅療養中の酸素療法の関与を把握する。  
定義：在宅酸素療法の関与を選択してください。  
対象：2025 年 10 月 1 日時点  
有効回答数：520

| 項目                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)在宅訪問による患者アセスメントの実施     | 24  | 4.6%  |
| (2)在宅訪問による使用機器の点検         | 21  | 4.0%  |
| (3)データ解析                  | 40  | 7.7%  |
| (4)患者教育                   | 53  | 10.2% |
| (5)訪問看護師等に対する教育           | 35  | 6.7%  |
| (6)在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明    | 27  | 5.2%  |
| (7)在宅療養中の患者には関与していない      | 396 | 76.2% |
| (8)在宅療養中の患者の入院受け入れを行っていない | 20  | 3.8%  |
| (9)その他                    | 27  | 5.2%  |

その他内訳:CE が関わっていない。1. HOT 併用し別デバイスを装着の患者のみ 1.必要に応じて連絡が来ると考えられる。1.トラブルや使用方法に問題あれば患者より報告あり、医師に設定等相談 1.トラブル対応(電話対応含む) 1.メーカーからの報告書で状況を確認している。1.メーカーによる。定期点検台帳管理 2.受託業者に依頼している。1.機器の保守点検計画と実機管理。災害時の安否確認。1.該当なし。1.在宅酸素療法は導入時の事務処理と患者台帳の整備 1.人工呼吸器等の機器と併用時指導・介入 1.導入の把握と定期点検表の保管のみ 1.導入時のメーカー連絡 1.入院したことの把握のみ 1.維持中は外来受診時の質問や訴えに対応 1.未記載 10

解説：在宅療養中の患者には関与していない施設が76%であった。

設問19 在宅療養中の酸素療法に対してCEが関わっている業務を教えてください。(複数回答) n=529



問 20 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)

目的：在宅管理機器の管理について把握する。

定義：在宅管理機器の管理について選択してください。

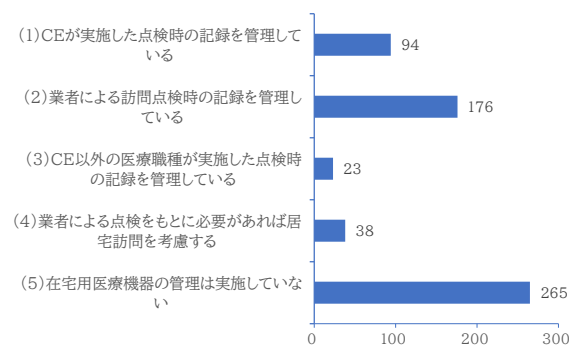
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)CE が実施した点検時の記録を管理している        | 94  | 18.1% |
| (2)業者による訪問点検時の記録を管理している         | 176 | 33.8% |
| (3)CE 以外の医療職種が実施した点検時の記録を管理している | 23  | 4.4%  |
| (4)業者による点検をもとに必要があれば居宅訪問を考慮する   | 38  | 7.3%  |
| (5)在宅用医療機器の管理は実施していない           | 265 | 51.0% |

解説：在宅用医療機器の管理は実施していない 施設が 51% であった。続いて、業者による訪問点検時の記録を管理している施設が 34% であった

設問20 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答) n=520



問 21 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答)

目的：在宅管理機器の点検記録を保管している機種種の把握する。

定義：点検記録を保管している在宅管理機器の種類を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

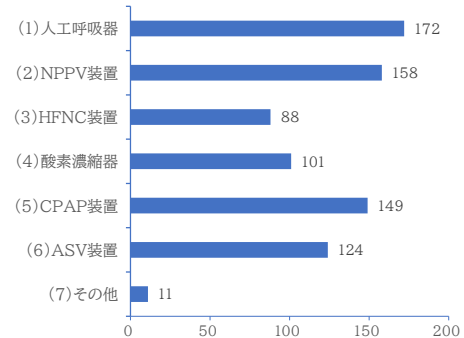
有効回答数：254

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器   | 172 | 67.7% |
| (2)NPPV 装置 | 158 | 62.2% |
| (3)HFNC 装置 | 88  | 34.6% |
| (4)酸素濃縮器   | 101 | 39.8% |
| (5)CPAP 装置 | 149 | 58.7% |
| (6)ASV 装置  | 124 | 48.8% |
| (7)その他     | 11  | 4.3%  |

その他内訳: CADDL, HFPPV、排痰補助装置 1, 他在宅機器で点検・修理した記録物 1, パルスオキシメーター・1, ラウンド点検記録の保管, 1, レンタル機器のため業者が管理 1, 院内で実施したもののみ 1, 該当なし 2, 在宅用輸液・経腸栄養ポンプ・人工透析装置 1, 他部署保管で不明 1, 表記揺れのため、用語を統一してください 1

解説：人工呼吸器，NPPV 装置を管理している施設が 60% 以上であった。続いて，CPAP 装置，ASV 装置であった。

設問21 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答) n=254



問 22 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答)

目的：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種種の把握する。

定義：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を選択してください。

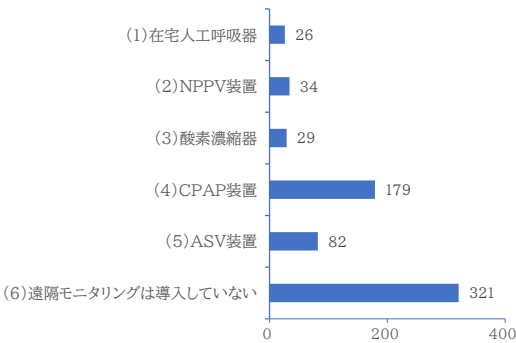
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)在宅人工呼吸器          | 26  | 5.0%  |
| (2)NPPV 装置          | 34  | 6.5%  |
| (3)酸素濃縮器            | 29  | 5.6%  |
| (4)CPAP 装置          | 179 | 34.4% |
| (5)ASV 装置           | 82  | 15.8% |
| (6)遠隔モニタリングは導入していない | 321 | 61.7% |

解説：遠隔モニタリングを導入していない施設が 60% 以上であった。続いて，CPAP 装置，ASV 装置であった。

設問22 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へ  
お伺いします。管理されている機種は何ですか？  
(複数回答) n= 520



問 23 呼吸関係の遠隔モニタリングにて設定変更が  
必要な場合、どのような対応を行なっていますか。  
(複数回答)

目的：遠隔モニタリングのデータを解析してどのよ  
うな対応を行なっているのか把握する。

定義：遠隔モニタリングのデータ解析後の対応方法  
を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

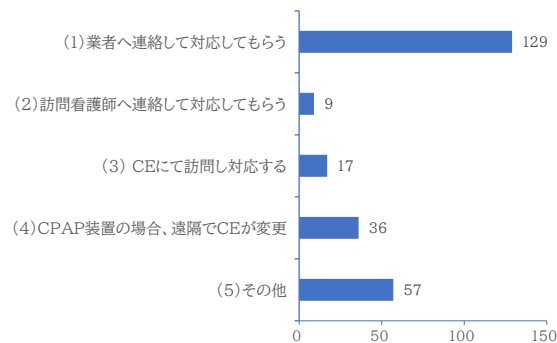
有効回答数：198

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1)業者へ連絡して対応してもらう        | 129 | 65.2% |
| (2)訪問看護師へ連絡して対応してもらう     | 9   | 4.5%  |
| (3) CE にて訪問し対応する         | 17  | 8.6%  |
| (4)CPAP 装置の場合、遠隔で CE が変更 | 36  | 18.2% |
| (5)その他                   | 57  | 28.8% |

その他内訳: 外来受診時に対応・設定変更 21, 遠隔モニタリング関連 4, 医師主導でメーカーへ依頼 3, 診療科対応 2, CE 未関与・不明 1, 看護  
師・医師対応 1, データ管理・カルテ印刷対応 2, 往診同行対応 1, 悲観なし 1, 未記載 23

解説：業者へ連絡してもらう施設が 65% 以上で  
あった。

設問23 呼吸関係の遠隔モニタリングにて設定変更が必要  
な場合、どのような対応を行なっていますか。  
(複数回答) n=198



問 24 在宅で起こったトラブルを知る手段について  
教えてください。(複数回答)

目的：在宅で起こったトラブルを知る手段を把握する。

定義：在宅で起こったトラブルを知る手段を選択し  
てください。

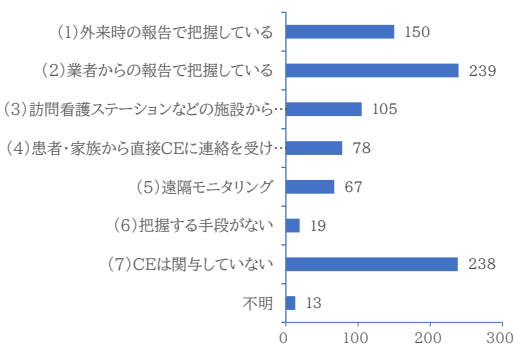
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)外来時の報告で把握している               | 150 | 28.8% |
| (2)業者からの報告で把握している              | 239 | 46.0% |
| (3)訪問看護ステーションなどの施設からの報告で把握している | 105 | 20.2% |
| (4)患者・家族から直接 CE に連絡を受け把握している   | 78  | 15.0% |
| (5)遠隔モニタリング                    | 67  | 12.9% |
| (6)把握する手段がない                   | 19  | 3.7%  |
| (7)CE は関与していない                 | 238 | 45.8% |

解説：業者からの報告で把握している施設が 46%  
であった。一方、CE は関与していない施設は 46%  
であった。

設問24 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えて  
ください。(複数回答) n=520



問 25 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシ  
デントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化  
を行っていますか。(単一回答)

目的：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒ  
ヤリハット）などの情報を共有する体制が構築され  
ているかどうかを把握する。

定義：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒ  
ヤリハット）などの情報共有の有無を選択してくだ  
さい。

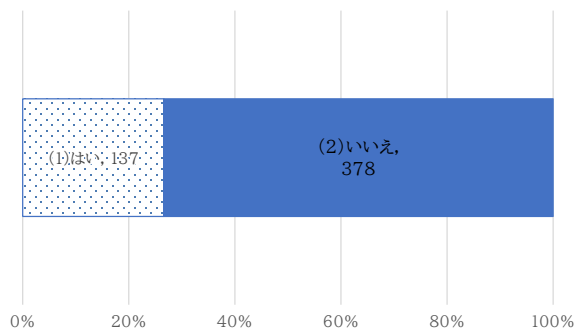
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：520

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)はい  | 137 | 26.3% |
| (2)いいえ | 378 | 72.7% |

解説：在宅で発生したトラブルなどの情報を共有し  
ていない施設が 72% であった。

設問25 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデント  
やヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っています  
か。(単一回答) n=520



問 26 あなたの施設では、退院時共同指導料の算定  
を行っていますか。(複数回答)

目的：退院時共同指導料1および2の算定の有無  
を把握する。

定義：対象期間において退院時共同指導料の算定を  
行った実績があれば「算定している」、実績がなけ  
れば「算定していない」を選択してください。

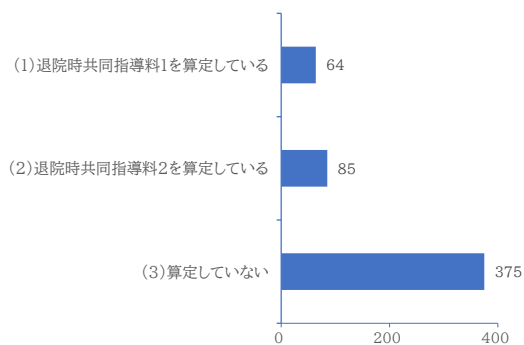
対象：2025年4月1日から2025年9月30日

有効回答数：507

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)退院時共同指導料1を算定している | 64  | 12.6% |
| (2)退院時共同指導料2を算定している | 85  | 16.8% |
| (3)算定していない          | 375 | 74.0% |

解説：退院時共同指導料の算定をしていない施設が  
72%であった。

設問26 あなたの施設では、退院時共同指導料の算定を  
を行っていますか。(複数回答) n=507



問 27 退院時共同指導料の算定を行っている施設に  
お尋ねします。臨床工学技士が退院指導を行った場  
合、指導内容を公式記録に記載していますか。(単  
一回答)

目的：退院時共同指導料算定施設における臨床工学  
技士の指導に関する記録実施の割合を把握する。

定義：臨床工学技士の指導内容を記録している場合  
は「はい」、記録していない場合は「いいえ」を回  
答してください。

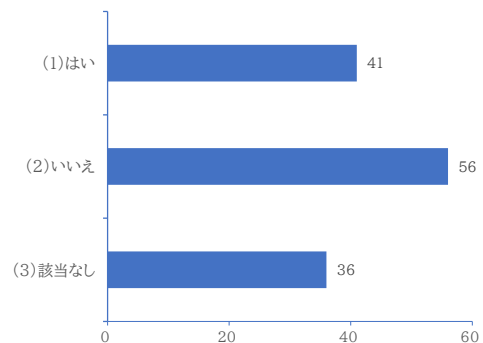
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：133

| 項目      | n  | 割合    |
|---------|----|-------|
| (1)はい   | 41 | 30.8% |
| (2)いいえ  | 56 | 42.1% |
| (3)該当なし | 36 | 27.1% |

解説：臨床工学技士が退院指導を行った場合、指導  
内容を公式記録に記載していない施設が39%で  
あった。

設問27 退院時共同指導料の算定を行っている施設にお尋  
ねします。臨床工学技士が退院指導を行った場合、指導内  
容を公式記録に記載していますか。(単一回答) n=133



7. 業務実態報告 2025 施設報告アドオン集中治療・救急

問1 算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。(複数回答)

目的：集中治療室関連の設置状況を把握する。

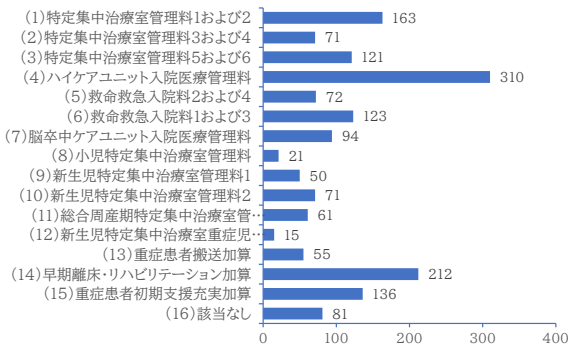
定義：算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。

有効回答数：598

| 回答                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1)特定集中治療室管理料1および2         | 163 | 27.3% |
| (2)特定集中治療室管理料3および4         | 71  | 11.9% |
| (3)特定集中治療室管理料5および6         | 121 | 20.2% |
| (4)ハイケアユニット入院医療管理料         | 310 | 51.8% |
| (5)救命救急入院料2および4            | 72  | 12.0% |
| (6)救命救急入院料1および3            | 123 | 20.6% |
| (7)脳卒中ケアユニット入院医療管理料        | 94  | 15.7% |
| (8)小児特定集中治療室管理料            | 21  | 3.5%  |
| (9)新生児特定集中治療室管理料1          | 50  | 8.4%  |
| (10)新生児特定集中治療室管理料2         | 71  | 11.9% |
| (11)総合周産期特定集中治療室管理料        | 61  | 10.2% |
| (12)新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料 | 15  | 2.5%  |
| (13)重症患者搬送加算               | 55  | 9.2%  |
| (14)早期離床・リハビリテーション加算       | 212 | 35.5% |
| (15)重症患者初期支援充実加算           | 136 | 22.7% |
| (16)該当なし                   | 81  | 13.5% |

解説：HCU 算定が過半数を占め、中等症患者管理が中心である。一方、管理料1・2 算定施設は約3割にとどまり、高度集中治療を担う施設は限られている。

設問1 算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。(複数回答)n=598



問2 設問1で、特定集中治療室管理料1～6・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。(複数回答)

目的：新設された加算獲得に対する弊害要因を把握する。

定義：重症患者対応体制強化加算を算定できない理由を選択してください。※専従とは、担当者となっており、その他の業務は、緊急時以外は行わないものとする。

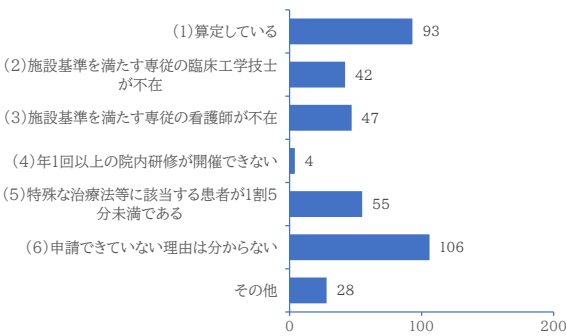
有効回答数：348

| 回答                          | n   | 割合    |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1)算定している                   | 93  | 26.7% |
| (2)施設基準を満たす専従の臨床工学士が不在      | 42  | 12.1% |
| (3)施設基準を満たす専従の看護師が不在        | 47  | 13.5% |
| (4)年1回以上の院内研修が開催できない        | 4   | 1.1%  |
| (5)特殊な治療法等に該当する患者が1割5分未満である | 55  | 15.8% |
| (6)申請できていない理由は分からない         | 106 | 30.5% |
| その他                         | 28  | 8.0%  |

その他内訳：医師不足 3,急性期充実体制加算の届出なし 6,特定機能病院のため 7,不明 5,ECMO なし 1,特殊治療基準を満たせず取り下げた。1,老健施設があるため、1,新興感染症等の有事に他医療機関支援看護士が2名以上確保 1,設備改築中 1,専従の医療スタッフが不在 1,当院は救命救急入院料3であり該当しないため、1

解説：重症患者対応体制強化加算の算定率は27%と低い。「理由不明」が最多で、制度の理解不足に加え、専従人員確保の困難さが障壁となっている。

設問2 令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。(複数回答) n=348



問3 ICU (CCU・EICU・PICU 含む) を標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：ICU の総ベッド数を把握する。

定義：ICU のベッド数を半角数字で入力してください。ない場合は0を入力してください。

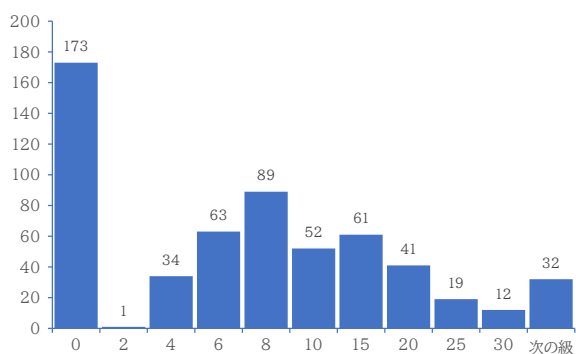
※0を入力した場合は、設問10に進んでください。

有効回答数：601

| 回答   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| 0    | 173 | 28.8% |
| 2以下  | 1   | 0.2%  |
| 4以下  | 34  | 5.7%  |
| 6以下  | 63  | 10.5% |
| 8以下  | 89  | 14.8% |
| 10以下 | 52  | 8.7%  |
| 15以下 | 61  | 10.1% |
| 20以下 | 41  | 6.8%  |
| 25以下 | 19  | 3.2%  |
| 30以下 | 12  | 2.0%  |
| 30超  | 32  | 5.3%  |

解説：ICU 未設置施設が29%を占める一方、6～10床規模が中心であり、小規模ICUを分散配置する体制が主流であることが示された。

設問3 ICU (CCU・EICU・PICU 含む) を標榜している総ベッド数を教えてください。n=601



問4 平日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。

目的：平日のICUのCE人員配置の実態を把握する。

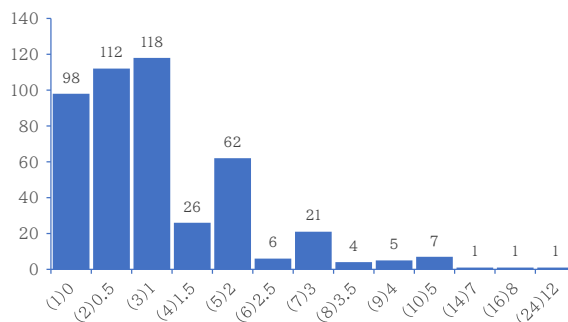
定義：平日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1と換算してください。

有効回答数：462

| 回答     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 98  | 21.2% |
| (2)0.5 | 112 | 24.2% |
| (3)1   | 118 | 25.5% |
| (4)1.5 | 26  | 5.6%  |
| (5)2   | 62  | 13.4% |
| (6)2.5 | 6   | 1.3%  |
| (7)3   | 21  | 4.5%  |
| (8)3.5 | 4   | 0.9%  |
| (9)4   | 5   | 1.1%  |
| (10)5  | 7   | 1.5%  |
| (14)7  | 1   | 0.2%  |
| (16)8  | 1   | 0.2%  |
| (24)12 | 1   | 0.2%  |

解説：平日日勤帯のCE配置は0～0.5名が約半数を占め、配置は少数である。継続的・包括的なICU支援体制としては不十分と考えられる。

設問4 平日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。n=462



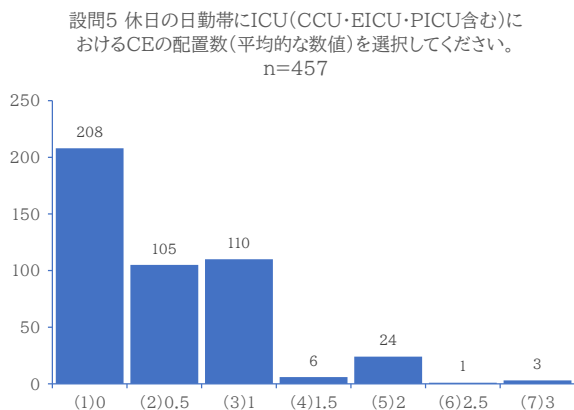
問5 休日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を選択してください。

目的：休日のICUのCE人員配置の実態を把握する。  
定義：休日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1と換算してください。

有効回答数：457

| 回答     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 208 | 45.5% |
| (2)0.5 | 105 | 23.0% |
| (3)1   | 110 | 24.1% |
| (4)1.5 | 6   | 1.3%  |
| (5)2   | 24  | 5.3%  |
| (6)2.5 | 1   | 0.2%  |
| (7)3   | 3   | 0.7%  |

解説：休日日勤帯では約半数がCEの配置なしであり、平日との差が大きい。高度医療機器対応における休日体制の脆弱性が示唆される。



問6 夜勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を選択してください。

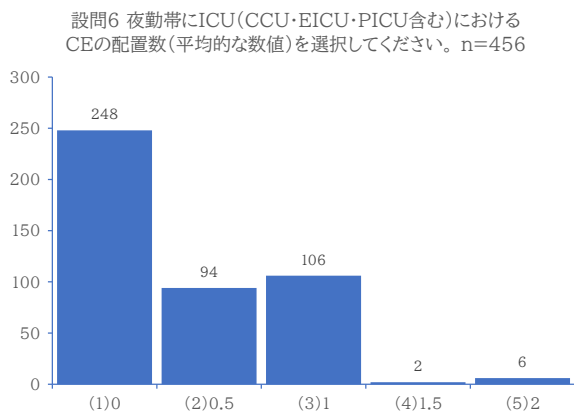
目的：夜勤帯のICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義：夜勤帯にICU業務を行っているCEの人数を選択してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1と換算してください。

有効回答数：456

| 回答     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 248 | 54.4% |
| (2)0.5 | 94  | 20.6% |
| (3)1   | 106 | 23.2% |
| (4)1.5 | 2   | 0.4%  |
| (5)2   | 6   | 1.3%  |

解説：夜勤帯は0名が54.4%と過半数を占め、急変時対応はオンコール依存が中心である。即応性や安全性確保の面で課題が残る。



問7 平日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

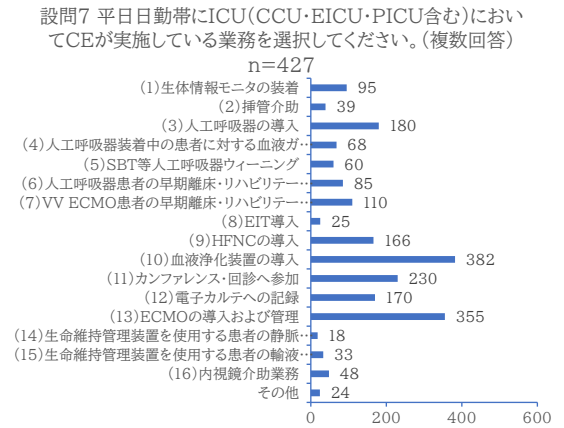
目的：平日日勤帯のICUの業務内容を把握する。  
定義：平日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする(タスクシフト関連)。

有効回答数：427

| 回答                                          | n   | 割合    |
|---------------------------------------------|-----|-------|
| (1)生体情報モニタの装着                               | 95  | 22.2% |
| (2)挿管補助                                     | 39  | 9.1%  |
| (3)人工呼吸器の導入                                 | 180 | 42.2% |
| (4)人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血 | 68  | 15.9% |
| (5)SBT等人工呼吸器ウィーニング                          | 60  | 14.1% |
| (6)人工呼吸器患者の早期離床・リハビリテーションの介助                | 85  | 19.9% |
| (7)VV ECMO 患者の早期離床・リハビリテーションの介助             | 110 | 25.8% |
| (8)EIT 導入                                   | 25  | 5.9%  |
| (9)HFNC の導入                                 | 166 | 38.9% |
| (10)血液浄化装置の導入                               | 382 | 89.5% |
| (11)カンファレンス・回診へ参加                           | 230 | 53.9% |
| (12)電子カルテへの記録                               | 170 | 39.8% |
| (13)ECMO の導入および管理                           | 355 | 83.1% |
| (14)生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去              | 18  | 4.2%  |
| (15)生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更 | 33  | 7.7%  |
| (16)内視鏡介助業務                                 | 48  | 11.2% |
| その他                                         | 24  | 5.6%  |

その他内訳：ICUなし 4,人工呼吸器の点検 3,NO 導入 2,トラブル対応 2,人工呼吸器, CRRT, IABP, インベラの使用中点検, 2,心外術後ICU入室受け対応 2,なし 1,PCPS 導入・管理 1,専任していないため 1,日ごとで異なる 1,呼吸器トラブル,1 オンコール対応 1,人工呼吸器装着患者搬送 1,重症度スコア入力 1,配置機器の日常点検, 高度管理医療機器の定期点検の計画と実施。 1

解説：平日日勤帯ではECMO 管理83%、血液浄化装置への関与90%と高く、生命維持管理装置が中心業務である。一方、EIT など先進技術の導入は限定的である。



問8 休日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

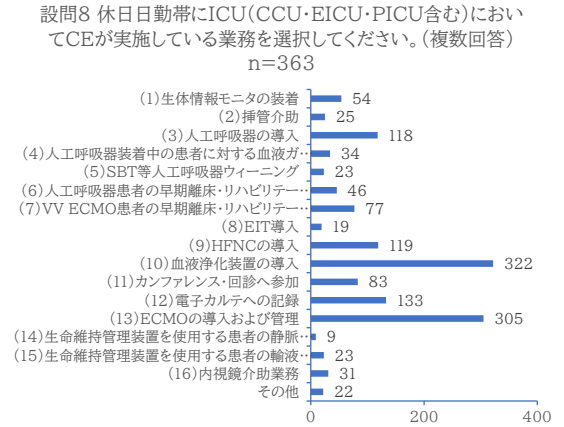
目的：休日日勤帯のICUの業務内容を把握する。  
定義：休日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする(タスクシフト関連)。

有効回答数：363

| 回答                                          | n   | 割合    |
|---------------------------------------------|-----|-------|
| (1)生体情報モニタの装着                               | 54  | 14.9% |
| (2)挿管補助                                     | 25  | 6.9%  |
| (3)人工呼吸器の導入                                 | 118 | 32.5% |
| (4)人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血 | 34  | 9.4%  |
| (5)SBT等人工呼吸器ウィーニング                          | 23  | 6.3%  |
| (6)人工呼吸器患者の早期離床・リハビリテーションの介助                | 46  | 12.7% |
| (7)VV ECMO 患者の早期離床・リハビリテーションの介助             | 77  | 21.2% |
| (8)EIT 導入                                   | 19  | 5.2%  |
| (9)HFNC の導入                                 | 119 | 32.8% |
| (10)血液浄化装置の導入                               | 322 | 88.7% |
| (11)カンファレンス・回診へ参加                           | 83  | 22.9% |
| (12)電子カルテへの記録                               | 133 | 36.6% |
| (13)ECMO の導入および管理                           | 305 | 84.0% |
| (14)生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去              | 9   | 2.5%  |
| (15)生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更 | 23  | 6.3%  |
| (16)内視鏡介助業務                                 | 31  | 8.5%  |
| その他                                         | 22  | 6.1%  |

その他内訳：該当なし 4,ICUなし 4,人工呼吸器, CRRT, IABP, インベラの使用中点検, 2,医療機器の点検, 不具合対応 2,オンコール対応 2,NO療法導入 2,CRRT や ECMO の 24 時間管理で休日に実施 2,専任していない 1,人工呼吸器使用中点検 1,人工呼吸器患者搬送・腹臥位療法介助・人工呼吸器設定変更・NPV の導入 1,一部の技士のみが行っている業務を含む 1

解説：休日はECMO 84%、CRRT 89%と生命維持管理装置の対応は継続している。ただし、カンファレンス・回診へ参加は23%と低下しており、多職種連携は平日より弱まる傾向がある。



問9 夜勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）においてCEが実施している業務を選択してください。（複数回答）

目的：夜勤帯のICUの業務内容を把握する。

定義：夜勤帯に關与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日本の日曜日および祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする（タスクシフト関連）。

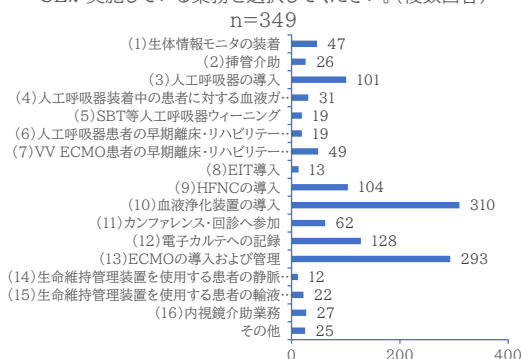
有効回答数：349

| 項目                                          | n   | 割合    |
|---------------------------------------------|-----|-------|
| (1)生体情報モニタの装着                               | 47  | 13.5% |
| (2)挿管介助                                     | 26  | 7.4%  |
| (3)人工呼吸器の導入                                 | 101 | 28.9% |
| (4)人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血 | 31  | 8.9%  |
| (5)SBT等人工呼吸器ウィーニング                          | 19  | 5.4%  |
| (6)人工呼吸器患者の早期離床・リハビリテーションの介助                | 19  | 5.4%  |
| (7)VV ECMO患者の早期離床・リハビリテーションの介助              | 49  | 14.0% |
| (8)EIT導入                                    | 13  | 3.7%  |
| (9)HFNCの導入                                  | 104 | 29.8% |
| (10)血液浄化装置の導入                               | 310 | 88.8% |
| (11)カンファレンス・回診へ参加                           | 62  | 17.8% |
| (12)電子カルテへの記録                               | 128 | 36.7% |
| (13)ECMOの導入および管理                            | 293 | 84.0% |
| (14)生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去              | 12  | 3.4%  |
| (15)生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更 | 22  | 6.3%  |
| (16)内視鏡介助業務                                 | 27  | 7.7%  |
| その他                                         | 25  | 7.2%  |

その他内訳：該当なし 6, ICUなし 3, 人工呼吸器, CRRT, IABP, インペラの使用中点検 2, 医療機器の不具合対応 2, オンコール対応 2, 夜勤なし 2, NO療法の導入 1, CRRTやECMOの24時間管理で実施 1, 専任していない 1, 人工呼吸器使用中点検 1, 人工呼吸器患者搬送・腹臥位療法介助・人工呼吸器設定変更・NPFPVの導入 1, 自動の継続の場合あり 1, 当直の緊急時対応 1, 夜間は実施していない 1

解説：夜勤帯は血液浄化装置の導入89%、ECMO導入管理84%と生命維持管理装置の緊急対応は維持している。ラウンドなどの積極的な管理は減り、オンコール対応が中心と推察される。

設問9 夜勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）においてCEが実施している業務を選択してください。（複数回答）



問10 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：NICUの総ベッド数を把握する。

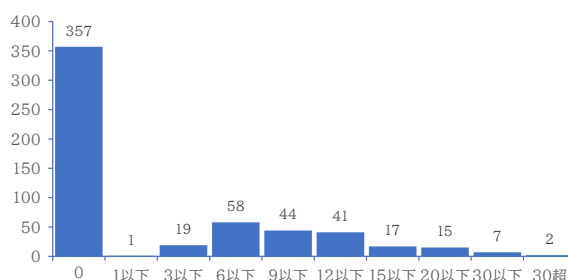
定義：NICUのベッド数を半角数字で入力してください。（ない場合は0を入力し、設問18にお進みください。）人・名などの単位を入れないでください。

有効回答数：561

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| 0    | 357 | 63.6% |
| 1以下  | 1   | 0.2%  |
| 3以下  | 19  | 3.4%  |
| 6以下  | 58  | 10.3% |
| 9以下  | 44  | 7.8%  |
| 12以下 | 41  | 7.3%  |
| 15以下 | 17  | 3.0%  |
| 20以下 | 15  | 2.7%  |
| 30以下 | 7   | 1.2%  |
| 30超  | 2   | 0.4%  |

解説：NICU病床は0が63.6%である。小児・新生児集中治療の対応施設が限定される実情を反映している。床数は6床から9床が多い。

設問10 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。  
n=561



問11 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数を選択してください。

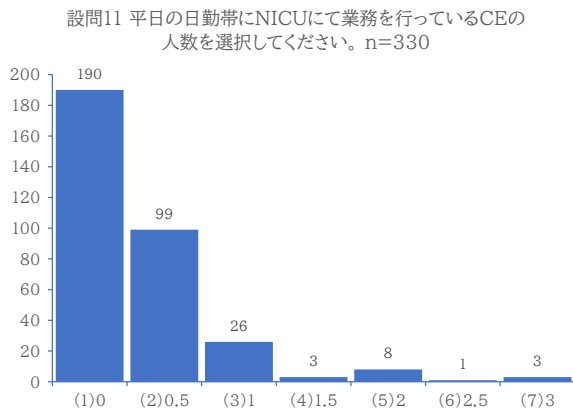
目的：平日のNICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義：NICU業務を行っているCEの人数（平均的な数値）を選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1と換算してください。

有効回答数：330

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 190 | 57.6% |
| (2)0.5 | 99  | 30.0% |
| (3)1   | 26  | 7.9%  |
| (4)1.5 | 3   | 0.9%  |
| (5)2   | 8   | 2.4%  |
| (6)2.5 | 1   | 0.3%  |
| (7)3   | 3   | 0.9%  |

解説：平日の日勤帯における CE の配置数は、0 人が 58% と多く、次いで 0.5 人が 30% であり、NICU の平日日勤帯における CE の常駐体制は脆弱であることが伺える。



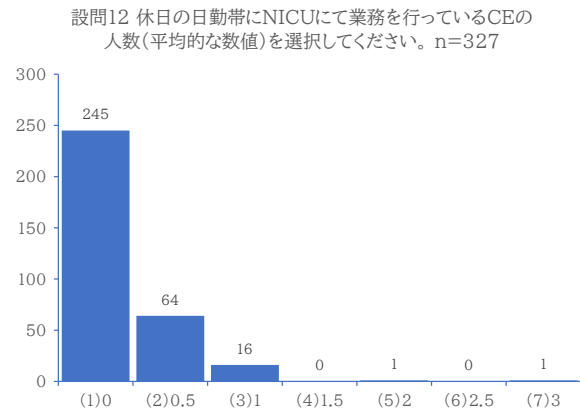
問 12 休日の日勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数（平均的な数値）を選択してください。  
目的：休日の日勤帯の NICU の CE 人員配置の実態を把握する。

定義：休日の日勤帯に NICU 業務を行っている CE の人数を選択してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5、4 時間以上の場合は 1 と換算してください。

有効回答数：327

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 245 | 74.9% |
| (2)0.5 | 64  | 19.6% |
| (3)1   | 16  | 4.9%  |
| (4)1.5 | 0   | 0.0%  |
| (5)2   | 1   | 0.3%  |
| (6)2.5 | 0   | 0.0%  |
| (7)3   | 1   | 0.3%  |

解説：休日の日勤帯における CE の配置数は、0 人が 75% と多く、次いで 0.5 人が 20% であり、NICU の休日日勤帯における CE の常駐体制は脆弱であることが伺える。



問 13 夜勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数（平均的な数値）を選択してください。

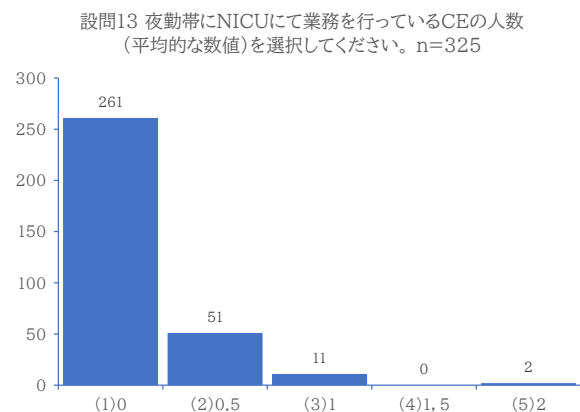
目的：夜勤帯の NICU の CE 人員配置の実態を把握する。

定義：夜勤帯に NICU 業務を行っている CE の人数を選択してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5、4 時間以上の場合は 1 と換算してください。

有効回答数：325

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1)0    | 261 | 80.3% |
| (2)0.5  | 51  | 15.7% |
| (3)1    | 11  | 3.4%  |
| (4)1, 5 | 0   | 0.0%  |
| (5)2    | 2   | 0.6%  |

解説：夜勤帯における CE の配置数は、0 人が 80% と多く、次いで 0.5 人が 16% であり、NICU の夜勤帯における CE の常駐体制は脆弱であることが伺える。



問 14 NICU にて実施している治療及び業務を選択してください。(複数回答)

目的：NICU における治療及び業務の種類の実態を把握する。

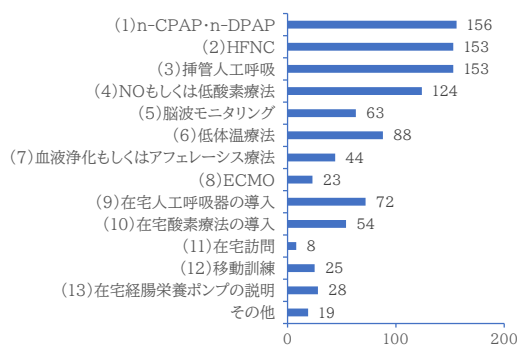
定義：NICU にて実施されている治療及び業務を選択してください。※ CE の実施ではない。

有効回答数：217

| 項目                                                                                                                    | n   | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)n-CPAP・n-DPAP                                                                                                      | 156 | 71.9% |
| (2)HFNC                                                                                                               | 153 | 70.5% |
| (3)挿管人工呼吸                                                                                                             | 153 | 70.5% |
| (4)NO もしくは低酸素療法                                                                                                       | 124 | 57.1% |
| (5)脳波モニタリング                                                                                                           | 63  | 29.0% |
| (6)低体温療法                                                                                                              | 88  | 40.6% |
| (7)血液浄化もしくはアフエーシス療法                                                                                                   | 44  | 20.3% |
| (8)ECMO                                                                                                               | 23  | 10.6% |
| (9)在宅人工呼吸器の導入                                                                                                         | 72  | 33.2% |
| (10)在宅酸素療法の導入                                                                                                         | 54  | 24.9% |
| (11)在宅訪問                                                                                                              | 8   | 3.7%  |
| (12)移動訓練                                                                                                              | 25  | 11.5% |
| (13)在宅経腸栄養ポンプの説明                                                                                                      | 28  | 12.9% |
| その他                                                                                                                   | 19  | 8.8%  |
| その他内訳：NICU なし 5,なし 3,トラブル対応 2,人工呼吸器の準備,トラブル対応 2,人工呼吸器・保育器の使用中心点検 2,光線療法 2,人工呼吸器使用患者搬送 1,保育器・光線治療器等の管理 1,人工呼吸器使用患者搬送 1 |     |       |

解説：n-CPAP・n-DPAP，HFNC，挿管人工呼吸器は 70% 以上の関与があり，NO 療法・低酸素療法は 57% であることから重症患者に対する呼吸治療の関与が大きい。

設問14 NICUにて実施している治療及び業務を選択してください。(複数回答) n=217



問 15 NICU にて CE が回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICU における CE の回路装着・使用前点検業務の実態を把握する。

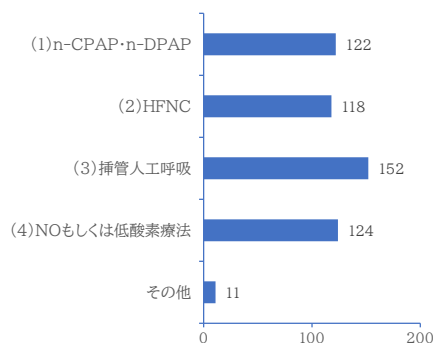
定義：NICU にて CE が実施している業務を選択してください。

有効回答数：195

| 項目                                                   | n   | 割合    |
|------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)n-CPAP・n-DPAP                                     | 122 | 62.6% |
| (2)HFNC                                              | 118 | 60.5% |
| (3)挿管人工呼吸                                            | 152 | 77.9% |
| (4)NO もしくは低酸素療法                                      | 124 | 63.6% |
| その他                                                  | 11  | 5.6%  |
| その他内訳：なし 5,NICU なし 3,トラブル対応 1,一部の人工呼吸器のみ 1,専従していない 1 |     |       |

解説：挿管人工呼吸器の回路装着・点検が 78% と最も多く，呼吸治療全般における導入初期の安全確保は CE の関与が主流である。

設問15 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=195



問 16 NICU にて CE が回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICU における CE の回路交換業務の実態を把握する。

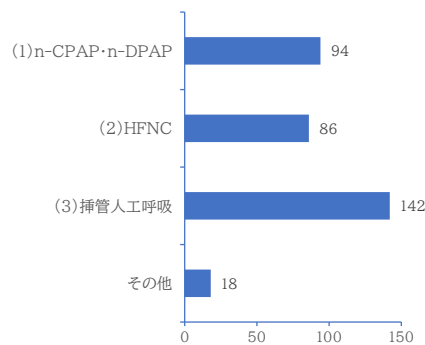
定義：NICU にて CE が回路交換を行なっている業務を選択してください。

有効回答数：167

| 項目                                                                                                              | n   | 割合    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)n-CPAP・n-DPAP                                                                                                | 94  | 56.3% |
| (2)HFNC                                                                                                         | 86  | 51.5% |
| (3)挿管人工呼吸                                                                                                       | 142 | 85.0% |
| その他                                                                                                             | 18  | 10.8% |
| その他内訳：なし 9,NICU なし 3,基本は看護師が行い、要望で臨床工学技士が対応 2,トラブル対応 1,一部の人工呼吸器のみ 1,回路交換は行わず呼吸器交換 1,人工呼吸器の回路交換は使用後に NICU 外で実施 1 |     |       |

解説：CE が行う回路交換は挿管人工呼吸器が 85% と最も高く，他は 50% 前後である。業務分担の施設差が大きいことが伺える。

設問16 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=167



問 17 NICU にて CE が導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICU における CE の導入・装着に関与している業務の実態を把握する。

定義：NICU にて CE が導入・装着を行なっている業務を選択してください。

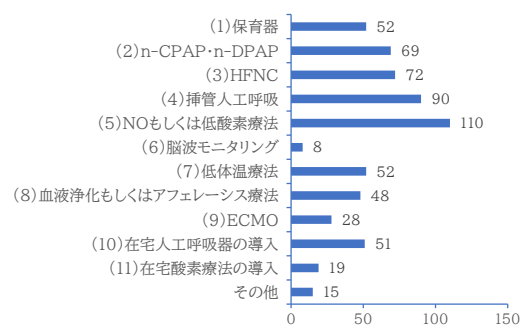
有効回答数：184

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)保育器              | 52  | 28.3% |
| (2)n-CPAP・n-DPAP    | 69  | 37.5% |
| (3)HFNC             | 72  | 39.1% |
| (4)挿管人工呼吸           | 90  | 48.9% |
| (5)NO もしくは低酸素療法     | 110 | 59.8% |
| (6)脳波モニタリング         | 8   | 4.3%  |
| (7)低体温療法            | 52  | 28.3% |
| (8)血液浄化もしくはアフエーシス療法 | 48  | 26.1% |
| (9)ECMO             | 28  | 15.2% |
| (10)在宅人工呼吸器の導入      | 51  | 27.7% |
| (11)在宅酸素療法の導入       | 19  | 10.3% |
| その他                 | 15  | 8.2%  |

その他内訳：なし 7, NICU なし 4, 依頼時 1, トラブル対応 1, ECMO, 血液浄化の必要な症例は ICU で CE が実施 1, その他 1

解説：NO 療法 60% が最も多く、次いで挿管人工呼吸が 49% であり、難治症例に関与が伺える。ECMO の関与 15% は症例の集中を反映している可能性がある。

設問17 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。(複数回答) n=184



問 18 救急初療室は設置されていますか。(複数回答)

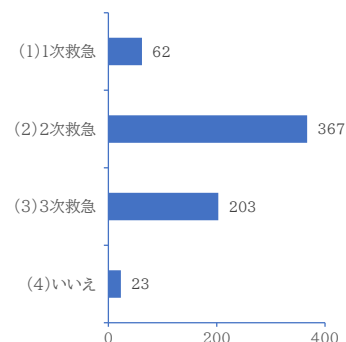
目的：救急初療室の設置実態を把握する。

定義：救急初療室の有無と種別を把握する。

有効回答数：591

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)1 次救急 | 62  | 10.5% |
| (2)2 次救急 | 367 | 62.1% |
| (3)3 次救急 | 203 | 34.3% |
| (4)いいえ   | 23  | 3.9%  |

設問18 救急初療室は設置されていますか。(複数回答) n=591



問 19 救急初療室における業務に CE が対応している時間帯を選択してください。(複数回答)

目的：CE が救急初療室における業務に対応している時間帯の実態を把握する。

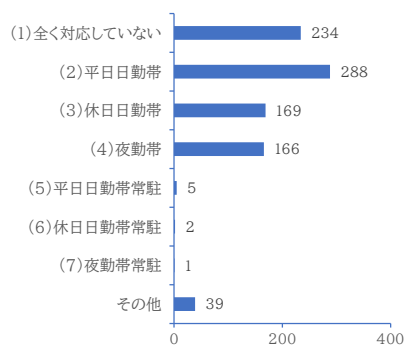
定義：対応している時間帯を選択してください。ただし機器ラウンド点検などで使用中点検のみは除きます。※日勤帯は、8:00～16:30 (半角かどうかは他の業務設問と統一でお願いします) をおおよね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。

有効回答数：566

| 項目            | n   | 割合    |
|---------------|-----|-------|
| (1) 全く対応していない | 234 | 41.3% |
| (2) 平日日勤帯     | 288 | 50.9% |
| (3) 休日日勤帯     | 169 | 29.9% |
| (4) 夜勤帯       | 166 | 29.3% |
| (5) 平日日勤帯常駐   | 5   | 0.9%  |
| (6) 休日日勤帯常駐   | 2   | 0.4%  |
| (7) 夜勤帯常駐     | 1   | 0.2%  |
| その他           | 39  | 6.9%  |

その他内訳：オンコール 19, 必要時に対応 11, 人工呼吸器, ECMO などを導入時 4, CPA 患者のみ対応 1, CE 兼看護師として輪番救急準夜勤 1, ECPR・MCS・IVTM・急速輸液輸血装置管理・CIEDs の管理 1, 24 時間対応 1

設問19 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答) n=566



問 20 救急初療室にて CE が実施することがある業務を選択してください。(複数回答)

目的：CE が救急初療室において対応している業務の実態を把握する。

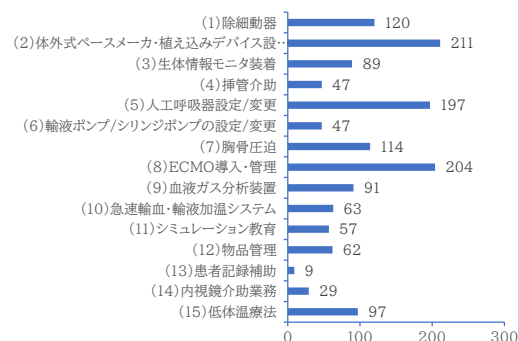
定義：対応している業務を選択してください。

有効回答数：551

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1) 除細動器                     | 120 | 21.8% |
| (2) 体外式ペースメーカー・植え込みデバイス設定/変更 | 211 | 38.3% |
| (3) 生体情報モニタ装着                | 89  | 16.2% |
| (4) 挿管介助                     | 47  | 8.5%  |
| (5) 人工呼吸器設定/変更               | 197 | 35.8% |
| (6) 輸液ポンプ/シリンジポンプの設定/変更      | 47  | 8.5%  |
| (7) 胸骨圧迫                     | 114 | 20.7% |
| (8) ECMO 導入・管理               | 204 | 37.0% |
| (9) 血液ガス分析装置                 | 91  | 16.5% |
| (10) 急速輸血・輸液加温システム           | 63  | 11.4% |
| (11) シミュレーション教育              | 57  | 10.3% |
| (12) 物品管理                    | 62  | 11.3% |
| (13) 患者記録補助                  | 9   | 1.6%  |
| (14) 内視鏡介助業務                 | 29  | 5.3%  |
| (15) 低体温療法                   | 97  | 17.6% |
| その他                          | 13  | 2.4%  |

その他内訳：医療機器の管理・トラブル対応 5, 患者搬送 3, なし 1, 指示あれば対応 1, 必要に応じて対応 1, 看護師として実施している 1, (6) は実施してよいのか? 告示研修 集中治療, 手術室では? 1

設問20 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。(複数回答) n=551



問 21 CE が立ち会う院内搬送患者を選択してください。（複数回答）

目的：CE が院内搬送に対応している業務の実態を把握する。

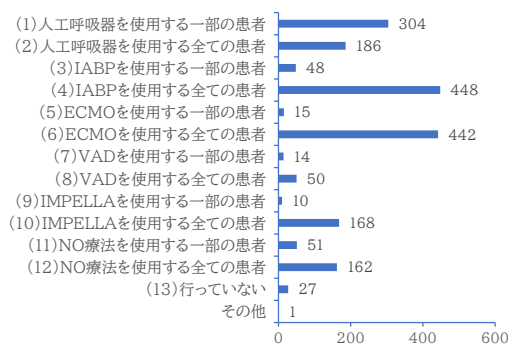
定義：CE が立ち会う院内搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

有効回答数：591

| 項目                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器を使用する一部の患者     | 304 | 51.4% |
| (2)人工呼吸器を使用する全ての患者     | 186 | 31.5% |
| (3)IABP を使用する一部の患者     | 48  | 8.1%  |
| (4)IABP を使用する全ての患者     | 448 | 75.8% |
| (5)ECMO を使用する一部の患者     | 15  | 2.5%  |
| (6)ECMO を使用する全ての患者     | 442 | 74.8% |
| (7)VAD を使用する一部の患者      | 14  | 2.4%  |
| (8)VAD を使用する全ての患者      | 50  | 8.5%  |
| (9)IMPELLA を使用する一部の患者  | 10  | 1.7%  |
| (10)IMPELLA を使用する全ての患者 | 168 | 28.4% |
| (11)NO 療法を使用する一部の患者    | 51  | 8.6%  |
| (12)NO 療法を使用する全ての患者    | 162 | 27.4% |
| (13)行っていない             | 27  | 4.6%  |
| その他                    | 1   | 0.2%  |

その他内訳： NPPV 専用装置装着患者の搬送 1

設問21 CEが立ち会う院内搬送患者を選択してください。  
(複数回答) n=591



問 22 CE が立ち会う院外搬送患者を選択してください。（複数回答）

目的：CE が院外搬送に対応している業務の実態を把握する。

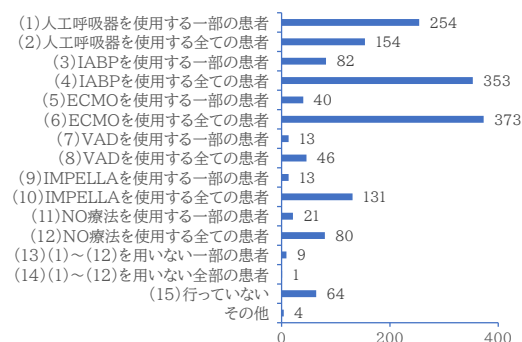
定義：CE が立ち会う院外搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

有効回答数：591

| 項目                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)人工呼吸器を使用する一部の患者     | 254 | 43.0% |
| (2)人工呼吸器を使用する全ての患者     | 154 | 26.1% |
| (3)IABP を使用する一部の患者     | 82  | 13.9% |
| (4)IABP を使用する全ての患者     | 353 | 59.7% |
| (5)ECMO を使用する一部の患者     | 40  | 6.8%  |
| (6)ECMO を使用する全ての患者     | 373 | 63.1% |
| (7)VAD を使用する一部の患者      | 13  | 2.2%  |
| (8)VAD を使用する全ての患者      | 46  | 7.8%  |
| (9)IMPELLA を使用する一部の患者  | 13  | 2.2%  |
| (10)IMPELLA を使用する全ての患者 | 131 | 22.2% |
| (11)NO 療法を使用する一部の患者    | 21  | 3.6%  |
| (12)NO 療法を使用する全ての患者    | 80  | 13.5% |
| (13)(1)～(12)を用いない一部の患者 | 9   | 1.5%  |
| (14)(1)～(12)を用いない全部の患者 | 1   | 0.2%  |
| (15)行っていない             | 64  | 10.8% |
| その他                    | 4   | 0.7%  |

その他内訳： 搬送中のみ取り外している患者を除く 1,救急車へ搬入は保育器,在宅呼吸器に対応 1,状況次第,当院は搬送受入が多く搬出は少ない 1

設問22 CEが立ち会う院外搬送患者を選択してください。  
(複数回答) n=591



問 23 ドクターカー（医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車）に関する業務として CE が行っていることを選択してください。（複数回答）

目的：CE が行なっているドクターカーに関する業務の実態を把握する。

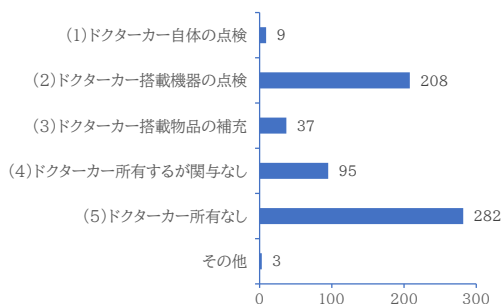
定義：CE が対応している業務を選択してください。

有効回答数：591

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1)ドクターカー自体の点検     | 9   | 1.5%  |
| (2)ドクターカー搭載機器の点検   | 208 | 35.2% |
| (3)ドクターカー搭載物品の補充   | 37  | 6.3%  |
| (4)ドクターカー所有するが関与なし | 95  | 16.1% |
| (5)ドクターカー所有なし      | 282 | 47.7% |
| その他                | 3   | 0.5%  |

その他内訳： DMATカーの点検管理 1,なし 1,酸素ボンベ交換 1

設問23 ドクターカー(医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車)に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。(複数回答) n=591



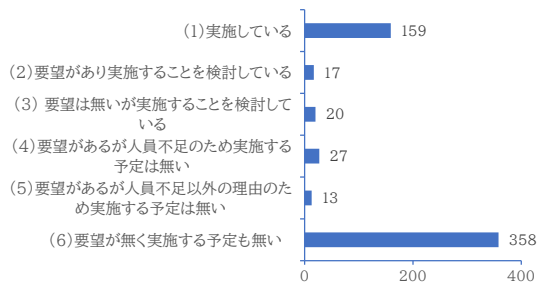
問24 貴院ではICUおよびそれに準ずる治療室(CCU, SCU, NICU, HCU, PICU), 救急外来, 病棟, 放射線透視室において, (清潔) 介助業務を実施していますか。(複数回答)

目的: CEの(清潔)介助業務の実施状況の把握する.  
定義: CEが(清潔)介助業務を実施しているか記入してください。(タスクシフト関連)

有効回答数: 591

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 159 | 26.9% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 17  | 2.9%  |
| (3) 要望は無いが実施することを検討している        | 20  | 3.4%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 27  | 4.6%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 13  | 2.2%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 358 | 60.6% |

設問24 貴院ではICUおよびそれに準ずる治療室(CCU, SCU, NICU, HCU, PICU), 救急外来, 病棟, 放射線透視室において, (清潔)介助業務を実施していますか。(複数回答) n=591



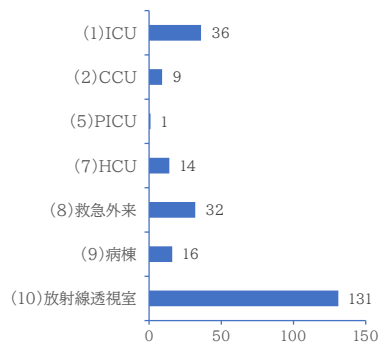
問25 貴院では(清潔) 介助業務をどの部門で実施していますか。(複数回答)

目的: CEの(清潔)介助業務の実施状況の把握する.  
定義: CEが(清潔) 介助業務を実施しているか記入してください。(タスクシフト関連)

有効回答数: 155

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)ICU     | 36  | 23.2% |
| (2)CCU     | 9   | 5.8%  |
| (5)PICU    | 1   | 0.6%  |
| (7)HCU     | 14  | 9.0%  |
| (8)救急外来    | 32  | 20.6% |
| (9)病棟      | 16  | 10.3% |
| (10)放射線透視室 | 131 | 84.5% |

設問25 貴院では(清潔)介助業務をどの部門で実施していますか。(複数回答) n=155



問26 CEが実施している(清潔) 介助業務を全て選択してください。(複数回答)

目的: CEが実施している(清潔) 介助業務を把握する.

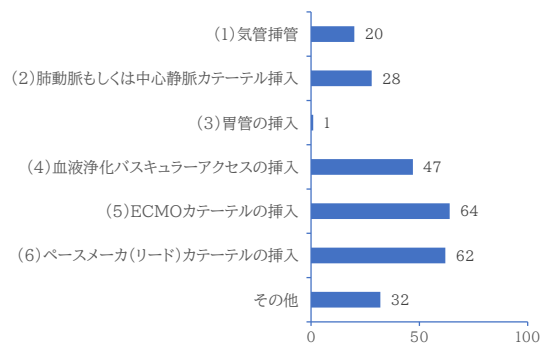
定義: CEが実施している(清潔) 介助業務を選択してください。(タスクシフト関連)

有効回答数: 134

| 項目                      | n  | 割合    |
|-------------------------|----|-------|
| (1)気管挿管                 | 20 | 14.9% |
| (2)肺動脈もしくは中心静脈カテーテル挿入   | 28 | 20.9% |
| (3)胃管の挿入                | 1  | 0.7%  |
| (4)血液浄化バスキュラーアクセスの挿入    | 47 | 35.1% |
| (5)ECMO カテーテルの挿入        | 64 | 47.8% |
| (6)ペースメーカー(リード)カテーテルの挿入 | 62 | 46.3% |
| その他                     | 32 | 23.9% |

その他内訳: 心臓カテーテル関連 22, TAVI 1, シヤント PTA 2, アブレーション 3, 必要時に対応 1, 止血介助 1, 準備 1, ECMO 抜去 1

設問26 CEが実施している(清潔)介助業務を全て選択してください。(複数回答) n=134



問 27 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。(単一回答)

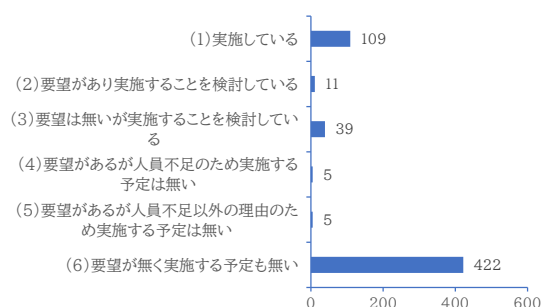
目的：人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血の実施状況を把握する。

定義：CEが人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施しているか選択してください。(タスクシフト関連)

有効回答数：591

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 109 | 18.4% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 11  | 1.9%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 39  | 6.6%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 5   | 0.8%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 5   | 0.8%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 422 | 71.4% |

設問27 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。(単一回答) n=591



問 28 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。(単一回答)

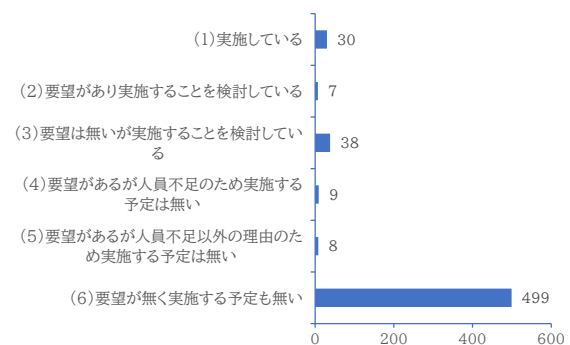
目的：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施状況を把握する。

定義：集中治療室における生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施予定を選択してください。(タスクシフト関連)

有効回答数：591

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 30  | 5.1%  |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 7   | 1.2%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 38  | 6.4%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 9   | 1.5%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 8   | 1.4%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 499 | 84.4% |

設問28 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。(単一回答) n=591



問 29 CEは生命維持管理装置に必要なシリンジポンプ・輸液ポンプによる薬剤の投与・設定変更を実施していますか。(単一回答)

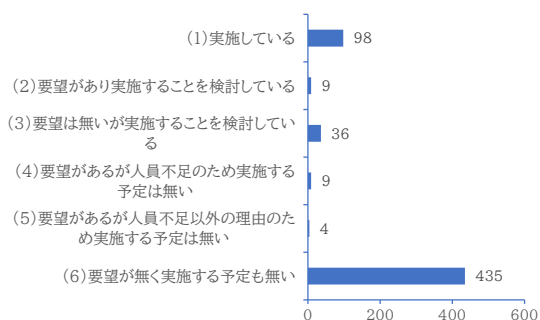
目的：生命維持管理装置に必要な薬剤投与の実施状況を把握する。

定義：集中治療室における生命維持管理装置に必要な薬剤投与において、輸液ポンプ・シリンジポンプの接続や設定変更の実施予定を選択してください。(タスクシフト関連)

有効回答数：591

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 98  | 16.6% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 9   | 1.5%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 36  | 6.1%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 9   | 1.5%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 4   | 0.7%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 435 | 73.6% |

設問29 CEは生命維持管理装置に必要なシリンジポンプ・輸液ポンプによる薬剤の投与・設定変更を実施していますか。(単一回答) n=591



問 30 貴院でICU (CCU・EICU・PICU・NICU 含む)において専従で業務を行う集中治療専門臨床工学技士取得者は何人おられますか。

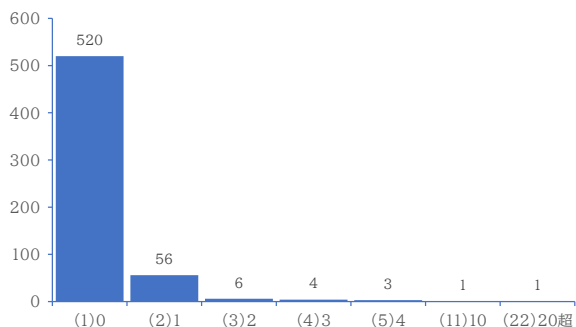
目的：集中治療専門臨床工学技士のICU 関与の現状把握する。

定義：ICU で専従として対応する集中治療専門臨床工学技士取得者の人数を選択して下さい。1 人あたり 4 時間以上の業務をおこなうことで1 とする。※集中治療専門臨床工学技士は日本集中治療医学会の認定制度です。

有効回答数：591

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 520 | 88.0% |
| (2)1     | 56  | 9.5%  |
| (3)2     | 6   | 1.0%  |
| (4)3     | 4   | 0.7%  |
| (5)4     | 3   | 0.5%  |
| (11)10   | 1   | 0.2%  |
| (22)20 超 | 1   | 0.2%  |

設問30 貴院でICU(CCU・EICU・PICU・NICU含む)において専従で業務を行う集中治療専門臨床工学技士取得者は何人おられますか。n=591



問 31 貴院でICU (CCU・EICU・PICU・NICU 含む)において専従で業務を行う認定集中治療臨床工学技士取得者は何人おられますか。

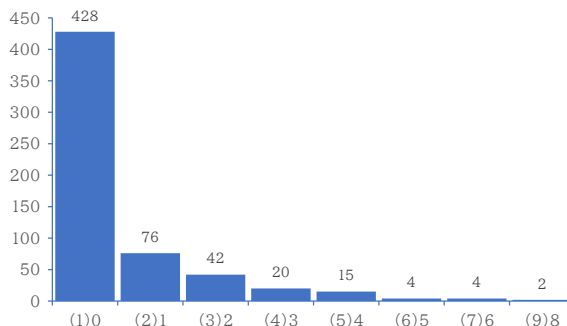
目的：認定集中治療臨床工学技士のICU 関与の現状を把握する。

定義：ICU で専従として対応できる人数を選択して下さい。1 人あたり 4 時間以上の業務を行うことで1 とする。※認定集中治療臨床工学技士は日本臨床工学技士会の認定制度です。

有効回答数：591

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 428 | 72.4% |
| (2)1 | 76  | 12.9% |
| (3)2 | 42  | 7.1%  |
| (4)3 | 20  | 3.4%  |
| (5)4 | 15  | 2.5%  |
| (6)5 | 4   | 0.7%  |
| (7)6 | 4   | 0.7%  |
| (9)8 | 2   | 0.3%  |

設問31 貴院でICU(CCU・EICU・PICU・NICU含む)において専従で業務を行う認定集中治療臨床工学技士取得者は何人おられますか。n=591



問 32 貴院では、院内防災対策に CE がどれだけ関与していますか？(複数回答)

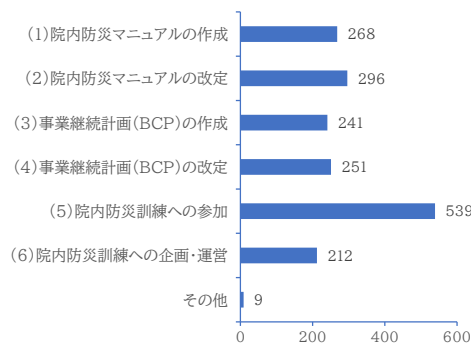
目的：院内防災へのCE の関与を把握する。

定義：院内防災対策に関与しているものを選択してください。

有効回答数：582

| 項目                                             | n   | 割合    |
|------------------------------------------------|-----|-------|
| (1)院内防災マニュアルの作成                                | 268 | 46.0% |
| (2)院内防災マニュアルの改定                                | 296 | 50.9% |
| (3)事業継続計画(BCP)の作成                              | 241 | 41.4% |
| (4)事業継続計画(BCP)の改定                              | 251 | 43.1% |
| (5)院内防災訓練への参加                                  | 539 | 92.6% |
| (6)院内防災訓練への企画・運営                               | 212 | 36.4% |
| その他                                            | 9   | 1.5%  |
| その他内訳： 関与なし 6,DMAT 1,委員会に参加 1,透析室の防災マニュアルに関与 1 |     |       |

設問32 貴院では、院内防災対策にCEがどれだけ関与していますか？(複数回答) n=582



## 8. 業務実態報告 2025 施設報告 内視鏡アドオン

問1 内視鏡室(センター)における年間の内視鏡検査治療総件数を選択してください。(単一回答)

目的: 施設の年間の内視鏡検査治療総件数把握のため。

定義: 施設の内視鏡室における年間(対象期間)内視鏡検査治療総件数を選択してください。※CEの関与は関係ない

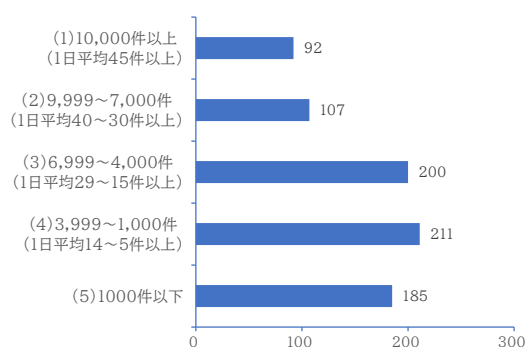
対象: 2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数: 795

| 回答                            | n   | 割合    |
|-------------------------------|-----|-------|
| (1)10,000件以上(1日平均45件以上)       | 92  | 11.6% |
| (2)9,999～7,000件(1日平均40～30件以上) | 107 | 13.5% |
| (3)6,999～4,000件(1日平均29～15件以上) | 200 | 25.2% |
| (4)3,999～1,000件(1日平均14～5件以上)  | 211 | 26.5% |
| (5)1000件以下                    | 185 | 23.3% |

解説: 年間総件数3,999～1,000件が27%であり、6,999～4,000件が25%であった。

問1.内視鏡室(センター)における年間の内視鏡検査治療総件数を選択してください。(単一回答) n=795



問2 内視鏡室(センター)ではCEが業務を行っていますか。(単一回答)

目的: 施設の内視鏡室(センター)へのCE業務参画件数の把握のため。

定義: 施設の内視鏡室(センター)でCEが業務を行っているか、いないかを選択してください。※必要時(呼び出し)の対応も含む。

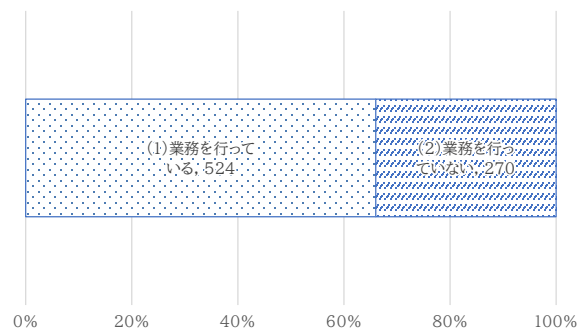
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 794

| 回答           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)業務を行っている  | 524 | 66.0% |
| (2)業務を行っていない | 270 | 34.0% |

解説: 内視鏡室でCEが業務を行っている施設が66%、行っていない施設が34%であった。

問2.内視鏡室(センター)ではCEが業務を行っていますか。(単一回答) n=794



問3 内視鏡室(センター)への平日業務時間帯におけるCE配置人数(平均的な数値)を選択してください。(単一回答)

目的: 施設の内視鏡室(センター)のCE配置人員の把握のため。

定義: 内視鏡室(センター)に対する平日業務時間帯におけるCE配置人数の1日あたり平均値を選択してください(任意の1週間でも可)。

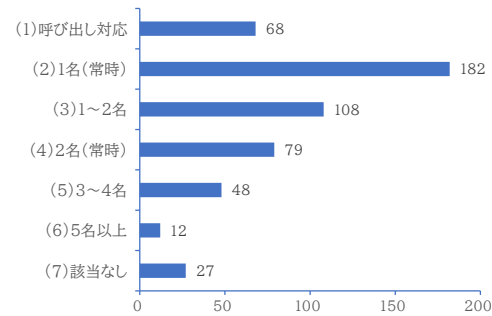
対象: 2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数: 524

| 回答        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)呼び出し対応 | 68  | 13.0% |
| (2)1名(常時) | 182 | 34.7% |
| (3)1～2名   | 108 | 20.6% |
| (4)2名(常時) | 79  | 15.1% |
| (5)3～4名   | 48  | 9.2%  |
| (6)5名以上   | 12  | 2.3%  |
| (7)該当なし   | 27  | 5.2%  |

解説: 平日業務時間帯の配置人数は常時1名が35%と最も多く、次いで1～2名が21%であった。常時2名は15%であった。

問3.内視鏡室(センター)への平日業務時間帯におけるCE配置人数(平均的な数値)を選択してください。(単一回答) n=524



問4 内視鏡室(センター)でのCEの業務について選択してください。(複数回答)

目的:施設の内視鏡室(センター)のCE業務の内容把握のため。

定義:施設の内視鏡室(センター)においてCEが行っている業務について選択してください。

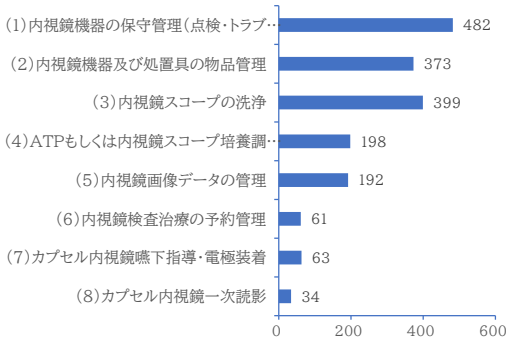
対象:2024年4月1日~2025年3月31日

有効回答数:1,802

| 回答                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1)内視鏡機器の保守管理(点検・トラブル対応)   | 482 | 94.3% |
| (2)内視鏡機器及び処置具の物品管理         | 373 | 73.0% |
| (3)内視鏡スコープの洗浄              | 399 | 78.1% |
| (4)ATPもしくは内視鏡スコープ培養調査の検体採取 | 198 | 38.7% |
| (5)内視鏡画像データの管理             | 192 | 37.6% |
| (6)内視鏡検査治療の予約管理            | 61  | 11.9% |
| (7)カプセル内視鏡嚥下指導・電極装着        | 63  | 12.3% |
| (8)カプセル内視鏡一次読影             | 34  | 6.7%  |

解説:内視鏡室でのCE業務では、内視鏡機器の保守管理を94%、内視鏡スコープ洗浄業務を78%、内視鏡機器および処置具の物品管理を73%の施設で実施していた。

問4.内視鏡室(センター)でのCEの業務について選択してください。(複数回答) n=511



問5 内視鏡室(センター)において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか。(単一回答)

目的:内視鏡室(センター)でCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているかを把握のため。

定義:施設の内視鏡室(センター)における内視鏡検査治療時においてCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか、また実施していない場合の今後の対応について選択してください。(タスクシフト関連)

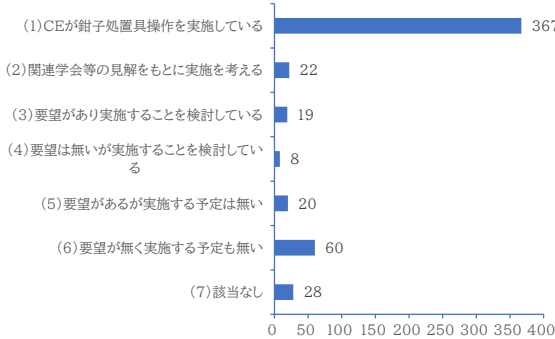
対象:2025年10月1日時点

有効回答数:524

| 回答                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)CEが鉗子処置具操作を実施している   | 367 | 70.0% |
| (2)関連学会等の見解をもとに実施を考える  | 22  | 4.2%  |
| (3)要望があり実施することを検討している  | 19  | 3.6%  |
| (4)要望は無いが実施することを検討している | 8   | 1.5%  |
| (5)要望があるが実施する予定は無い     | 20  | 3.8%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い      | 60  | 11.5% |
| (7)該当なし                | 28  | 5.3%  |

解説:CEが鉗子処置具操作を実施している施設は70%、実施を考えている施設(関連学会等の見解をもとに・要望がありなし含む)は9%であった。

問5.内視鏡室(センター)において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか。(単一回答) n=524



問6 内視鏡室（センター）において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）で鉗子及び処置具操作を実施している職種の把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時において鉗子及び処置具操作をどの職種が実施しているか選択して下さい。（タスクシフト関連）

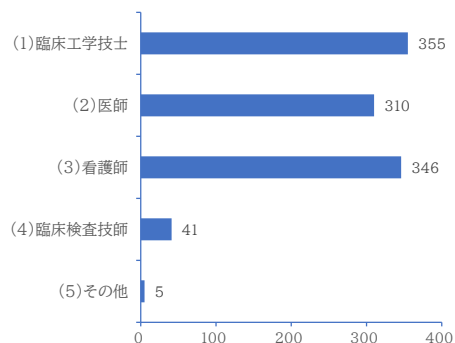
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,057

| 回答                                      | n   | 割合    |
|-----------------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学技士                               | 355 | 68.3% |
| (2)医師                                   | 310 | 59.6% |
| (3)看護師                                  | 346 | 66.5% |
| (4)臨床検査技師                               | 41  | 7.9%  |
| (5)その他                                  | 5   | 1.0%  |
| その他内訳:准看護師 1, 内視鏡技師 1, 放射線技師 2, わからない 1 |     |       |

解説：鉗子および処置具操作をCEが68%、看護師が67%、医師が60%の施設で実施していた。その他の職種は准看護師、診療放射線技師、内視鏡技師であった。

問6.内視鏡室（センター）において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか。（複数回答） n=520



問7 内視鏡室（センター）において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時においてCEがどのような具体的鉗子及び処置具操作を実施しているかを把握するため。

定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが実施している鉗子及び処置具の具体的な操作について選択してください。

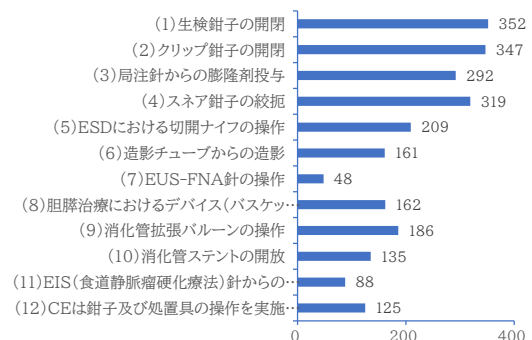
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：504

| 回答                                  | n   | 割合    |
|-------------------------------------|-----|-------|
| (1)生検鉗子の開閉                          | 352 | 69.8% |
| (2)クリップ鉗子の開閉                        | 347 | 68.8% |
| (3)局注針からの膨隆剤投与                      | 292 | 57.9% |
| (4)スネア鉗子の絞扼                         | 319 | 63.3% |
| (5)ESDにおける切開ナイフの操作                  | 209 | 41.5% |
| (6)造影チューブからの造影                      | 161 | 31.9% |
| (7)EUS-FNA針の操作                      | 48  | 9.5%  |
| (8)胆膵治療におけるデバイス(バスケット、バルーン、ステント等)操作 | 162 | 32.1% |
| (9)消化管拡張バルーンの操作                     | 186 | 36.9% |
| (10)消化管ステントの開放                      | 135 | 26.8% |
| (11)EIS(食道静脈瘤硬化療法)針からの硬化剤投与         | 88  | 17.5% |
| (12)CEは鉗子及び処置具の操作を実施していない           | 125 | 24.8% |

解説：内視鏡室においてCEが実施している鉗子および処置具操作では、生検鉗子の開閉を70%、クリップ鉗子の開閉を69%、スネア鉗子の絞扼を63%の施設で実施していた。

問7.内視鏡室（センター）において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。（複数回答） n=504



問8 CEが実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲を選択してください。(単一回答)  
目的：内視鏡室(センター)で鉗子及び処置具操作を実施するにあたり院内のコンセンサスがどれだけ取れているかを把握するため。

定義：施設の内視鏡室(センター)においてCEが実施している鉗子及び処置具の操作についての院内の関連性について選択してください。

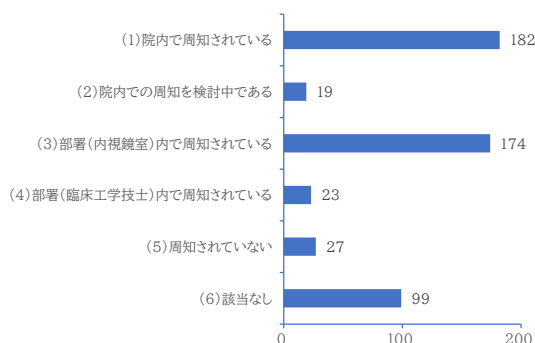
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：524

| 回答                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)院内で周知されている          | 182 | 34.7% |
| (2)院内での周知を検討中である       | 19  | 3.6%  |
| (3)部署(内視鏡室)内で周知されている   | 174 | 33.2% |
| (4)部署(臨床工学技士)内で周知されている | 23  | 4.4%  |
| (5)周知されていない            | 27  | 5.2%  |
| (6)該当なし                | 99  | 18.9% |

解説：CEが実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲は院内で周知されている施設が35%，周知されていない施設が5%であった。

問8.CEが実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲を選択してください。(単一回答) n=524



問9 内視鏡室(センター)において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作においてCE側の操作および設定のミスによるインシデント、ヒヤリ・ハット等ありましたか。(単一回答)

目的：内視鏡室(センター)で鉗子及び処置具操作を実施するにあたりどのくらいの安全性がもたれているかを把握するため。

定義：施設の内視鏡室(センター)においてCEが実施している鉗子及び処置具の操作に関わるインシデント報告の有無を選択してください。

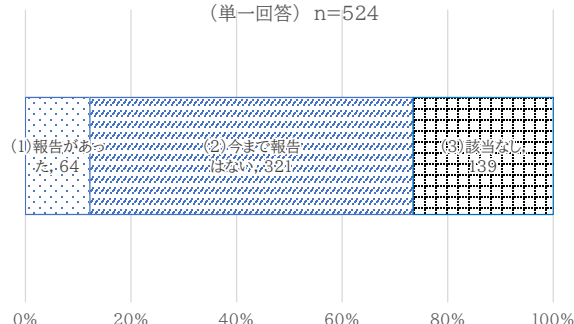
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：524

| 回答          | n   | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| (1)報告があった   | 64  | 12.2% |
| (2)今まで報告はない | 321 | 61.3% |
| (3)該当なし     | 139 | 26.5% |

解説：CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作においてCE側の操作および設定のミスによるインシデント、ヒヤリ・ハット等の報告があった施設が12%，報告がない施設が61%，該当がない施設が27%であった。

問9.内視鏡室(センター)において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作においてCE側の操作および設定のミスによるインシデント、ヒヤリ・ハット等ありましたか。(単一回答) n=524



問10 内視鏡室（センター）で使用しているエネルギーデバイス（電気メス）の関わりについて選択してください。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時においてCEがどの程度具体的に電気メスに関与しているかを把握するため。

定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが実施している電気メスへの関わりについて選択してください。

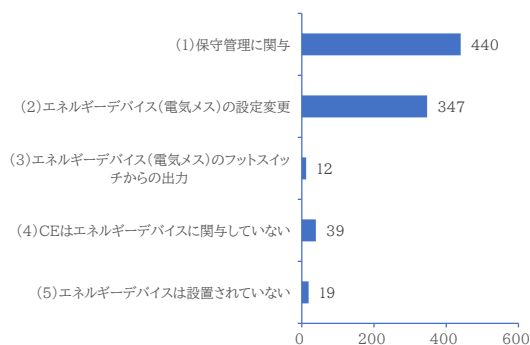
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：521

| 回答                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)保守管理に関与                      | 440 | 84.5% |
| (2)エネルギーデバイス(電気メス)の設定変更         | 347 | 66.6% |
| (3)エネルギーデバイス(電気メス)のフットスイッチからの出力 | 12  | 2.3%  |
| (4)CEはエネルギーデバイスに関与していない         | 39  | 7.5%  |
| (5)エネルギーデバイスは設置されていない           | 19  | 3.6%  |

解説：内視鏡室で使用しているエネルギーデバイス（電気メス）の保守管理に関与している施設が85%、設定変更を実施している施設が67%であった。

問10.内視鏡室(センター)で使用しているエネルギーデバイス(電気メス)の関わりについて選択してください。  
(複数回答) n=521



問11 CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。（単一回答）

目的：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を把握する。

定義：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。

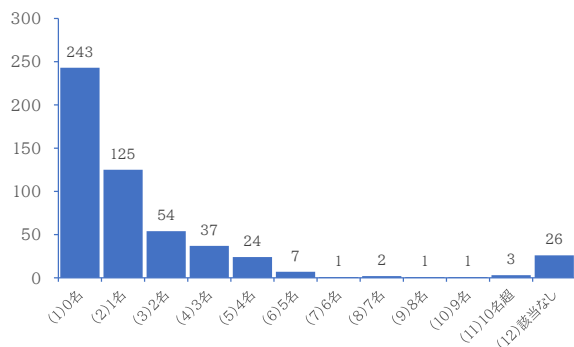
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：524

| 回答       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0名    | 243 | 46.4% |
| (2)1名    | 125 | 23.9% |
| (3)2名    | 54  | 10.3% |
| (4)3名    | 37  | 7.1%  |
| (5)4名    | 24  | 4.6%  |
| (6)5名    | 7   | 1.3%  |
| (7)6名    | 1   | 0.2%  |
| (8)7名    | 2   | 0.4%  |
| (9)8名    | 1   | 0.2%  |
| (10)9名   | 1   | 0.2%  |
| (11)10名超 | 3   | 0.6%  |
| (12)該当なし | 26  | 5.0%  |

解説：CEの消化器内視鏡技師の認定者数は0人が46%、1人が24%であった。

問11.CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。(単一回答) n=524



問12 CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡（止血や異物除去等）に備えて待機を行っていますか。（単一回答）

目的：CEが緊急内視鏡に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急内視鏡に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

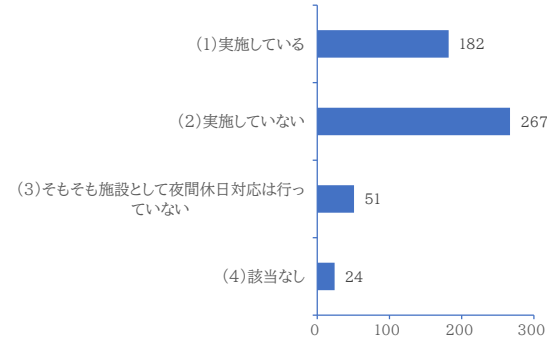
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：524

| 回答                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                 | 182 | 34.7% |
| (2)実施していない                | 267 | 51.0% |
| (3)そもそも施設として夜間休日対応は行っていない | 51  | 9.7%  |
| (4)該当なし                   | 24  | 4.6%  |

解説：CE が休日もしくは夜間における緊急内視鏡に備えて待機の実施をしている施設は 35%，実施していない施設は 51%であった。

問12.CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡(止血や異物除去等)に備えて待機を行っていますか。(単一回答) n=524



問 13 CE が休日もしくは夜間における緊急内視鏡（止血や異物除去等）を実施している場合、どの程度呼び出されていますか。(単一回答)

目的：CE が緊急内視鏡に対する呼び出し頻度を把握する。

定義：緊急内視鏡に CE が対応している頻度。※月の平均呼び出し対応数が当てはまる項目を選択してください。

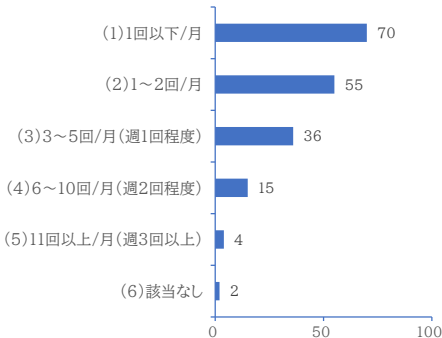
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：182

| 回答                   | n  | 割合    |
|----------------------|----|-------|
| (1)1 回以下/月           | 70 | 38.5% |
| (2)1～2回/月            | 55 | 30.2% |
| (3)3～5回/月(週 1 回程度)   | 36 | 19.8% |
| (4)6～10 回/月(週 2 回程度) | 15 | 8.2%  |
| (5)11回以上/月(週 3 回以上)  | 4  | 2.2%  |
| (6)該当なし              | 2  | 1.1%  |

解説：CE が休日もしくは夜間における緊急内視鏡（止血や異物除去等）を実施している施設の呼び出しは 1 回以下 / 月が 39%，1～2 回 / 月が 30%であった。

問13.CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡(止血や異物除去等)を実施している場合、どの程度呼び出されていますか。(単一回答) n=182



9. 業務実態報告 2025 施設報告 手術室アドオン

問 1 CE は麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか。(単一回答)

目的：麻酔管理の補助業務を CE が実施しているかを把握する。

定義：CE は麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施しているか選択してください。※麻酔器の機器管理などでの準備業務だけを行っている場合は含まない。

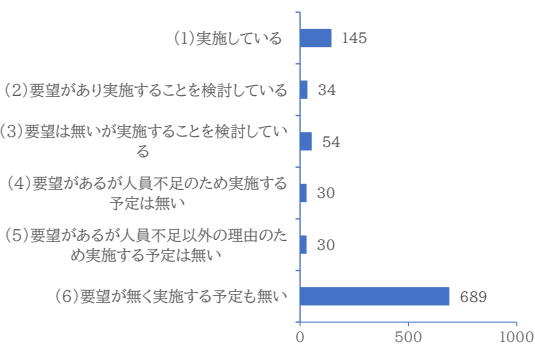
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：982

| 回答                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 145 | 14.8% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 34  | 3.5%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 54  | 5.5%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 30  | 3.1%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 30  | 3.1%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 689 | 70.2% |

解説：麻酔管理の補助業務の要望がなく実施する予定が無い施設が 70%と最も多く、実施している施設は 15%であった。

問1.CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか。(単一回答) n=982



問2 CEが行った年間の麻酔補助件数を選択してください。

目的：施設の年間のCEによる麻酔補助件数把握のため。

定義：施設における年間（対象期間）麻酔補助実施総件数を選択してください。

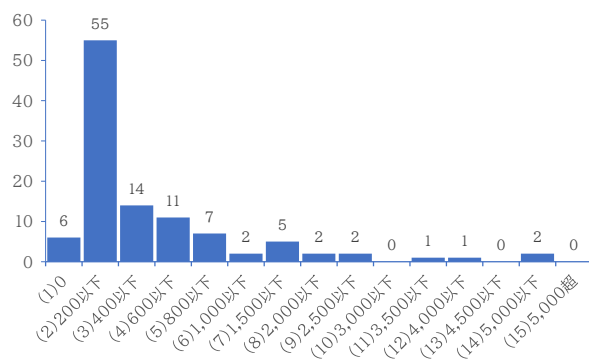
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：108

| 回答          | n  | 割合    |
|-------------|----|-------|
| (1)0        | 6  | 5.6%  |
| (2)200以下    | 55 | 50.9% |
| (3)400以下    | 14 | 13.0% |
| (4)600以下    | 11 | 10.2% |
| (5)800以下    | 7  | 6.5%  |
| (6)1,000以下  | 2  | 1.9%  |
| (7)1,500以下  | 5  | 4.6%  |
| (8)2,000以下  | 2  | 1.9%  |
| (9)2,500以下  | 2  | 1.9%  |
| (10)3,000以下 | 0  | 0.0%  |
| (11)3,500以下 | 1  | 0.9%  |
| (12)4,000以下 | 1  | 0.9%  |
| (13)4,500以下 | 0  | 0.0%  |
| (14)5,000以下 | 2  | 1.9%  |
| (15)5,000超  | 0  | 0.0%  |

解説：麻酔補助を実施している施設の中で、CEが行った年間の麻酔補助件数は200件以下が51%と一番多かった。

問2.CEが行った年間の麻酔補助件数を選択してください。  
n=108



問3 CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。（複数回答）

目的：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務の把握。

定義：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務をすべて選択してください。

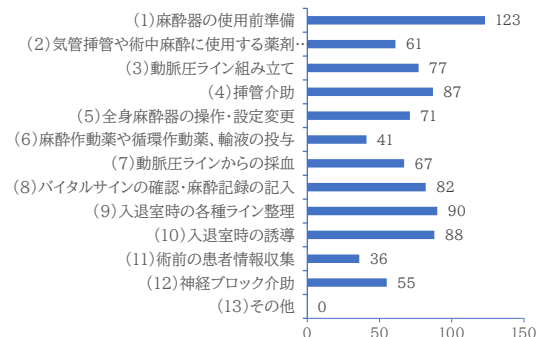
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：139

| 回答                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)麻酔器の使用前準備           | 123 | 88.5% |
| (2)気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備 | 61  | 43.9% |
| (3)動脈圧ライン組み立て          | 77  | 55.4% |
| (4)挿管介助                | 87  | 62.6% |
| (5)全身麻酔器の操作・設定変更       | 71  | 51.1% |
| (6)麻酔作動薬や循環作動薬、輸液の投与   | 41  | 29.5% |
| (7)動脈圧ラインからの採血         | 67  | 48.2% |
| (8)バイタルサインの確認・麻酔記録の記入  | 82  | 59.0% |
| (9)入退室時の各種ライン整理        | 90  | 64.7% |
| (10)入退室時の誘導            | 88  | 63.3% |
| (11)術前の患者情報収集          | 36  | 25.9% |
| (12)神経ブロック介助           | 55  | 39.6% |
| (13)その他                | 0   | 0.0%  |

解説：麻酔管理の補助業務では麻酔器の使用前準備を89%の施設が実施しており最も多かった。

問3.CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。（複数回答） n=139



問4 麻酔関連補助業務に従事するCE（専従・専任・兼任の合計）は何名ほどいますか。（単一回答）  
目的：どの程度の人員を麻酔関連補助業務に当てているかを把握する。

定義：現在、麻酔関連補助業務を行っているスタッフ数を選択してください。

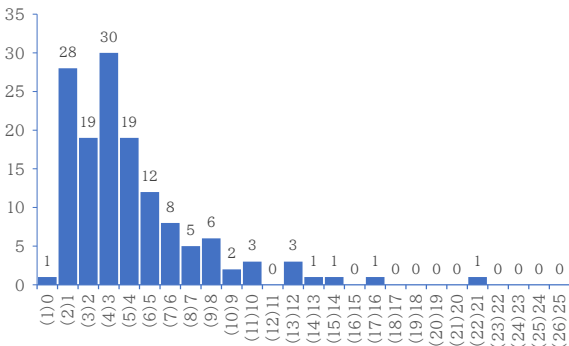
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：149

| 回答     | n  | 割合    |
|--------|----|-------|
| (1)0   | 1  | 0.7%  |
| (2)1   | 28 | 20.0% |
| (3)2   | 19 | 13.6% |
| (4)3   | 30 | 21.4% |
| (5)4   | 19 | 13.6% |
| (6)5   | 12 | 8.6%  |
| (7)6   | 8  | 5.7%  |
| (8)7   | 5  | 3.6%  |
| (9)8   | 6  | 4.3%  |
| (10)9  | 2  | 1.4%  |
| (11)10 | 3  | 2.1%  |
| (12)11 | 0  | 0.0%  |
| (13)12 | 3  | 2.1%  |
| (14)13 | 1  | 0.7%  |
| (15)14 | 1  | 0.7%  |
| (16)15 | 0  | 0.0%  |
| (17)16 | 1  | 0.7%  |
| (18)17 | 0  | 0.0%  |
| (19)18 | 0  | 0.0%  |
| (20)19 | 0  | 0.0%  |
| (21)20 | 0  | 0.0%  |
| (22)21 | 1  | 0.7%  |
| (23)22 | 0  | 0.0%  |
| (24)23 | 0  | 0.0%  |
| (25)24 | 0  | 0.0%  |
| (26)25 | 0  | 0.0%  |

解説：麻酔関連補助業務に従事するCEは3名が最も多く21%、次いで1人が20%だった。

問4.麻酔関連補助業務に従事するCE(専従・専任・兼任の合計)は何名ほどいますか。(単一回答) n=140



問5 業務を行う上で「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」を遵守していますか。（単一回答）

目的：安全管理指針が出されて、それをどれだけ遵守できているか把握する。

定義：現在、行っている麻酔関連補助業務が安全基準と比較して近いものを選択してください。

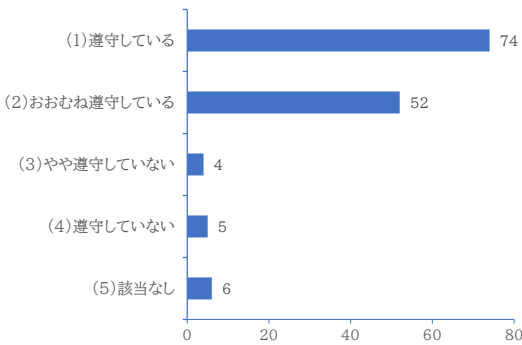
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：141

| 回答            | n  | 割合    |
|---------------|----|-------|
| (1)遵守している     | 74 | 52.5% |
| (2)おおむね遵守している | 52 | 36.9% |
| (3)やや遵守していない  | 4  | 2.8%  |
| (4)遵守していない    | 5  | 3.5%  |
| (5)該当なし       | 6  | 4.3%  |

解説：臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」を遵守している施設が53%、おおむね遵守している施設が37%と大半を占めた。

問5.業務を行う上で「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」を遵守していますか。(単一回答) n=141



問6 「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」が公示されて、業務内容を変更しましたか。（単一回答）

目的：安全管理指針に対して業務内容の変更があったのか、無かったかを把握する。

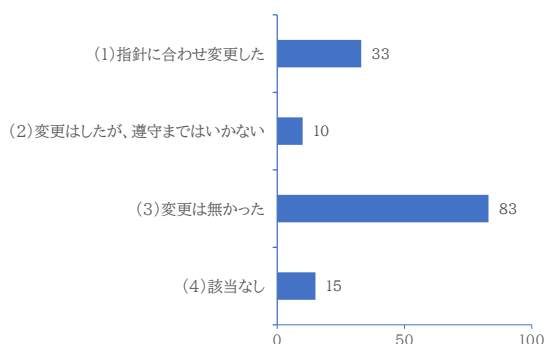
定義：業務内容の変更があったかの有無を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：141

| 回答                  | n  | 割合    |
|---------------------|----|-------|
| (1)指針に合わせ変更した       | 33 | 23.4% |
| (2)変更はしたが、遵守まではいかない | 10 | 7.1%  |
| (3)変更は無かった          | 83 | 58.9% |
| (4)該当なし             | 15 | 10.6% |

問6.「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」が公示されて、業務内容を変更しましたか。  
(単一回答) n=141



問7 「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」の改訂があるならば、どの点の改訂を望みますか。(複数回答)

目的：安全指針と実働の乖離を埋めるにはどの内容の改訂を望むのかを把握する。

定義：安全指針のどの内容を改訂して欲しいかを選択してください。

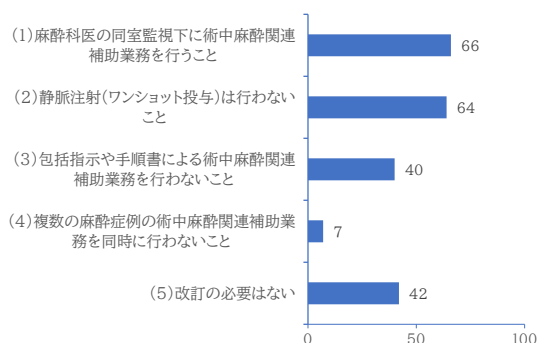
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：219

| 回答                               | n  | 割合    |
|----------------------------------|----|-------|
| (1) 麻酔科医の同室監視下に術中麻酔関連補助業務を行うこと   | 66 | 49.3% |
| (2) 静脈注射(ワンショット投与)は行わないこと        | 64 | 47.8% |
| (3) 包括指示や手順書による術中麻酔関連補助業務を行わないこと | 40 | 29.9% |
| (4) 複数の麻酔症例の術中麻酔関連補助業務を同時に行わないこと | 7  | 5.2%  |
| (5) 改訂の必要はない                     | 42 | 31.3% |

解説：麻酔科医の同室監視下に術中麻酔関連補助業務を行うことについての改定を望む施設が49%、静脈注射(ワンショット投与)は行わないことについての改定を望む施設が48%であった。

問7.「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」の改訂があるならば、どの点の改訂を望みますか。(複数回答) n=134



問8 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定はありますか。(単一回答)

目的：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEがどの程度実施しているかを把握する。

定義：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEがどの程度実施しているかに対して近いものを選択してください。

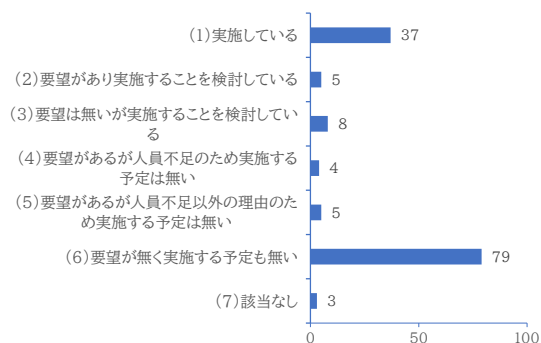
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：141

| 回答                              | n  | 割合    |
|---------------------------------|----|-------|
| (1) 実施している                      | 37 | 26.2% |
| (2) 要望があり実施することを検討している          | 5  | 3.5%  |
| (3) 要望は無いが実施することを検討している         | 8  | 5.7%  |
| (4) 要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 4  | 2.8%  |
| (5) 要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 5  | 3.5%  |
| (6) 要望が無く実施する予定も無い              | 79 | 56.0% |
| (7) 該当なし                        | 3  | 2.1%  |

解説：全身麻酔に必要な静脈路の確保は要望が無く実施する予定も無い施設が56%、実施している施設が26%であった。

問8.CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定はありますか。  
(単一回答) n=141



問9 手術室における清潔野補助（器械出し）をCEは実施していますか、または今後実施する予定がありますか。（単一回答）

目的：CEの手術室における清潔野補助（器械出し）の実施状況を把握する。

定義：CEの手術室における清潔野補助（器械出し）の実施状況に対して近いものを選択してください。

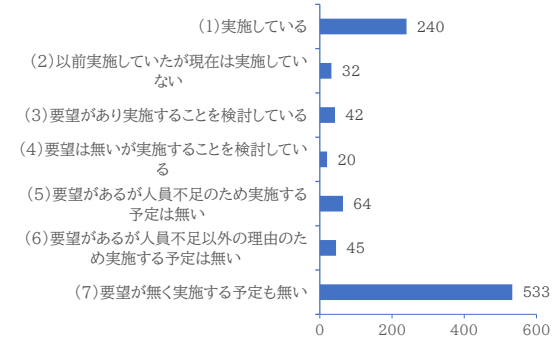
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：976

| 回答                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 240 | 24.6% |
| (2)以前実施していたが現在は実施していない         | 32  | 3.3%  |
| (3)要望があり実施することを検討している          | 42  | 4.3%  |
| (4)要望は無いが実施することを検討している         | 20  | 2.0%  |
| (5)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 64  | 6.6%  |
| (6)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 45  | 4.6%  |
| (7)要望が無く実施する予定も無い              | 533 | 54.6% |

解説：清潔野補助（器械出し）は要望が無く実施する予定も無い施設が55%、実施している施設が25%であった。

問9.手術室における清潔野補助(器械出し)をCEは実施していますか、または今後実施する予定がありますか。  
(単一回答) n=976



問10 CEが清潔野補助（器械出し）を実施することとなった背景・理由を教えてください。（複数回答）  
目的：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を開始した背景について把握する。

定義：CEが手術室における清潔野補助（器械出し）を開始した背景について近いものを全て選択してください。

対象：2025年10月1日時点

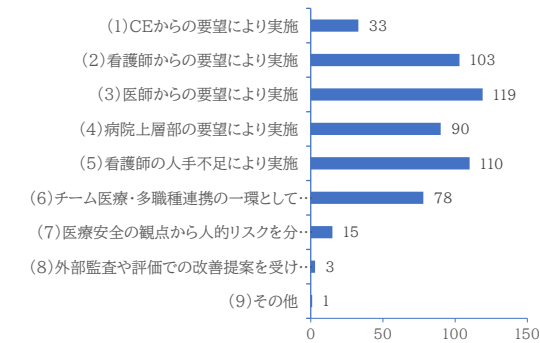
有効回答数：236

| 回答                          | n   | 割合    |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1)CEからの要望により実施             | 33  | 14.0% |
| (2)看護師からの要望により実施            | 103 | 43.6% |
| (3)医師からの要望により実施             | 119 | 50.4% |
| (4)病院内層部の要望により実施            | 90  | 38.1% |
| (5)看護師の人手不足により実施            | 110 | 46.6% |
| (6)チーム医療・多職種連携の一環として実施      | 78  | 33.1% |
| (7)医療安全の観点から人的リスクを分散する目的で実施 | 15  | 6.4%  |
| (8)外部監査や評価での改善提案を受けて実施      | 3   | 1.3%  |
| (9)その他                      | 1   | 0.4%  |

その他内訳：清潔野補助込みの採用だったため 1

解説：清潔野補助（器械出し）の実施は、医師からの要望があった施設が50%、看護師の人手不足のため実施した施設が47%、看護師からの要望で実施した施設が44%であった。

問10.CEが清潔野補助(器械出し)を実施することとなった背景・理由を教えてください。(複数回答) n=236



問 11 CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科をすべて選択してください。（複数回答）

目的：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科を把握する。

定義：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科を全て選択してください。

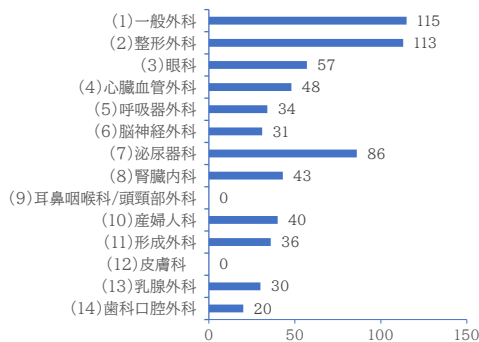
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：230

| 回答             | n   | 割合    |
|----------------|-----|-------|
| (1)一般外科        | 115 | 50.0% |
| (2)整形外科        | 113 | 49.1% |
| (3)眼科          | 57  | 24.8% |
| (4)心臓血管外科      | 48  | 20.9% |
| (5)呼吸器外科       | 34  | 14.8% |
| (6)脳神経外科       | 31  | 13.5% |
| (7)泌尿器科        | 86  | 37.4% |
| (8)腎臓内科        | 43  | 18.7% |
| (9)耳鼻咽喉科/頭頸部外科 | 0   | 0.0%  |
| (10)産婦人科       | 40  | 17.4% |
| (11)形成外科       | 36  | 15.7% |
| (12)皮膚科        | 0   | 0.0%  |
| (13)乳腺外科       | 30  | 13.0% |
| (14)歯科口腔外科     | 20  | 8.7%  |

解説：清潔野補助（器械出し）を一般外科は 50%，整形外科は 49%の施設で実施していた。

問11.CEが手術室において清潔野補助(器械出し)を実施している診療科をすべて選択してください。  
(複数回答) n=230



問 12 CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施可能な人数を選択してください。（単一回答）

目的：実施診療科は問わず CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施可能な人数を把握する。

定義：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）に従事している人数を選択してください。

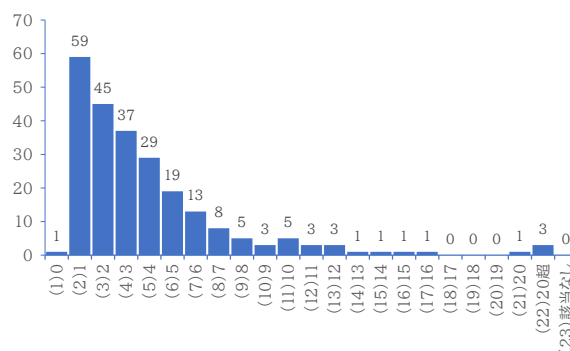
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：240

| 回答       | n  | 割合    |
|----------|----|-------|
| (1)0     | 1  | 0.4%  |
| (2)1     | 59 | 24.6% |
| (3)2     | 45 | 18.8% |
| (4)3     | 37 | 15.4% |
| (5)4     | 29 | 12.1% |
| (6)5     | 19 | 7.9%  |
| (7)6     | 13 | 5.4%  |
| (8)7     | 8  | 3.3%  |
| (9)8     | 5  | 2.1%  |
| (10)9    | 3  | 1.3%  |
| (11)10   | 5  | 2.1%  |
| (12)11   | 3  | 1.3%  |
| (13)12   | 3  | 1.3%  |
| (14)13   | 1  | 0.4%  |
| (15)14   | 1  | 0.4%  |
| (16)15   | 1  | 0.4%  |
| (17)16   | 1  | 0.4%  |
| (18)17   | 0  | 0.0%  |
| (19)18   | 0  | 0.0%  |
| (20)19   | 0  | 0.0%  |
| (21)20   | 1  | 0.4%  |
| (22)20 超 | 3  | 1.3%  |
| (23)該当なし | 2  | 0.8%  |

解説：清潔野補助（器械出し）を実施可能な人数は、1 名が 25%，2～4 名が 46%であった。

問12.CEが手術室において清潔野補助(器械出し)を実施可能な人数を選択してください。(単一回答) n=240



問 13 CE が行った年間の手術室における清潔野補助（器械出し）を実施している件数を選択してください。（単一回答）

目的：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を把握する。

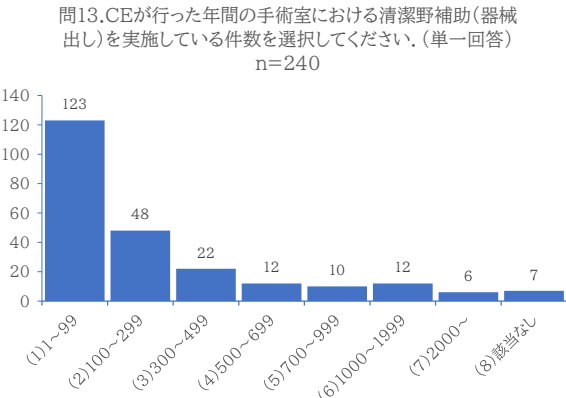
定義：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を選択してください。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：240

| 回答           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)1～99      | 123 | 51.3% |
| (2)100～299   | 48  | 20.0% |
| (3)300～499   | 22  | 9.2%  |
| (4)500～699   | 12  | 5.0%  |
| (5)700～999   | 10  | 4.2%  |
| (6)1000～1999 | 12  | 5.0%  |
| (7)2000～     | 6   | 2.5%  |
| (8)該当なし      | 7   | 2.9%  |

解説：清潔野補助（器械出し）を実施している件数は 1～99 件が 51% と最も多かった。



問 14 清潔野補助（器械出し）における責任範囲はどのように定められていますか。（複数回答）

目的：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施する際の責任の所在を把握する。

定義：CE が手術室における清潔野補助（器械出し）を実施する際の責任の所在について近いものを全て選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

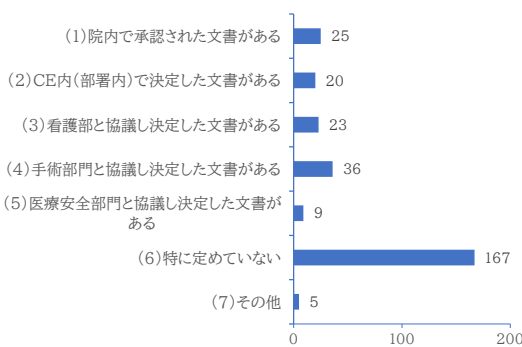
有効回答数：236

| 回答                     | n   | 割合    |
|------------------------|-----|-------|
| (1)院内で承認された文書がある       | 25  | 8.8%  |
| (2)CE 内(部署内)で決定した文書がある | 20  | 7.0%  |
| (3)看護部と協議し決定した文書がある    | 23  | 8.1%  |
| (4)手術部門と協議し決定した文書がある   | 36  | 12.6% |
| (5)医療安全部門と協議し決定した文書がある | 9   | 3.2%  |
| (6)特に定めていない            | 167 | 58.6% |
| (7)その他                 | 5   | 1.8%  |

その他内訳:医師の責任 2,手術室長(外科部長)からの指示書を院長が許可 1,文書作成中 1

解説：清潔野補助（器械出し）における責任範囲は特に定めていない施設が 59% であった。

問14.清潔野補助(器械出し)における責任範囲はどのように定められていますか。(複数回答) n=236



問 15 清潔野補助（器械出し）に関する CE 向けの教育や研修をどのように行っていますか。（複数回答）

目的：CE が手術室において清潔野補助（器械出し）を実施する際の教育体制の状況を把握する。

定義：CE が手術室における清潔野補助（器械出し）を実施する際の教育体制について全て選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

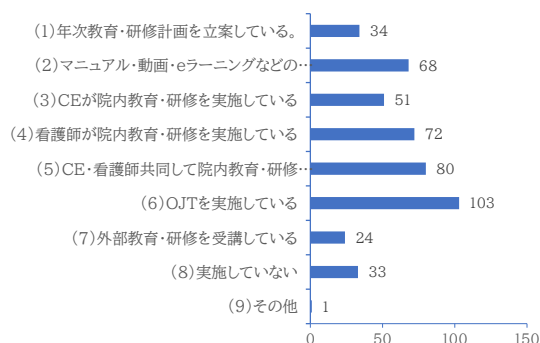
有効回答数：234

| 回答                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)年次教育・研修計画を立案している。            | 34  | 14.5% |
| (2)マニュアル・動画・e ラーニングなどの教材を整備している | 68  | 29.1% |
| (3)CE が院内教育・研修を実施している           | 51  | 21.8% |
| (4)看護師が院内教育・研修を実施している           | 72  | 30.8% |
| (5)CE・看護師共同して院内教育・研修を実施している     | 80  | 34.2% |
| (6)OJT を実施している                  | 103 | 44.0% |
| (7)外部教育・研修を受講している               | 24  | 10.3% |
| (8)実施していない                      | 33  | 14.1% |
| (9)その他                          | 1   | 0.4%  |

その他内訳:医師よりレクチャーを受けている 1

解説：清潔野補助（器械出し）に関する CE 向けの教育や研修は、OJT を実施している施設が 44% であった。

問15. 清潔野補助（器械出し）に関する CE 向けの教育や研修をどのように行っていますか。（複数回答） n=234



問 16 今後、CE による清潔野補助（器械出し）をどのように考えていますか。（単一回答）

目的：CE の手術室における清潔野補助（器械出し）の継続・拡大に関する意欲、現場の実態を把握する。  
定義：CE の手術室における清潔野補助（器械出し）の今後の展開について選択してください。

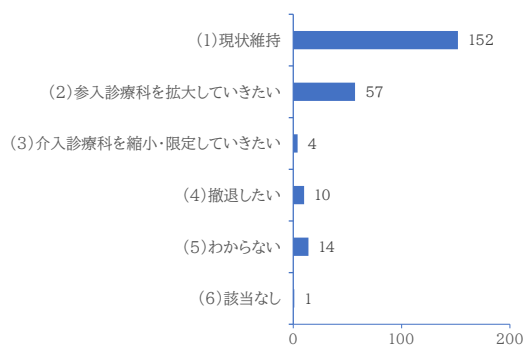
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：238

| 回答                    | n   | 割合    |
|-----------------------|-----|-------|
| (1) 現状維持              | 152 | 63.9% |
| (2) 参入診療科を拡大していきたい    | 57  | 23.9% |
| (3) 介入診療科を縮小・限定していきたい | 4   | 1.7%  |
| (4) 撤退したい             | 10  | 4.2%  |
| (5) わからない             | 14  | 5.9%  |
| (6) 該当なし              | 1   | 0.4%  |

解説：CE による清潔野補助（器械出し）について、64% の施設が現状維持、24% の施設が参入診療科を拡大していきたいと考えていた。

問16. 今後、CE による清潔野補助（器械出し）をどのように考えていますか。（単一回答） n=238



問 17 今後、CE による清潔野補助（器械出し）を縮小・限定、撤退したい、以前は実施していたが現在は実施していない理由を教えてください。（複数回答）

目的：CE の手術室における清潔野補助（器械出し）の縮小・限定及び撤退また、以前は実施していたが現在は実施していない理由について実態を把握する。  
定義：CE の手術室における清潔野補助（器械出し）の縮小・限定及び撤退また、以前は実施していたが現在は実施していない理由について近いものを全て選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

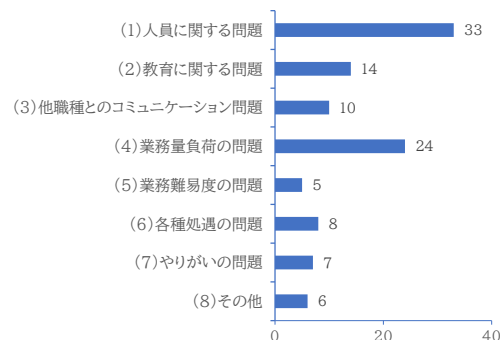
有効回答数：49

| 回答                   | n  | 割合    |
|----------------------|----|-------|
| (1) 人員に関する問題         | 33 | 67.3% |
| (2) 教育に関する問題         | 14 | 28.6% |
| (3) 他職種とのコミュニケーション問題 | 10 | 20.4% |
| (4) 業務量負荷の問題         | 24 | 49.0% |
| (5) 業務難易度の問題         | 5  | 10.2% |
| (6) 各種処遇の問題          | 8  | 16.3% |
| (7) やりがいの問題          | 7  | 14.3% |
| (8) その他              | 6  | 12.2% |

その他内訳：手術が無くなった 1, 看護師の業務を押し付けられるだけだから 1

解説：今後、CE による清潔野補助（器械出し）を縮小・限定、撤退したい、以前は実施していたが現在は実施していない理由は、50% の施設が人員に関する問題・業務量負荷の問題であった。

問17. 今後、CE による清潔野補助（器械出し）を縮小・限定、撤退したい、以前は実施していたが現在は実施していない理由を教えてください。（複数回答） n=49



問 18 CE が行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください。

目的：CE による施設の年間のスコープオペレーター業務件数把握のため。

定義：CE による施設における年間（対象期間）スコープオペレーター実施件数を入力してください。

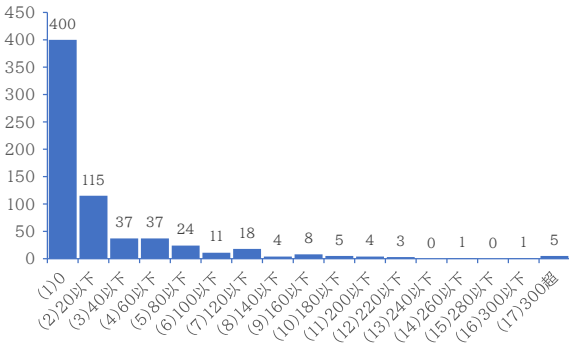
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：673

| 回答         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)0       | 400 | 59.4% |
| (2)20 以下   | 115 | 17.1% |
| (3)40 以下   | 37  | 5.5%  |
| (4)60 以下   | 37  | 5.5%  |
| (5)80 以下   | 24  | 3.6%  |
| (6)100 以下  | 11  | 1.6%  |
| (7)120 以下  | 18  | 2.7%  |
| (8)140 以下  | 4   | 0.6%  |
| (9)160 以下  | 8   | 1.2%  |
| (10)180 以下 | 5   | 0.7%  |
| (11)200 以下 | 4   | 0.6%  |
| (12)220 以下 | 3   | 0.4%  |
| (13)240 以下 | 0   | 0.0%  |
| (14)260 以下 | 1   | 0.1%  |
| (15)280 以下 | 0   | 0.0%  |
| (16)300 以下 | 1   | 0.1%  |
| (17)300 超  | 5   | 0.7%  |

解説：CE が行った年間のスコープオペレーター業務件数は 0 件が 59%，20 件以下が 17% だった。

問18.CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください。 n=673



問 19 CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を全て選択してください。

（複数回答）

目的：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を把握する。

定義：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域をすべて選択してください。

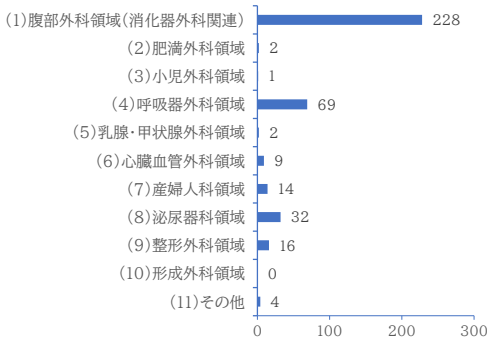
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：269

| 回答                                   | n   | 割合    |
|--------------------------------------|-----|-------|
| (1)腹部外科領域(消化器外科関連)                   | 228 | 84.8% |
| (2)肥満外科領域                            | 2   | 0.7%  |
| (3)小児外科領域                            | 1   | 0.4%  |
| (4)呼吸器外科領域                           | 69  | 25.7% |
| (5)乳腺・甲状腺外科領域                        | 2   | 0.7%  |
| (6)心臓血管外科領域                          | 9   | 3.3%  |
| (7)産婦人科領域                            | 14  | 5.2%  |
| (8)泌尿器科領域                            | 32  | 11.9% |
| (9)整形外科領域                            | 16  | 5.9%  |
| (10)形成外科領域                           | 0   | 0.0%  |
| (11)その他                              | 4   | 1.5%  |
| その他内訳:腎臓内科 1, 大腸・肛門外科 1, 播種科 1, 外科 1 |     |       |

解説：スコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域は腹部外科領域(消化器外科関連)が 85%と最も多かった。

問19.CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を全て選択してください。  
（複数回答） n=269



問 20 CE がスコープオペレーター業務を実施している業務を具体的に全て選択してください。(複数回答)

目的：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を把握する。

定義：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術をすべて選択してください。

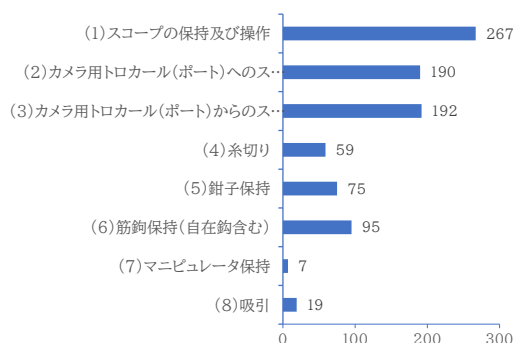
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：268

| 回答                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1)スコープの保持及び操作             | 267 | 99.6% |
| (2)カメラ用トロカール(ポート)へのスコープ挿入  | 190 | 70.9% |
| (3)カメラ用トロカール(ポート)からのスコープ抜去 | 192 | 71.6% |
| (4)糸切り                     | 59  | 22.0% |
| (5)鉗子保持                    | 75  | 28.0% |
| (6)筋鉤保持(自在鉤含む)             | 95  | 35.4% |
| (7)マニピュレータ保持               | 7   | 2.6%  |
| (8)吸引                      | 19  | 7.1%  |

解説：スコープオペレーターの業務内容のスコープの保持及び操作を実施している施設は 99.6%であった。

問20.CEがスコープオペレーター業務を実施している業務を具体的に全て選択してください。(複数回答) n=268



問 21 術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中神経モニタリング装置を使用した手術の実施状況を把握する。

定義：術中の神経モニタリング業務の実施について選択してください。※ CE 関与は関係ありません。

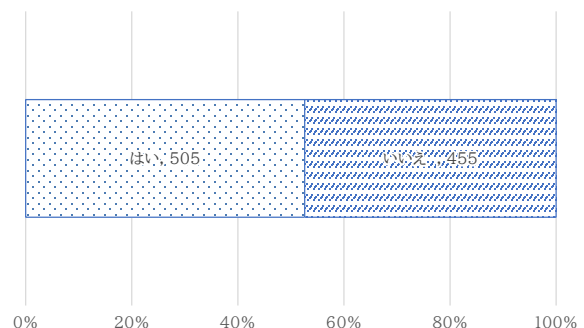
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：960

| 回答     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)はい  | 505 | 52.6% |
| (2)いいえ | 455 | 47.4% |

解説：術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施している施設が 53%，実施していない施設が 47%であった。

問21.術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答) n=960



問 22 CE は術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか把握する。

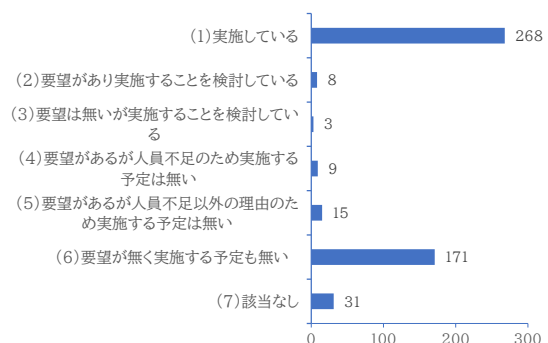
定義：CE は術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：505

| 回答                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 268 | 53.1% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 8   | 1.6%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 3   | 0.6%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 9   | 1.8%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 15  | 3.0%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 171 | 33.9% |
| (7)該当なし                        | 31  | 6.1%  |

問22.CEは術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答) n=505



問 23 CE が実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CE が実施する神経モニタリング業務の把握。

定義：CE が実施する神経モニタリング業務をすべて選択してください。

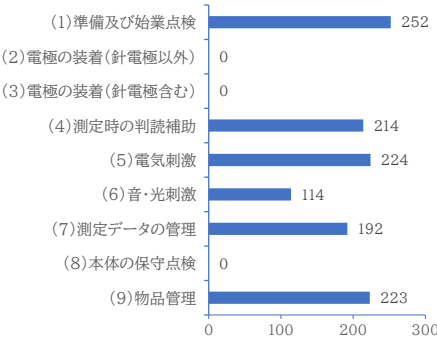
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：267

| 回答              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1)準備及び始業点検     | 252 | 94.4% |
| (2)電極の装着(針電極以外) | 0   | 0.0%  |
| (3)電極の装着(針電極含む) | 0   | 0.0%  |
| (4)測定時の判読補助     | 214 | 80.1% |
| (5)電気刺激         | 224 | 83.9% |
| (6)音・光刺激        | 114 | 42.7% |
| (7)測定データの管理     | 192 | 71.9% |
| (8)本体の保守点検      | 0   | 0.0%  |
| (9)物品管理         | 223 | 83.5% |

解説：CE が実施している術中の神経モニタリング業務は、準備及び始業点検が 94% と一番多かった。

問23.CEが実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答) n=267



問 24 術中ナビゲーション装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中ナビゲーション装置を使用した手術の実施状況を把握する。

定義：術中のナビゲーション業務の実施について選択してください。 ※ CE 関与は関係ありません。

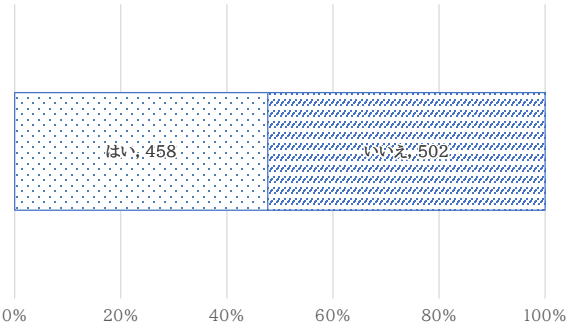
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：960

| 回答     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)はい  | 458 | 47.7% |
| (2)いいえ | 502 | 52.3% |

解説：術中ナビゲーション装置を使用した手術を実施している施設が 48%，実施していない施設が 52% だった。

問24.術中ナビゲーション装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答) n=960



問 25 CE は術中のナビゲーション業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CE は術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

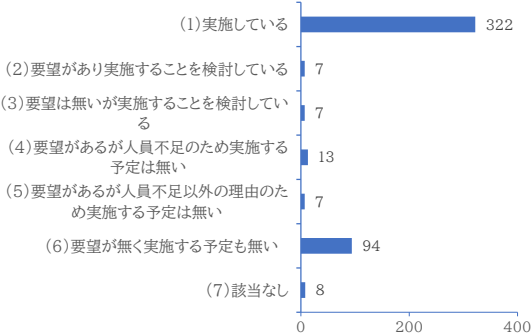
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：458

| 回答                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)実施している                      | 322 | 70.3% |
| (2)要望があり実施することを検討している          | 7   | 1.5%  |
| (3)要望は無いが実施することを検討している         | 7   | 1.5%  |
| (4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い      | 13  | 2.8%  |
| (5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い | 7   | 1.5%  |
| (6)要望が無く実施する予定も無い              | 94  | 20.5% |
| (7)該当なし                        | 8   | 1.7%  |

解説：CE が術中のナビゲーション業務を実施している施設は 70%，要望がなく実施する予定も無い施設は 21% だった。

問25.CEは術中のナビゲーション業務を実施していますか、または今後実施しますか。(単一回答) n=458



問 26 CE が実施している術中のナビゲーション業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CE が実施するナビゲーション業務の把握。

定義：CE が実施するナビゲーション業務をすべて選択してください。

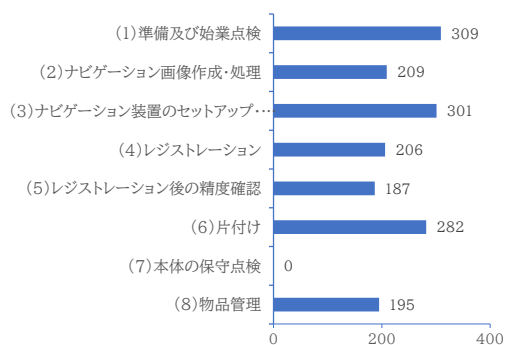
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：317

| 回答                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1)準備及び始業点検                | 309 | 97.5% |
| (2)ナビゲーション画像作成・処理          | 209 | 65.9% |
| (3)ナビゲーション装置のセットアップ・セッティング | 301 | 95.0% |
| (4)レジストレーション               | 206 | 65.0% |
| (5)レジストレーション後の精度確認         | 187 | 59.0% |
| (6)片付け                     | 282 | 89.0% |
| (7)本体の保守点検                 | 0   | 0.0%  |
| (8)物品管理                    | 195 | 61.5% |

解説：CE は術中のナビゲーション業務で準備及び始業点検を 98% の施設で実施していた。

問26. CEが実施している術中のナビゲーション業務を全て選んでください。(複数回答) n=317



## 10. 業務実態報告 2025 施設報告 心臓・血管カテーテルアドオン

問 1 カテーテル室（ハイブリッド室含む）はいくつありますか。

目的：カテーテル室の数を把握する。

定義：カテーテル室の数を選択してください。(ハイブリッド室を含める)

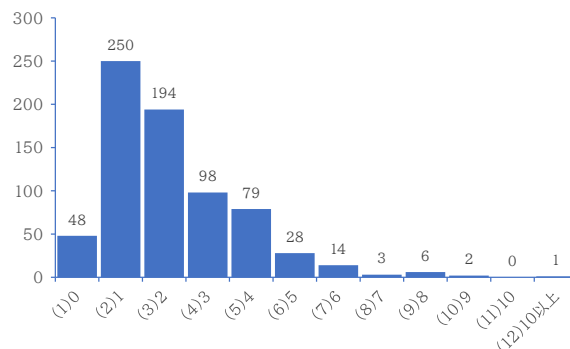
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：723

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)0      | 48  | 6.6%  |
| (2)1      | 250 | 34.6% |
| (3)2      | 194 | 26.8% |
| (4)3      | 98  | 13.6% |
| (5)4      | 79  | 10.9% |
| (6)5      | 28  | 3.9%  |
| (7)6      | 14  | 1.9%  |
| (8)7      | 3   | 0.4%  |
| (9)8      | 6   | 0.8%  |
| (10)9     | 2   | 0.3%  |
| (11)10    | 0   | 0.0%  |
| (12)10 以上 | 1   | 0.1%  |

解説：カテーテル室数は「1 室」が最も多く約 35% を占め、次いで「2 室」が 27% と続き、3 室以上を有する施設も 3 割程度あり、施設規模によるばらつきがみられる。

設問1 カテーテル室(ハイブリッド室含む)はいくつありますか(単一回答)n=723



問2 心・血管カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

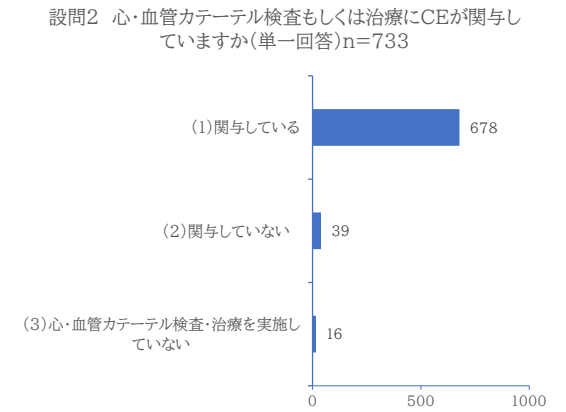
定義：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：733

| 項目                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)関与している                 | 678 | 92.5% |
| (2)関与していない                | 39  | 5.3%  |
| (3)心・血管カテーテル検査・治療を実施していない | 16  | 2.2%  |

解説：CEは9割以上の施設(92.5%)で心・血管カテーテル検査・治療に関与しており、全国的に標準的な体制となっている。



問3 CEが関与している心・血管カテーテル検査もしくは治療について教えてください。(複数回答)

目的：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

定義：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

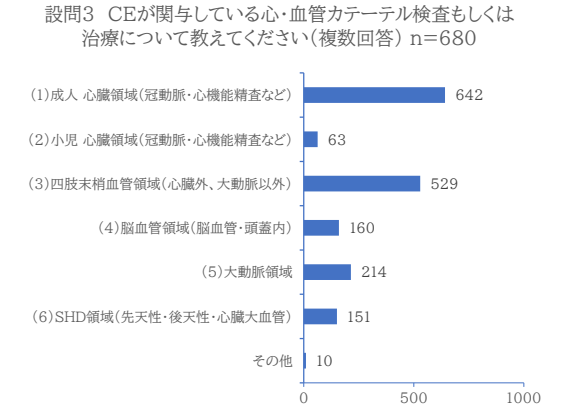
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：672

| 項目                      | n   | 割合    |
|-------------------------|-----|-------|
| (1)成人 心臓領域(冠動脈・心機能精査など) | 642 | 95.5% |
| (2)小児 心臓領域(冠動脈・心機能精査など) | 63  | 9.4%  |
| (3)四肢末梢血管領域(心臓外、大動脈以外)  | 529 | 78.7% |
| (4)脳血管領域(脳血管・頭蓋内)       | 160 | 23.8% |
| (5)大動脈領域                | 214 | 31.8% |
| (6)SHD領域(先天性・後天性・心臓大血管) | 151 | 22.5% |
| その他                     | 10  | 1.5%  |

その他内訳:IABP操作1,TACE1,VAIVT1,ブラッドアクセス1,移植外科・放射線科・腎臓内科1,経皮的肺動脈弁置換術(TPVI)1,呼吸・消化器・放射線科1,透析バスキュラーアクセスの治療1,肺高血圧・下肢静脈1,不整脈1

解説：CEの関与領域は「成人心臓領域」が最も多く9割超で、次いで「四肢末梢血管領域」が8割弱と高い。大動脈・脳血管・SHD領域にも2～3割が関与しており、CEの活動範囲が心臓領域だけでなく多領域へ拡大していることが分かる。



問4 心血管カテーテル検査1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：心血管カテーテル検査1症例にあたる人数を選択してください。

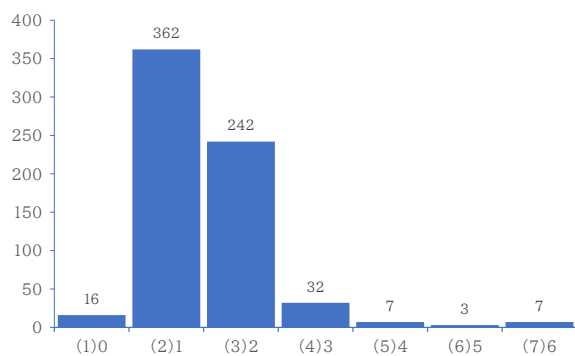
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：669

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 16  | 2.4%  |
| (2)1 | 362 | 54.1% |
| (3)2 | 242 | 36.2% |
| (4)3 | 32  | 4.8%  |
| (5)4 | 7   | 1.0%  |
| (6)5 | 3   | 0.4%  |
| (7)6 | 7   | 1.0%  |

解説：1症例あたりのCE人数は「1名」が最も多く半数超、次いで「2名」が4割弱を占める。3名以上の体制は少数であり、多くの施設が1～2名で検査を対応している実態が示される。

設問4 心血管カテーテル検査1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=669



問5 待機的な経皮的冠動脈形成術(PCI) 1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：待機的な経皮的冠動脈形成術(PCI) 1症例にあたる人数を選択してください。

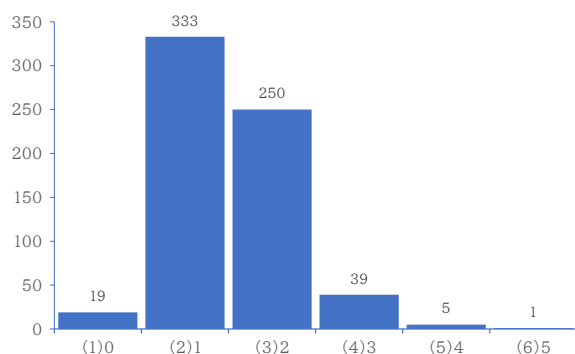
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：647

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 19  | 2.9%  |
| (2)1 | 333 | 51.5% |
| (3)2 | 250 | 38.6% |
| (4)3 | 39  | 6.0%  |
| (5)4 | 5   | 0.8%  |
| (6)5 | 1   | 0.2%  |

解説：最多は「1名」(51.2%)。続いて「2名」(38.5%)。3名以上は少数(合計7%程度)であり、0名は3.4%であった。

設問5 待機的な経皮的冠動脈形成術(PCI)1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=647



問6 緊急カテーテル検査治療1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：緊急カテーテル検査治療1症例にあたる人数を選択してください。

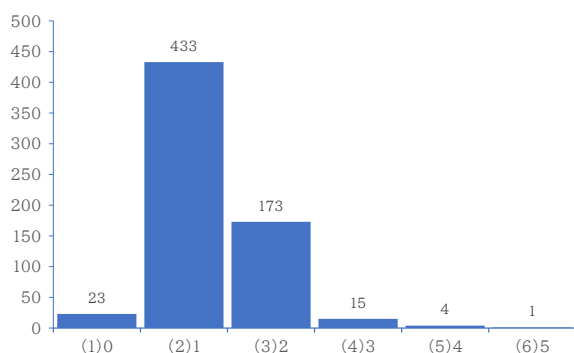
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：649

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 23  | 3.5%  |
| (2)1 | 433 | 66.7% |
| (3)2 | 173 | 26.7% |
| (4)3 | 15  | 2.3%  |
| (5)4 | 4   | 0.6%  |
| (6)5 | 1   | 0.2%  |

解説：最多は「1名」で67%と、緊急時でも1名体制が標準となっている。一方で2名以上が30%おり、症例の複雑さや安全確保の観点で増員している施設も一定数存在することが分かる。

問6 緊急カテーテル検査治療1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=649



問7 四肢末梢血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：四肢末梢血管領域1症例にあたる人数を選択してください。

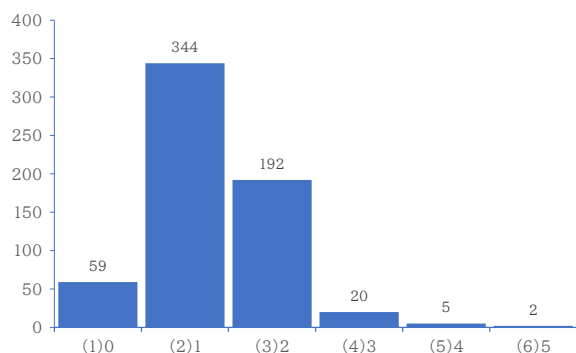
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：622

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 59  | 9.5%  |
| (2)1 | 344 | 55.3% |
| (3)2 | 192 | 30.9% |
| (4)3 | 20  | 3.2%  |
| (5)4 | 5   | 0.8%  |
| (6)5 | 2   | 0.3%  |

解説：過半数の施設でCE1名体制が一般的で、約3割の施設では2名体制をとっていることが分かる。

設問7 四肢末梢血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=622



問8 脳血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：脳血管領域1症例にあたる人数を選択してください。

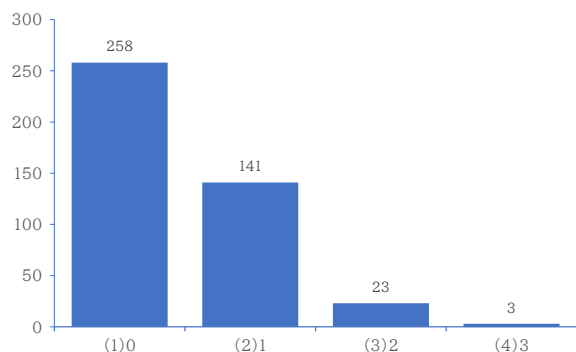
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：425

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 258 | 60.7% |
| (2)1 | 141 | 33.2% |
| (3)2 | 23  | 5.4%  |
| (4)3 | 3   | 0.7%  |

解説：脳血管領域では“CEが関与しない（0名）”が6割を占め、他領域と比べてCEの配置が進んでいない。

設問8 脳血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=427



問9 大動脈領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：大動脈領域1症例にあたる人数を選択してください。

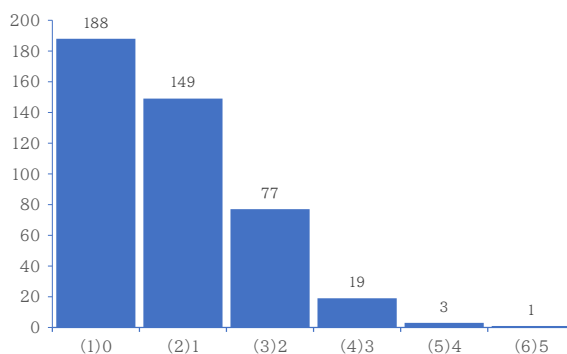
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：437

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 188 | 43.0% |
| (2)1 | 149 | 34.1% |
| (3)2 | 77  | 17.6% |
| (4)3 | 19  | 4.3%  |
| (5)4 | 3   | 0.7%  |
| (6)5 | 1   | 0.2%  |

解説：大動脈領域の1症例あたりCE人数は「0～1名」が77.2%（0名43.3%，1名33.9%）と多く、2名以上は約22.7%にとどまる。

設問9 大動脈領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=439



問10 構造的心疾患（SHD）治療件数1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：構造的心疾患（SHD）治療件数1症例にあたる人数を選択してください。

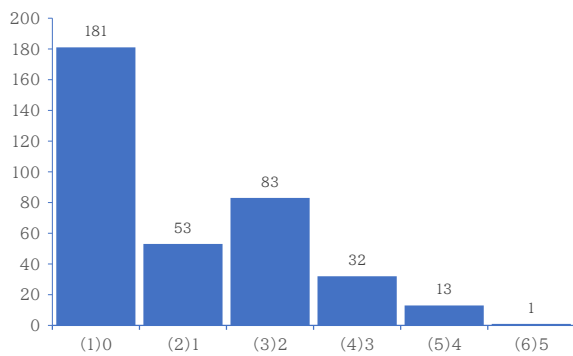
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：363

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 181 | 49.9% |
| (2)1 | 53  | 14.6% |
| (3)2 | 83  | 22.9% |
| (4)3 | 32  | 8.8%  |
| (5)4 | 13  | 3.6%  |
| (6)5 | 1   | 0.3%  |

解説：最も多いのは0名（50.1%）。次いで2名（22.7%），1名（14.5%），3名（8.8%）の順。4名以上はごく少数（4名：3.6%，5名：0.3%）。

設問10 構造的疾患(SHD)治療件数1症例あたりのCE  
の人数について教えてください。n=365



問 11 心・血管カテーテルにおいて CE が準備，操作，測定，点検等を実施している医療機器を全て選択してください。（複数回答）

目的：心・血管カテーテル室で使用可能な医療機器を調査する。

定義：CE が準備，操作，測定，点検等を実施している医療機器を全て選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

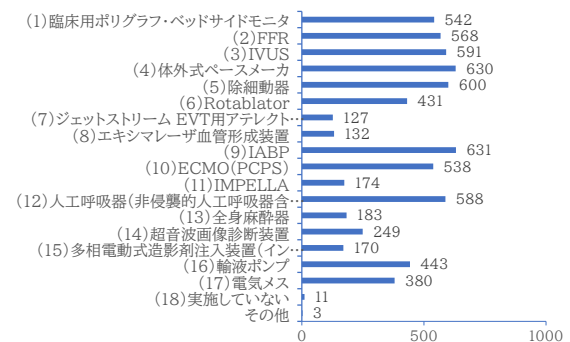
有効回答数：678

| 項目                            | n   | 割合    |
|-------------------------------|-----|-------|
| (1)臨床用ボリグラフ・ベッドサイドモニタ         | 542 | 79.2% |
| (2)FFR                        | 568 | 83.0% |
| (3)IVUS                       | 591 | 86.4% |
| (4)体外式ペースメーカ                  | 630 | 92.1% |
| (5)除細動器                       | 600 | 87.7% |
| (6)Rotablator                 | 431 | 63.0% |
| (7)ジェットストリーム EVT 用アテレクトミーシステム | 127 | 18.6% |
| (8)エキシマレーザ血管形成装置              | 132 | 19.3% |
| (9)IABP                       | 631 | 92.3% |
| (10)ECMO(PCPS)                | 538 | 78.7% |
| (11)IMPELLA                   | 174 | 25.4% |
| (12)人工呼吸器(非侵襲的人工呼吸器含む)        | 588 | 86.0% |
| (13)全身麻酔器                     | 183 | 26.8% |
| (14)超音波画像診断装置                 | 249 | 36.4% |
| (15)多相電動式造影剤注入装置(インジェクター)     | 170 | 24.9% |
| (16)輸液ポンプ                     | 443 | 64.8% |
| (17)電気メス                      | 380 | 55.6% |
| (18)実施していない                   | 11  | 1.6%  |
| その他                           | 3   | 0.4%  |

その他内訳:透視装置 1,レポートシステム・統合型臨床情報システム(手術支援システム)・ACT 測定 1,ブラッドアクセスのみなので必要無し 1

解説：CE はペースメーカ，IABP，IVUS/OCT など主要機器には 8～9 割と高頻度で関与している一方，特殊デバイスへの関与は 2～3 割と少なく，施設間で担当範囲に差がみられる。

設問11 心・血管カテーテルにおいてCEが準備，操作，測定，点検等を実施している医療機器を全て選択してください。（複数回答） n=684



問 12 心・血管カテーテル業務において CE は薬剤の準備を実施していますか（単一回答）

目的：心・血管カテーテル業務において CE の薬剤の準備状況を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務において CE の薬剤準備の有無を選択してください。

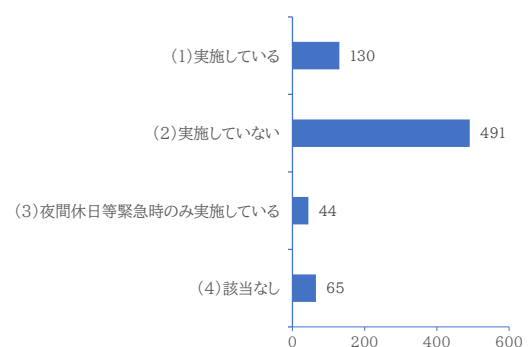
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：730

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)実施している           | 130 | 17.8% |
| (2)実施していない          | 491 | 67.3% |
| (3)夜間休日等緊急時のみ実施している | 44  | 6.0%  |
| (4)該当なし             | 65  | 8.9%  |

解説：薬剤準備を「実施していない」が 7 割弱で最多。「実施している」は 2 割弱にとどまり，CE による薬剤準備は限定的である実態が示された。

設問12 心・血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備を実施していますか(単一回答)n=730



問13 心・血管カテーテル業務においてCEは清潔  
介助業務を実施していますか。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔  
介助業務の実施状況を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔  
介助業務を実施について選択してください。

対象：2025年10月1日時点

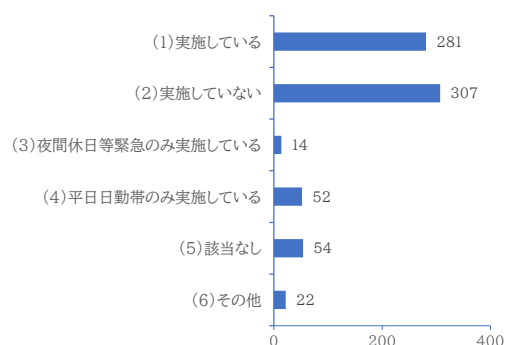
有効回答数：730

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1)実施している          | 281 | 38.5% |
| (2)実施していない         | 307 | 42.1% |
| (3)夜間休日等緊急のみ実施している | 14  | 1.9%  |
| (4)平日日勤帯のみ実施している   | 52  | 7.1%  |
| (5)該当なし            | 54  | 7.4%  |
| (6)その他             | 22  | 3.0%  |

その他内訳：医師からの依頼時のみ実施 4, 医師の勤務状況により判断 2, 医師人数に応じ  
準備段階で実施 1, 医師不足時のみ実施 6, 状況を見て適宜実施 1, 人員に余裕がある時の  
み実施 1, 対応可能な人が任意で実施 1, 大学病院での普及困難(教育機関の特性) 1, 特定  
手技(TAVI)のみ実施 1, 必要時に実施 1

解説：清潔介助を「実施している」「平日日勤帯のみ」  
「緊急時のみ」を合わせると約47%で、約半数の施  
設で何らかの形でCEが清潔介助に関与している。  
一方で「実施していない」も4割超と施設間で対応  
に差があることが分かる。

設問13 心・血管カテーテル業務においてCEは清潔介助業  
務を実施していますか(単一回答)n=730



問14 心・血管カテーテル業務においてCEが清潔  
介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択し  
て下さい。(複数回答)

目的：心・血管カテーテル業務においてCEが清潔  
介助業務の内容を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務においてCEが行う  
清潔介助業務をすべて選択してください。

対象：2025年10月1日時点

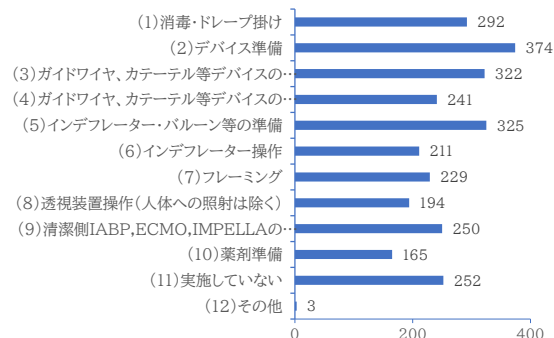
有効回答数：684

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)消毒・ドレープ掛け                   | 292 | 42.7% |
| (2)デバイス準備                      | 374 | 54.7% |
| (3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持        | 322 | 47.1% |
| (4)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助      | 241 | 35.2% |
| (5)インデフレーター・バルーン等の準備           | 325 | 47.5% |
| (6)インデフレーター操作                  | 211 | 30.8% |
| (7)フレーミング                      | 229 | 33.5% |
| (8)透視装置操作(人体への照射は除く)           | 194 | 28.4% |
| (9)清潔側IABP,ECMO,IMPELLAの準備, 介助 | 250 | 36.5% |
| (10)薬剤準備                       | 165 | 24.1% |
| (11)実施していない                    | 252 | 36.8% |
| (12)その他                        | 3   | 0.4%  |

その他内訳：一部の造影カテーテル・造影剤注入装置の清潔野側のセットアップ 1, TAVI の  
クリップ, シェントPTA でのみ 1

解説：CEが担う清潔介助は「デバイス準備」「ガ  
イドワイヤ保持」「インデフレーター関連」が中心  
で4～5割に上る。一方で「実施していない」も約  
4割あり、施設ごとに清潔介助の範囲に大きなばら  
つきがある。

設問14 心・血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業  
務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい(複  
数回答)n=684



問 15 心・血管カテーテル業務において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施していますか。(時間外も含む、複数回答)

目的：心・血管カテーテル業務において CE 以外の清潔介助業務の実施状況を把握する。

心・血管カテーテル業務において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施している職種について選択してください。

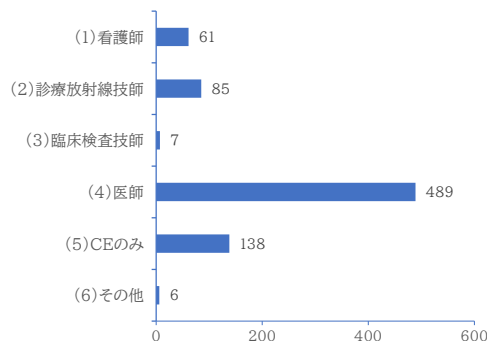
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：644

| 項目                                    | n   | 割合    |
|---------------------------------------|-----|-------|
| (1)看護師                                | 61  | 9.5%  |
| (2)診療放射線技師                            | 85  | 13.2% |
| (3)臨床検査技師                             | 7   | 1.1%  |
| (4)医師                                 | 489 | 75.9% |
| (5)CE のみ                              | 138 | 21.4% |
| (6)その他                                | 6   | 0.9%  |
| その他内訳:診療看護師 3, なし 1, 実施していない 1, 未記載 1 |     |       |

解説：清潔介助は医師が中心(76%)で担っており、看護師や放射線技師の関与は限定的。CE のみで対応している施設も 2 割超あり、施設ごとに体制のばらつきが大きいことが分かる。

設問15 心・血管カテーテル業務においてCE以外の職種が清潔介助業務を実施していますか(時間外も含む)  
(複数回答) n=644



問 16 タスクシェア・タスクシフトにおいて心・血管カテーテル業務における CE の清潔介助業務についての今後の予定を選択してください。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル業務において CE の清潔介助業務を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務において CE の清潔介助業務の取り組みについて選択してください。

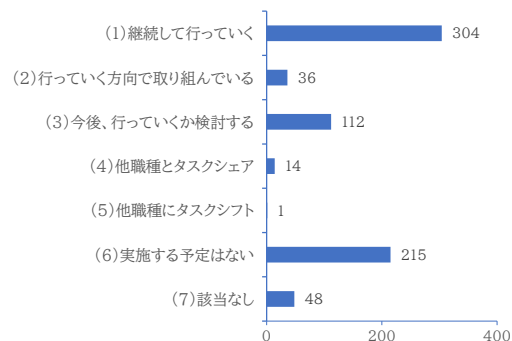
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：730

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1)継続して行っていく       | 304 | 41.6% |
| (2)行っていく方向で取り組んでいる | 36  | 4.9%  |
| (3)今後、行っていくか検討する   | 112 | 15.3% |
| (4)他職種とタスクシェア      | 14  | 1.9%  |
| (5)他職種にタスクシフト      | 1   | 0.1%  |
| (6)実施する予定はない       | 215 | 29.5% |
| (7)該当なし            | 48  | 6.6%  |

解説：CE の清潔介助業務については「継続して行う」が最も多く 4 割強を占める一方、「実施予定なし」も 3 割に達し、施設間で方針が大きく分かれている。今後実施や検討とする施設は 2 割弱で、全体としては現状維持が中心の傾向がみられる。

設問16 タスクシェア・タスクシフトにおいて心・血管カテーテル業務におけるCEの清潔介助業務についての今後の予定を選択してください(単一回答)n=730



問 17 脳血管内カテーテルにおいて CE が実施して  
いる業務を全て選択してください。(複数回答)

目的：脳血管内カテーテルで CE が担っている業務  
を把握する。

定義：脳血管内カテーテルにおいて CE が行う業務  
をすべて選択してください。

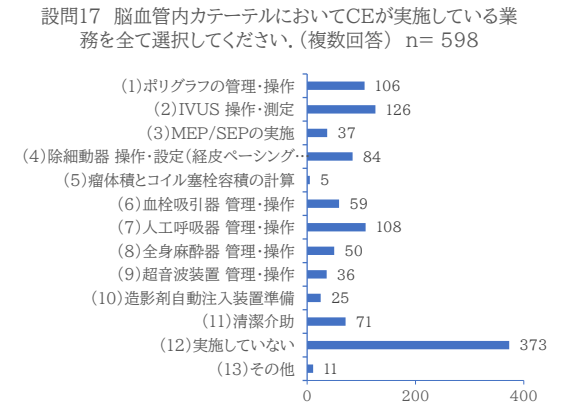
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：598

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1)ポリグラフの管理・操作           | 106 | 17.7% |
| (2)IVUS 操作・測定            | 126 | 21.1% |
| (3)MEP/SEP の実施           | 37  | 6.2%  |
| (4)除細動器 操作・設定(経皮ペースング含む) | 84  | 14.0% |
| (5)瘤体積とコイル塞栓容積の計算        | 5   | 0.8%  |
| (6)血栓吸引器 管理・操作           | 59  | 9.9%  |
| (7)人工呼吸器 管理・操作           | 108 | 18.1% |
| (8)全身麻酔器 管理・操作           | 50  | 8.4%  |
| (9)超音波装置 管理・操作           | 36  | 6.0%  |
| (10)造影剤自動注入装置準備          | 25  | 4.2%  |
| (11)清潔介助                 | 71  | 11.9% |
| (12)実施していない              | 373 | 62.4% |
| (13)その他                  | 11  | 1.8%  |

その他内訳:CAS の脳灌流モニタ NIRS 準備 1,デバイスの準備,物だし,外回り 1,  
テンポラリー準備 1,術前薬剤準備 1,清潔介助は医師人員不足時のみ 1,体外式ベ  
スメーカ操作 1,入室前の医材準備 1,脳血管内カテーテルをしていない 1,物品管  
理, ACT 測定, レポート作成 1,麻酔器始業点検・終業点検 1,未記載 1

解説：脳血管内カテーテル領域では、CE が関与し  
ていない施設が 6 割超と最も多く、関与している業  
務としては IVUS (21%) や人工呼吸器管理 (18%),  
ポリグラフ操作 (18%) が上位を占める。清潔介  
助は 1 割程度にとどまり、脳血管領域では CE 関与  
が限定的であることが示される。



問 18 脳血管内カテーテル業務において CE が清潔  
介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択し  
て下さい。(複数回答)

目的：脳血管内カテーテル業務において CE が清潔  
介助業務の内容を把握する。

定義：脳血管内カテーテル業務において CE が行う  
清潔介助業務をすべて選択してください。

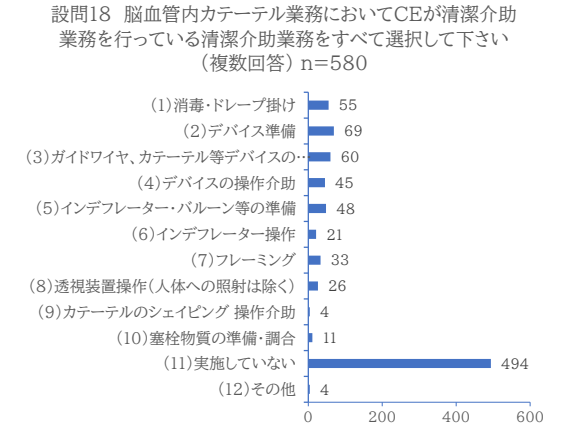
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：580

| 項目                      | n   | 割合    |
|-------------------------|-----|-------|
| (1)消毒・ドレープ掛け            | 55  | 9.5%  |
| (2)デバイス準備               | 69  | 11.9% |
| (3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持 | 60  | 10.3% |
| (4)デバイスの操作介助            | 45  | 7.8%  |
| (5)インデフレーター・バルーン等の準備    | 48  | 8.3%  |
| (6)インデフレーター操作           | 21  | 3.6%  |
| (7)フレーミング               | 33  | 5.7%  |
| (8)透視装置操作(人体への照射は除く)    | 26  | 4.5%  |
| (9)カテーテルのシェイピング 操作介助    | 4   | 0.7%  |
| (10)塞栓物質の準備・調合          | 11  | 1.9%  |
| (11)実施していない             | 494 | 85.2% |
| (12)その他                 | 4   | 0.7%  |

その他内訳:入室前の準備のみ 手技中の関わりはない 1,脳血管内カテーテルを  
していない 1,未記載 2

解説：脳血管内カテーテル領域で CE が清潔介助を  
行っている施設は少数で、大半 (約 85%) が「実  
施していない」と回答した。実施している内容も「デ  
バイス準備」「保持」など一部に限られ、CE の清  
潔介助参画はごく限定的であることが示された。



問 19 脳血管内カテーテル業務において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施していますか。(時間外も含む、複数回答)

目的：脳血管内カテーテル業務において CE 以外の清潔介助業務の実施状況を把握する。

脳血管内カテーテル業務において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施している職種について選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

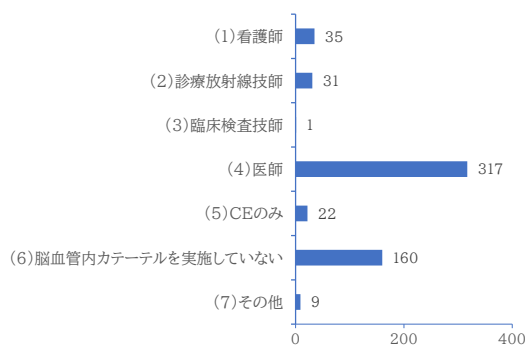
有効回答数：531

| 項目                   | n   | 割合    |
|----------------------|-----|-------|
| (1)看護師               | 35  | 6.6%  |
| (2)診療放射線技師           | 31  | 5.8%  |
| (3)臨床検査技師            | 1   | 0.2%  |
| (4)医師                | 317 | 59.7% |
| (5)CE のみ             | 22  | 4.1%  |
| (6)脳血管内カテーテルを実施していない | 160 | 30.1% |
| (7)その他               | 9   | 1.7%  |

その他内訳：介助者なしで実施 1,療していない 1,脳血管内カテーテルをしていない 1,脳血管内カテーテル業務に ce が関与していない 1,不明 1,分からない 1,未記載 3

解説：清潔介助は「医師」が最多で 6 割弱と中心的役割を担い、CE 以外では看護師・診療放射線技師も一定数関与している。一方で脳血管内カテーテル自体を実施していない施設も 3 割あり、実施体制は施設間で大きく異なる実態が示された。

設問19 脳血管内カテーテル業務においてCE以外の職種が清潔介助業務を実施していますか(時間外も含む)  
(複数回答) n=531



問 20 構造的心疾患 (SHD) 治療において CE が実施している業務を全て選択してください。(複数回答)

目的：構造的心疾患 (SHD) 治療で CE が担っている業務を把握する。

定義：構造的心疾患 (SHD) 治療において CE が実施している業務をすべて選択してください。

構造的心疾患 (SHD) 治療とは、TAVI や MitraClip 等を指します。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

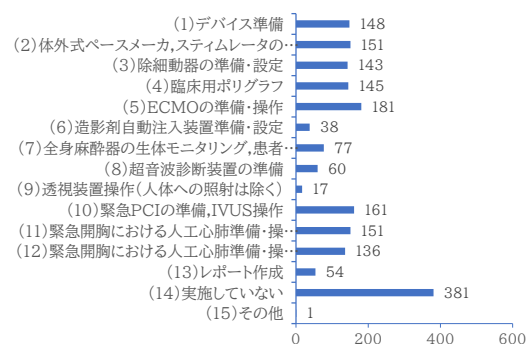
有効回答数：567

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1)デバイス準備                    | 148 | 26.1% |
| (2)体外式ペースメーカー、ステムレータの設定      | 151 | 26.6% |
| (3)除細動器の準備・設定                | 143 | 25.2% |
| (4)臨床用ポリグラフ                  | 145 | 25.6% |
| (5)ECMOの準備・操作                | 181 | 31.9% |
| (6)造影剤自動注入装置準備・設定            | 38  | 6.7%  |
| (7)全身麻酔器の生体モニタリング、患者モニタリング装着 | 77  | 13.6% |
| (8)超音波診断装置の準備                | 60  | 10.6% |
| (9)透視装置操作(人体への照射は除く)         | 17  | 3.0%  |
| (10)緊急 PCI の準備,IVUS 操作       | 161 | 28.4% |
| (11)緊急開胸における人工心肺準備・操作(担当内)   | 151 | 26.6% |
| (12)緊急開胸における人工心肺準備・操作(担当外支援) | 136 | 24.0% |
| (13)レポート作成                   | 54  | 9.5%  |
| (14)実施していない                  | 381 | 67.2% |
| (15)その他                      | 1   | 0.2%  |

その他内訳：治療していない 1

解説：SHD 治療における CE 業務は、ECMO 準備・操作 (32%) や緊急 PCI・IVUS 操作 (28%) など高度な支援が目立つ。一方で、半数の施設 (67%) では CE は SHD 治療に関与していない。実施している施設では多岐にわたる高度・専門的業務を担っている一方、未実施施設との二分化が示唆される。

設問20 構造的心疾患(SHD)治療においてCEが実施している業務を全て選択してください。  
(複数回答) n=567



問 21 構造的心疾患（SHD）治療において CE が清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。（複数回答）

目的：構造的心疾患（SHD）治療において CE が清潔介助業務の内容を把握する。

定義：構造的心疾患（SHD）治療において CE が行う清潔介助業務をすべて選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

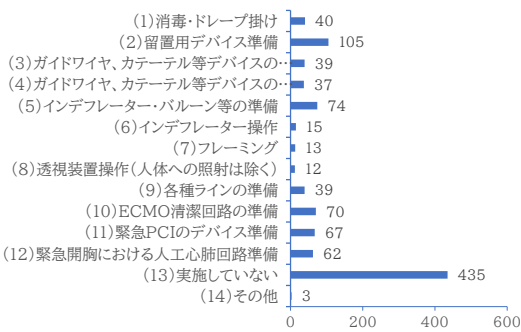
有効回答数：559

| 項目                        | n   | 割合    |
|---------------------------|-----|-------|
| (1)消毒・ドレープ掛け              | 40  | 7.2%  |
| (2)留置用デバイス準備              | 105 | 18.8% |
| (3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持   | 39  | 7.0%  |
| (4)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助 | 37  | 6.6%  |
| (5)インデフレーター・バルーン等の準備      | 74  | 13.2% |
| (6)インデフレーター操作             | 15  | 2.7%  |
| (7)フレーミング                 | 13  | 2.3%  |
| (8)透視装置操作(人体への照射は除く)      | 12  | 2.1%  |
| (9)各種ラインの準備               | 39  | 7.0%  |
| (10)ECMO 清潔回路の準備          | 70  | 12.5% |
| (11)緊急 PCI のデバイス準備        | 67  | 12.0% |
| (12)緊急開胸における人工心肺回路準備      | 62  | 11.1% |
| (13)実施していない               | 435 | 77.8% |
| (14)その他                   | 3   | 0.5%  |

その他内訳：クリップ作業 1,治療していない 1,清潔介助は緊急時・人手不足時のみ 1

解説：SHD 治療における CE の清潔介助は「実施していない」が約 8 割を占め、清潔介助への関与は少数にとどまる。一方で、一部の施設ではデバイス準備や ECMO 清潔回路準備など、限定的な業務で CE がサポートしている状況が示される。

設問21 構造的心疾患(SHD)治療においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい  
(複数回答) n=559



問 22 構造的心疾患（SHD）治療において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施していますか。（時間外も含む，複数回答）

目的：構造的心疾患（SHD）治療業務において CE 以外の清潔介助業務の実施状況を把握する。

構造的心疾患（SHD）治療業務において CE 以外の職種が清潔介助業務を実施している職種について選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

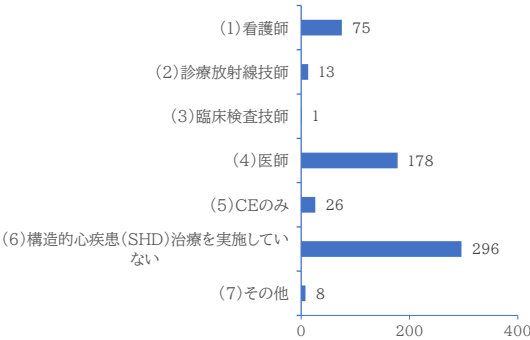
有効回答数：512

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1)看護師                   | 75  | 14.6% |
| (2)診療放射線技師               | 13  | 2.5%  |
| (3)臨床検査技師                | 1   | 0.2%  |
| (4)医師                    | 178 | 34.8% |
| (5)CE のみ                 | 26  | 5.1%  |
| (6)構造的心疾患(SHD)治療を実施していない | 296 | 57.8% |
| (7)その他                   | 8   | 1.6%  |

その他内訳：治療していない 1,分からない 1,未記載 6

解説：SHD 治療における清潔介助は、「医師」が約 3 割と最も多く、看護師は 1 割強に留まる。一方で、半数近くの施設は SHD 治療自体を実施しておらず、業務構造の違いが示唆される。CE のみで対応している施設は少数であった。

設問22 構造的心疾患(SHD)治療においてCE以外の職種が清潔介助業務を実施していますか(時間外も含む)  
(複数回答) n=512



問 23 心・血管カテーテル領域において CE が参加している情報共有に関する取り組みおよび臨床外業務を全て選択して下さい。(複数回答)

目的：カテーテル室で実施している業務範囲を把握する。

定義：カテーテル室で実施している業務内容を選択してください。

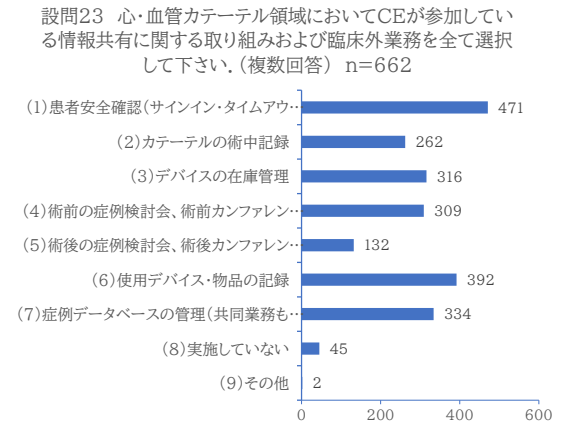
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：662

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)患者安全確認(サインイン・タイムアウト・サインアウト) | 471 | 71.1% |
| (2)カテーテルの術中記録                  | 262 | 39.6% |
| (3)デバイスの在庫管理                   | 316 | 47.7% |
| (4)術前の症例検討会、術前カンファレンスの参加       | 309 | 46.7% |
| (5)術後の症例検討会、術後カンファレンスの参加       | 132 | 19.9% |
| (6)使用デバイス・物品の記録                | 392 | 59.2% |
| (7)症例データベースの管理(共同業務も含む)        | 334 | 50.5% |
| (8)実施していない                     | 45  | 6.8%  |
| (9)その他                         | 2   | 0.3%  |

その他内訳:患者術前記録 1,未記載 1

解説：CE の情報共有・臨床外業務への関与は多岐にわたり、特に「患者安全確認」「使用デバイス・物品の記録」「症例データベース管理」などで高い参加率を示した。術前・術後カンファレンスへの参加も一定数みられ、チーム医療における CE の役割が広がっていることがわかる。一方で、未実施施設も 1 割弱存在する。



問 24 心・血管カテーテルにおける CE の時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答)

目的：緊急カテーテル対応の実態を把握する。

定義：心・血管カテーテルにおける CE の時間外の緊急カテーテル対応方法を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

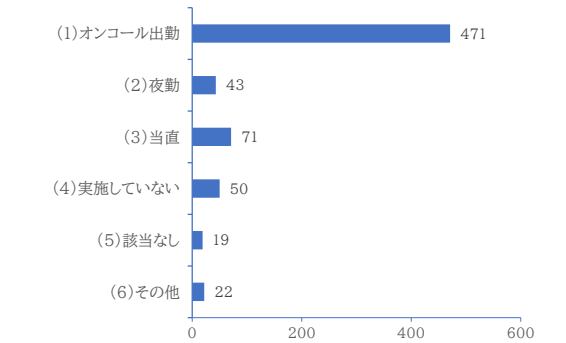
有効回答数：676

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)オンコール出勤 | 471 | 69.7% |
| (2)夜勤      | 43  | 6.4%  |
| (3)当直      | 71  | 10.5% |
| (4)実施していない | 50  | 7.4%  |
| (5)該当なし    | 19  | 2.8%  |
| (6)その他     | 22  | 3.3%  |

その他内訳:当直+オンコールの2名体制 4,当直とオンコールの併用・組み合わせ運用 4,当直中心で対応(当直優先) 4,オンコール中心で対応 3,夜勤+オンコール体制 3,院内待機+院外待機の2人体制 2,曜日で当直・オンコールを分担 2

解説：緊急カテーテル対応は「オンコール出勤」が 70%と最も一般的で、多くの施設が待機呼び出し体制で対応している。夜勤・当直を含む常時対応体制は少数で、7%は緊急対応を実施していない施設であった。

設問24 心・血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答) n=676



問 25 心・血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか（単一回答）

目的：心・血管カテーテル検査治療の業者立会い状況を把握する。

定義：心・血管カテーテル検査治療の業者立会い状況に該当するものを選択してください。

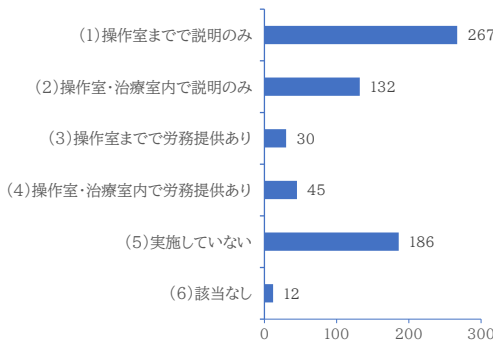
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：672

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1) 操作室までで説明のみ      | 267 | 39.7% |
| (2) 操作室・治療室内で説明のみ   | 132 | 19.6% |
| (3) 操作室までで労務提供あり    | 30  | 4.5%  |
| (4) 操作室・治療室内で労務提供あり | 45  | 6.7%  |
| (5) 実施していない         | 186 | 27.7% |
| (6) 該当なし            | 12  | 1.8%  |

解説：「操作室までで説明のみ」が最も多く 4 割弱を占め、次いで「説明のみ（室内）」が約 2 割。労務提供を伴う立会いは 1 割未満にとどまり、約 3 割の施設では業者立会い自体を実施していない実態が示される。

設問25 心・血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか(単一回答) n=672



11. 業務実態報告 2025 施設報告 不整脈アブレーションアドオン

問 1 施設で実施されている年間アブレーション症例数は何件ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で実施している年間症例数を選択してください。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

\* 設問 1 について、調査・統計委員会にて入稿しましたが、e- プリバド移植時に反映できませんでした。よって今回の不整脈アブレーションの報告は 2 問目からとなります。

問 2 施設で実施されている年間アブレーションのうち心房細動に対する治療の症例は何%ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で実施している年間症例数を選択してください。

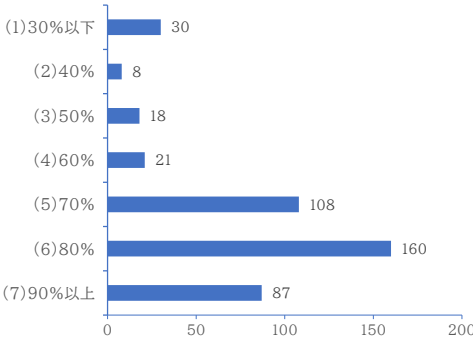
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：432

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1) 30%以下 | 30  | 6.9%  |
| (2) 40%   | 8   | 1.9%  |
| (3) 50%   | 18  | 4.2%  |
| (4) 60%   | 21  | 4.9%  |
| (5) 70%   | 108 | 25.0% |
| (6) 80%   | 160 | 37.0% |
| (7) 90%以上 | 87  | 20.1% |

解説：施設で実施されている年間アブレーションのうち心房細動に対する治療の症例の割合について、80%と回答した施設が一番多く 37%であった。

問2 施設で実施されている年間アブレーションのうち心房細動に対する治療の症例は何%ですか。(単一回答) n=432



問3 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？. (単一回答)

目的：アブレーション業務に従事している臨床工学技士数の実数を把握する.

定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力してください.

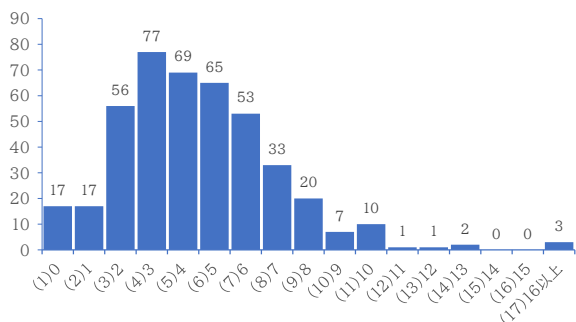
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：431

| 項目       | n  | 割合    |
|----------|----|-------|
| (1)0     | 17 | 3.9%  |
| (2)1     | 17 | 3.9%  |
| (3)2     | 56 | 13.0% |
| (4)3     | 77 | 17.9% |
| (5)4     | 69 | 16.0% |
| (6)5     | 65 | 15.1% |
| (7)6     | 53 | 12.3% |
| (8)7     | 33 | 7.7%  |
| (9)8     | 20 | 4.6%  |
| (10)9    | 7  | 1.6%  |
| (11)10   | 10 | 2.3%  |
| (12)11   | 1  | 0.2%  |
| (13)12   | 1  | 0.2%  |
| (14)13   | 2  | 0.5%  |
| (15)14   | 0  | 0.0%  |
| (16)15   | 0  | 0.0%  |
| (17)16以上 | 3  | 0.7%  |

解説：不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士の在籍している人数について、3人が一番多く18%、次いで4人の16%であった。

問3 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？.  
(単一回答) n=431



問4 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士のうち JACE 専門不整脈治療臨床工学技士は何名在籍していますか？. (単一回答)

目的：アブレーション業務に従事している臨床工学技士数の専門性を把握する.

定義：従事している JACE 専門不整脈治療臨床工学技士がいない場合は0を入力してください.

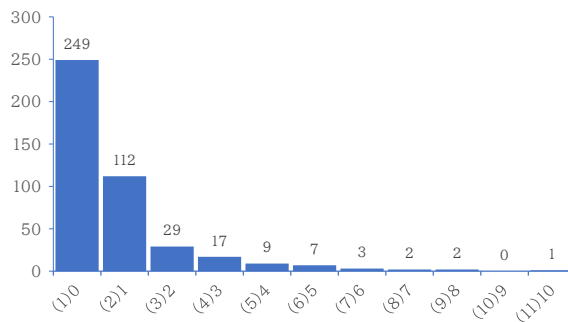
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：431

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)0   | 249 | 57.8% |
| (2)1   | 112 | 26.0% |
| (3)2   | 29  | 6.7%  |
| (4)3   | 17  | 3.9%  |
| (5)4   | 9   | 2.1%  |
| (6)5   | 7   | 1.6%  |
| (7)6   | 3   | 0.7%  |
| (8)7   | 2   | 0.5%  |
| (9)8   | 2   | 0.5%  |
| (10)9  | 0   | 0.0%  |
| (11)10 | 1   | 0.2%  |

解説：不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士のうち JACE 専門不整脈治療臨床工学技士の在籍している人数について、不在の施設が一番多く58%、次いで1名の26%であった。

問4 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士のうちJACE専門不整脈治療臨床工学技士は何名在籍していますか？. (単一回答) n=431



問5 不整脈カテーテルアブレーションにおいて貴院が導入している焼灼用機器を選択してください。（複数回答）

目的：アブレーション機器の導入状況と技士業務の関連性を把握する。

定義：導入している焼灼機器をすべて選択してください。

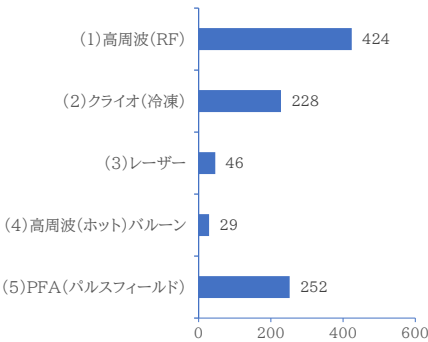
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：427

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1)高周波(RF)       | 424 | 99.3% |
| (2)クライオ(冷凍)      | 228 | 53.4% |
| (3)レーザー          | 46  | 10.8% |
| (4)高周波(ホット)バルーン  | 29  | 6.8%  |
| (5)PFA(パルスフィールド) | 252 | 59.0% |

解説：不整脈カテーテルアブレーションにおいて施設で導入している焼灼用機器が一番多かったものは、高周波の99%とほとんどの施設導入をしていたが、クライオについても53%と半数以上が導入していた。

問5 不整脈カテーテルアブレーションにおいて貴院が導入している焼灼用機器を選択してください。（複数回答） n=427



問6 不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務を選択してください。（複数回答）

目的：アブレーション業務実態を把握する。

定義：臨床工学技士が担当している業務をすべて選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

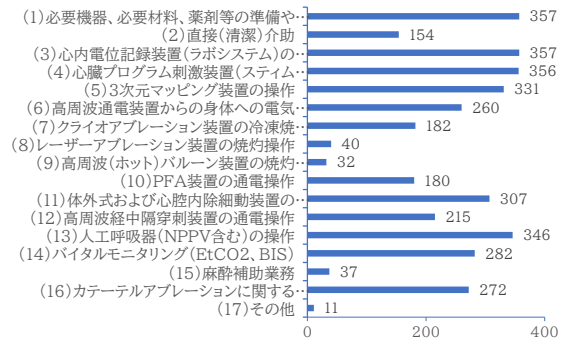
有効回答数：426

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助        | 357 | 83.8% |
| (2)直接(清潔)介助                     | 154 | 36.2% |
| (3)心内電位記録装置(ラボシステム)の操作          | 357 | 83.8% |
| (4)心臓プログラム刺激装置(ステイムレータ)の操作      | 356 | 83.6% |
| (5)3次元マッピング装置の操作                | 331 | 77.7% |
| (6)高周波通電装置からの身体への電氣的負荷の実施(通電操作) | 260 | 61.0% |
| (7)クライオアブレーション装置の冷凍焼灼操作         | 182 | 42.7% |
| (8)レーザーアブレーション装置の焼灼操作           | 40  | 9.4%  |
| (9)高周波(ホット)バルーン装置の焼灼操作          | 32  | 7.5%  |
| (10)PFA装置の通電操作                  | 180 | 42.3% |
| (11)体外式および心腔内除細動装置のショック操作       | 307 | 72.1% |
| (12)高周波経中隔穿刺装置の通電操作             | 215 | 50.5% |
| (13)人工呼吸器(NPPV含む)の操作            | 346 | 81.2% |
| (14)バイタルモニタリング(EtCO2, BIS)      | 282 | 66.2% |
| (15)麻酔補助業務                      | 37  | 8.7%  |
| (16)カテーテルアブレーションに関するデータ管理業務     | 272 | 63.8% |
| (17)その他                         | 11  | 2.6%  |

その他内容：人工呼吸器を装着する場合のみ立会い 1.該当なし 2.食道温センサー位置調整および抜去、造影剤注入装置の準備および設定 1.無記載 7

解説：不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務について、必要機器・必要材料・薬剤等の準備や間接介助と心内電位記録装置の操作一番多く84%，心臓プログラム刺激装置の操作が84%であった。

問6 不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務を選択してください。（複数回答） n=426



問7 日本不整脈心電学会より公示された「医療現場における法令遵守と倫理的責任について」で電気ショック、通電行為に関してが通達がありましたか？（単一回答）

目的：日本不整脈心電学会からの倫理的責任の指針の周知状況を把握する。

定義：認識状況を選択してください。

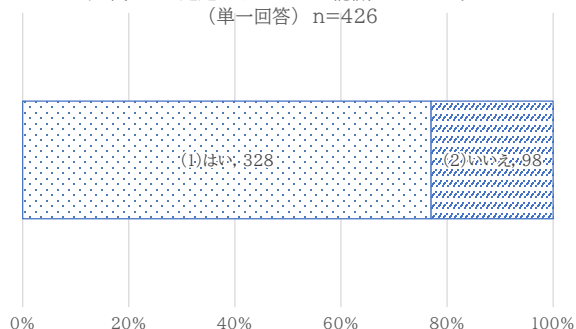
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：426

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)はい  | 328 | 77.0% |
| (2)いいえ | 98  | 23.0% |

解説：日本不整脈心電学会より公示された通達について、認識されている施設は77%であった。

問7 日本不整脈心電学会より公示された「医療現場における法令遵守と倫理的責任について」で電気ショック、通電行為に関してが通達がありましたか？（単一回答） n=426



問8 不整脈アブレーション治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：不整脈アブレーション治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

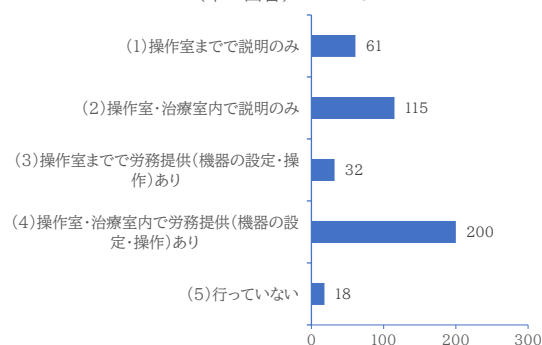
対象：2025年10月1日時点

有効回答数:426

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1)操作室までで説明のみ                | 61  | 14.3% |
| (2)操作室・治療室内で説明のみ             | 115 | 27.0% |
| (3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり    | 32  | 7.5%  |
| (4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり | 200 | 46.9% |
| (5)行っていない                    | 18  | 4.2%  |

解説：不整脈アブレーション治療の外部業者の立ち合いについて、操作室・治療室内で労務提供ありの施設が一番多く47%，行っていない施設は4%であった。

問8 不整脈アブレーション治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答） n=426



問9 不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が院内で実施している労務提供内容を選択してください。（複数回答）

目的：アブレーションにおける業者の労務提供の実態を把握する。

定義：業者が実施している労務提供の内容を選択してください。

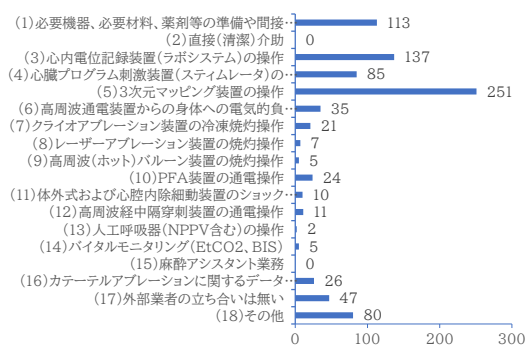
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：426

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接          | 113 | 26.5% |
| (2)直接(清潔)介助                     | 0   | 0.0%  |
| (3)心内電位記録装置(ラボシステム)の操作          | 137 | 32.2% |
| (4)心臓プログラム刺激装置(ステイムレータ)の操作      | 85  | 20.0% |
| (5)3次元マッピング装置の操作                | 251 | 58.9% |
| (6)高周波通電装置からの身体への電気的負荷の実施(通電操作) | 35  | 8.2%  |
| (7)クライオアブレーション装置の冷凍焼灼操作         | 21  | 4.9%  |
| (8)レーザーアブレーション装置の焼灼操作           | 7   | 1.6%  |
| (9)高周波(ホット)バルーン装置の焼灼操作          | 5   | 1.2%  |
| (10)PFA装置の通電操作                  | 24  | 5.6%  |
| (11)体外式および心腔内除細動装置のショック操作       | 10  | 2.3%  |
| (12)高周波経中隔穿刺装置の通電操作             | 11  | 2.6%  |
| (13)人工呼吸器(NPPV含む)の操作            | 2   | 0.5%  |
| (14)バイタルモニタリング(EtCO2, BIS)      | 5   | 1.2%  |
| (15)麻酔アシスタント業務                  | 0   | 0.0%  |
| (16)カテーテルアブレーションに関するデータ管理業務     | 26  | 6.1%  |
| (17)外部業者の立ち合いは無い                | 47  | 11.0% |
| (18)その他                         | 80  | 18.8% |

解説：不整脈カテーテルアブレーションの外部業者が院内で実施している労務提供で、3次元マッピング装置の操作が一番多く59%，次いで心内電位記録装置の操作の32%であった。

問9 不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が院内で実施している労務提供内容を選択してください。（複数回答） n=426



12. 業務実態報告 2025 施設報告 心臓不整脈デバイスアドオン

問1 心臓不整脈デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか。

目的：心臓不整脈デバイス関連業務に従事している技士数の実数を把握する。

定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を選択してください。

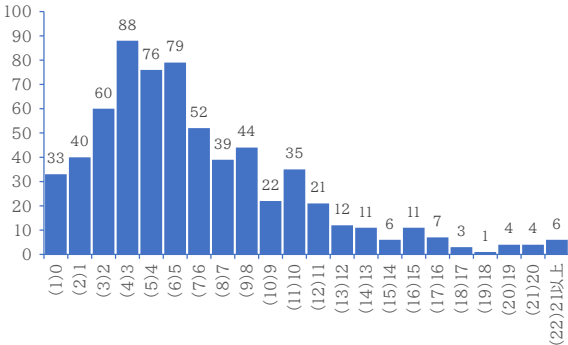
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：654

| 項目       | n  | 割合    |
|----------|----|-------|
| (1)0     | 33 | 5.0%  |
| (2)1     | 40 | 6.1%  |
| (3)2     | 60 | 9.2%  |
| (4)3     | 88 | 13.5% |
| (5)4     | 76 | 11.6% |
| (6)5     | 79 | 12.1% |
| (7)6     | 52 | 8.0%  |
| (8)7     | 39 | 6.0%  |
| (9)8     | 44 | 6.7%  |
| (10)9    | 22 | 3.4%  |
| (11)10   | 35 | 5.4%  |
| (12)11   | 21 | 3.2%  |
| (13)12   | 12 | 1.8%  |
| (14)13   | 11 | 1.7%  |
| (15)14   | 6  | 0.9%  |
| (16)15   | 11 | 1.7%  |
| (17)16   | 7  | 1.1%  |
| (18)17   | 3  | 0.5%  |
| (19)18   | 1  | 0.2%  |
| (20)19   | 4  | 0.6%  |
| (21)20   | 4  | 0.6%  |
| (22)21以上 | 6  | 0.9%  |

解説：在籍人数は「3名」が最多（14%）で、中規模体制の施設が中心となっている。

設問1 心臓不整脈デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか。（単一回答） n=654



問2 心臓不整脈デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうち JACE 専門不整脈治療臨床工学技士は何名在籍していますか。

目的：心臓不整脈デバイス関連業務に従事している技士数の専門性を把握する。

定義：JACE 専門不整脈治療臨床工学技士がいない場合は0を入力してください。

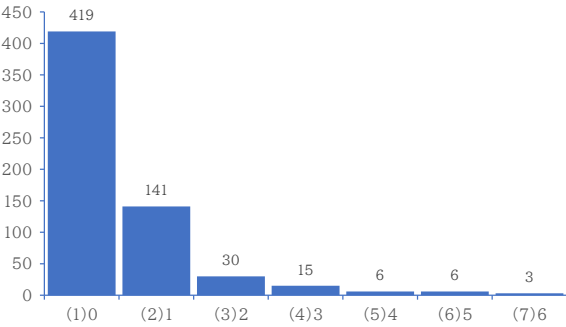
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：620

| 項目   | n   | 割合    |
|------|-----|-------|
| (1)0 | 419 | 67.6% |
| (2)1 | 141 | 22.7% |
| (3)2 | 30  | 4.8%  |
| (4)3 | 15  | 2.4%  |
| (5)4 | 6   | 1.0%  |
| (6)5 | 6   | 1.0%  |
| (7)6 | 3   | 0.5%  |

解説：JACE 専門不整脈治療臨床工学技士は「0名」が最多で68%，専門資格者はまだ少数である。

設問2 心臓不整脈デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうちJACE専門不整脈治療臨床工学技士は何名在籍していますか。（単一回答） n=620



問3 心臓不整脈デバイス診療において臨床工学技士が担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：心臓不整脈デバイス関連業務実態を把握する。  
定義：臨床工学技士が担当している業務をすべて選択してください。

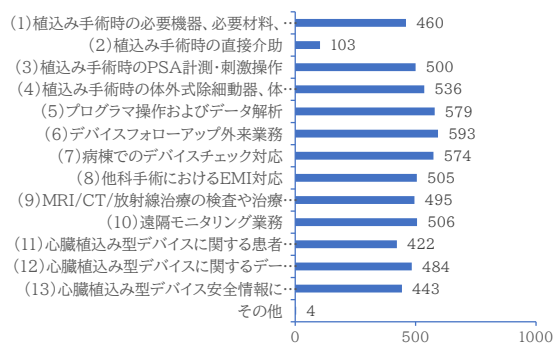
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：624

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)植込み手術時の必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助 | 460 | 73.7% |
| (2)植込み手術時の直接介助                  | 103 | 16.5% |
| (3)植込み手術時のPSA計測・刺激操作            | 500 | 80.1% |
| (4)植込み手術時の体外式除細動器、体外式ペースメーカーの操作 | 536 | 85.9% |
| (5)プログラマ操作およびデータ解析              | 579 | 92.8% |
| (6)デバイスフォローアップ外来業務              | 593 | 95.0% |
| (7)病棟でのデバイスチェック対応               | 574 | 92.0% |
| (8)他科手術におけるEMI対応                | 505 | 80.9% |
| (9)MRI/CT/放射線治療の検査や治療時対応        | 495 | 79.3% |
| (10)遠隔モニタリング業務                  | 506 | 81.1% |
| (11)心臓植込み型デバイスに関する患者指導および説明業務   | 422 | 67.6% |
| (12)心臓植込み型デバイスに関するデータ管理業務       | 484 | 77.6% |
| (13)心臓植込み型デバイス安全情報に関する管理業務      | 443 | 71.0% |

解説：担当業務は「デバイスフォローアップ外来業務」が最多で95%，外来対応が主業務となっている。

設問3 心臓不整脈デバイス診療において臨床工学技士が担当している業務を選択してください。(複数回答) n=624



問4 日本不整脈心電学会ポリシー・ステートメント「植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動等の医療機器情報サービス提供者CDRの必要性和その役割について」が改訂されましたが認識されていますか。(単一回答)

目的：心臓不整脈デバイス関連業務における業者の操作行為に関するステートメント周知状況を把握する。  
定義：ステートメントの認識状況を選択してください。

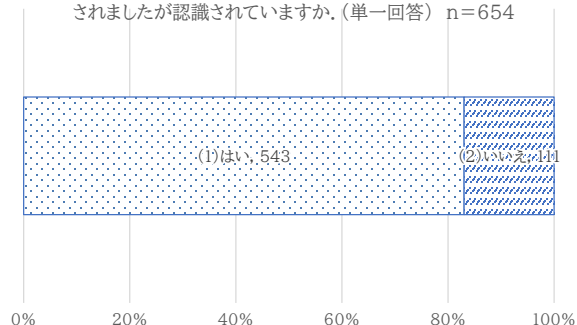
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：654

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| (1)はい  | 543 | 83.0% |
| (2)いいえ | 111 | 17.0% |

解説：学会ポリシー改訂については「はい」が多数で83%，認知度は高い傾向にある。

設問4 日本不整脈心電学会ポリシー・ステートメント「植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動等の医療機器情報サービス提供者CDRの必要性和その役割について」が改訂されましたが認識されていますか。(単一回答) n=654



問5 心臓不整脈デバイスの植込み手術において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が心臓不整脈デバイス関連医療機器操作を行っていますか。(単一回答)

目的：心臓不整脈デバイス関連業務における業者の操作行為を把握する。

定義：心臓不整脈デバイスの植込み手術における業者の操作行為を選択してください。

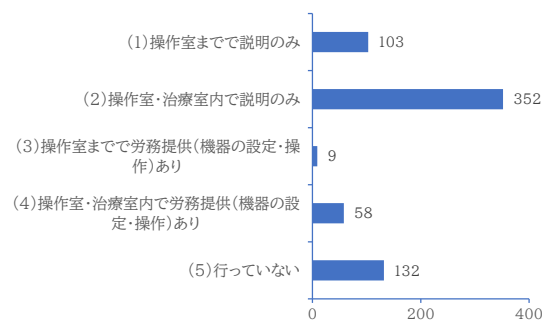
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：654

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1)操作室までで説明のみ                | 103 | 15.7% |
| (2)操作室・治療室内で説明のみ             | 352 | 53.8% |
| (3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり    | 9   | 1.4%  |
| (4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり | 58  | 8.9%  |
| (5)行っていない                    | 132 | 20.2% |

解説：植込み手術では「操作室・治療室内で説明のみ」が最多で9%，外部業者は補助的関与が中心である。

設問5 心臓不整脈デバイスの植込み手術において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が心臓不整脈デバイス関連医療機器操作を行っていますか。(単一回答) n=654



問6 心臓不整脈デバイスフォローアップ外来において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が心臓不整脈デバイス関連医療機器操作を行っていますか？（単一回答）

目的：心臓不整脈デバイス関連業務における業者の操作行為を把握する。

定義：心臓不整脈デバイスフォローアップ外来における業者の操作行為を選択してください。

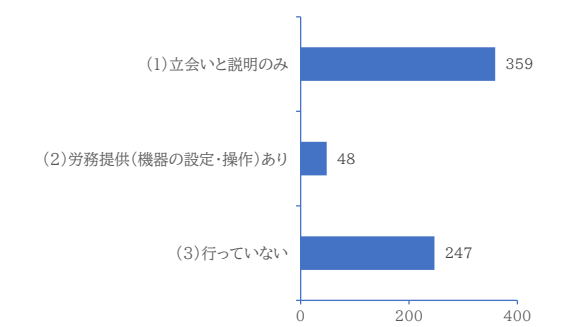
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：654

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1)立会いと説明のみ         | 359 | 54.9% |
| (2)労務提供(機器の設定・操作)あり | 48  | 7.3%  |
| (3)行っていない           | 247 | 37.8% |

解説：外来フォローでは「立会いと説明のみ」が最多で55%，業者は限定的関与にとどまる。

設問6 心臓不整脈デバイスフォローアップ外来において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が心臓不整脈デバイス関連医療機器操作を行っていますか？（単一回答） n=654



問7 施設で植込み手術を実施されている心臓不整脈デバイスは何ですか。（複数回答）

目的：施設における実施デバイス種類を把握する。

定義：施設で植込みをしているデバイス種類を選択してください。

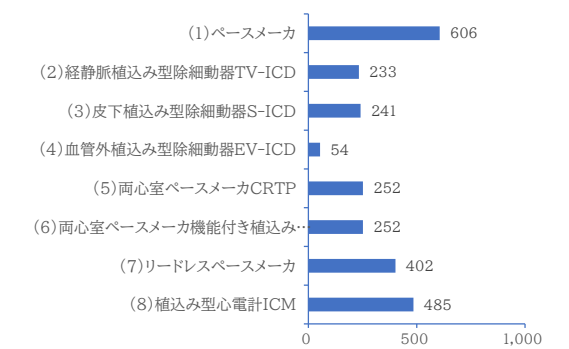
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：607

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)ペースメーカー                     | 606 | 99.8% |
| (2)経静脈植込み型除細動器 TV-ICD          | 233 | 38.4% |
| (3)皮下植込み型除細動器 S-ICD            | 241 | 39.7% |
| (4)血管外植込み型除細動器 EV-ICD          | 54  | 8.9%  |
| (5)両心室ペースメーカー CRTp             | 252 | 41.5% |
| (6)両心室ペースメーカー機能付き植込み型除細動器 CRTD | 252 | 41.5% |
| (7)リードレスペースメーカー                | 402 | 66.2% |
| (8)植込み型心電計 ICM                 | 485 | 79.9% |

解説：実施デバイスは「ペースメーカー」が最多で約100%，最も一般的に導入されている。

設問7 施設で植込み手術を実施されている心臓不整脈デバイスは何ですか。（複数回答） n=607



問8 施設でフォローアップされているペースメーカー（リードレス含む）患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

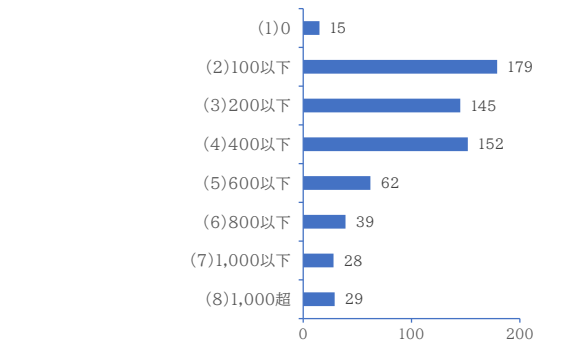
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：649

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1)0       | 15  | 2.3%  |
| (2)100以下   | 179 | 27.6% |
| (3)200以下   | 145 | 22.3% |
| (4)400以下   | 152 | 23.4% |
| (5)600以下   | 62  | 9.6%  |
| (6)800以下   | 39  | 6.0%  |
| (7)1,000以下 | 28  | 4.3%  |
| (8)1,000超  | 29  | 4.5%  |

解説：ペースメーカー患者数は「100名以下」が最多で28%，比較的少数管理施設が多い。

設問8 施設でフォローアップされているペースメーカー（リードレス含む）患者数は何名ですか。（単一回答） n=649



問9 施設でフォローアップされているICD（TV-ICD・S-ICD・EV-ICD含む）患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

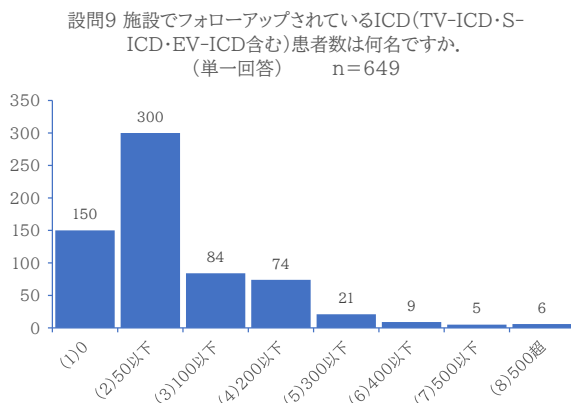
定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：649

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 150 | 23.1% |
| (2)50以下  | 300 | 46.2% |
| (3)100以下 | 84  | 12.9% |
| (4)200以下 | 74  | 11.4% |
| (5)300以下 | 21  | 3.2%  |
| (6)400以下 | 9   | 1.4%  |
| (7)500以下 | 5   | 0.8%  |
| (8)500超  | 6   | 0.9%  |

解説：ICD患者数は「50名以下」が最多で46%、症例数は限定的な施設が中心である。



問10 施設でフォローアップされているCRT-P・CRT-D患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

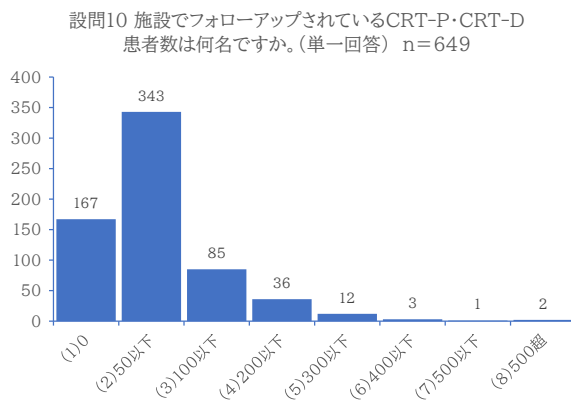
定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：649

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 167 | 25.7% |
| (2)50以下  | 343 | 52.9% |
| (3)100以下 | 85  | 13.1% |
| (4)200以下 | 36  | 5.5%  |
| (5)300以下 | 12  | 1.8%  |
| (6)400以下 | 3   | 0.5%  |
| (7)500以下 | 1   | 0.2%  |
| (8)500超  | 2   | 0.3%  |

解説：CRT患者数は「50名以下」が最多で53%、導入規模は小～中規模が主流である。



問11 施設でフォローアップされているICM患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

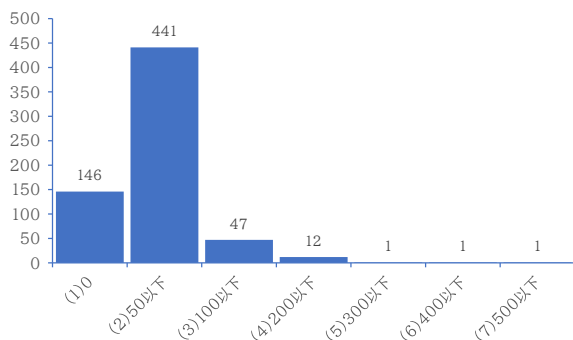
対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：649

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 146 | 22.5% |
| (2)50以下  | 441 | 68.0% |
| (3)100以下 | 47  | 7.2%  |
| (4)200以下 | 12  | 1.8%  |
| (5)300以下 | 1   | 0.2%  |
| (6)400以下 | 1   | 0.2%  |
| (7)500以下 | 1   | 0.2%  |

解説：ICM 患者数は「50 名以下」が最多で 68%，導入は広がるが症例数は多くない。

設問11 施設でフォローアップされているICM患者数は何名ですか。(単一回答) n=649



問12 施設で管理されている遠隔モニタリング患者数は何名ですか。(単一回答)

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で遠隔モニタリング管理している患者数を選択してください。

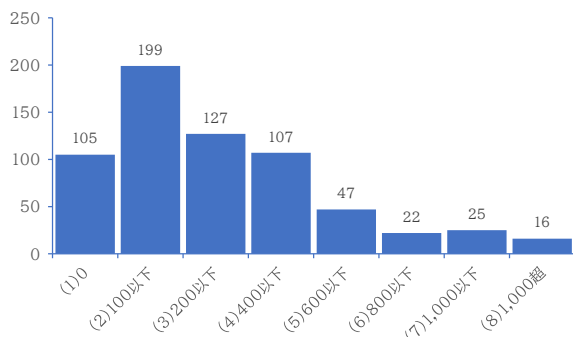
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：648

| 項目          | n   | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| (1)0        | 105 | 16.2% |
| (2)100 以下   | 199 | 30.7% |
| (3)200 以下   | 127 | 19.6% |
| (4)400 以下   | 107 | 16.5% |
| (5)600 以下   | 47  | 7.3%  |
| (6)800 以下   | 22  | 3.4%  |
| (7)1,000 以下 | 25  | 3.9%  |
| (8)1,000 超  | 16  | 2.5%  |

解説：遠隔モニタリング患者数は「100 名以下」が最多で 31%，管理規模は小規模が中心である。

設問12 施設で管理されている遠隔モニタリング患者数は何名ですか。(単一回答) n=648



問13 遠隔モニタリング業務の年間件数（閲覧と報告・入力等を行った件数）は何回ですか。(単一回答)

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で遠隔モニタリング業務の回数を選択してください。

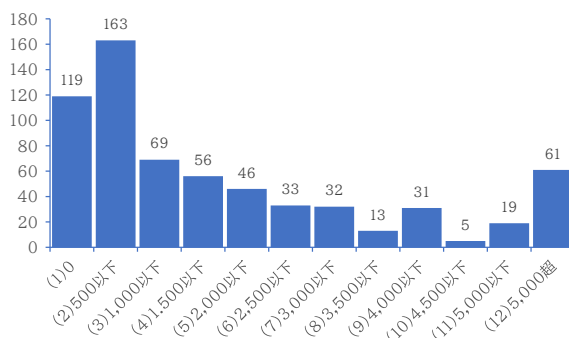
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：647

| 項目           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)0         | 119 | 18.4% |
| (2)500 以下    | 163 | 25.2% |
| (3)1,000 以下  | 69  | 10.7% |
| (4)1,500 以下  | 56  | 8.7%  |
| (5)2,000 以下  | 46  | 7.1%  |
| (6)2,500 以下  | 33  | 5.1%  |
| (7)3,000 以下  | 32  | 4.9%  |
| (8)3,500 以下  | 13  | 2.0%  |
| (9)4,000 以下  | 31  | 4.8%  |
| (10)4,500 以下 | 5   | 0.8%  |
| (11)5,000 以下 | 19  | 2.9%  |
| (12)5,000 超  | 61  | 9.4%  |

解説：年間遠隔モニタリング件数は「500 回以下」が最多で 25%，業務量は施設差がある。

設問13 遠隔モニタリング業務の年間件数(閲覧と報告・入力等を行った件数)は何回ですか。(単一回答) n=647



問 14 年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数は何件ですか。(単一回答)

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務の実数を把握する。

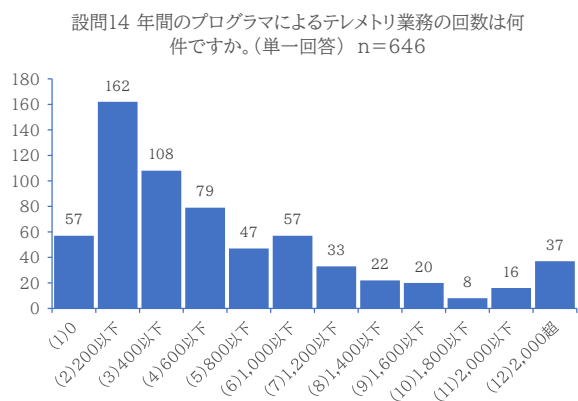
定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数を選択してください。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：646

| 項目           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)0         | 57  | 8.8%  |
| (2)200 以下    | 162 | 25.1% |
| (3)400 以下    | 108 | 16.7% |
| (4)600 以下    | 79  | 12.2% |
| (5)800 以下    | 47  | 7.3%  |
| (6)1,000 以下  | 57  | 8.8%  |
| (7)1,200 以下  | 33  | 5.1%  |
| (8)1,400 以下  | 22  | 3.4%  |
| (9)1,600 以下  | 20  | 3.1%  |
| (10)1,800 以下 | 8   | 1.2%  |
| (11)2,000 以下 | 16  | 2.5%  |
| (12)2,000 超  | 37  | 5.7%  |

解説：年間テレメトリ件数は「200 件以下」が最多で 25%，比較的限定的な実施状況である。



問 15 テレメトリ業務のうち EMI 対応（電気メス・MRI・放射線治療など）によるものは年間何件ですか。(単一回答)

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務のうち EMI 対応によるものの実数を把握する。

定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務のうち EMI 対応によるものの回数を選択してください。

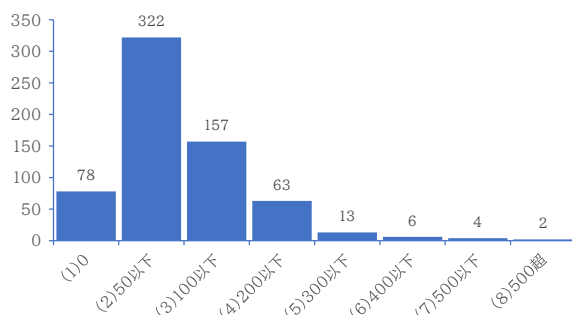
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効回答数：645

| 項目        | n   | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| (1)0      | 78  | 12.1% |
| (2)50 以下  | 322 | 49.9% |
| (3)100 以下 | 157 | 24.3% |
| (4)200 以下 | 63  | 9.8%  |
| (5)300 以下 | 13  | 2.0%  |
| (6)400 以下 | 6   | 0.9%  |
| (7)500 以下 | 4   | 0.6%  |
| (8)500 超  | 2   | 0.3%  |

解説：EMI 対応件数は「50 件以下」が最多で 50%，特殊対応は多くない状況である。

設問15 テレメトリ業務のうちEMI対応（電気メス・MRI・放射線治療など）によるものは年間何件ですか。(単一回答)  
n=645



## 13. 業務実態報告 2025 施設報告 医療安全アドオン

問1 医療安全管理部門でCEが業務を行っているか選択してください。 ※医療安全管理部門とは、医療安全管理部等を指し、各部署所属のリスクマネージャー等は含めない。(単一回答) ※1) 以外を選択した場合は、設問14へ進んでください。

目的：医療安全部門におけるCEの関与を把握するため。

定義：医療安全部門におけるCEの関与を選択する。

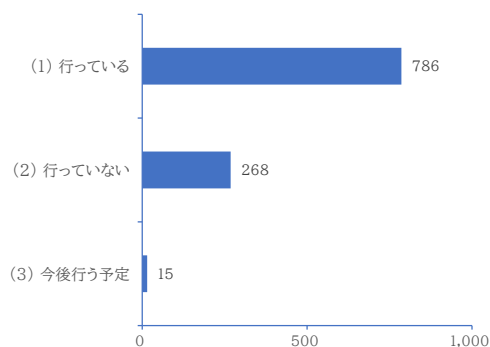
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,069

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1) 行っている  | 786 | 73.5% |
| (2) 行っていない | 268 | 25.1% |
| (3) 今後行う予定 | 15  | 1.4%  |

解説：医療安全管理部門でCEが業務を行っている割合は、74%であり多くの施設で実施している。

問1 医療安全管理部門でCEが業務を行っているか選択してください。(単一回答) n=1,069



問2 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義：医療安全管理部門に所属する医師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

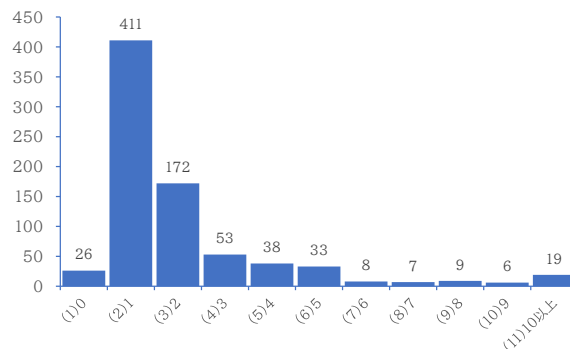
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：782

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 26  | 3.3%  |
| (2)1     | 411 | 52.6% |
| (3)2     | 172 | 22.0% |
| (4)3     | 53  | 6.8%  |
| (5)4     | 38  | 4.9%  |
| (6)5     | 33  | 4.2%  |
| (7)6     | 8   | 1.0%  |
| (8)7     | 7   | 0.9%  |
| (9)8     | 9   | 1.2%  |
| (10)9    | 6   | 0.8%  |
| (11)10以上 | 19  | 2.4%  |

解説：医療安全管理部門に所属する医師の人数は、1人が最も多く53%、次いで2人の22%であった。

問2 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=782



問3 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)  
目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する看護師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

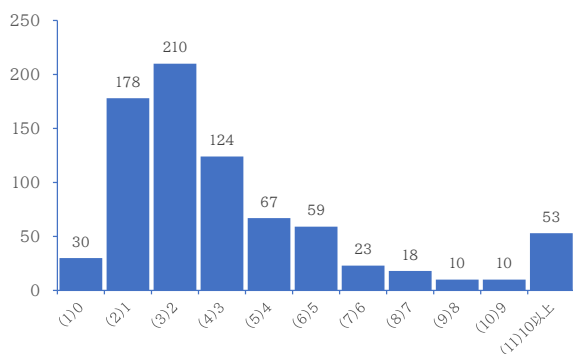
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 782

| 項目    | n   | 割合    |
|-------|-----|-------|
| (1)0  | 30  | 3.8%  |
| (2)1  | 178 | 22.8% |
| (3)2  | 210 | 26.9% |
| (4)3  | 124 | 15.9% |
| (5)4  | 67  | 8.6%  |
| (6)5  | 59  | 7.5%  |
| (7)6  | 23  | 2.9%  |
| (8)7  | 18  | 2.3%  |
| (9)8  | 10  | 1.3%  |
| (10)9 | 10  | 1.3%  |

解説: 医療安全管理部門に所属する看護師の人数は、2人が最も多く27%、次いで1人の23%であった。

問3 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回) n=782



問4 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)  
目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

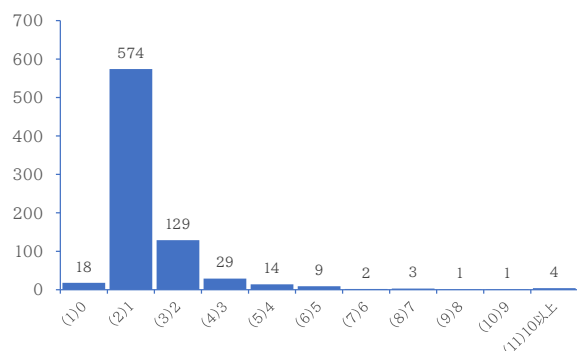
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 760

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 152 | 20.0% |
| (2)1     | 524 | 68.9% |
| (3)2     | 63  | 8.3%  |
| (4)3     | 9   | 1.2%  |
| (5)4     | 7   | 0.9%  |
| (6)5     | 2   | 0.3%  |
| (7)6     | 1   | 0.1%  |
| (8)7     | 0   | 0.0%  |
| (9)8     | 1   | 0.1%  |
| (10)9    | 0   | 0.0%  |
| (11)10以上 | 1   | 0.1%  |

解説: 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数は、1人が最も多く69%、次いで薬剤師の所属がない施設が20%であった。

問5 医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=784



問5 医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

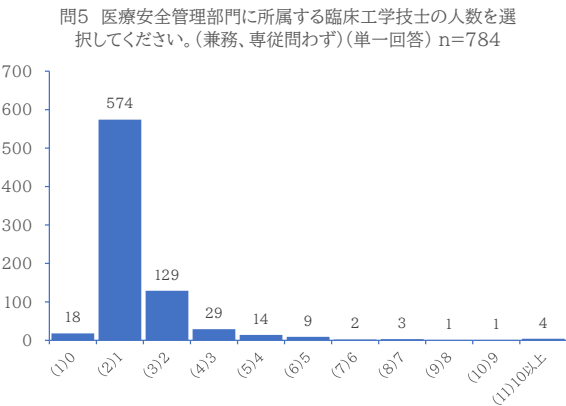
定義：医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：784

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 18  | 2.3%  |
| (2)1     | 574 | 73.2% |
| (3)2     | 129 | 16.5% |
| (4)3     | 29  | 3.7%  |
| (5)4     | 14  | 1.8%  |
| (6)5     | 9   | 1.1%  |
| (7)6     | 2   | 0.3%  |
| (8)7     | 3   | 0.4%  |
| (9)8     | 1   | 0.1%  |
| (10)9    | 1   | 0.1%  |
| (11)10以上 | 4   | 0.5%  |

解説：医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人数は、1人が最も多く73%、次いで2人の17%であった。



問6 医療安全管理部門に所属する事務員の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

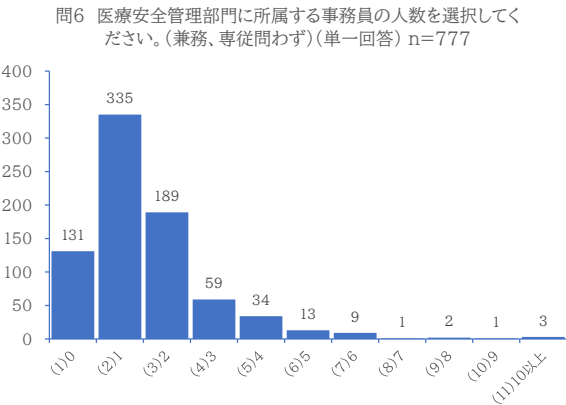
定義：医療安全管理部門に所属する事務員の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

対象：2025年10月1日時点

有効回答数：777

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 131 | 16.9% |
| (2)1     | 335 | 43.1% |
| (3)2     | 189 | 24.3% |
| (4)3     | 59  | 7.6%  |
| (5)4     | 34  | 4.4%  |
| (6)5     | 13  | 1.7%  |
| (7)6     | 9   | 1.2%  |
| (8)7     | 1   | 0.1%  |
| (9)8     | 2   | 0.3%  |
| (10)9    | 1   | 0.1%  |
| (11)10以上 | 3   | 0.4%  |

解説：医療安全管理部門に所属する事務員の人数は、1人が最も多く43%、次いで2人の24%であった。



問7 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

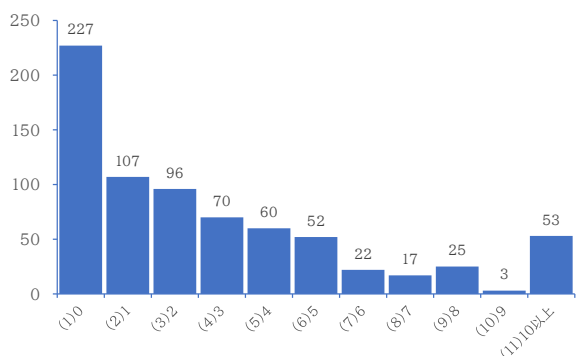
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 732

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1)0     | 227 | 31.0% |
| (2)1     | 107 | 14.6% |
| (3)2     | 96  | 13.1% |
| (4)3     | 70  | 9.6%  |
| (5)4     | 60  | 8.2%  |
| (6)5     | 52  | 7.1%  |
| (7)6     | 22  | 3.0%  |
| (8)7     | 17  | 2.3%  |
| (9)8     | 25  | 3.4%  |
| (10)9    | 3   | 0.4%  |
| (11)10以上 | 53  | 7.2%  |

解説: 医療安全管理部門に所属するその他の人数は、所属していない施設が最も多く31%、次いで1人が15%、10人以上所属する施設は7%であった。

問7 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=732



問8 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答)

目的: 医療安全管理部門でCEの業務形式を把握するため。

定義: 医療安全管理部門のCEの業務形式を選択する。※兼務(50%未満)、専任(50%~80%未満)、専従(80%以上)とする。

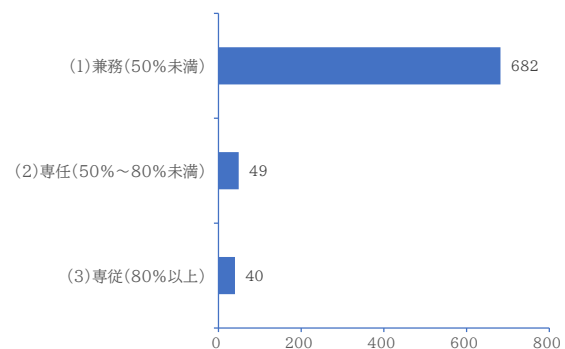
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 771

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1)兼務(50%未満)     | 682 | 88.5% |
| (2)専任(50%~80%未満) | 49  | 6.4%  |
| (3)専従(80%以上)     | 40  | 5.2%  |

解説: 医療安全管理部門のCEの業務形式は、兼務が最も多く89%であった。

問8 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答) n=771



問9 医療安全管理部門の肩書き(職位)を選択してください。(単一回答)

目的: 院内での肩書き(職位)を選択してください。

定義: 医療安全管理部門のCEの肩書きを選択する。

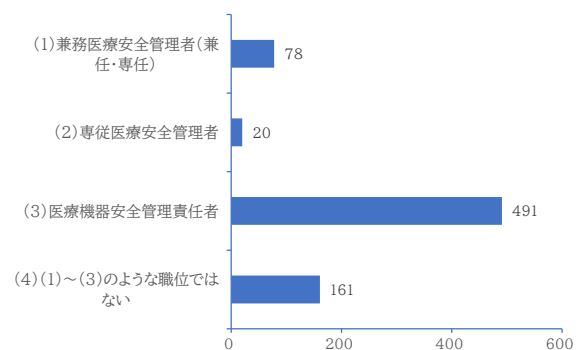
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 750

| 項目                   | n   | 割合    |
|----------------------|-----|-------|
| (1)兼務医療安全管理者(兼任・専任)  | 78  | 10.4% |
| (2)専従医療安全管理者         | 20  | 2.7%  |
| (3)医療機器安全管理責任者       | 491 | 65.5% |
| (4)(1)~(3)のような職位ではない | 161 | 21.5% |

解説: 医療安全管理部門の肩書き(職位)は医療機器安全管理責任者が最も多く66%であった。

問9 医療安全管理部門の肩書き(職位)を選択してください。(単一回答) n=750



問 10 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。  
(単一回答)

目的：医療安全管理者研修について選択してください。  
定義：医療安全管理者研修は、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室の「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針（令和2年3月改定）」に準拠した研修とします。

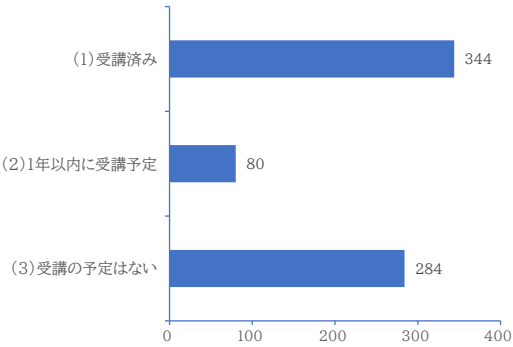
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：708

| 項目           | n   | 割合    |
|--------------|-----|-------|
| (1)受講済み      | 344 | 48.6% |
| (2)1年以内に受講予定 | 80  | 11.3% |
| (3)受講の予定はない  | 284 | 40.1% |

解説：医療安全管理者研修は受講状況について、受講済みは49%であったのに対し、受講の予定がない施設は40%であった。

問10 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。(単一回答) n=708



問 11 医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。(複数回答)

目的：医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。

定義：医療安全管理部門での CE の業務を把握するため。

対象：2025年10月1日時点

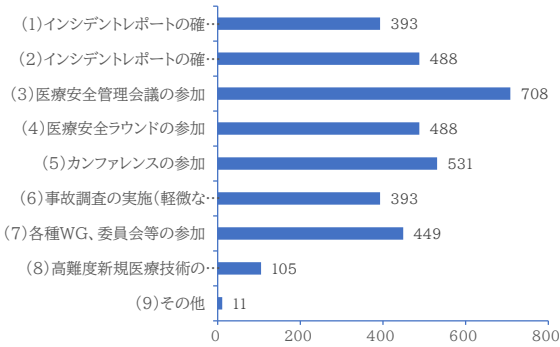
有効回答数：782

| 項目                              | n   | 割合    |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1)インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)      | 393 | 50.3% |
| (2)インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)   | 488 | 62.4% |
| (3)医療安全管理会議の参加                  | 708 | 90.5% |
| (4)医療安全ラウンドの参加                  | 488 | 62.4% |
| (5)カンファレンスの参加                   | 531 | 67.9% |
| (6)事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)      | 393 | 50.3% |
| (7)各種WG、委員会等の参加                 | 449 | 57.4% |
| (8)高難度新規医療技術の会議、未承認新規医薬品等の会議の参加 | 105 | 13.4% |
| (9)その他                          | 11  | 1.4%  |

その他内容:コンフリクト対応 1,協力要請のあった医療機関に要するインシデントに対し対応 1,地域連携加算に關する近隣施設への訪問支援 1,院内研修の開催 1,管理会議、委員会の運営 1,インシデントレポート提出システムの利用・構築 1,マニュアルの整備(作成、改定)、お知らせ等の注意喚起、研修の実施 1,相互監査への参加(訪問、受入れ) 1,無記載 3

解説：医療安全管理部門での CE の業務について、医療安全管理会議の参加の割合が最も多く 91%、次いでカンファレンスの参加が 68%であった。

問11 医療安全管理部門でのCEの業務について選択してください。(複数回答) n=782



問 12 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答)

目的：医療安全管理部門へ配属となった経緯を把握するため。

定義：医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択する。

対象：2025年10月1日時点

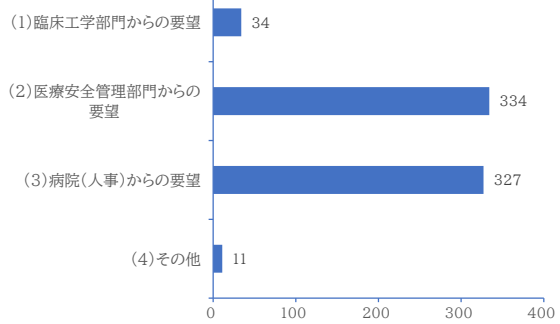
有効回答数：706

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1)臨床工学部門からの要望   | 34  | 4.8%  |
| (2)医療安全管理部門からの要望 | 334 | 47.3% |
| (3)病院(人事)からの要望   | 327 | 46.3% |
| (4)その他           | 11  | 1.6%  |

その他内容:無記載 1,前任者より引き継ぎ 2,CE 不在の医療機関に入職する際、CE の受け皿として医療安全管理室に配属となった 1,自ら立ち上げ・設置 2,法人内の異動に伴いクリニックのリスクマネージャーを兼務している、定期的に法人内の医療安全委員会活動を行っている 1,機能評価 2,国立病院機構の慢性期病院は医療安全管理所属が多く、慣例に従っていると考えられる 1

解説：医療安全管理部門へ配属となった経緯は、医療安全管理部門からの要望が最も多く 47%、僅差で病院(人事)からの要望が 46%であった。

問12 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答) n=706



問13 医療安全管理部門の任期を選択してください。(単一回答)

目的：医療安全管理部門の任期を把握するため。

定義：医療安全部門の任期を選択する。

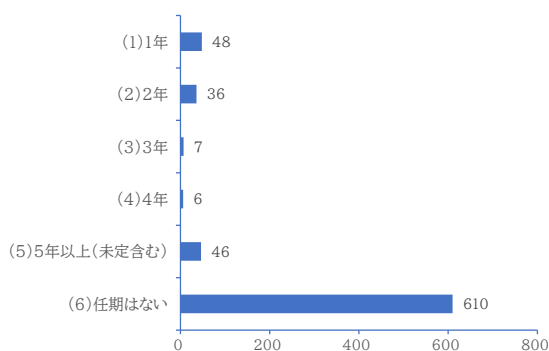
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：753

| 項目            | n   | 割合    |
|---------------|-----|-------|
| (1)1年         | 48  | 6.4%  |
| (2)2年         | 36  | 4.8%  |
| (3)3年         | 7   | 0.9%  |
| (4)4年         | 6   | 0.8%  |
| (5)5年以上(未定含む) | 46  | 6.1%  |
| (6)任期はない      | 610 | 81.0% |

解説：医療安全管理部門の任期は、任期がない施設が最も多く81%であった。

問13 医療安全管理部門の任期を選択してください。  
(単一回答) n=753



問14 医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。(複数回答)

目的：医療安全管理部門からの依頼業務を把握するため。

定義：医療安全管理部門の依頼業務を選択する。

対象：2025年10月1日時点

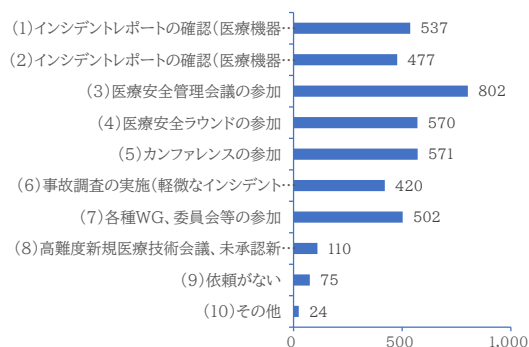
有効回答数：1,060

| 項目                             | n   | 割合    |
|--------------------------------|-----|-------|
| (1)インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)     | 537 | 50.7% |
| (2)インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)  | 477 | 45.0% |
| (3)医療安全管理会議の参加                 | 802 | 75.7% |
| (4)医療安全ラウンドの参加                 | 570 | 53.8% |
| (5)カンファレンスの参加                  | 571 | 53.9% |
| (6)事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)     | 420 | 39.6% |
| (7)各種WG、委員会等の参加                | 502 | 47.4% |
| (8)高難度新規医療技術会議、未承認新規医療技術会議等の参加 | 110 | 10.4% |
| (9)依頼がない                       | 75  | 7.1%  |
| (10)その他                        | 24  | 2.3%  |

その他内訳:無記載 9,臨床工学部門なし 1,調査への協力 2,機下手術レポートの報告管理 1,医療機器破損等報告 1,研修会・勉強会 4,医療機器安全管理委員会の開催 1,高難度に関わる事例を行う検討部会への参加 1,医療機器安全管理責任者のポストのみあり 1,依頼ではなく私が依頼する立場 1,インシデントレポートの確認 2

解説：医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務について、医療安全管理会議の参加の依頼が最も多く76%、次いで医療安全ラウンドの依頼とカンファレンスの参加依頼が54%であった。

問14 医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。  
(複数回答) n=1,060



14. 業務実態報告 2025 施設報告 高気圧治療アドオン

問1 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。(単一回答)

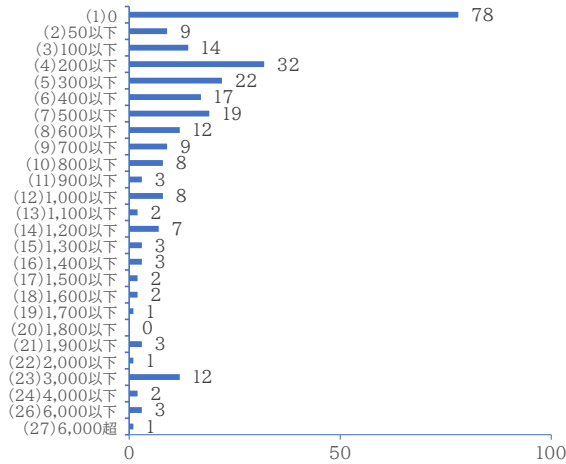
目的：施設の高気圧酸素治療実施件数把握のため。  
定義：施設の高気圧酸素治療実施件数を入力してください。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日  
有効回答数：273

| 項目            | n  | 割合    |
|---------------|----|-------|
| (1) 0         | 78 | 28.5% |
| (2) 50 以下     | 9  | 3.3%  |
| (3) 100 以下    | 14 | 5.1%  |
| (4) 200 以下    | 32 | 11.7% |
| (5) 300 以下    | 22 | 8.0%  |
| (6) 400 以下    | 17 | 6.2%  |
| (7) 500 以下    | 19 | 6.9%  |
| (8) 600 以下    | 12 | 4.4%  |
| (9) 700 以下    | 9  | 3.3%  |
| (10) 800 以下   | 8  | 2.9%  |
| (11) 900 以下   | 3  | 1.1%  |
| (12) 1,000 以下 | 8  | 2.9%  |
| (13) 1,100 以下 | 2  | 0.7%  |
| (14) 1,200 以下 | 7  | 2.6%  |
| (15) 1,300 以下 | 3  | 1.1%  |
| (16) 1,400 以下 | 3  | 1.1%  |
| (17) 1,500 以下 | 2  | 0.7%  |
| (18) 1,600 以下 | 2  | 0.7%  |
| (19) 1,700 以下 | 1  | 0.4%  |
| (20) 1,800 以下 | 0  | 0.0%  |
| (21) 1,900 以下 | 3  | 1.1%  |
| (22) 2,000 以下 | 1  | 0.4%  |
| (23) 3,000 以下 | 12 | 4.4%  |
| (24) 4,000 以下 | 2  | 0.7%  |
| (26) 6,000 以下 | 3  | 1.1%  |
| (27) 6,000 超  | 1  | 0.4%  |

解説：高気圧酸素治療実施件数は 0 件が 28.5%と最も多く、次いで 200 件以下が多かった。

問1 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。(単一回答)n=273



問2 高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を選択してください。(単一回答)

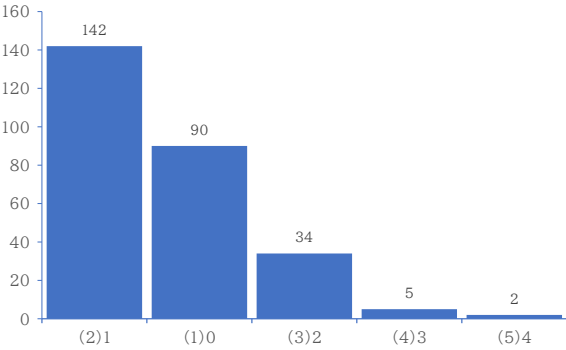
目的：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の台数把握のため。  
定義：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を選択してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点  
有効回答数：273

| 項目  | n   | 割合    |
|-----|-----|-------|
| (2) | 142 | 52.0% |
| (1) | 90  | 33.0% |
| (3) | 34  | 12.5% |
| (4) | 5   | 1.8%  |
| (5) | 2   | 0.7%  |

解説：高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数は 1 台が 52%だった

問2 高気圧酸素治療装置(第1種装置)の保有数を選択してください。(単一回答)n=273



問3 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を記載してください。(単一回答)

目的：高気圧酸素治療の総従事者数を把握する。

定義：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者・兼任者を含めた総数を選択してください。関わる臨床工学技士がいない場合は0を選択してください。

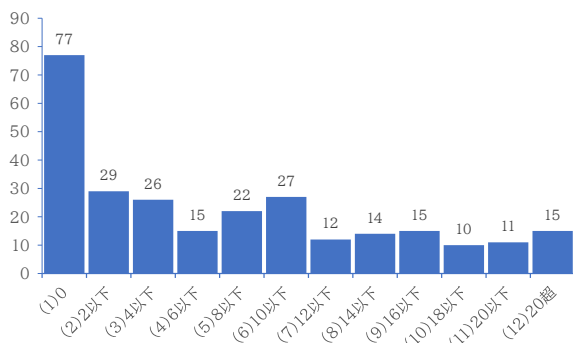
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：273

| 項目         | n  | 割合    |
|------------|----|-------|
| (1) 0      | 77 | 28.1% |
| (2) 2 以下   | 29 | 10.6% |
| (3) 4 以下   | 26 | 9.5%  |
| (4) 6 以下   | 15 | 5.5%  |
| (5) 8 以下   | 22 | 8.0%  |
| (6) 10 以下  | 27 | 9.9%  |
| (7) 12 以下  | 12 | 4.4%  |
| (8) 14 以下  | 14 | 5.1%  |
| (9) 16 以下  | 15 | 5.5%  |
| (10) 18 以下 | 10 | 3.6%  |
| (11) 20 以下 | 11 | 4.0%  |
| (12) 20 超  | 15 | 5.5%  |

解説：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数は0人が28%と最も多く、次いで2人以下が11%であった

問3 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を記載してください。(単一回答)n=273



問4 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください。(複数回答可)

目的：高気圧酸素治療装置の加圧方式を把握する。

定義：高気圧酸素治療装置の加圧方式を選択してください。

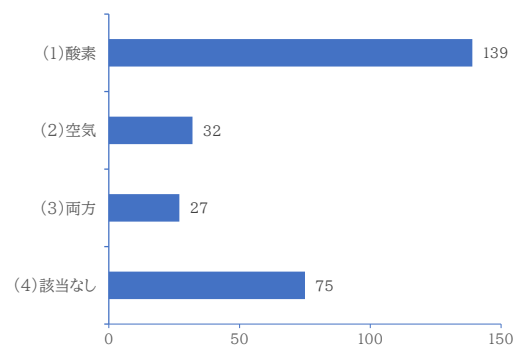
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：198

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1) 酸素   | 139 | 70.2% |
| (2) 空気   | 32  | 16.2% |
| (3) 両方   | 27  | 13.6% |
| (4) 該当なし | 75  | 37.9% |

解説：加圧方式は酸素が51%と最も多かった。次いで該当なしが27%であった。

問4 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください。(複数回答可)n=198



問5 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答)

目的：緊急高気圧酸素治療に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急高気圧酸素治療に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているかについて教えてください。

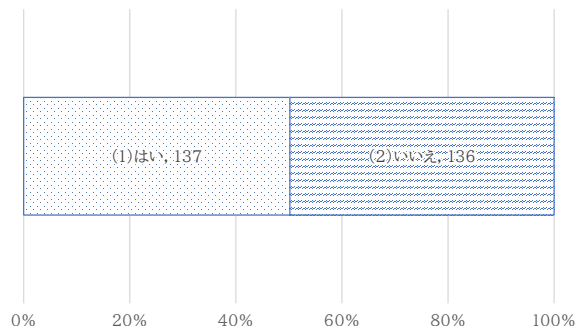
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：273

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1) はい  | 137 | 50.2% |
| (2) いいえ | 136 | 49.8% |

解説：休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っている施設は50%であった

問5 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答) n=273



問6 高気圧酸素治療の定期的な訓練を行っていますか。(単一回答)

目的：高気圧酸素治療の定期的な訓練の実施状況を把握する。

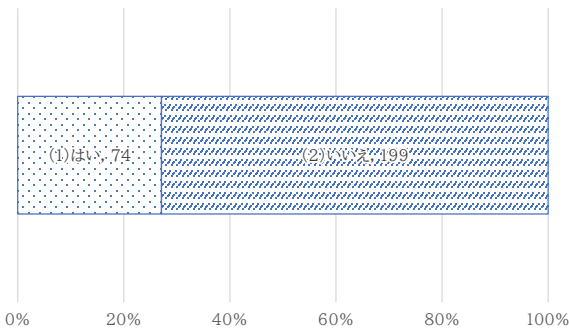
定義：対象期間（1年間）に高気圧酸素治療の定期的な訓練の実施状況を入力してください。

対象：2024年4月1日～2025年3月31日

有効回答数：273

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1) はい  | 74  | 27.1% |
| (2) いいえ | 199 | 72.9% |

問6 高気圧酸素治療の定期的な訓練を行っていますか。  
(単一回答) n=273



問7 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。(単一回答)

目的：高気圧酸素治療の臨床実習の実施状況を把握する。

定義：高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れているかについて教えてください。

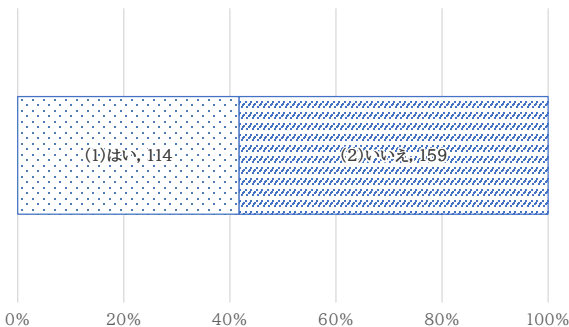
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：273

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1) はい  | 114 | 41.8% |
| (2) いいえ | 159 | 58.2% |

解説：42%の施設が高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていた

問7 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。  
(単一回答) n=273



問8 高気圧酸素治療の運用は日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用をされていますか。(単一回答)

目的：専門学会のガイドラインを遵守しているかを把握する。

定義：施設の高気圧酸素治療の運用は専門学会の安全基準に沿った運用であるかについて教えてください。

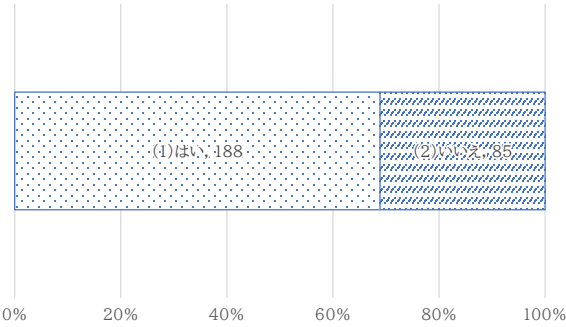
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：273

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1) はい  | 188 | 68.9% |
| (2) いいえ | 85  | 31.1% |

解説：69%の施設が日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用をしている

問8 高気圧酸素治療の運用は日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用をされていますか。  
(単一回答) n=273



15. 業務実態報告 2025 施設報告 医療機器管理ア  
ドオン

問1 医療機器安全管理責任者の職種を教えてください。(単一回答)

目的：医療機器安全管理責任者をどの程度 CE が担当しているか把握する。

定義：医療機器安全管理責任者の職種を選択してください。

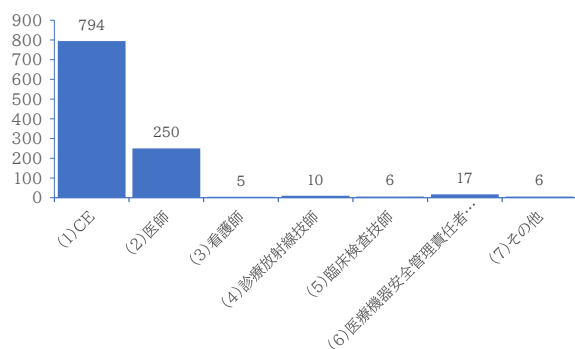
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：890

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 0      | 17  | 1.9%  |
| 50 未満  | 397 | 44.6% |
| 100 未満 | 153 | 17.2% |
| 150 未満 | 109 | 12.2% |
| 200 未満 | 66  | 7.4%  |
| 250 未満 | 43  | 4.8%  |
| 300 未満 | 39  | 4.4%  |
| 350 未満 | 35  | 3.9%  |
| 400 未満 | 15  | 1.7%  |
| 400 超  | 16  | 1.8%  |

解説：50 未満が 45%と最も多かった。

設問1 医療機器安全管理責任者の職種を教えてください。  
(単一回答) n=1088



問2 2024年度の医療機器安全管理加算1の算定件数を入力してください。(単一回答)

目的：NDBオープンデータベースの管理加算1の合計と会員施設合計の算定件数を比較する。

※ NDB オープンデータベース＝厚労省が管理するレセプト情報・特定健診等情報データベース  
定義：医療機器安全管理料加算1の年間算定件数を入力してください。

※半角数値で入力してください。

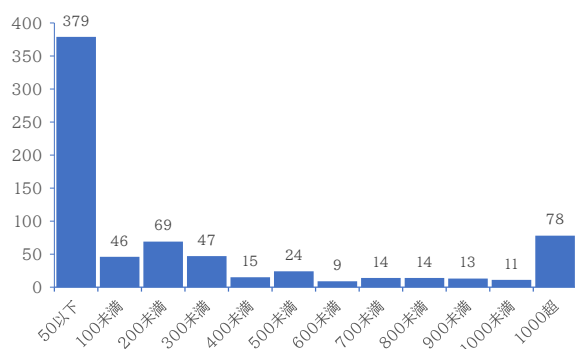
対象：2024年4月1日～2025年3月31日までの期間

有効回答数：719

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| 50 以下   | 379 | 52.7% |
| 100 未満  | 46  | 6.4%  |
| 200 未満  | 69  | 9.6%  |
| 300 未満  | 47  | 6.5%  |
| 400 未満  | 15  | 2.1%  |
| 500 未満  | 24  | 3.3%  |
| 600 未満  | 9   | 1.3%  |
| 700 未満  | 14  | 1.9%  |
| 800 未満  | 14  | 1.9%  |
| 900 未満  | 13  | 1.8%  |
| 1000 未満 | 11  | 1.5%  |
| 1000 超  | 78  | 10.8% |

解説：年間50以下が53%であった。

設問2 2024年度の医療機器安全管理加算1の算定件数を入力してください。n=719



問3 平日日勤帯における医療機器管理業務へCEを何人配置していますか。(単一回答)

目的：医療機器管理に対するCEの配置人数の把握する。

定義：医療機器管理に対する平日業務時間帯におけるCE配置人数の1日あたり平均値に近い数値を選択してください。(任意の1週間平均でも可)

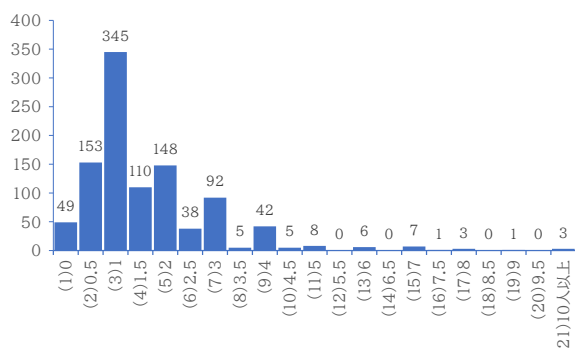
対象：2024年4月1日～2025年3月31日までの期間

有効回答数：1,016

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1) 0      | 49  | 4.8%  |
| (2) 0.5    | 153 | 15.1% |
| (3) 1      | 345 | 34.0% |
| (4) 1.5    | 110 | 10.8% |
| (5) 2      | 148 | 14.6% |
| (6) 2.5    | 38  | 3.7%  |
| (7) 3      | 92  | 9.1%  |
| (8) 3.5    | 5   | 0.5%  |
| (9) 4      | 42  | 4.1%  |
| (10) 4.5   | 5   | 0.5%  |
| (11) 5     | 8   | 0.8%  |
| (12) 5.5   | 0   | 0.0%  |
| (13) 6     | 6   | 0.6%  |
| (14) 6.5   | 0   | 0.0%  |
| (15) 7     | 7   | 0.7%  |
| (16) 7.5   | 1   | 0.1%  |
| (17) 8     | 3   | 0.3%  |
| (18) 8.5   | 0   | 0.0%  |
| (19) 9     | 1   | 0.1%  |
| (20) 9.5   | 0   | 0.0%  |
| (21) 10人以上 | 3   | 0.3%  |

解説：1人が34%で最も多かった。

設問3 平日日勤帯における医療機器管理業務へCEを何人配置していますか。(単一回答) n=1016



問4 CEにより台帳管理を行っている医療機器は何台ありますか。該当する範囲を選択してください。(単一回答)

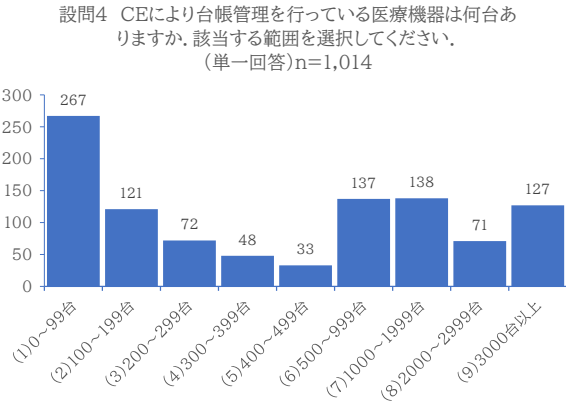
目的: CEによる中央管理機器台数を把握する。  
定義: CEにより台帳管理している医療機器の総数がどの範囲に該当するか選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,014

| 項目             | n   | 割合    |
|----------------|-----|-------|
| (1) 0～99台      | 267 | 26.3% |
| (2) 100～199台   | 121 | 11.9% |
| (3) 200～299台   | 72  | 7.1%  |
| (4) 300～399台   | 48  | 4.7%  |
| (5) 400～499台   | 33  | 3.3%  |
| (6) 500～999台   | 137 | 13.5% |
| (7) 1000～1999台 | 138 | 13.6% |
| (8) 2000～2999台 | 71  | 7.0%  |
| (9) 3000台以上    | 127 | 12.5% |

解説: 100台以下が27%と最も多かった。また3000台以上の施設は13%であった。



問5 保守点検で用いるアナライザー(チェッカー)のうち、どのような種類のアナライザー(チェッカー)を保有していますか。(複数回答)

目的: アナライザー(チェッカー)の対応機種を把握する。

定義: 保有しているアナライザー(チェッカー)の対応機器・分野を選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

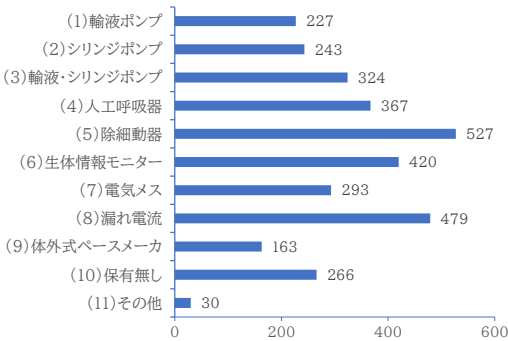
有効回答数: 1,014

| 項目             | n   | 割合    |
|----------------|-----|-------|
| (1) 輸液ポンプ      | 227 | 22.4% |
| (2) シリンジポンプ    | 243 | 24.0% |
| (3) 輸液・シリンジポンプ | 324 | 32.0% |
| (4) 人工呼吸器      | 367 | 36.2% |
| (5) 除細動器       | 527 | 52.0% |
| (6) 生体情報モニター   | 420 | 41.4% |
| (7) 電気メス       | 293 | 28.9% |
| (8) 漏れ電流       | 479 | 47.2% |
| (9) 体外式ペースメーカー | 163 | 16.1% |
| (10) 保有無し      | 266 | 26.2% |
| (11) その他       | 30  | 3.0%  |

その他内容: 11. 検査装置 1. バイタルサインモニター 2. 温度計 1. 検査装置 1. 血液凝固測定器 1. 光線治療器 1. 検疫計 1. 温度計 1. 聴音計 1. 保護導波管試験機 1. フローメーター 1. AC自動絶縁耐圧試験機 1. 医療ガス 1. LANケーブル 1. Naコルゲートケーブル 1. 電源ケーブル 1. 透視装置 1. フローアナライザー 1. CPAP装置 1

解説: 除細動器のアナライザーを所有している施設が52%と最も多かった。

設問5 保守点検で用いるアナライザー(チェッカー)のうち、どのような種類のアナライザー(チェッカー)を保有していますか。(複数回答) n=1,014



問6 輸液ポンプの調達形態を教えてください。(複数回答)

目的: 輸液ポンプの調達形態を把握する。  
定義: 該当する輸液ポンプの調達形態をすべて選択してください。

※リールは、半年から年単位の中長期間の契約とする。レンタルは、日・週・月単位の短い期間の契約とする。

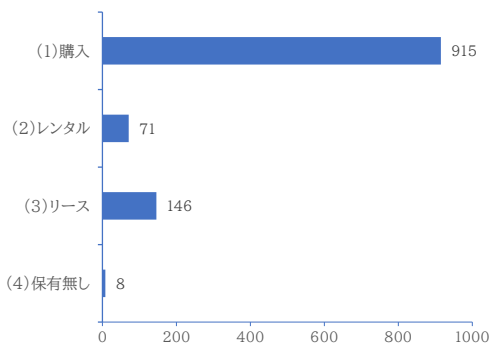
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 1,015

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1) 購入   | 915 | 90.1% |
| (2) レンタル | 71  | 7.0%  |
| (3) リース  | 146 | 14.4% |
| (4) 保有無し | 8   | 0.8%  |

解説: 購入が90%で最も多かった。

設問6 輸液ポンプの調達形態を教えてください。(複数回答) n=1,015



問7 輸液ポンプ総保有台数を入力してください。  
(単一回答)

目的：輸液ポンプの保有台数を把握する。

定義：汎用型輸液ポンプの総保有台数を入力してください。

※半角数値で入力してください。

(経腸栄養ポンプ・医薬品注入コントローラは除きます)

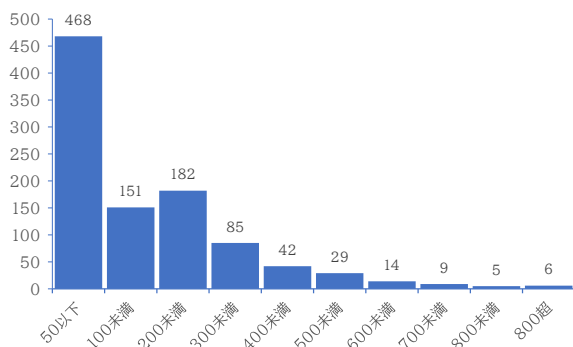
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：991

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 50 以下  | 468 | 47.2% |
| 100 未満 | 151 | 15.2% |
| 200 未満 | 182 | 18.4% |
| 300 未満 | 85  | 8.6%  |
| 400 未満 | 42  | 4.2%  |
| 500 未満 | 29  | 2.9%  |
| 600 未満 | 14  | 1.4%  |
| 700 未満 | 9   | 0.9%  |
| 800 未満 | 5   | 0.5%  |
| 800 超  | 6   | 0.6%  |

解説：50 台以下が 47% と最も多かった。

設問7 輸液ポンプ総保有台数を入力してください。  
(単一回答) n=991



問8 輸液ポンプの定期点検実施者を教えてください。(複数回答)

目的：輸液ポンプの定期点検をどの程度 CE が行っているか把握する。

定義：該当する輸液ポンプの定期点検実施者をすべて選択してください。

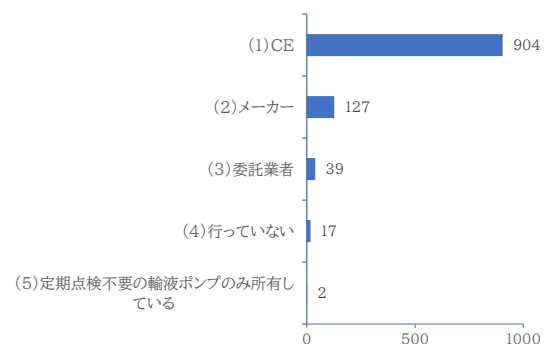
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：1,001

| 項目                       | n   | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| (1) CE                   | 904 | 90.3% |
| (2) メーカー                 | 127 | 12.7% |
| (3) 委託業者                 | 39  | 3.9%  |
| (4) 行っていない               | 17  | 1.7%  |
| (5) 定期点検不要の輸液ポンプのみ所有している | 2   | 0.2%  |

解説：輸液ポンプの定期点検実施者は 90% が CE であった。

設問7 輸液ポンプの定期点検実施者を教えてください。  
(複数回答) n=1,001



問9 輸液ポンプの年間故障件数を入力してください。(単一回答)

目的：輸液ポンプの故障率を算出し、CE による対応の有用性を見出す。

定義：臨床使用不能で業者に修理依頼を行った輸液ポンプの年間の件数を入力してください。

※半角数値で入力してください。

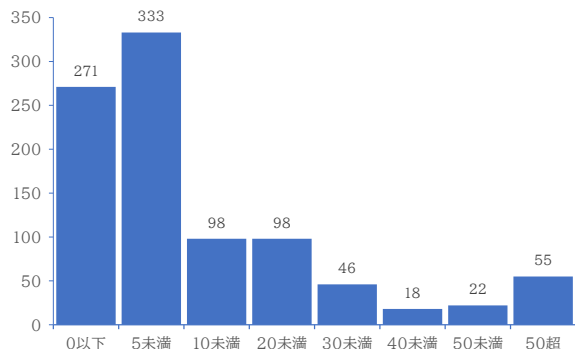
対象：2024年4月1日～2025年3月31日までの期間

有効回答数：941

| 項目    | n   | 割合    |
|-------|-----|-------|
| 0 以下  | 271 | 28.8% |
| 5 未満  | 333 | 35.4% |
| 10 未満 | 98  | 10.4% |
| 20 未満 | 98  | 10.4% |
| 30 未満 | 46  | 4.9%  |
| 40 未満 | 18  | 1.9%  |
| 50 未満 | 22  | 2.3%  |
| 50 超  | 55  | 5.8%  |

解説：5 台以下が 35% であり最も多かった。

設問9 輸液ポンプの年間故障件数を入力してください。(単一回答) n=941

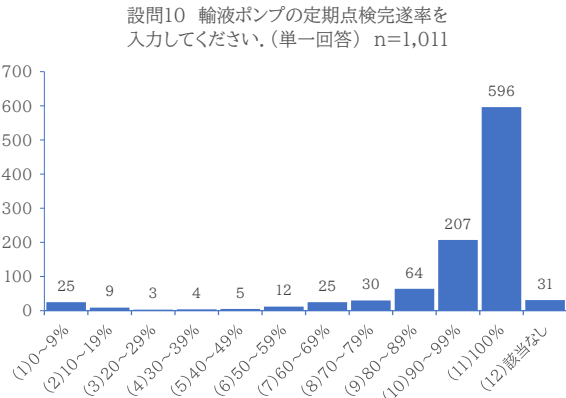


問 10 輸液ポンプの定期点検完遂率を入力してください。(単一回答)

目的：輸液ポンプの保守点検の水準を把握する。  
定義：「スケジュール点検完了台数÷対象台数×100」にて計算(小数点以下四捨五入)し、該当する範囲を選択してください。  
対象：2024年4月1日～2025年3月31日までの期間  
有効回答数：1,011

| 項目          | n   | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| (1) 0～9%    | 25  | 2.5%  |
| (2) 10～19%  | 9   | 0.9%  |
| (3) 20～29%  | 3   | 0.3%  |
| (4) 30～39%  | 4   | 0.4%  |
| (5) 40～49%  | 5   | 0.5%  |
| (6) 50～59%  | 12  | 1.2%  |
| (7) 60～69%  | 25  | 2.5%  |
| (8) 70～79%  | 30  | 3.0%  |
| (9) 80～89%  | 64  | 6.3%  |
| (10) 90～99% | 207 | 20.5% |
| (11) 100%   | 596 | 59.0% |
| (12) 該当なし   | 31  | 3.1%  |

解説：59%の施設が100%の完遂率であった。



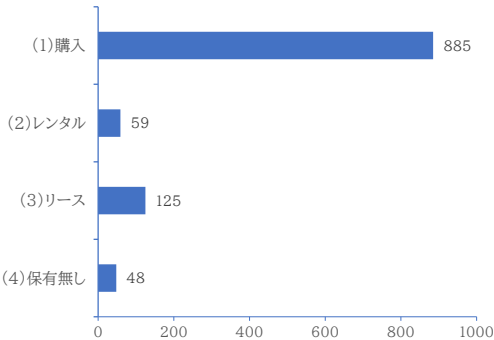
問 11 シリンジポンプの調達形態を教えてください。(複数回答)

目的：シリンジポンプの調達形態の把握する。  
定義：該当するシリンジポンプの調達形態をすべて選択してください。  
※リールは、半年から年単位の中長期間の契約とする。レンタルは、日・週・月単位の短い期間の契約とする。  
対象：2025年10月1日時点  
有効回答数：1,011

| 項目       | n   | 割合    |
|----------|-----|-------|
| (1) 購入   | 885 | 87.5% |
| (2) レンタル | 59  | 5.8%  |
| (3) リース  | 125 | 12.4% |
| (4) 保有無し | 48  | 4.7%  |

解説：88%の施設が購入であった。

設問11 シリンジポンプの調達形態を教えてください。(複数回答)n=1011



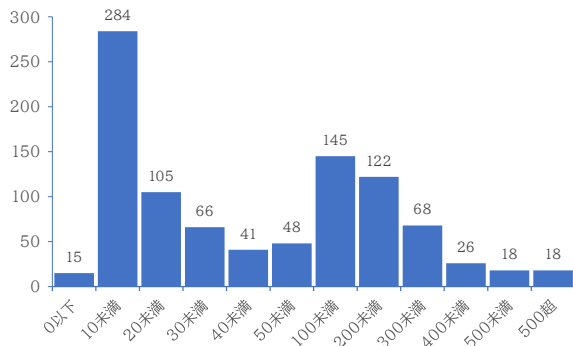
問 12 シリンジポンプ総保有台数を入力してください。(単一回答)

目的：シリンジポンプの保有台数を把握する。  
定義：シリンジポンプの総保有台数を入力してください。  
※半角数値で入力してください。  
(PCA ポンプ・TCI ポンプは除きます)  
対象：2025年10月1日時点  
有効回答数：956

| 項目     | n   | 割合     |
|--------|-----|--------|
| 0 以下   | 15  | 1.6%   |
| 10 未満  | 284 | 29.7%  |
| 20 未満  | 105 | 11.0%  |
| 30 未満  | 66  | 6.9%   |
| 40 未満  | 41  | 4.3%   |
| 50 未満  | 48  | 266.7% |
| 100 未満 | 145 | 15.2%  |
| 200 未満 | 122 | 12.8%  |
| 300 未満 | 68  | 7.1%   |
| 400 未満 | 26  | 2.7%   |
| 500 未満 | 18  | 1.9%   |
| 500 超  | 18  | 1.9%   |

解説：10 未満が 30%と最も多かった。

設問12 シリンジポンプ総保有台数を入力してください。  
(単一回答) n=958



問 13 シリンジポンプの定期点検実施者を教えてください。(複数回答)

目的：シリンジポンプの定期点検をどの程度 CE が行っているか把握する。

定義：該当するシリンジポンプの定期点検実施者をすべて選択してください。

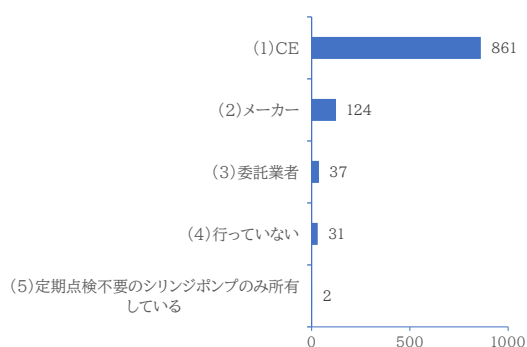
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：969

| 項目                         | n   | 割合    |
|----------------------------|-----|-------|
| (1) CE                     | 861 | 88.9% |
| (2) メーカー                   | 124 | 12.8% |
| (3) 委託業者                   | 37  | 3.8%  |
| (4) 行っていない                 | 31  | 3.2%  |
| (5) 定期点検不要のシリンジポンプのみ所有している | 2   | 0.2%  |

解説：シリンジポンプの定期点検実施者は 89% が CE であった。

設問13 シリンジポンプの定期点検実施者を教えてください。(複数回答) n=969



問 14 シリンジポンプの年間故障件数を入力してください。(単一回答)

目的：シリンジポンプの故障率を算出し、CE による対応の有用性を見出す。

定義：臨床使用不能で業者へ修理依頼を行ったシリンジポンプの年間の件数を入力してください。

※半角数値で入力してください。

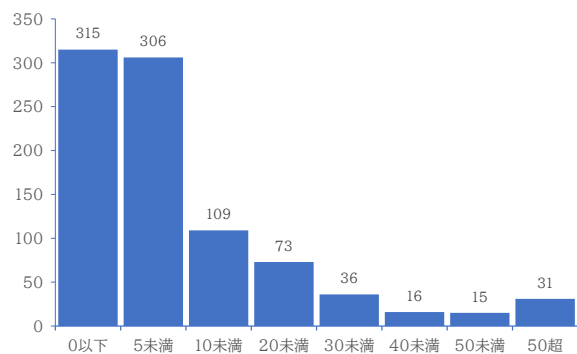
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの期間

有効回答数：901

| 項目    | n   | 割合    |
|-------|-----|-------|
| 0 以下  | 315 | 35.0% |
| 5 未満  | 306 | 34.0% |
| 10 未満 | 109 | 12.1% |
| 20 未満 | 73  | 8.1%  |
| 30 未満 | 36  | 4.0%  |
| 40 未満 | 16  | 1.8%  |
| 50 未満 | 15  | 1.7%  |
| 50 超  | 31  | 3.4%  |

解説：0 以下が 35%と最も多かった。

設問14 シリンジポンプの年間故障件数を入力してください。(単一回答) n=901



問 15 シリンジポンプの定期点検完遂率を入力してください。(単一回答)

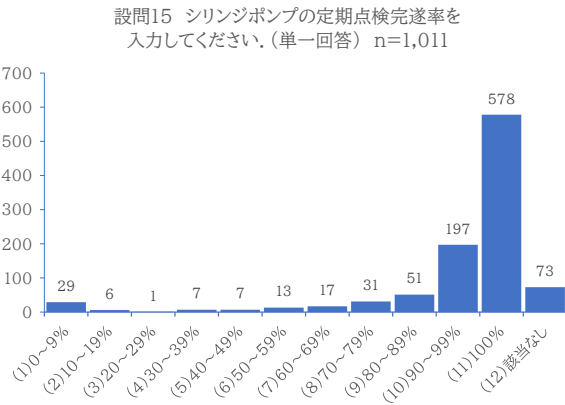
目的：シリンジポンプの保守点検の水準を把握する。  
定義：「スケジュール点検完了台数÷対象台数×100」にて計算（小数点以下四捨五入）し、該当する範囲を選択してください。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの期間

有効回答数：1,010

| 項目          | n   | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| (1) 0～9%    | 29  | 2.9%  |
| (2) 10～19%  | 6   | 0.6%  |
| (3) 20～29%  | 1   | 0.1%  |
| (4) 30～39%  | 7   | 0.7%  |
| (5) 40～49%  | 7   | 0.7%  |
| (6) 50～59%  | 13  | 1.3%  |
| (7) 60～69%  | 17  | 1.7%  |
| (8) 70～79%  | 31  | 3.1%  |
| (9) 80～89%  | 51  | 5.0%  |
| (10) 90～99% | 197 | 19.5% |
| (11) 100%   | 578 | 57.2% |

解説：57%の施設が100%の完遂率であった。



問 16 医用テレメータのチャンネル管理者（電波管理責任者）を選任していますか。(単一回答)

目的：2016 年 4 月に総務省が出された電波管理責任者の設置等に関する通知に対する現状を調査する。  
定義：電波管理責任者の選任の有無を選択してください。

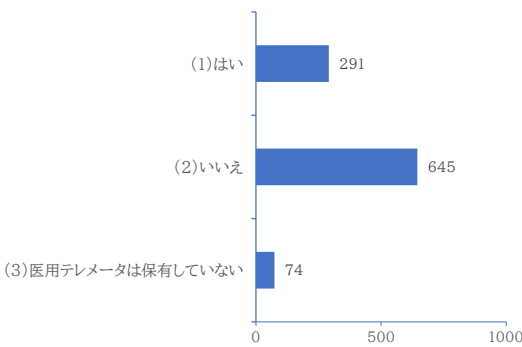
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,010

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1) はい              | 291 | 28.8% |
| (2) いいえ             | 645 | 63.9% |
| (3) 医用テレメータは保有していない | 74  | 7.3%  |

解説：29%の施設でチャンネル管理者を選任している。

設問16 医用テレメータのチャンネル管理者（電波管理責任者）を選任していますか。(単一回答) n=1,010



問 17 医用テレメータ送信機総保有台数を入力してください。

目的：医用テレメータ送信機総保有台数を把握する。  
定義：送信機を搭載したベッドサイド含む全送信機の保有台数を入力してください。

※半角数値で入力してください。

(無線 LAN にて送信する機器は除きます)

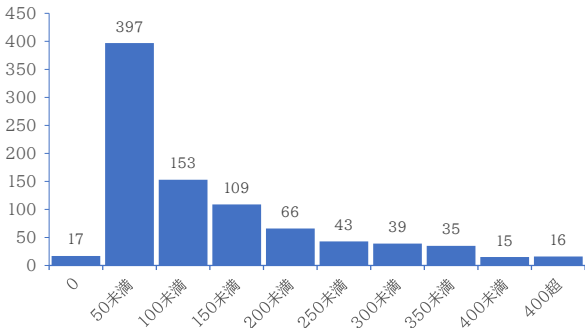
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：890

| 項目     | n   | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 0      | 17  | 1.9%  |
| 50 未満  | 397 | 44.6% |
| 100 未満 | 153 | 17.2% |
| 150 未満 | 109 | 12.2% |
| 200 未満 | 66  | 7.4%  |
| 250 未満 | 43  | 4.8%  |
| 300 未満 | 39  | 4.4%  |
| 350 未満 | 35  | 3.9%  |
| 400 未満 | 15  | 1.7%  |
| 400 超  | 16  | 1.8%  |

解説：50 未満が 45%と最も多かった。

設問17 医用テレメータ送信機総保有台数を入力してください。シリンジポンプ総保有台数を入力してください。n=899



問 18 電波フロアサーベイの実施状況を選択してください。（複数回答）

目的：電波リスク管理の状況を把握する。

定義：医用テレメータ受信状況に関する点検の実施状況を選択してください。

※電波フロアサーベイとは、病院内の電波状況を数値化、可視化する調査です。

対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの期間

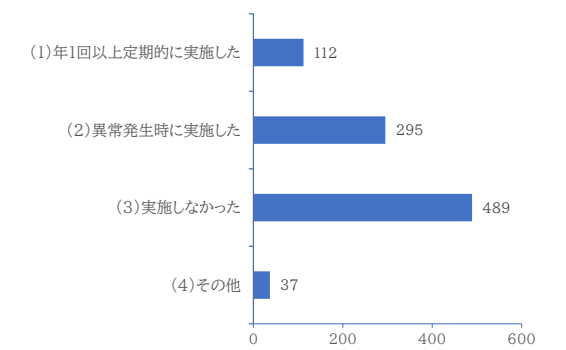
有効回答数：926

| 項目                  | n   | 割合    |
|---------------------|-----|-------|
| (1) 年 1 回以上定期的に実施した | 112 | 12.1% |
| (2) 異常発生時に実施した      | 295 | 31.9% |
| (3) 実施しなかった         | 489 | 52.8% |
| (4) その他             | 37  | 4.0%  |

その他内訳：数年に一度 4、2 年に一度 4、不定期 3、新築移転時 3、今後実施予定 2、メーカー定期点検時 2、導入時に測定 1、機器更新前 1、5 年に一度 1、病棟改変時 1、開院時 1、アンテナ更新時 1、耐震補強工事時 1

解説：53%の施設で実施されていない。

設問18 電波フロアサーベイの実施状況を選択してください。（複数回答） n=926



問 19 MACT（モニターアラームコントロールチーム）の有無について選択してください。（単一回答）

目的：モニターアラーム管理体制について調査する。

定義：MACT の設置の有無について選択してください。

MACT とはモニターアラームに関する安全管理チームのことを指します。

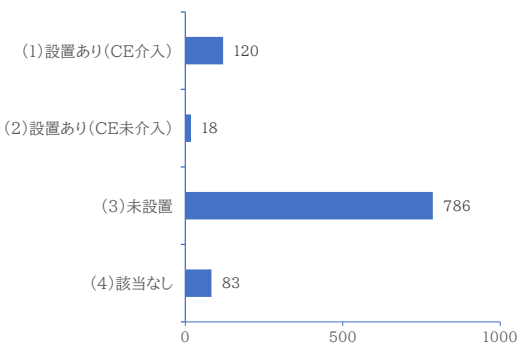
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,007

| 項目               | n   | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| (1) 設置あり（CE 介入）  | 120 | 11.9% |
| (2) 設置あり（CE 未介入） | 18  | 1.8%  |
| (3) 未設置          | 786 | 78.1% |
| (4) 該当なし         | 83  | 8.2%  |

解説：12%の施設で CE が MACT に介入している。一方で 78%の施設で MACT は設置されていない。

設問19 MACT(モニターアラームコントロールチーム)の有無について選択してください。（単一回答） n=1,007



問 20 2024 年度のテレメータ障害インシデント件数を入力してください。（単一回答）

目的：医用テレメータ管理において不具合発生状況を把握する。

定義：受信不良・混信等による障害がどの程度発生したか、該当する範囲を選択してください。

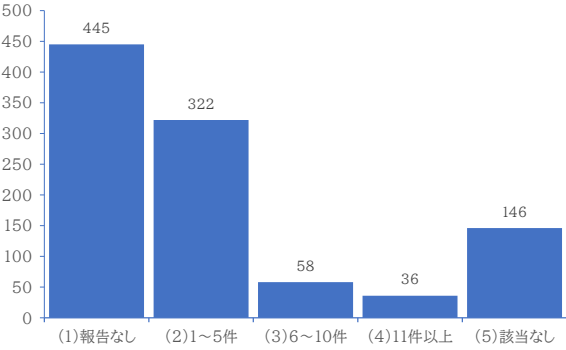
対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの期間

有効回答数：1,007

| 項目         | n   | 割合    |
|------------|-----|-------|
| (1) 報告なし   | 445 | 44.2% |
| (2) 1～5 件  | 322 | 32.0% |
| (3) 6～10 件 | 58  | 5.8%  |
| (4) 11 件以上 | 36  | 3.6%  |
| (5) 該当なし   | 146 | 14.5% |

解説：報告なしが 44%で最も多かった。

設問20 2024年度のテレメータ障害インシデント件数を入力してください。（単一回答） n=1,007



問 21 「耐用期間」を超過した生命維持管理装置はどのタイミングで更新申請を行いますか。(複数回答)

目的：耐用期間を超過した生命維持管理装置の対応策を把握する。

定義：耐用期間を超過した生命維持管理装置をどのタイミングで更新申請を行うのか、該当する選択肢を全て選択してください。

※生命維持管理装置とは、人工呼吸器、血液浄化装置、人工心肺装置、体外式ペースメーカー、補助循環装置、保育器、除細動器などがある（臨床工学技士法の施行について、健政発第 198 号）

※耐用期間とはメーカーが推奨する添付文章に記載されたもの耐用期間のことを指します。

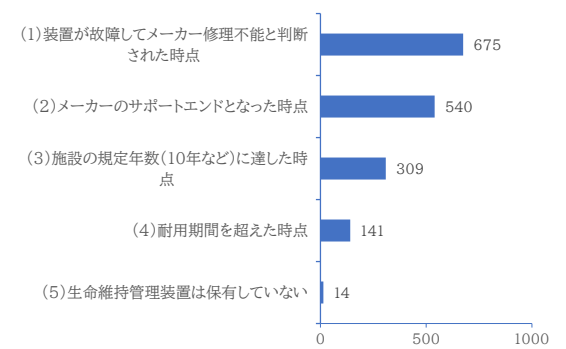
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,005

| 項目                          | n   | 割合    |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1) 装置が故障してメーカー修理不能と判断された時点 | 675 | 67.2% |
| (2) メーカーのサポートエンドとなった時点      | 540 | 53.7% |
| (3) 施設の規定年数（10 年など）に達した時点   | 309 | 30.7% |
| (4) 耐用期間を超えた時点              | 141 | 14.0% |
| (5) 生命維持管理装置は保有していない        | 14  | 1.4%  |

解説：「耐用期間」を超過した生命維持管理装置の更新タイミングは、メーカー修理不能と判断された時点が 67%と最も多かった。

設問21 「耐用期間」を超過した生命維持管理装置はどのタイミングで更新申請を行いますか。(複数回答) n=1,005



16. 業務実態調査 2025 施設調査 教育者アドオン

問 1 施設先を選択してください。(単一回答)

目的：所属施設の分布を把握するため。

定義：施設先の分類を選択する。

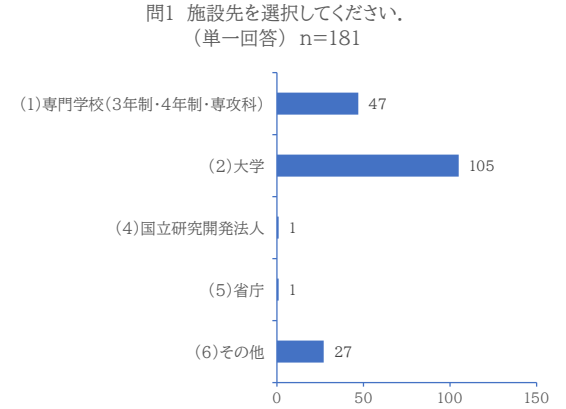
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：181

| 項目                    | n   | 割合    |
|-----------------------|-----|-------|
| (1) 専門学校（3年制・4年制・専攻科） | 47  | 26.0% |
| (2) 大学                | 105 | 58.0% |
| (4) 国立研究開発法人          | 1   | 0.6%  |
| (5) 省庁                | 1   | 0.6%  |
| (6) その他               | 27  | 14.9% |

その他内訳：クリニック 1, 該当なし 1, 急性期病院 1, 個人 CL1, 公立 1, 赤十字病院 1, 総合病院 1, 病院 3, 未記載 17

解説：大学所属が 58%，専門学校 25%であった。



問 2 設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：所属施設の分布を把握するため。

定義：所属施設の設置主体を選択してください。

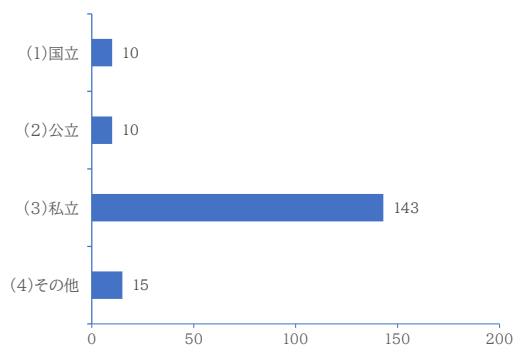
対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：178

| 項目      | n   | 割合    |
|---------|-----|-------|
| (1) 国立  | 10  | 5.6%  |
| (2) 公立  | 10  | 5.6%  |
| (3) 私立  | 143 | 80.3% |
| (4) その他 | 15  | 8.4%  |

その他内訳：JCHO1, 医療法人 2, 該当なし 1, 個人 CL1, 独立行政法人 2, 未記載 8

解説：私立が最も多く、続いて、国立、公立であった。

問2 設置主体を選択してください。  
(単一回答) n=178

## 問3 任期はありますか。(単一回答)

目的：教育者の雇用形態を把握するため。

定義：所属施設の雇用契約を選択してください。

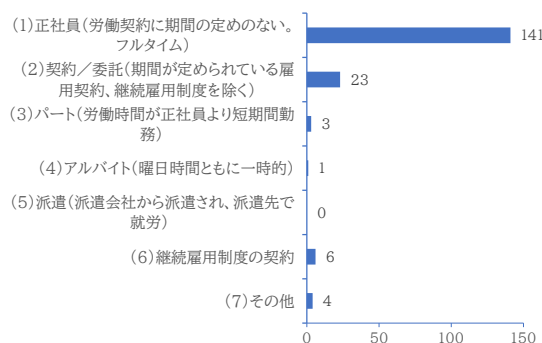
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：178

| 項目                                 | n   | 割合    |
|------------------------------------|-----|-------|
| (1)正社員(労働契約に期間の定めのない、フルタイム)        | 141 | 79.2% |
| (2)契約/委託(期間が定められている雇用契約、継続雇用制度を除く) | 23  | 12.9% |
| (3)パート(労働時間が正社員より短期間勤務)            | 3   | 1.7%  |
| (4)アルバイト(曜日時間ともに一時的)               | 1   | 0.6%  |
| (5)派遣(派遣会社から派遣され、派遣先で就労)           | 0   | 0.0%  |
| (6)継続雇用制度の契約                       | 6   | 3.4%  |
| (7)その他                             | 4   | 2.2%  |

その他内訳：フルタイムだが5年の更新制1該当なし1未記載2

解説：正社員が最も多く、次に契約/委託社員が多かった。

設問3 任期はありますか。  
(単一回答) n=178

## 問4 教育歴は何年ですか。(単一回答)

目的：教育者の経験年数の分布を把握するため。

定義：教育者としての経験年数(通算)を選択してください。

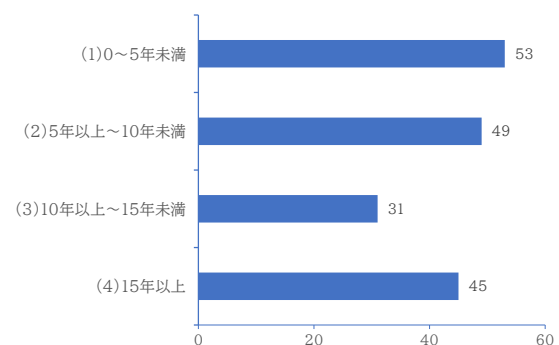
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：178

| 項目             | n  | 割合    |
|----------------|----|-------|
| (1)0～5年未満      | 53 | 29.8% |
| (2)5年以上～10年未満  | 49 | 27.5% |
| (3)10年以上～15年未満 | 31 | 17.4% |
| (4)15年以上       | 45 | 25.3% |

解説：5年未満が最も多く、次に5～10年以上、15年以上の順であった。

設問4 教育歴は何年ですか。(単一回答)



## 問5 学位および称号はどれにあたりますか。(単一回答)

目的：教育者の学位、称号の取得状況を把握するため。

定義：学位および称号を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

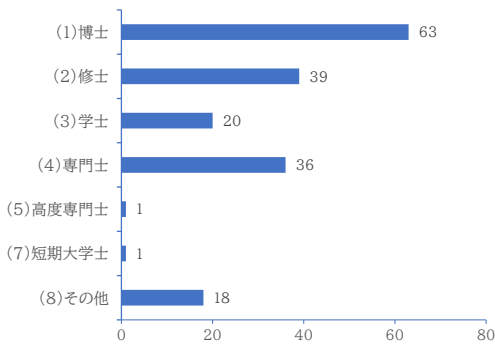
有効回答数：178

| 項目       | n  | 割合    |
|----------|----|-------|
| (1)博士    | 63 | 35.4% |
| (2)修士    | 39 | 21.9% |
| (3)学士    | 20 | 11.2% |
| (4)専門士   | 36 | 20.2% |
| (5)高度専門士 | 1  | 0.6%  |
| (7)短期大学士 | 1  | 0.6%  |
| (8)その他   | 18 | 10.1% |

その他内訳：ない5, 専門学校卒1, 未記載12

解説：大学院(後期)が最も多く、次に専門学校(3年制)、大学院(前期)の順であった。

設問5 学位および称号はどれにあたりますか。  
(単一回答) n=178



問6 最終学歴はどれにあたりますか。(単一回答)

目的：教育者の最終学歴の分布を把握するため。

定義：最終学歴を選択してください。

対象：2025年10月1日時点

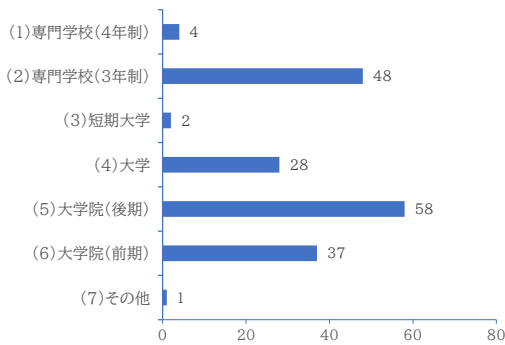
有効回答数：178

| 項目            | n  | 割合    |
|---------------|----|-------|
| (1) 専門学校（4年制） | 4  | 2.2%  |
| (2) 専門学校（3年制） | 48 | 27.0% |
| (3) 短期大学      | 2  | 1.1%  |
| (4) 大学        | 28 | 15.7% |
| (5) 大学院（後期）   | 58 | 32.6% |
| (6) 大学院（前期）   | 37 | 20.8% |
| (7) その他       | 1  | 0.6%  |

その他内訳：専門学校2年制 1

解説：大学院（後期）が最も多く、次に専門学校（3年制）、大学院（前期）の順であった。

設問6 最終学歴はどれにあたりますか。  
(単一回答) n=178



問7 所属先の教員は何名ですか。(単一回答)

目的：施設の教員数を把握するため。

定義：所属先の教員，非常勤教員数を選択してください。

学科（部）

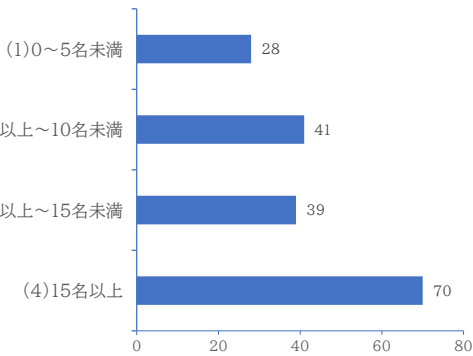
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：178

| 項目              | n  | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| (1) 0～5名未満      | 67 | 37.0% |
| (2) 5名以上～10名未満  | 83 | 45.9% |
| (3) 10名以上～15名未満 | 10 | 5.5%  |
| (4) 15名以上       | 17 | 9.4%  |

解説：5名以上～10名未満が最も多く、次に5名未満が多かった。ただ、今回、同施設に勤務する会員が回答している場合も含まれているため、正確な回答を得ることができなかった。

設問7 所属先の教員は何名ですか。  
(単一回答) n=178



問8 所属先の教育者に臨床工学技士は何名いますか。(単一回答)

目的：施設の教員数を把握するため。

定義：臨床工学技士の教育者数を選択してください。

対象を学科・専攻・コースなどの最小単位とする。

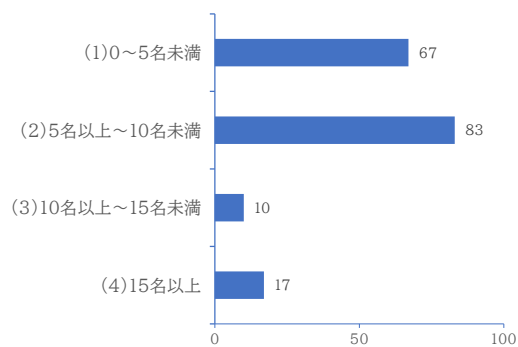
対象：2025年10月1日時点

有効回答数：177

| 項目              | n  | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| (1) 0～5名未満      | 67 | 37.9% |
| (2) 5名以上～10名未満  | 83 | 46.9% |
| (3) 10名以上～15名未満 | 10 | 5.6%  |
| (4) 15名以上       | 17 | 9.6%  |

解説：5名以上～10名未満が最も多く、次に5名未満が多かった。ただ、今回、同施設に勤務する会員が回答している場合も含まれているため、正確な回答を得ることができなかった。

設問8 所属先の教育者に臨床工学技士は何名いますか。  
(単一回答) n=177



問9 所属先の学生定員は満たしていますか。(単一回答)

目的: 学生定員の状況を把握するため。

定義: 臨床工学技士養成科の学生定員を満たしているか選択する。

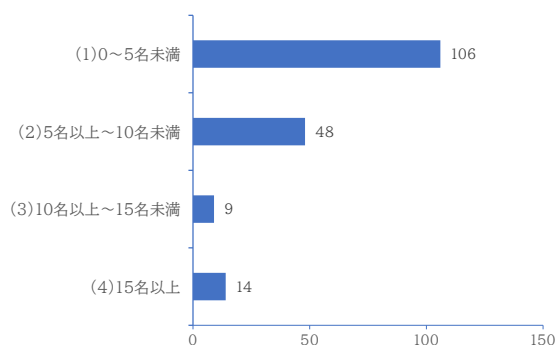
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 177

| 項目              | n   | 割合    |
|-----------------|-----|-------|
| (1) 0~5名未満      | 106 | 59.9% |
| (2) 5名以上~10名未満  | 48  | 27.1% |
| (3) 10名以上~15名未満 | 9   | 5.1%  |
| (4) 15名以上       | 14  | 7.9%  |

解説: 5名以上~10名未満が最も多く、次に5名未満が多かった。ただ、今回、同施設に勤務する会  
員が回答している場合も含まれているため、正確な  
回答を得ることができなかった。

設問9 所属先の教育者(臨床工学技士)で告示研修受講済  
は何名いますか。(単一回答) n=177



問10 実務経験(臨床経験)は何年ですか。(単一回答)

目的: 教育者の臨床経験の分布を把握するため。

定義: 臨床経験の年数を選択してください。

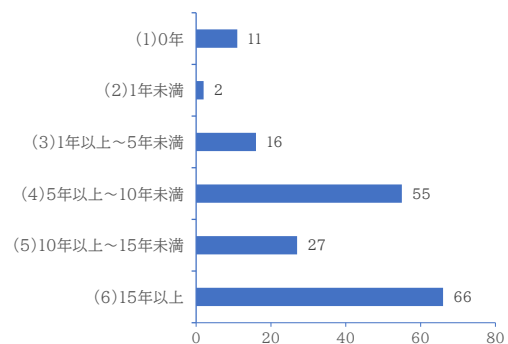
対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 164

| 項目              | n  | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| (1) 0年          | 11 | 6.7%  |
| (2) 1年未満        | 2  | 1.2%  |
| (3) 1年以上~5年未満   | 16 | 9.8%  |
| (4) 5年以上~10年未満  | 55 | 33.5% |
| (5) 10年以上~15年未満 | 27 | 16.5% |
| (6) 15年以上       | 66 | 40.2% |

解説: 15年以上が最も多く、次に5年以上~10年未満が多かった。

設問10 実務経験(臨床経験)は何年ですか。  
(単一回答) n=164



問11 経験した業務を選択してください。(複数回答)

目的: 教育者の臨床業務経験の分布を把握するため。

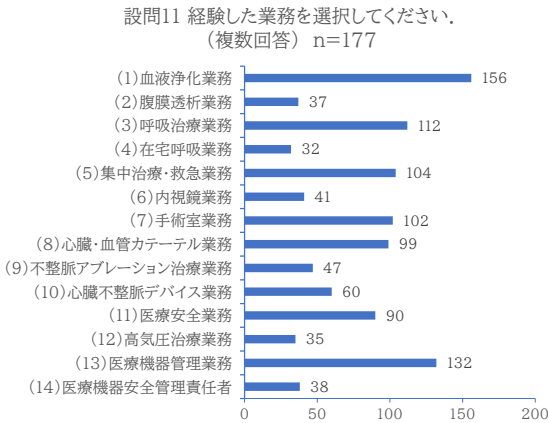
定義: 臨床経験のある業務を選択してください。

対象: 2025年10月1日時点

有効回答数: 177

| 項目                 | n   | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| (1) 血液浄化業務         | 156 | 88.1% |
| (2) 腹膜透析業務         | 37  | 20.9% |
| (3) 呼吸治療業務         | 112 | 63.3% |
| (4) 在宅呼吸業務         | 32  | 18.1% |
| (5) 集中治療・救急業務      | 104 | 58.8% |
| (6) 内視鏡業務          | 41  | 23.2% |
| (7) 手術室業務          | 102 | 57.6% |
| (8) 心臓・血管カテーテル業務   | 99  | 55.9% |
| (9) 不整脈アブレーション治療業務 | 47  | 26.6% |
| (10) 心臓不整脈デバイス業務   | 60  | 33.9% |
| (11) 医療安全業務        | 90  | 50.8% |
| (12) 高気圧治療業務       | 35  | 19.8% |
| (13) 医療機器管理業務      | 132 | 74.6% |
| (14) 医療機器安全管理責任者   | 38  | 21.5% |

解説: 血液浄化業務が最も多く、次に医療機器管理  
業務、呼吸治療業務、手術室業務が多かった。



問 12 副業は許可されていますか。(単一回答)

目的: 教育者の副業の許可状況を把握するため。

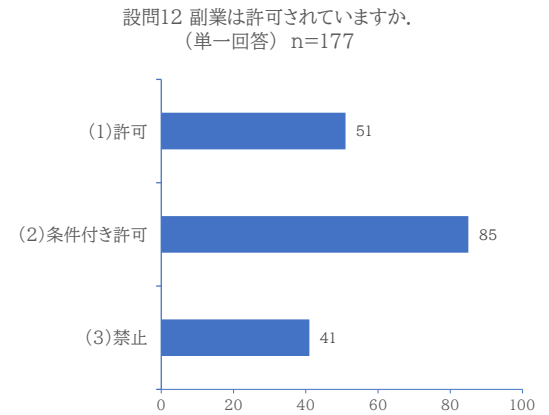
定義: 所属施設において副業の取り扱いを選択する。

対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 177

| 項目         | n  | 割合    |
|------------|----|-------|
| (1) 許可     | 51 | 28.8% |
| (2) 条件付き許可 | 85 | 48.0% |
| (3) 禁止     | 41 | 23.2% |

解説: 条件付き許可が最も多く、次に許可されている回答が多かった。



問 13 副業の勤務先はどちらですか。(複数回答)

目的: 教育者の副業の勤務先を把握するため。

定義: 副業の勤務先を選択してください。

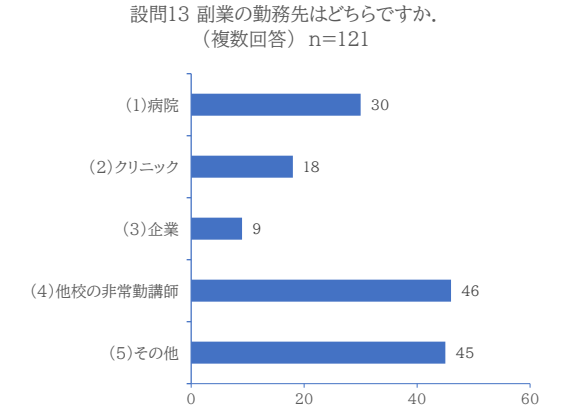
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 121

| 項目           | n  | 割合    |
|--------------|----|-------|
| (1) 病院       | 30 | 24.8% |
| (2) クリニック    | 18 | 14.9% |
| (3) 企業       | 9  | 7.4%  |
| (4) 他校の非常勤講師 | 46 | 38.0% |
| (5) その他      | 45 | 37.2% |

その他内訳: していない 6,どこでも可能 1,フリーランス 1,医療機器センター(国家試験委員) 1,外部組織の Web ミーティングへの参加 1,禁止 2,県立高等学校評議員 1,個人事業 2,講演,依頼原稿,印税など 2,無報酬の活動,都道府県技士会役員および委員,研究会幹事 1,未記載 27

解説: 他校の非常勤講師が最も多く、次にその他が多かった。他の業務では、個人事業や無報酬の活動、都道府県の技士会活動が挙げられた。



問 14 教育者としての課題は何ですか。(複数回答)

目的: 教育者の課題を抽出するため。

定義: 教育者としての課題を選択してください。

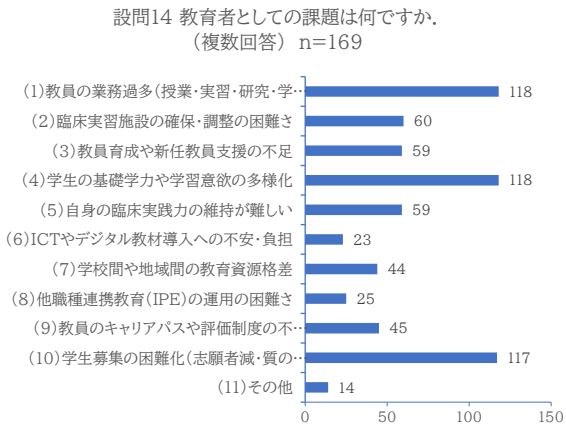
対象: 2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 169

| 項目                           | n   | 割合    |
|------------------------------|-----|-------|
| (1) 教員の業務過多(授業・実習・研究・学生指導など) | 118 | 69.8% |
| (2) 臨床実習施設の確保・調整の困難さ         | 60  | 35.5% |
| (3) 教員育成や新任教員支援の不足           | 59  | 34.9% |
| (4) 学生の基礎学力や学習意欲の多様化         | 118 | 69.8% |
| (5) 自身の臨床実践力の維持が難しい          | 59  | 34.9% |
| (6) ICT やデジタル教材導入への不安・負担     | 23  | 13.6% |
| (7) 学校間や地域間の教育資源格差           | 44  | 26.0% |
| (8) 他職種連携教育(IPE)の運用の困難さ      | 25  | 14.8% |
| (9) 教員のキャリアパスや評価制度の不透明さ      | 45  | 26.6% |
| (10) 学生募集の困難化(志願者減・質の確保など)   | 117 | 69.2% |
| (11) その他                     | 14  | 8.3%  |

その他内訳: 学生募集 1,学内実習設備 1,教育者の課題は、教員の問題である。1,研究レベルの向上 1,大学は留年率や進学率のために単位認定が甘くなり、教育の質を下げるべきではない快問に立たされている。1,当院には教育者はいない(教育施設ではない) 1, 未記載 8

解説: 教員の業務過多(授業・実習・研究・学生指導など)、学生の基礎学力や学習意欲の多様化、学生募集の困難化(志願者減・質の確保など)が最も多かった。



問 15 所属先、職能団体に求めるものは何ですか。

目的：教育者の要求を把握するため。

定義：教育者が所属先、職能団体に求めるものを記載してください。

対象：2025 年 10 月 1 日時点

有効回答数：67

1. 臨床工学技士の認知度向上・広報強化（一般・高校生・保護者含む） 28

- ・臨床工学技士の認知度向上に関して、施設協議会との連携を強化して活動をしていただきたい
  - ・臨床工学技士の知名度・魅力度の向上に期待する。
  - ・臨床工学技士の職業啓発こそが重要である。
  - ・高校生をはじめ、子ども達が目指す職業にして欲しい。
  - ・保護者や高校教員による正しい職業への理解も必要
  - ・臨床工学技士の認知度向上
  - ・臨床工学技士の宣伝、啓発、認知度向上の方法の策定
  - ・臨床工学技士の入学希望者を増やす有効な活動
  - ・高校生を中心に広報活動を行ってほしい
  - ・全国規模の認知・PR を本気で実施
  - ・臨床工学の職業を知る機会を増やして欲しい
  - ・学生募集に対する医療職の普及
  - ・高校生への臨床工学技士認知度が特に低い
  - ・技士会と教育施設協議会が連携して啓発活動
  - ・認知度アップ
  - ・SNS だけではなく地方での広報活動の強化
  - ・臨床工学技士の認知度向上、学生不足解消
  - ・CE の知名度強化（メディアやドラマなど）
  - ・一般層に対する臨床工学技士の知名度向上
  - ・臨床工学技士志願者の増加
  - ・臨床工学技士の認知度向上、啓蒙
  - ・職業認知度の向上
  - ・臨床工学技士の認知度向上のための施策
  - ・資格認知度の向上
  - ・志願者拡大の啓発活動の活発化
  - ・医療ドラマ制作の企画
  - ・知名度の向上
  - ・臨床工学技士の認知拡大に向けた活動活発化
2. 志願者減少・定員割れへの対策（学生確保） 15
- ・年々志願者も減ってきており、学生の定員確保に苦勞
  - ・志願者減少に対する対応

- ・CE 志望者は激減し、養成校は全国的に定員割れ
  - ・定員割れ異常事態への対応
  - ・学生募集の困難化
  - ・志願者減・質の低下
  - ・入学者減少（18 歳人口減少）
  - ・全国の養成校が定員割れ
  - ・学生確保と高校への配慮
  - ・入口拡大（奨学金・リスクリング）
  - ・医療学科の中でも大打撃
  - ・志望者減少が進行
  - ・定員充足率の低下
  - ・学生募集に対する連携
  - ・学生確保が急務
3. 待遇改善（給与アップ・賃金格差是正） 8
- ・臨床工学技士の待遇の改善
  - ・給与面から敬遠されている
  - ・一般職との賃金格差の是正
  - ・初任給水準の問題
  - ・危険で大変で給料が低い職業イメージ
  - ・給料のアップ
  - ・臨床工学技士の賃金引上げ
  - ・診療報酬への反映
4. 職能団体と養成校・医療機関の連携強化 7
- ・施設協議会との連携強化
  - ・養成校と日臨工の更なる連携
  - ・医療機関と教育機関の連携
  - ・職能団体・教育機関・医療現場の三位一体連携
  - ・統一広報資料の整備
  - ・出前授業の常設化
  - ・教育データ連携
5. 教育体制・質保証の見直し 6
- ・養成校の基準（指定規則）の見直し
  - ・教育機関の新設制限
  - ・教育機関の統廃合の推奨
  - ・教員学位取得割合の規定
  - ・共通教材・共通スライド作成
  - ・教員評価基準の再設計
6. 教員の業務過多・働き方改善 6
- ・業務量が過多
  - ・教育と研究時間の確保困難
  - ・業務過多
  - ・働きやすい環境整備（家事・育児両立）
  - ・リソース配分の明確化
  - ・教育者の立場向上

7. 教員研修・指導力向上・資格制度の見直し 5

- ・教員用研修の義務化
- ・教員の指導力向上
- ・教育者に対する認定資格更新の緩和
- ・専門臨床工学技士認定の制度改善
- ・教員育成の強化

8. 研究・教育設備の充実 4

- ・研究用実験室の拡充
- ・実習機器の老朽化対策
- ・廃棄医療機器の寄付マッチング
- ・教育 DX 基盤整備

9. 学術的地位向上・専門性強化 3

- ・学術的地位の向上（修士・博士）
- ・専門学術誌の発行
- ・業務拡大に対応した教科書作成

10. 学生支援体制の強化 3

- ・多様化する学生へのサポート強化
- ・学習障害・精神疾患への対応
- ・入学前情報共有の充実

以上